

朝霞市意識調査結果報告書

令和6年（2024年）5月

朝霞市

目次

第1部 市民意識調査結果	1
I 調査の概要	3
1. 調査の目的.....	4
2. 調査の方法.....	4
3. 集計・分析のための地区区分.....	4
4. 調査項目	4
5. 回収結果	4
6. 報告書の見方	5
7. 回答者の属性.....	6
II 回答結果.....	13
1. 朝霞市の住みよさについて	14
2. 地域との関わりについて.....	21
3. 市政について	51
4. 市の全般的な取組について	63
5. これからのまちづくりについて.....	85
6. 自由意見	120
第2部 青少年アンケート結果.....	125
I 調査の概要	127
1. 調査の目的.....	128
2. 調査の方法.....	128
3. 集計・分析のための地区区分.....	128
4. 調査項目	128
5. 回収結果	128
6. 報告書の見方	129
7. 回答者の属性.....	130
II 回答結果.....	135
1. 朝霞市について日頃感じていること.....	136
2. これからのまちづくりについて.....	147
3. 地域との関わりについて.....	159
4. 市の取組について.....	185
5. 自由意見	187
第3部 子育て・定住に関する意識調査結果.....	193
I 調査の概要	195
1. 調査の目的.....	196
2. 調査の方法.....	196
3. 集計・分析のための地区区分.....	196

4. 調査項目	196
5. 回収結果	196
6. 報告書の見方	197
II 回答結果	199
1. あなたご自身及び世帯のことについて	200
2. 子育てについて	206
3. 朝霞市に居住した「きっかけ」及び「理由」について	215
4. 住宅の住み替えについて	219
5. 地域とのつながりについて	223
6. 自由意見	226

第1部 市民意識調査結果

I 調査の概要

1. 調査の目的

この市民意識調査は令和8年度(2026年度)から10年間のまちづくりの指針となる「第6次朝霞市総合計画」を策定するに当たって、まちづくりに対する市民の意向を把握し、基礎資料として活用するために行ったものである。

2. 調査の方法

- ①調査対象 市内居住の18歳以上の男女(令和5年4月1日時点での満年齢)
- ②対象者数 3,000人
- ③抽出方法 住民基本台帳(令和5年11月1日現在)から無作為抽出
- ④調査方法 郵送による配布・回収、インターネットによる回答を併用
- ⑤調査期間 令和5年11月24日送付、12月25日締切

3. 集計・分析のための地区区分

A地区	大字上内間木、大字下内間木
B地区	朝志ヶ丘、北原、田島、西原、浜崎、宮戸
C地区	大字台、大字根岸、岡、仲町、根岸台
D地区	泉水、西弁財、東弁財、三原
E地区	青葉台、幸町、栄町、膝折町、本町、溝沼、陸上自衛隊朝霞駐屯地

4. 調査項目

- ① 朝霞市の住みよさについて
- ② 地域との関わりについて
- ③ 市政について
- ④ 市の全般的な取組について
- ⑤ これからのまちづくりについて
- ⑥ 自由意見

5. 回収結果

- ①調査票発送数 3,000票
- ②有効回収数 976票(紙回答:743票、Web回答:233票)
- ③有効回収率 32.5%(紙回答:24.8%、Web回答:7.8%)

6. 報告書の見方

①用語について

- ・ 図表中の「n」(=number)は、設問に対する回答者数を示す。
- ・ 選択肢の文字数が多いものは、本文や図表中で省略した表現を用いている。

②集計について

- ・ 比率は、全て百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。このため、比率の合計が100%にならない場合がある。なお、集計上の無回答には、無効な回答も含んでいる。
- ・ 複数回答形式の設問については、設問に対する回答者数を母数として比率(%)を算出している。このため、合計が100%を超えることがある。

③意識調査の信頼性について

- ・ 本調査は、調査対象となる母集団から標本を抽出し、母集団の比率を推測する標本調査であるため、調査結果には統計上の誤差が生じることがある。今回の単純集計の場合の標本誤差(信頼度95%とした場合)は、次の式により求められる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N=母集団の数
n=比率算出の基数(回答サンプル数)
p=回答の比率(0≤p≤1)

- ・ 今回の市民意識調査では、母集団の数122,235人を(令和5年11月1日現在)として、有効回収数(サンプル数=976票)から標本誤差を計算すると、±3.2%以内になる(信頼度95%とした場合)。

④ 経年比較について

- ・ これまで実施した意識調査との経年比較を行った。(昭和59年度、平成元年度、平成6年度、平成11年度、平成16年度、平成22年、平成25年度、令和元年度実施。)

⑤ 年齢別比較について

- ・ 年齢別(20歳未満、20~29歳、30~39歳、40~49歳、50~59歳、60~69歳、70~79歳、80~89歳)比較を行ったが、20歳未満は、回答数が少ないため、年齢別比較の文中では触れていない。

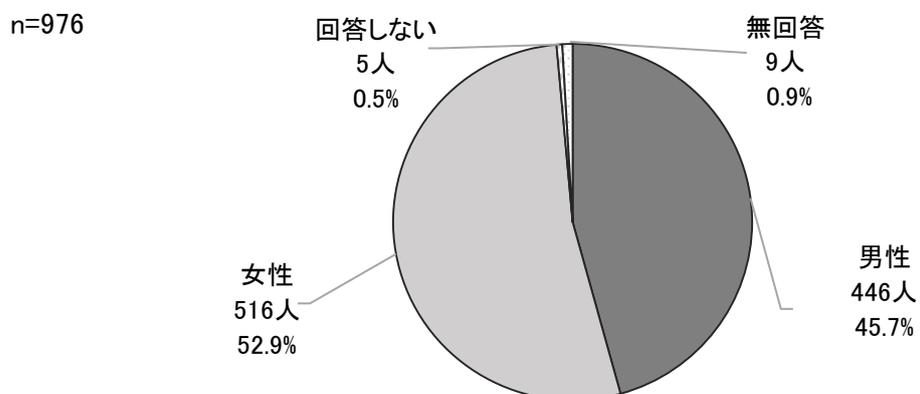
⑥ 居住地区別比較について

- ・ 居住地区(A~E地区)別比較を行ったが、A地区は回答数が少ないため、居住地区別比較の文中では触れていない。

7. 回答者の属性

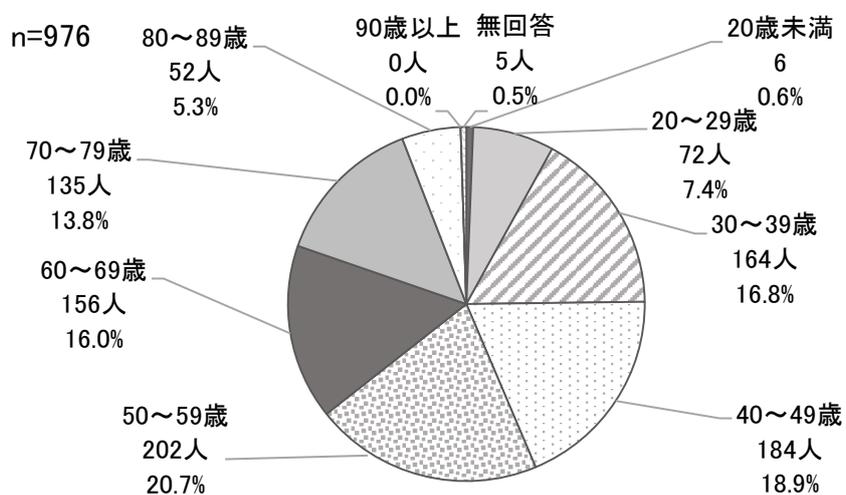
F1 あなたの性別は。

回答者の性別は、「女性」の割合が 52.9%、「男性」の割合が 45.7%となっている。



F2 あなたの年齢は。

回答者の年代は、「50～59 歳」の割合が 20.7%で最も高く、続いて「40～49 歳」(18.9%)、「30～39 歳」(16.8%)となっている。

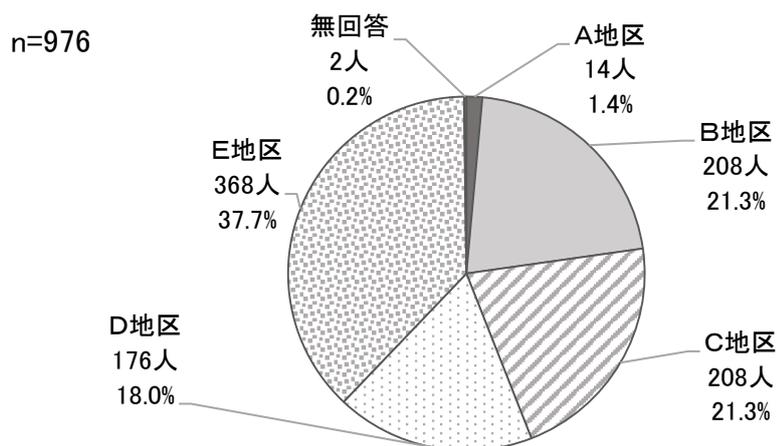


F3 あなたのお住まいはどの地区ですか。

回答者の住んでいる地区は、「E 地区」の割合が 37.7%で最も高く、続いて「B地区」(21.3%)、「C地区」(21.3%)、「D地区」(18.0%)、A地区(1.4%)となっている。

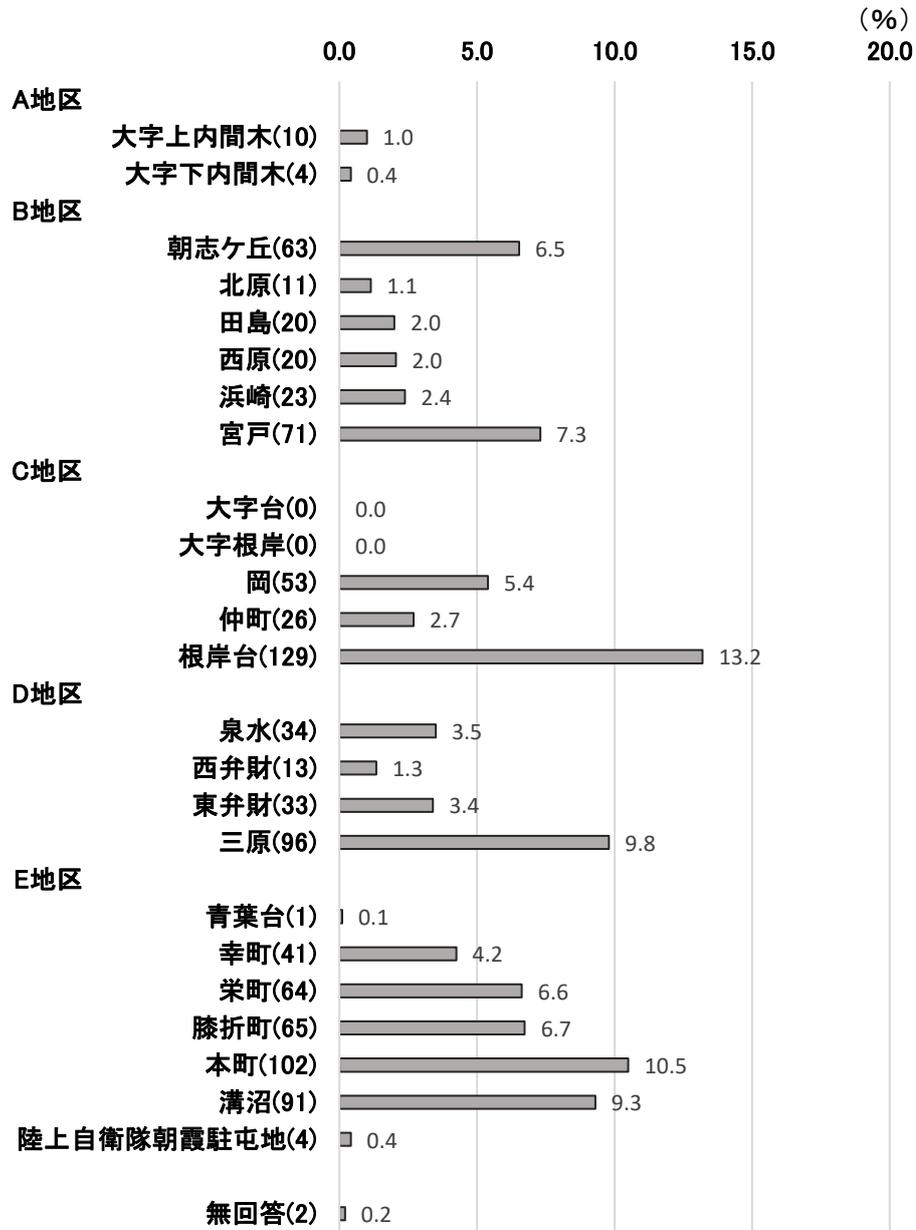
町(丁)・大字別でみた住んでいる地区は、「根岸台」の割合が 13.2%で最も高く、続いて「本町」(10.5%)、「三原」(9.8%)となっている。

※地区区分については、4ページ「3.集計・分析のための地区区分」参照。



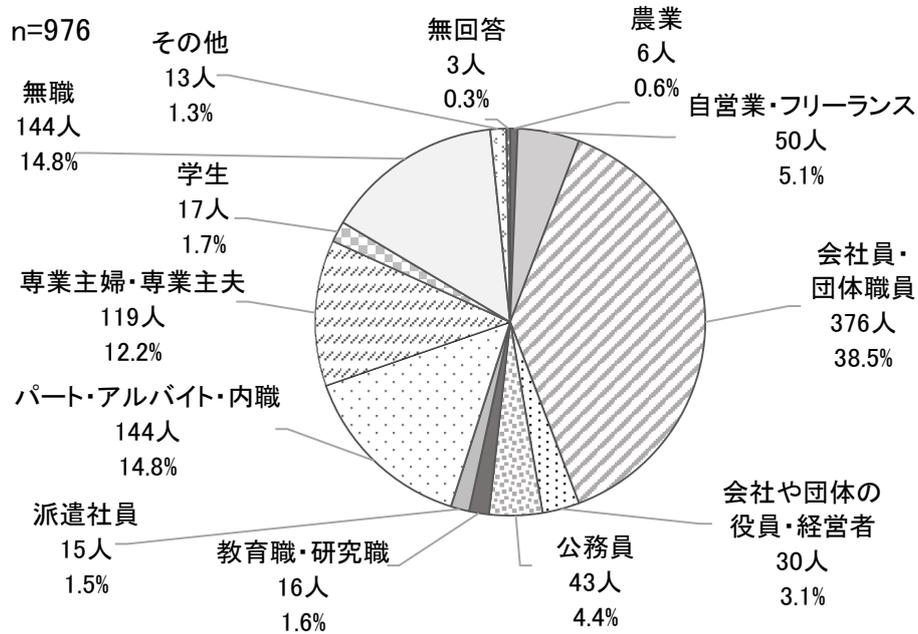
【町（丁）・大字別居住地区】

n=976



F4 あなたの主な職業・就業形態等は。

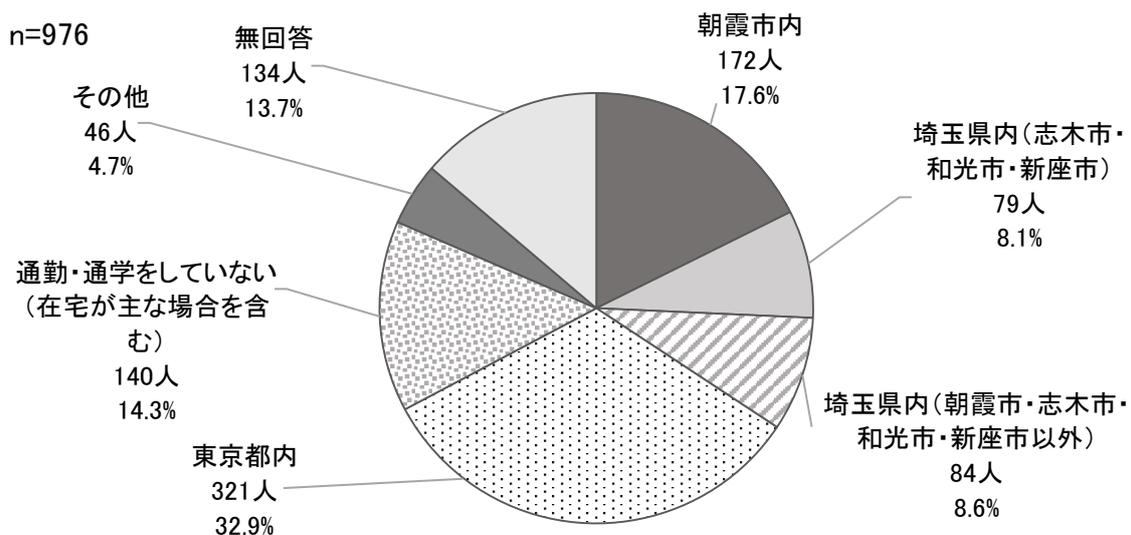
回答者の職業は、「会社員・団体職員」の割合が 38.5%で最も高く、続いて、「パート・アルバイト・内職」(14.8%)、「無職」(14.8%)、「専業主婦・専業主夫」(12.2%)となっている。



F5 あなたの勤務先、通学先はどちらですか。

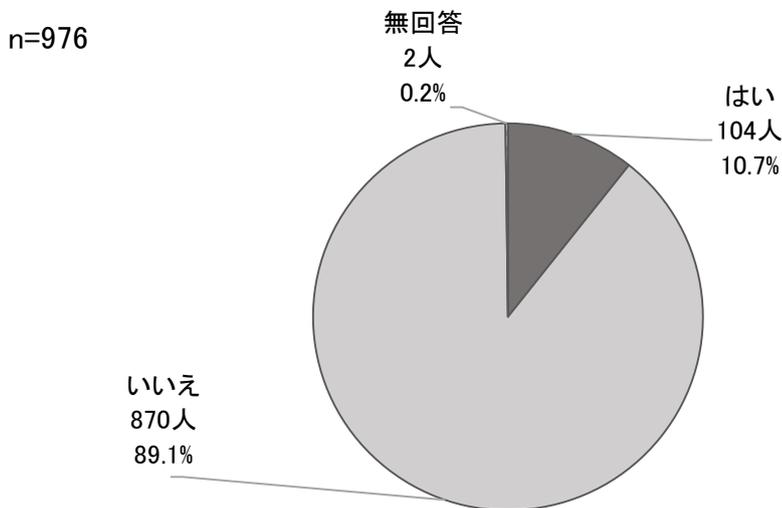
回答者の勤務先、通学先は、「東京都内」の割合が 32.9%で最も高く、続いて、「朝霞市内」が 17.6%、「通勤・通学していない」(14.3%)、「埼玉県内(朝霞市・志木市・和光市・新座市以外)」(8.6%)となっている。

また、朝霞市内を含めた“埼玉県内”は 34.3%となっている。



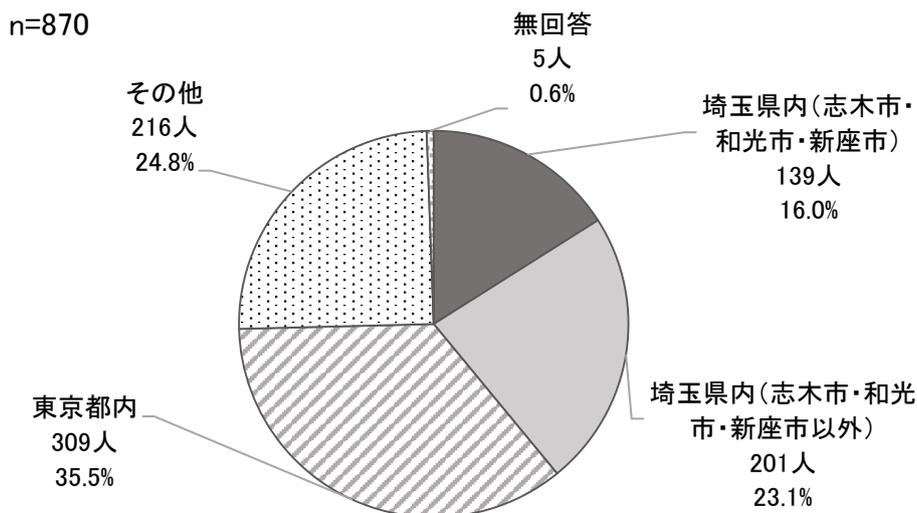
F6 あなたは、生まれた時、または幼少の頃から朝霞市にお住まいですか。

回答者が生まれた時から朝霞市に住んでいるかどうかについては、「はい」の割合が 10.7%、「いいえ」の割合が 89.1%となっている。



F7 F6で「いいえ」と回答された方にお聞きします。朝霞市に住む以前はどちらにお住まいでしたか。

市外から転入してきた回答者の以前の住まいは、「その他」を除くと、「東京都内」の割合が 35.5%で最も高く、続いて「埼玉県内(志木市・和光市・新座市以外)」(23.1%)、「埼玉県内(志木市・和光市・新座市)」(16.0%)となっている。

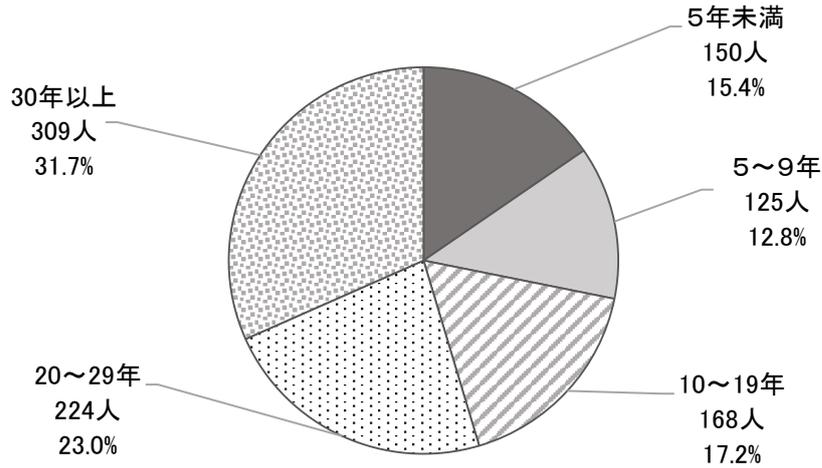


F8 あなたは、朝霞市にお住まいになってどれくらいになりますか。

回答者の朝霞市に住んでいる年数は、「30年以上」の割合が 31.7%で最も高く、続いて「20～29年」(23.0%)、「10～19年」(17.2%)となっている。

また、「5年未満」(15.4%)、「5～9年」(12.8%)を合わせた“10年未満”の割合が3割程度となっている。

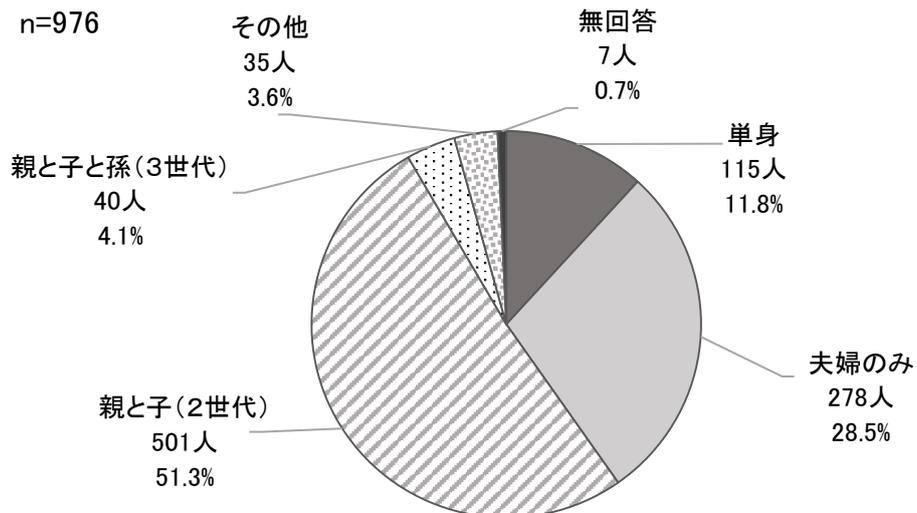
n=976



F9 あなたの同居している世帯・家族の構成は。

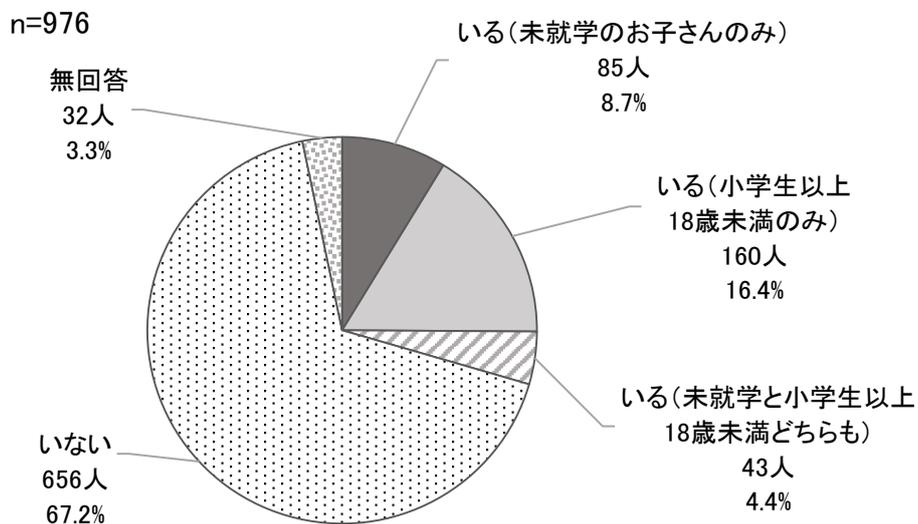
回答者の家族構成は、親と子(2世代)の割合が 51.3%で最も高く、続いて「夫婦のみ」(28.5%)、「単身」(11.8%)と続いている。

n=976



F10 あなたと同居している世帯・家族の中に18歳未満のお子さんはいますか。

回答者と同居している世帯・家族の中に18歳未満のお子さんがあるかどうかについては、「いない」の割合が67.2%で最も高く、続いて「いる(小学生以上18歳未満のお子さんのみ)」(16.4%)、「いる(未就学のお子さんのみ)」(8.7%)となっている。



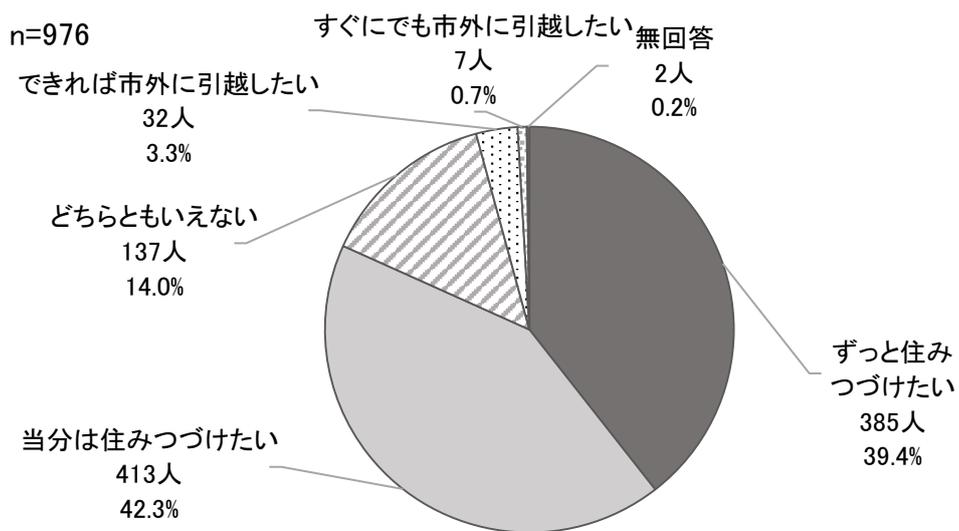
II 回答結果

1. 朝霞市の住みよさについて

問 1 あなたは、これからも朝霞市に住みつづけたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

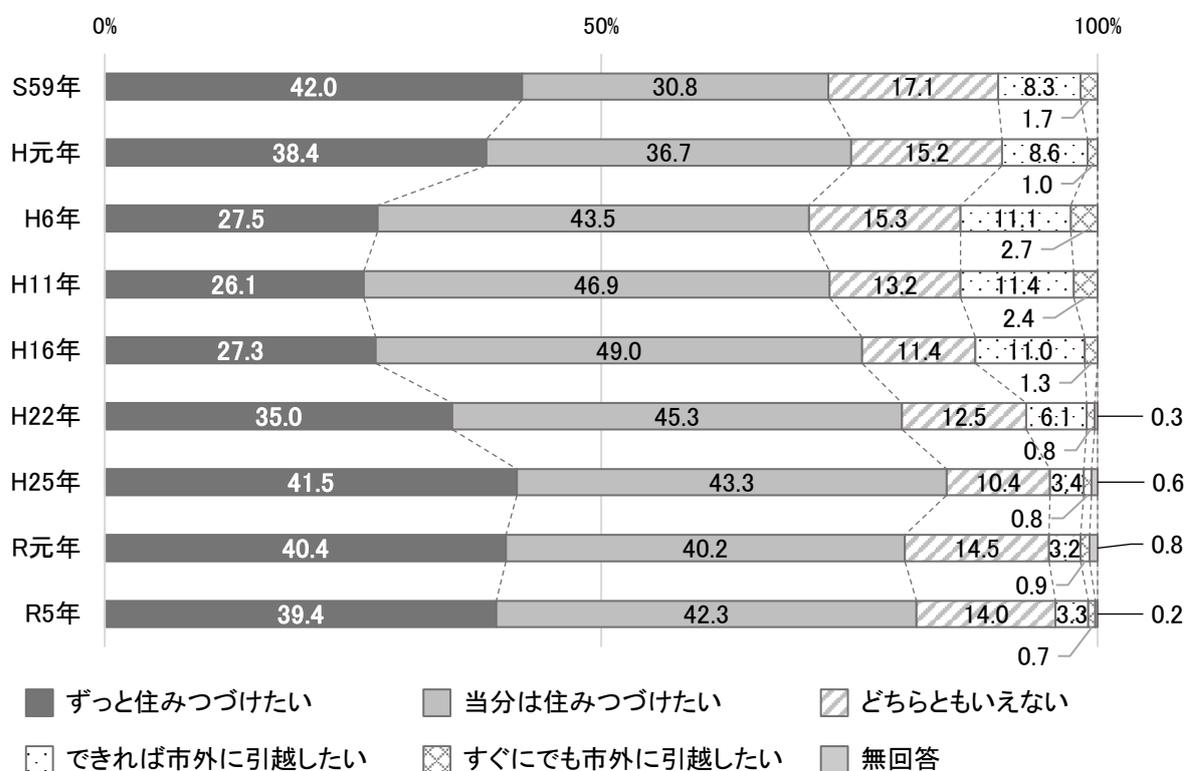
〈全体〉

朝霞市への定住意向は、「ずっと住みつづけたい」(39.4%)、「当分は住みつづけたい」(42.3%)を合わせた“住みつづけたい”の割合が 81.7%となっている。一方、「出来れば市外に移りたい」(3.3%)、「すぐにでも市外に移りたい」(0.7%)を合わせた“住みつづけたくない”の割合は 4.0%となっている。



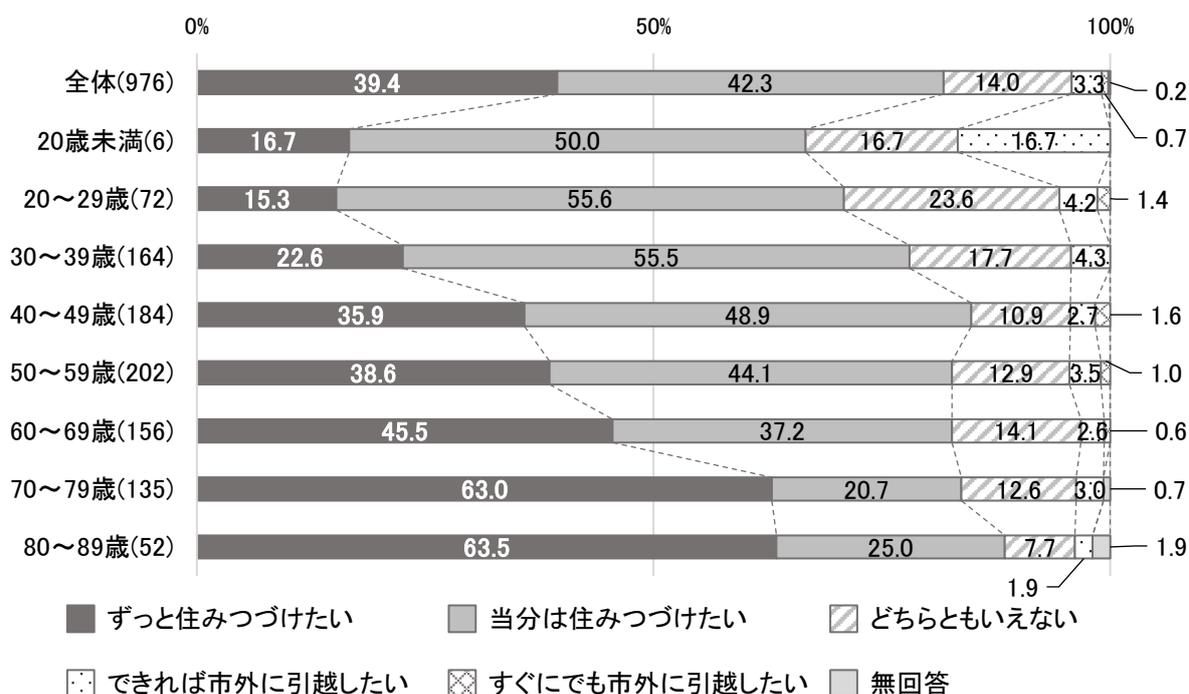
〈経年比較〉

平成22年以降、「ずっと住み続けたい」、「当分は住み続けたい」を合わせた“住み続けたい”の割合が8割を超えている。



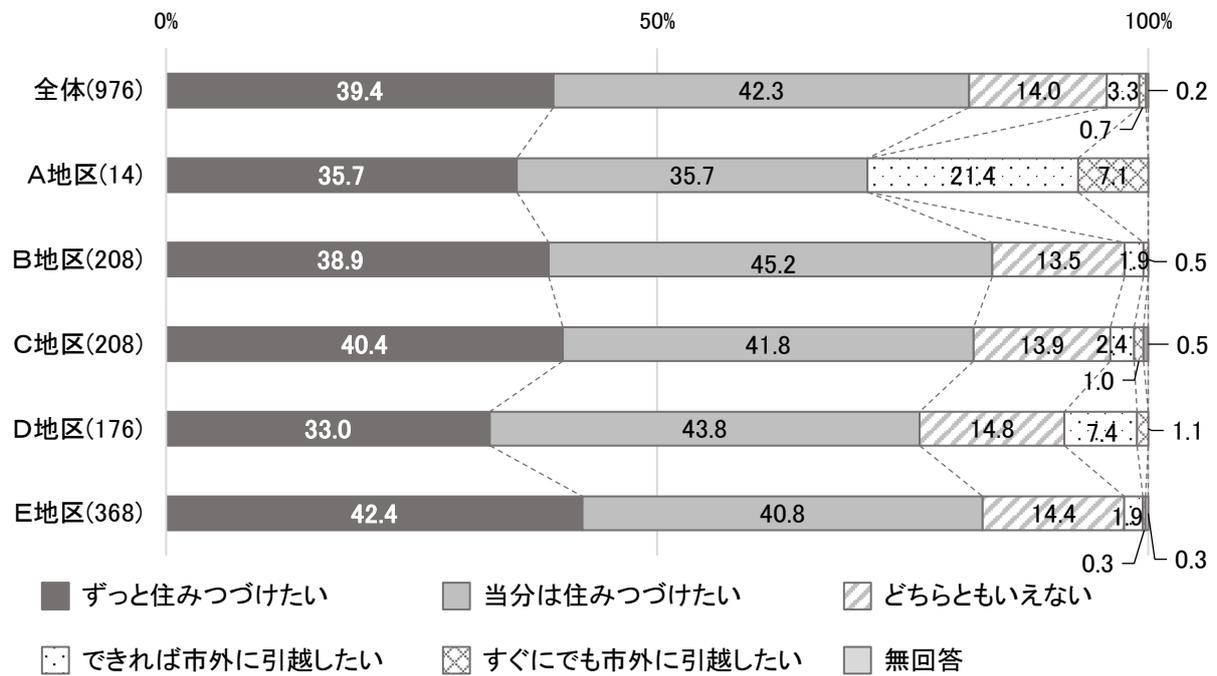
〈年齢別比較〉

年代の高い方が、「ずっと住み続けたい」の割合が高くなる傾向がみられる。



〈居住地区別比較〉

どの地区も、「ずっと住みつづけたい」の割合が4割程度である。

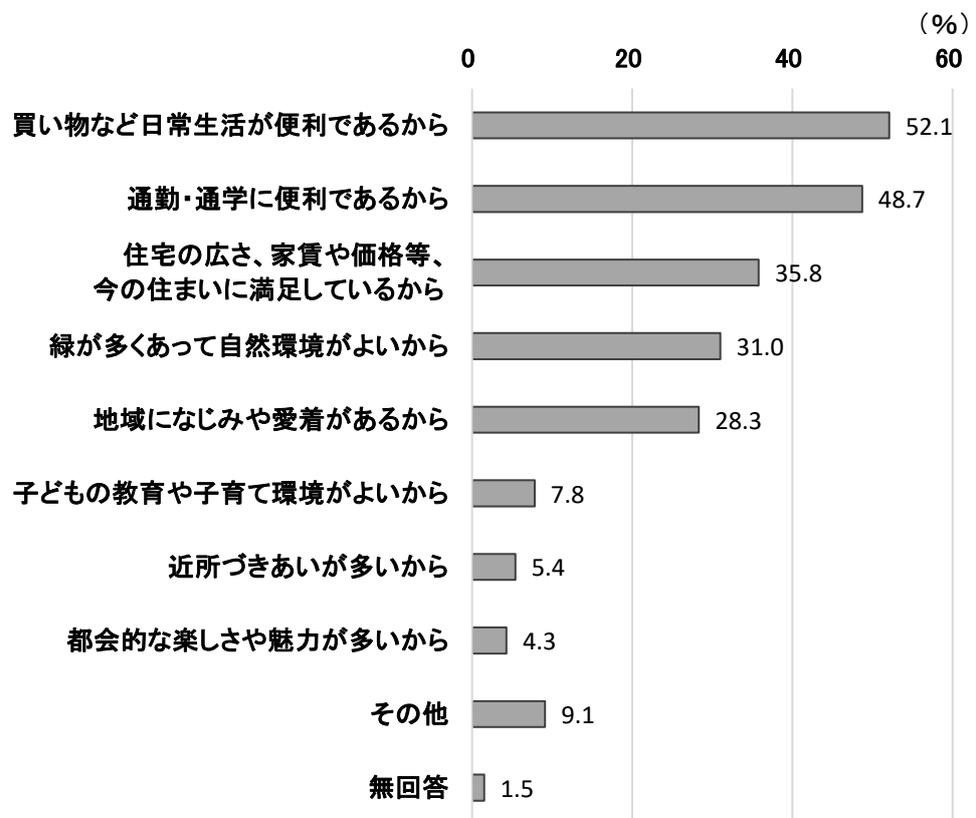


問2 問1で「ずっと住みつづけたい」「当分は住みつづけたい」を選んだ方にお聞きします。
あなたが朝霞市に住みつづけたいとお考えになった理由を、次の中から3つまで選んでください。

〈全体〉

住みつづけたい理由は、「買い物など日常生活が便利であるから」の割合が52.1%で最も高く、続いて「通勤・通学に便利であるから」(48.7%)、「住宅の広さ、家賃の価格等、今の住まいに満足しているから」(35.8%)、「緑が多くあって自然環境がよいから」(31.0%)、「地域になじみや愛着があるから」(28.3%)となっている。

n=798

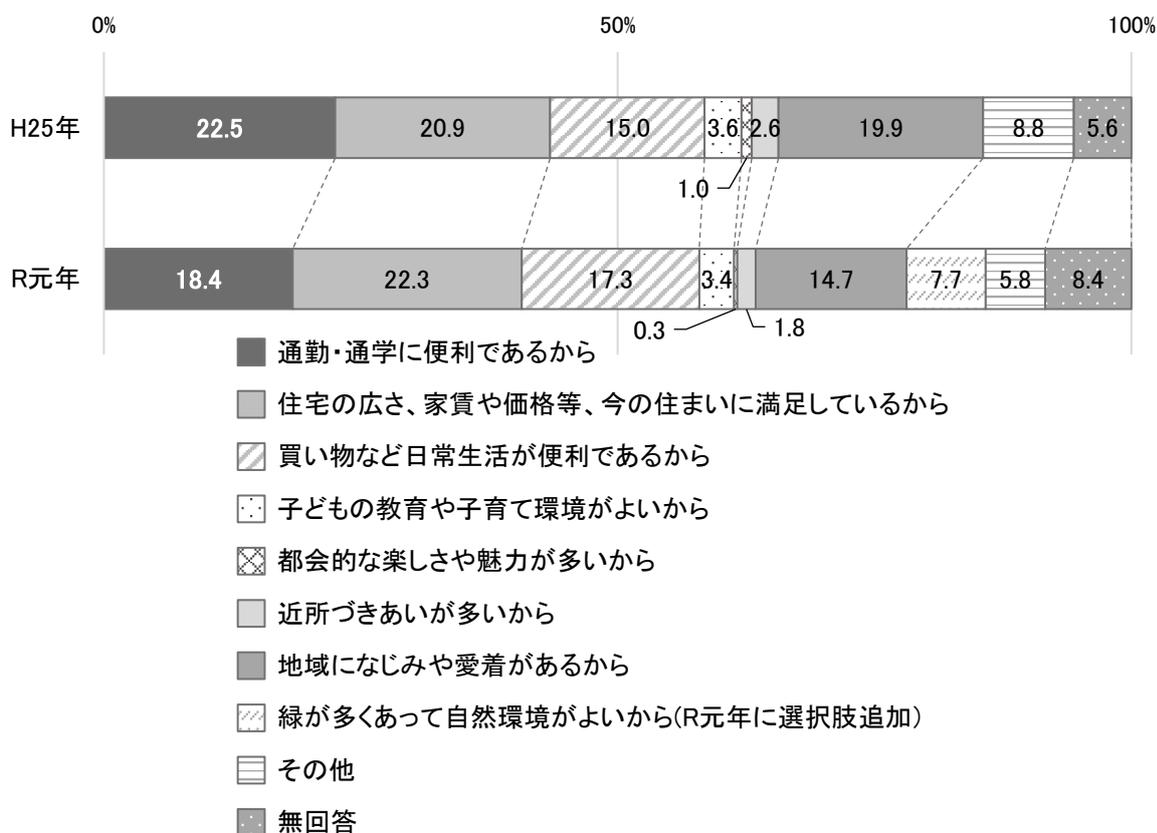


〈経年比較〉

令和元年は、「住宅の広さ、家賃や価格等、今の住まいに満足しているから」、「買い物など日常生活が便利であるから」が増加している一方で、「通勤・通学に便利であるから」、「地域になじみや愛着があるから」は減少傾向にあった。

※令和元年に追加した選択肢「緑が多くあって自然環境がよいから」は、経年比較の対象外としている。

※令和5年に、単一回答から複数回答に変更しているため、過去2回の調査は参考として示す。

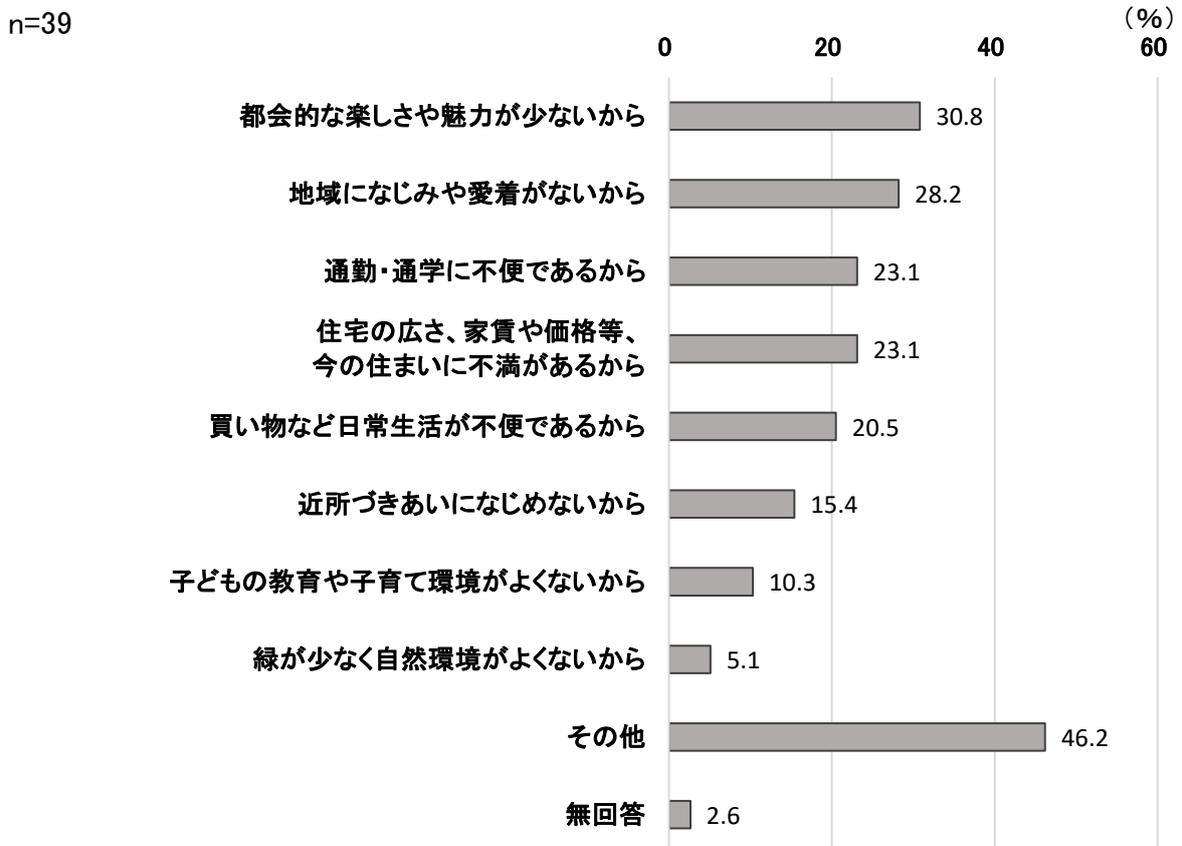


問3 問1で「できれば市外に引越したい」「すぐにでも市外に引越したい」を選んだ方にお聞きします。あなたが市外に引越したいとお考えになった理由を、次の中から3つまで選んでください。

〈全体〉

市外に移りたい理由は、「都会的な楽しさや魅力が少ないから」の割合が30.8%で最も高く、続いて「地域になじみや愛着がないから」(28.2%)となっている。

その他の回答内容としては、道路や歩道の整備が悪い、トラックやダンプなどの騒音や排気ガスがある、水害が心配などの意見がみられる。

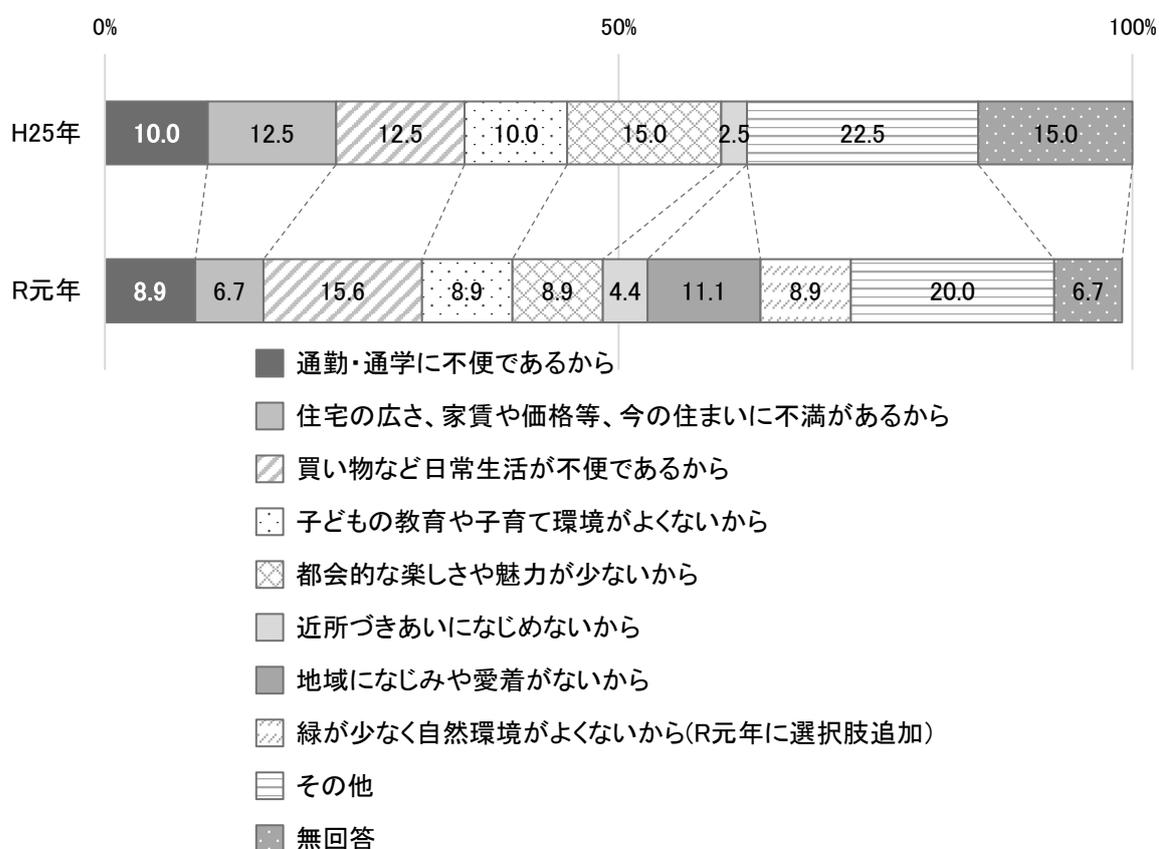


〈経年比較〉

「買い物など日常生活が不便であるから」、「近所づきあいになじめないから」、「地域になじみや愛着がないから」が増加している一方で、「通勤・通学に不便であるから」、「住宅の広さ、家賃や価格等、今の住まいに不満があるから」、「子どもの教育や子育て環境がよくないから」、「都会的な楽しさや魅力が少ないから」は減少している傾向にあった。

※令和元年に追加した選択肢「緑が少なく自然環境がよくないから」は、経年比較の対象外としている。

※令和5年に、単一回答から複数回答に変更しているため、過去2回の調査は参考として示す。

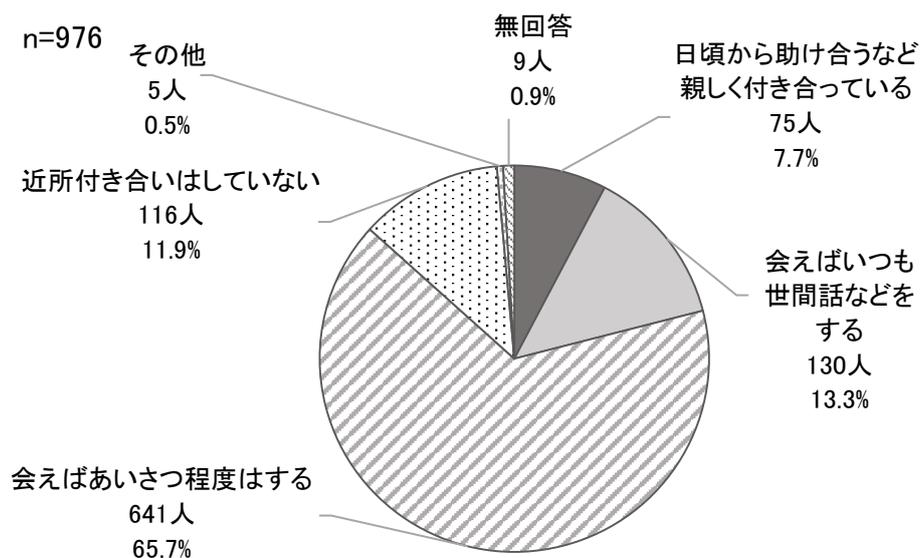


2. 地域との関わりについて

問4 あなたは日頃、近所の方とどのようなお付き合いをしていますか。次の中から1つ選んでください。

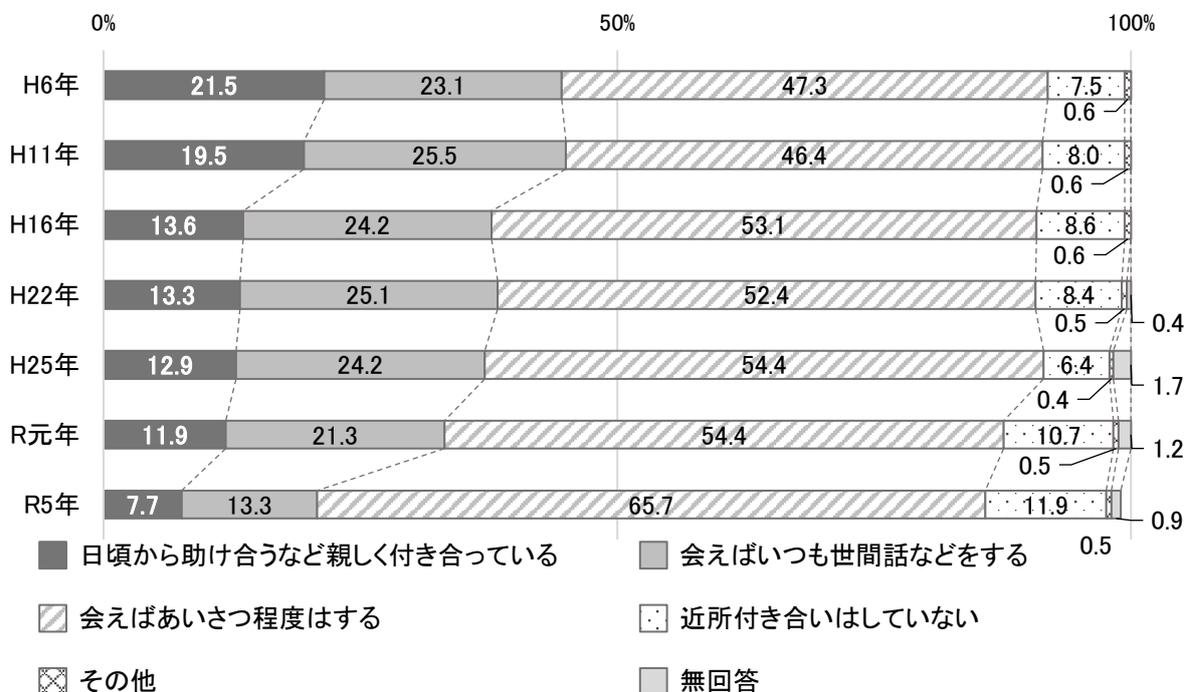
〈全体〉

近所との日頃の付き合いは、「会えばあいさつ程度はする」の割合が 65.7%で最も高く、続いて「会えばいつも世間話などをする」(13.3%)、「近所付き合いはしていない」(11.9%)となっている。



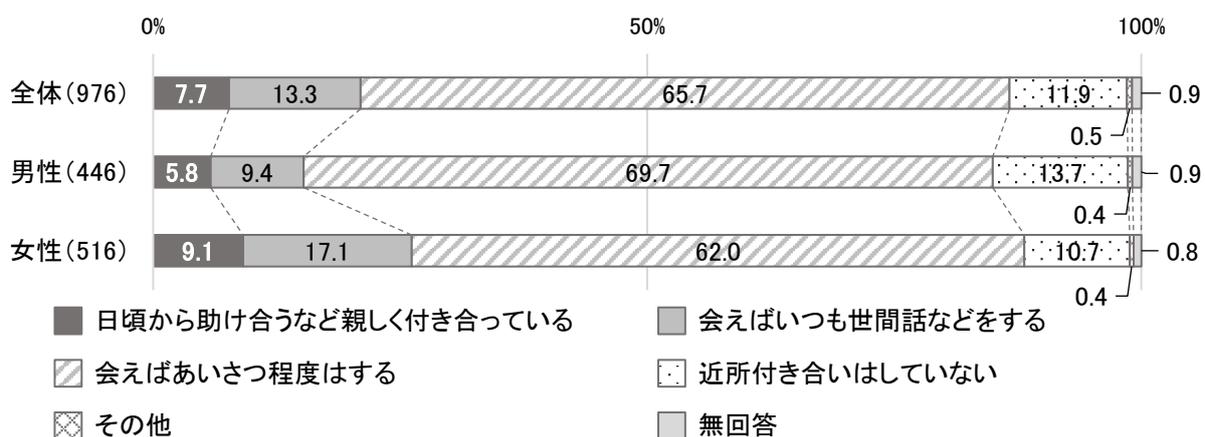
〈経年比較〉

「近所付き合いはしていない」の割合は、平成11年以降ほぼ横ばいで推移していたが、令和元年以降増加している。一方で、「日頃から助け合うなど親しく付き合っている」の割合は、平成6年以降減少を続け、令和5年に10%を下回った。



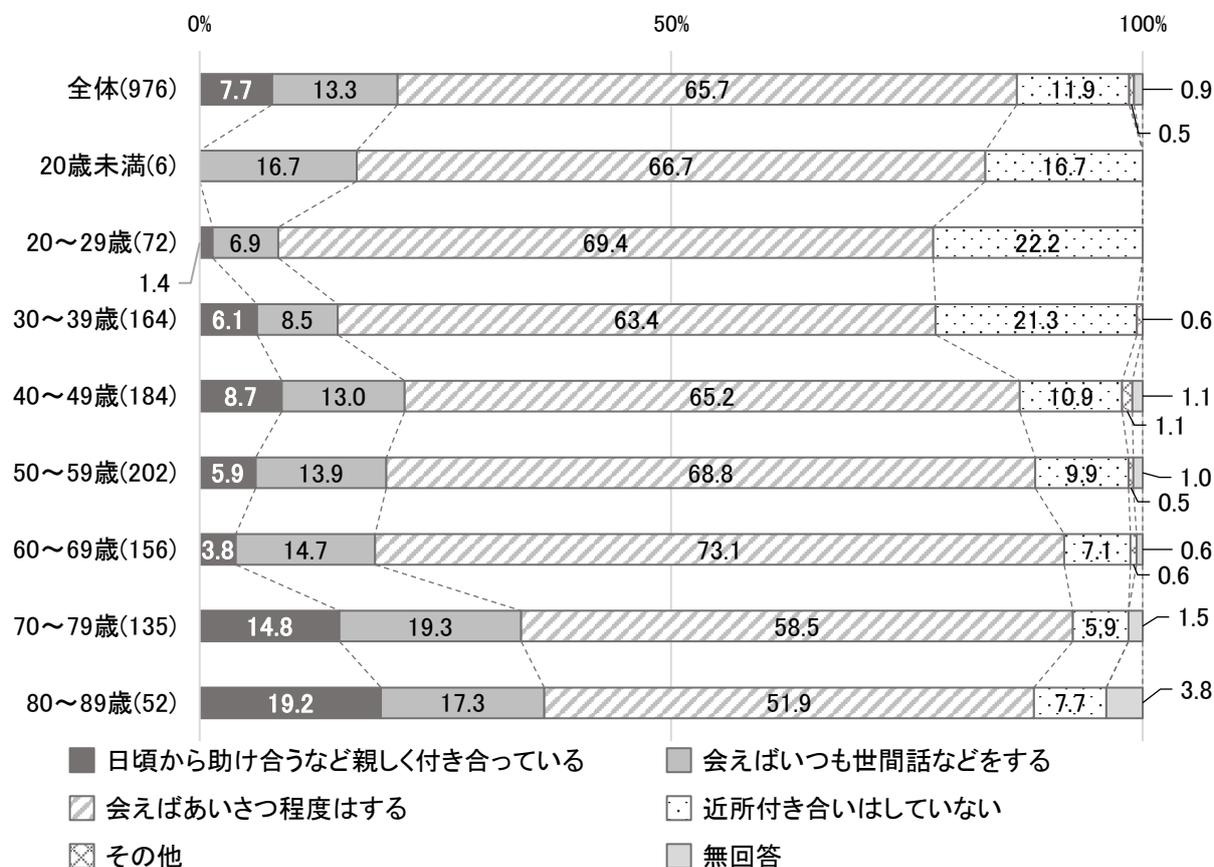
〈性別比較〉

女性の方が、「日頃から助け合うなど親しく付き合っている」と「会えばいつも世間話などをする」の割合が高い。



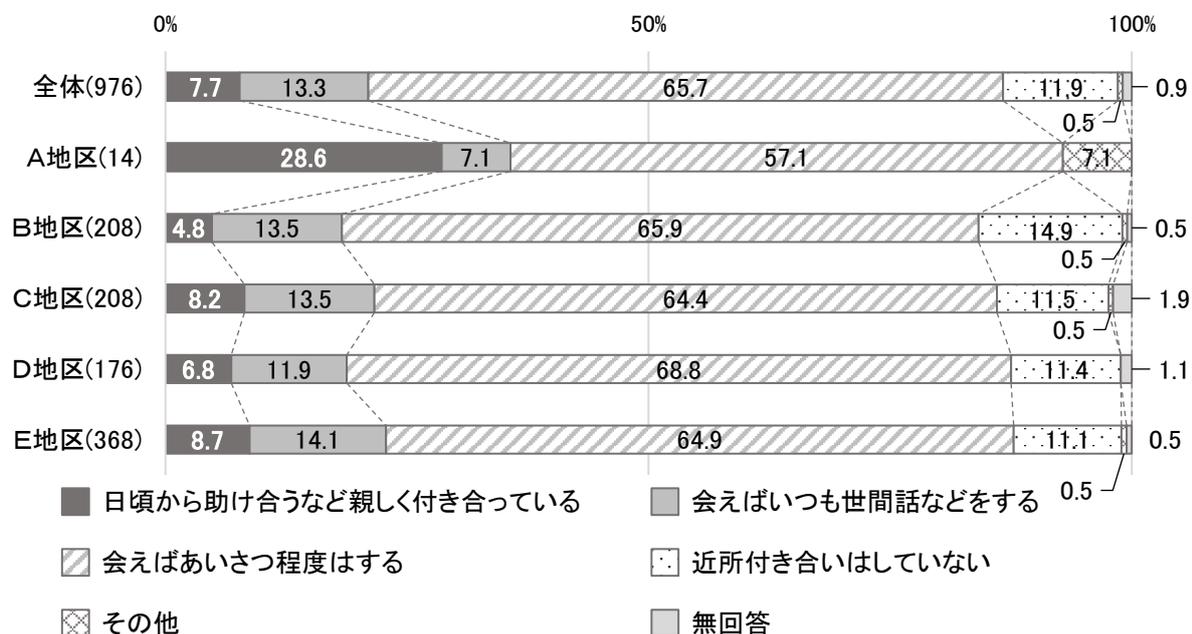
〈年齢別比較〉

年代が高いほど、「日頃から助け合うなど親しく付き合っている」と「会えばいつも世間話などをする」の割合が高くなる傾向がみられる。20～29歳、30～39歳では「近所付き合いはしていない」の割合が2割を超えている。



〈居住地区別比較〉

B地区では、「日頃から助け合うなど親しく付き合っている」の割合が低い傾向にある。

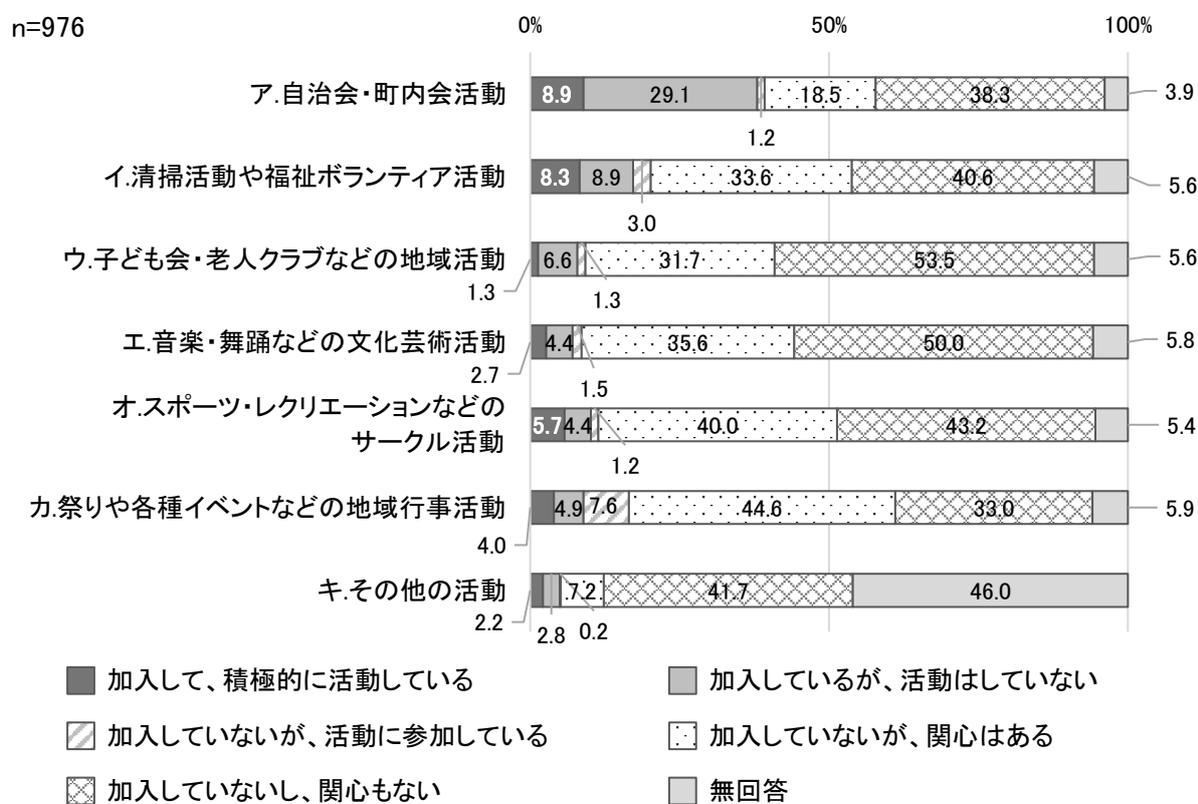


問5 あなたは日頃、地域の自治会・町内会やボランティア団体などで、コミュニティ活動を行っていますか。次の活動（ア～キ）それぞれについて1つずつ選んでください。

〈全体〉

コミュニティ活動への参加について、「加入して、積極的に活動している」の割合は「ア.自治会・町内会活動」が8.9%で最も高く、続いて「イ.清掃活動や福祉ボランティア活動」(8.3%)となっている。また、「加入しているが、活動はしていない」の割合も「ア.自治会・町内会活動」が29.1%で最も高い。

「加入していないが、関心はある」の割合は「カ.祭りや各種イベントなどの地域行事活動」が44.6%で最も高く、続いて「オ.スポーツ・レクリエーションなどのサークル活動」(40.0%)、「エ.音楽・舞踊などの文化芸術活動」(35.6%)となっている。

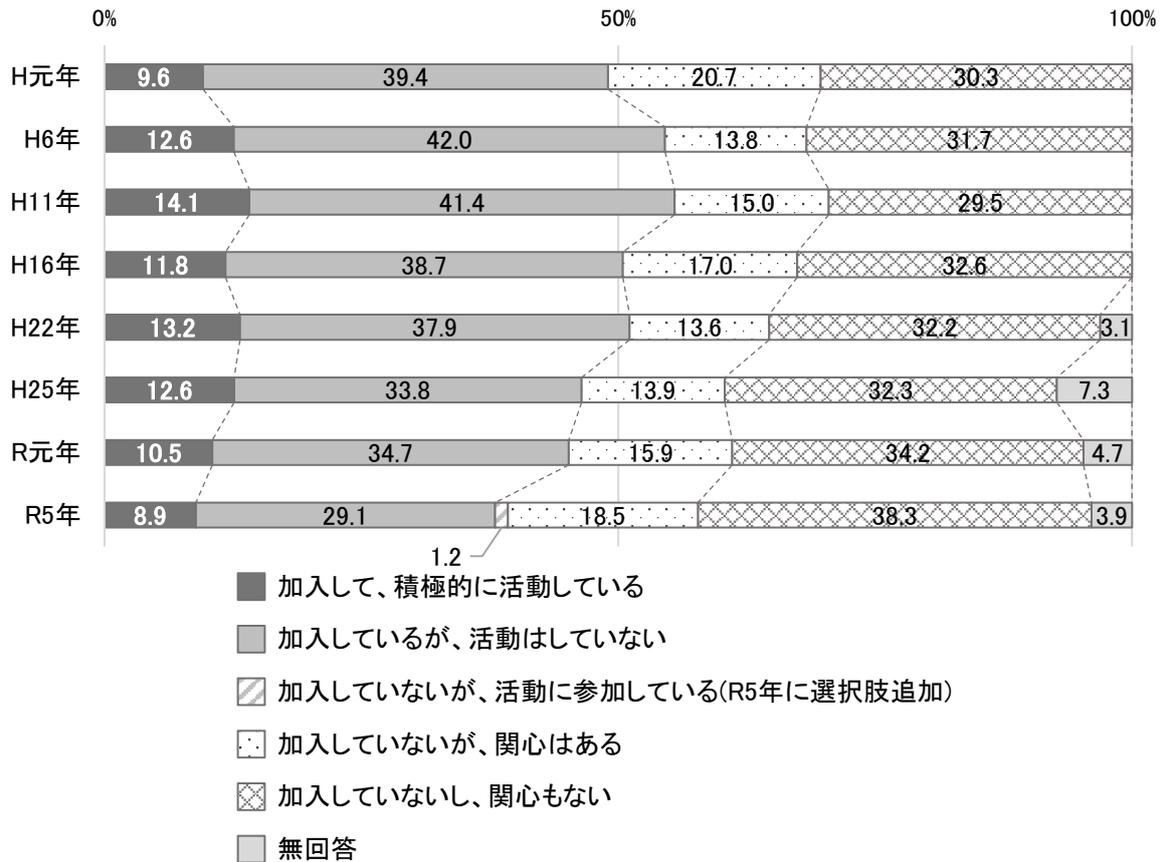


ア 自治会・町内会活動

〈経年比較〉

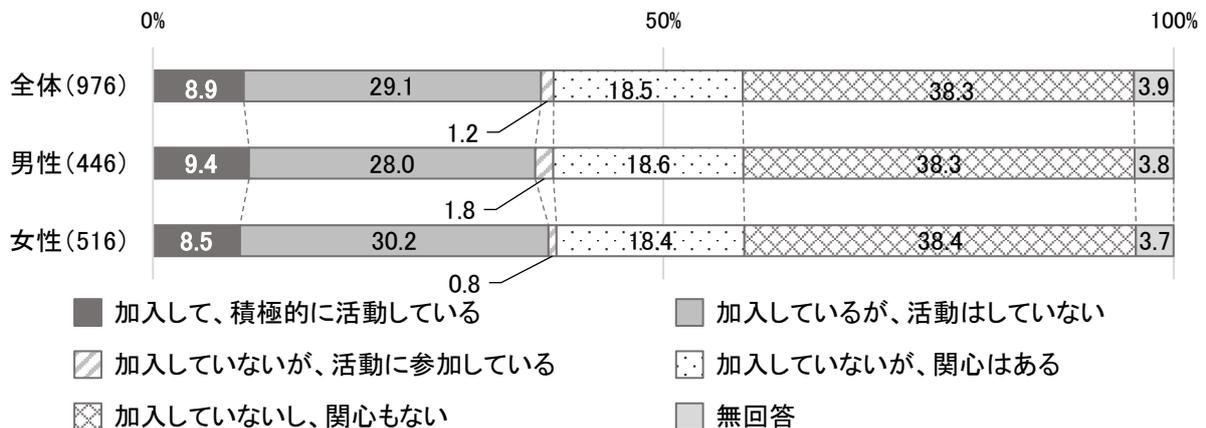
「加入して、積極的に活動している」の割合は平成25年以降、「加入しているが、活動はしていない」の割合は平成11年以降、ともに減少傾向がみられる。一方、「加入していないが、関心はある」の割合は平成25年以降増加している。

※令和5年に追加した選択肢「加入していないが、活動に参加している」は、経年比較の対象外としている。



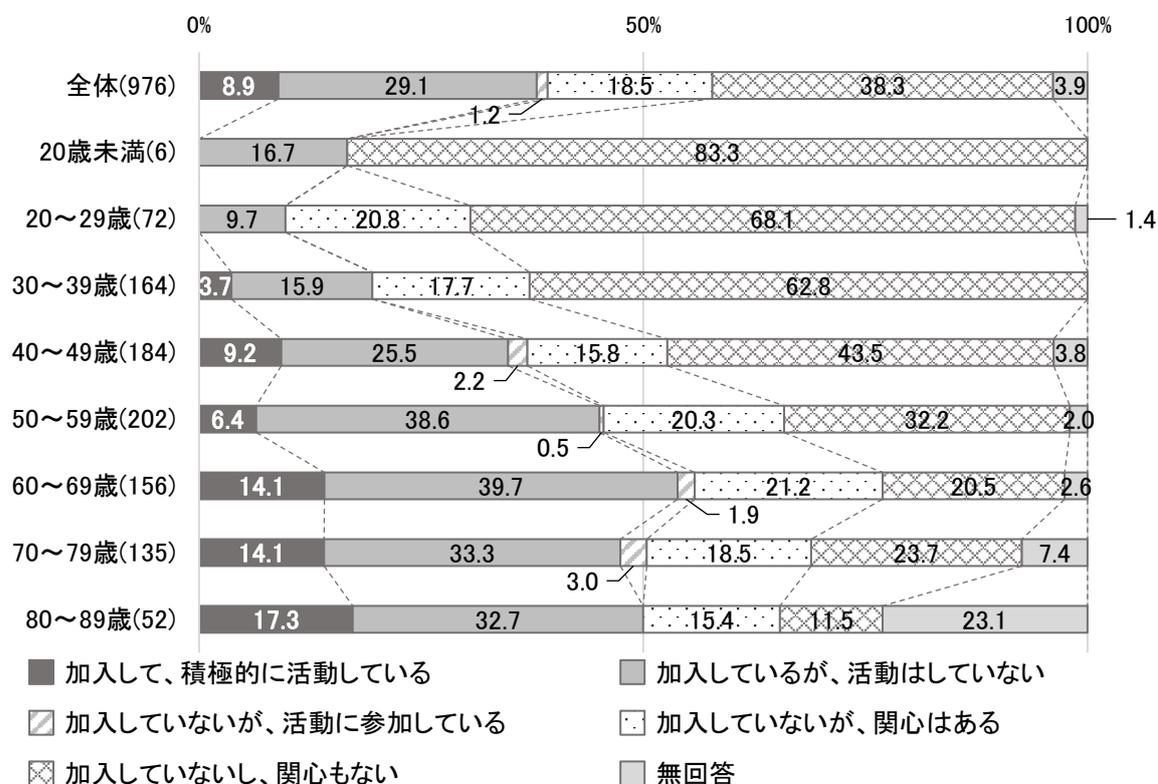
〈性別比較〉

性別による回答傾向の違いはみられない。



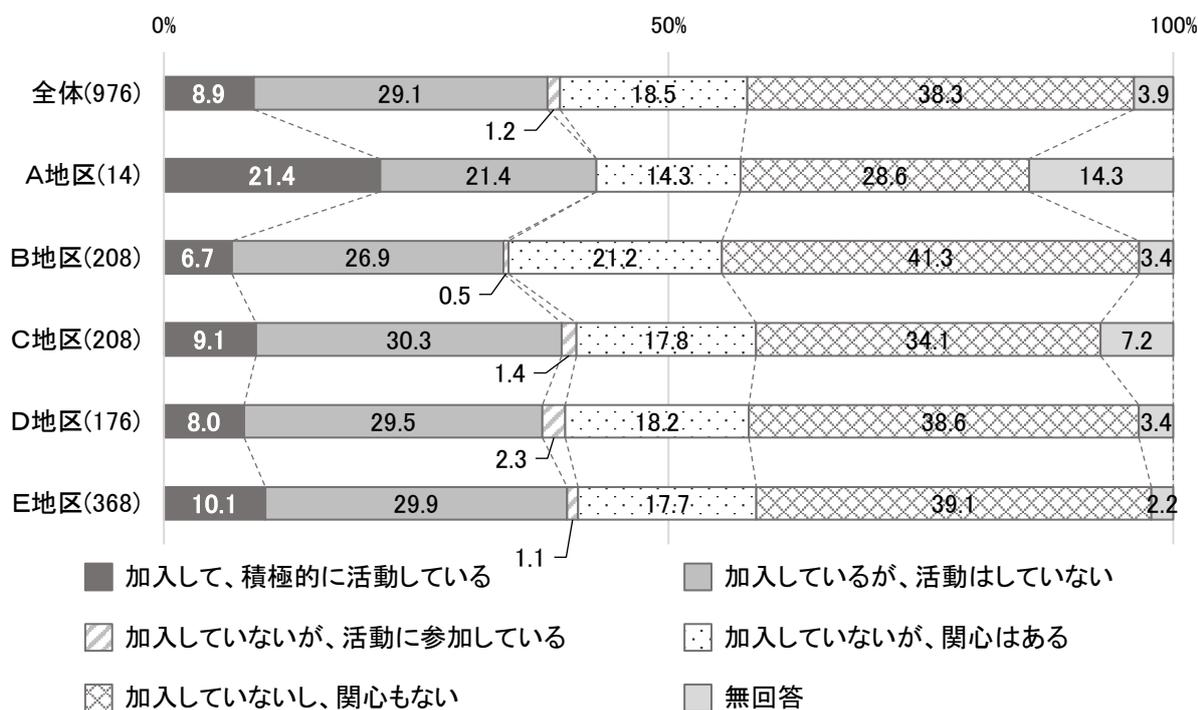
〈年齢別比較〉

年代が高い方が、「加入して、積極的に活動している」の割合が高くなる傾向がみられる。一方で、年代が低い方が、「加入していないし、関心もない」の割合が高い傾向がある。



〈居住地区別比較〉

B地区では、「加入して、積極的に活動している」と「加入しているが、活動はしていない」を合わせた“加入している”割合が比較的的低く、3割前半にとどまっている。

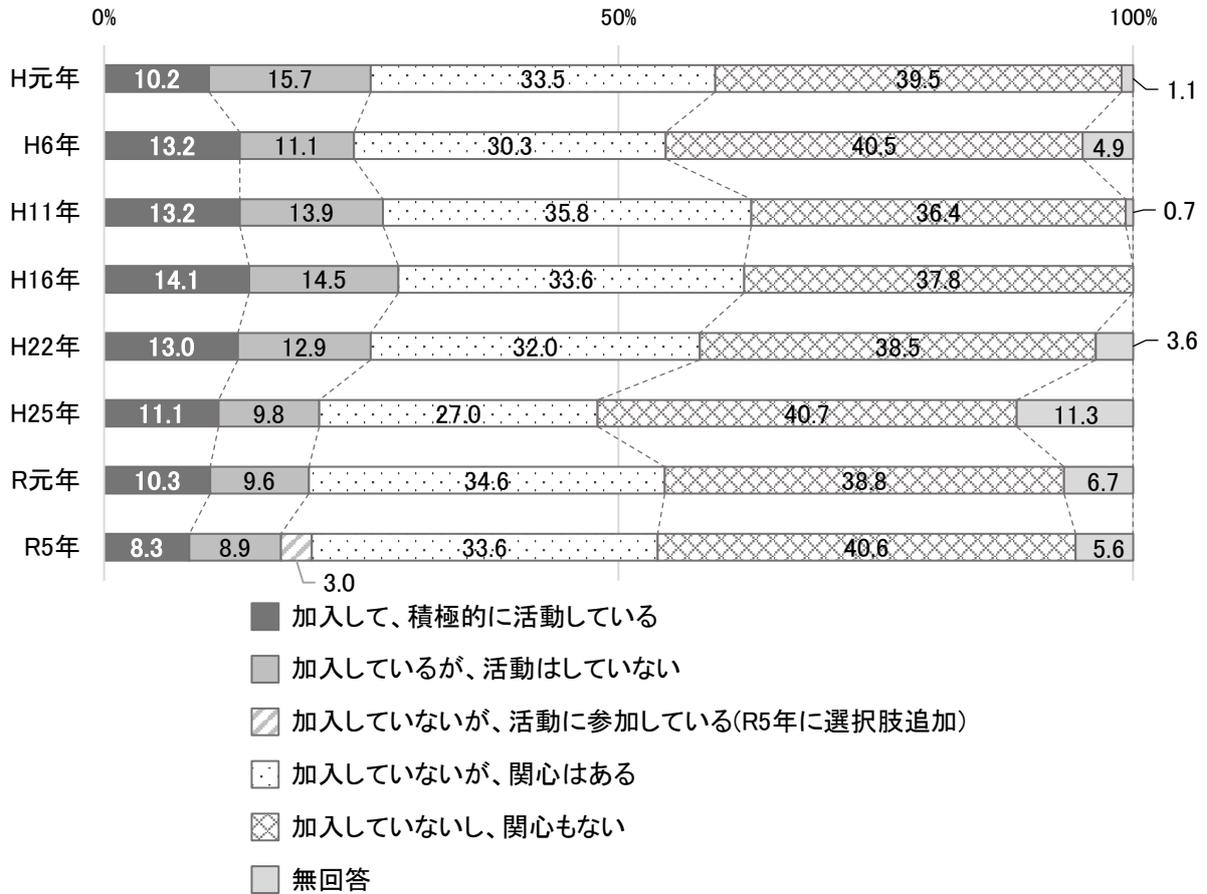


イ 清掃活動や福祉ボランティア活動

〈経年比較〉

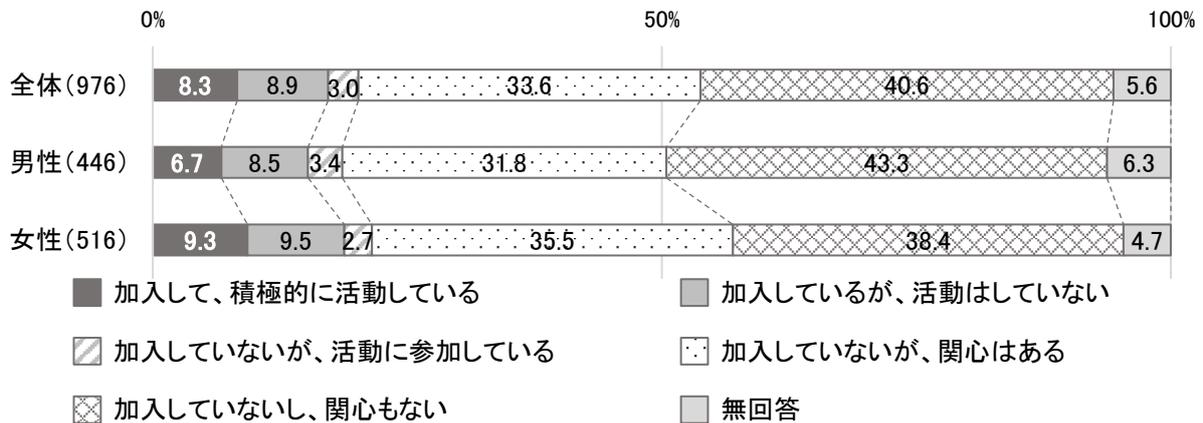
「加入して、積極的に活動している」、「加入しているが、活動はしていない」の割合は平成16年以降、減少している。一方、「加入していないが、関心はある」の割合は令和元年、増加に転じたものの、令和5年は横ばいである。

※令和5年に追加した選択肢「加入していないが、活動に参加している」は、経年比較の対象外としている。



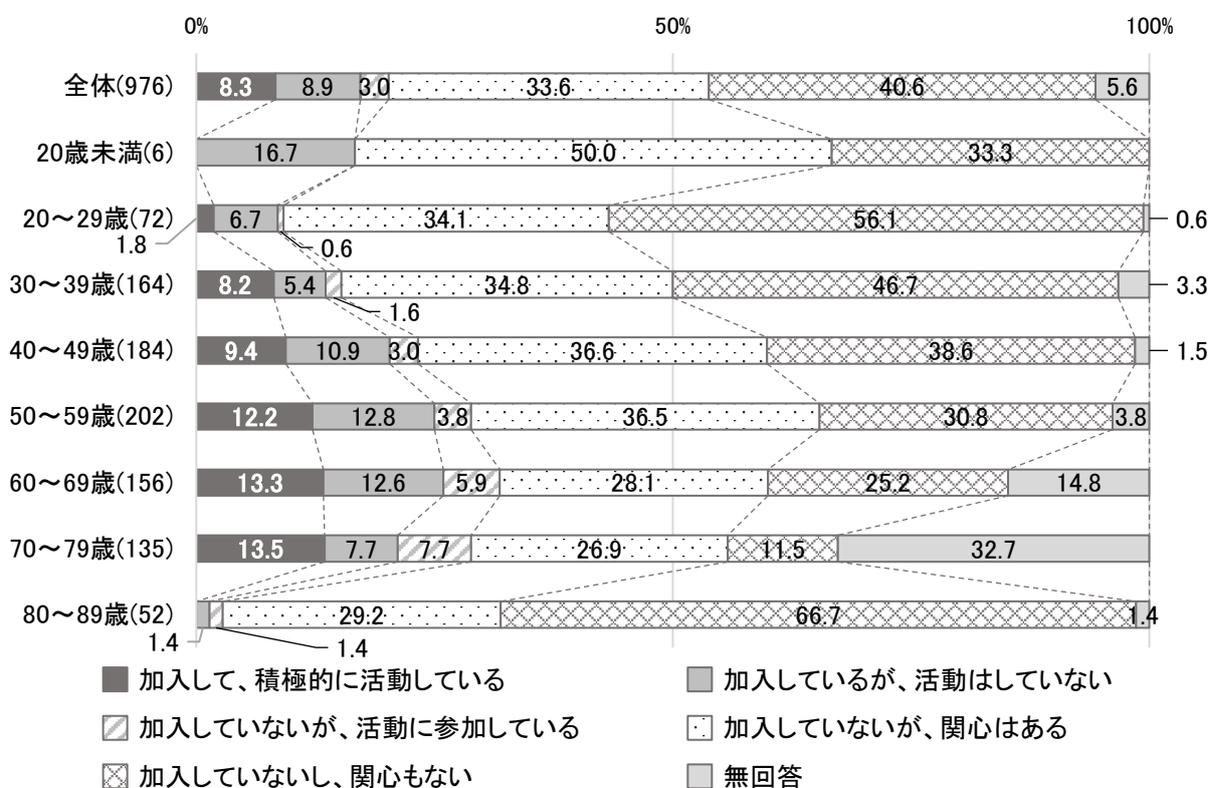
〈性別比較〉

男性の方が、「加入していないし、関心もない」の割合が高い傾向がみられる。



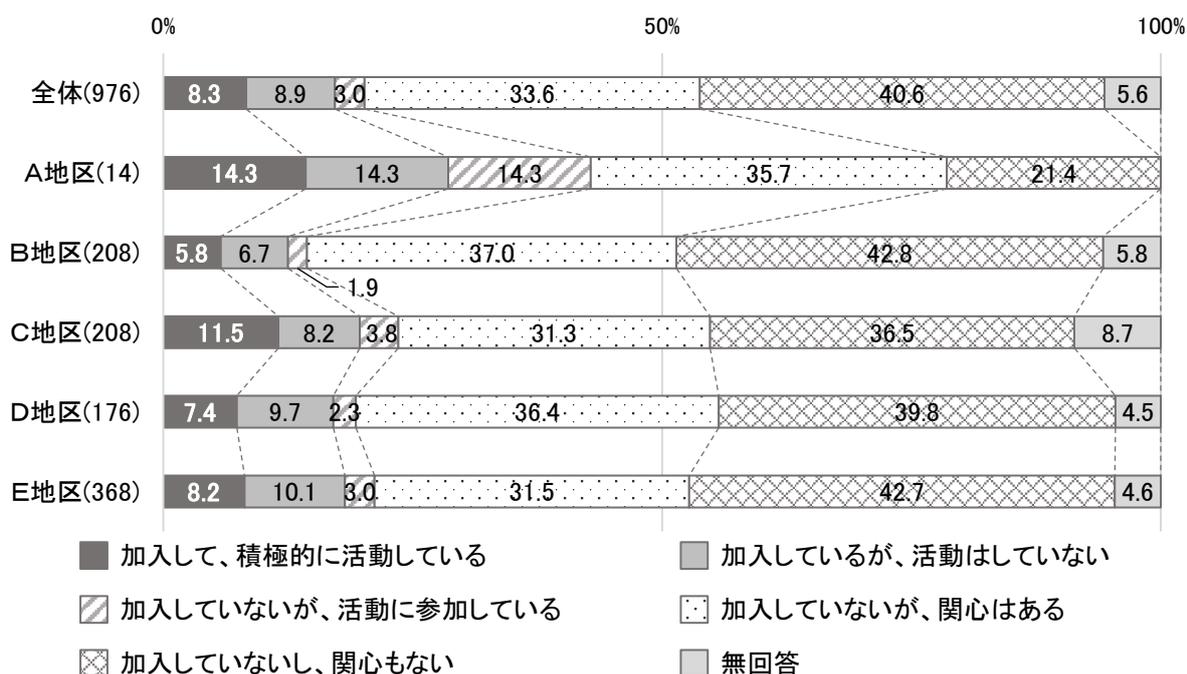
〈年齢別比較〉

年代が高い方が、「加入して、積極的に活動している」の割合が高くなる傾向がみられるが、80～89歳では、「加入していないし、関心もない」の割合が高く、7割に近い。



〈居住地区別比較〉

B地区では、「加入して、積極的に活動している」と「加入しているが、活動はしていない」を合わせた“加入している”割合が比較的的低く、1割前半にとどまっている。

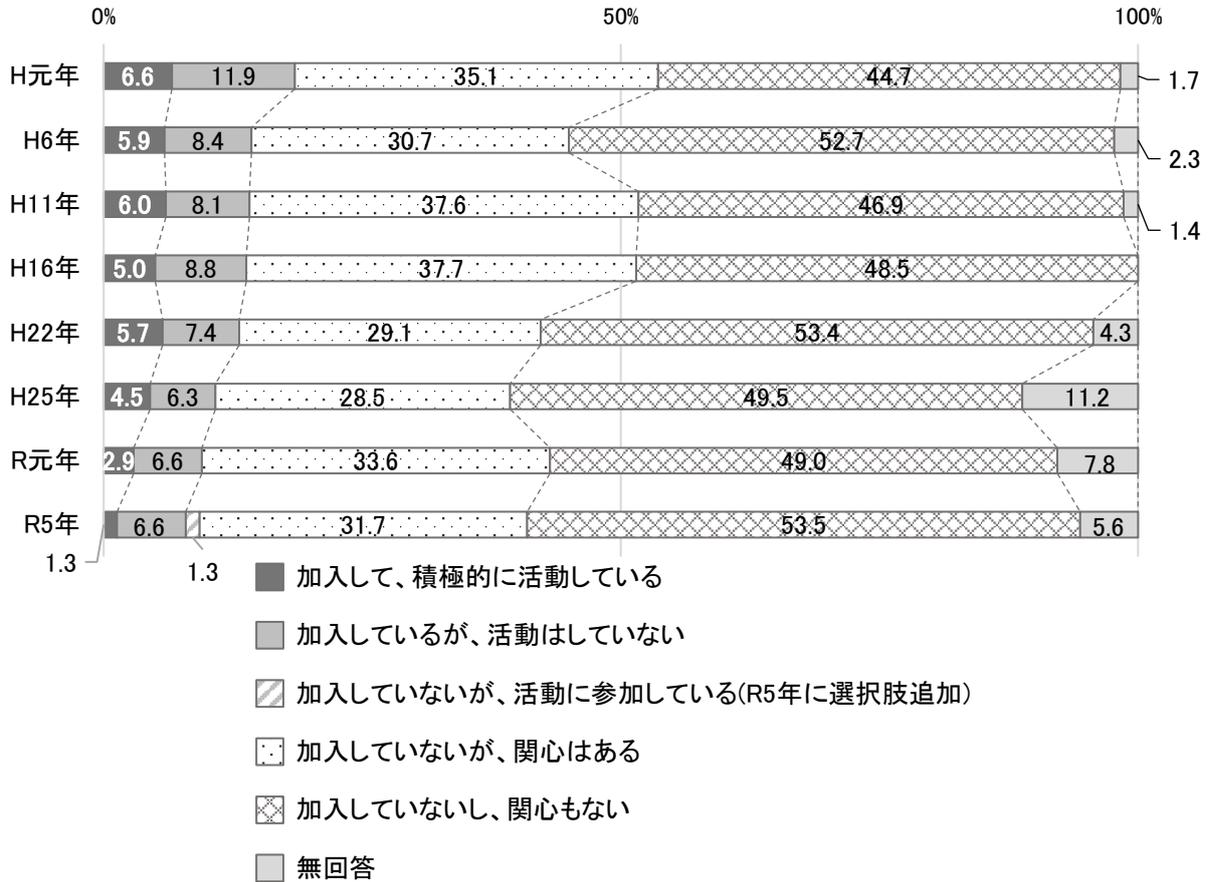


ウ 子ども会・老人クラブなどの地域活動

〈経年比較〉

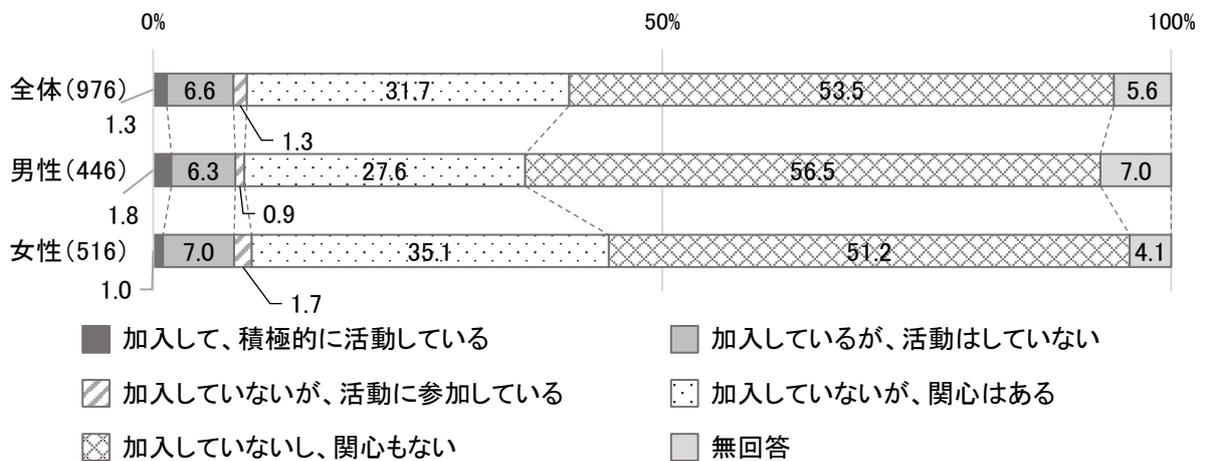
「加入して、積極的に活動している」の割合は平成22年以降、減少している。一方、「加入していないし、関心もない」の割合が、令和5年は5割を上回った。

※令和5年に追加した選択肢「加入していないが、活動に参加している」は、経年比較の対象外としている。



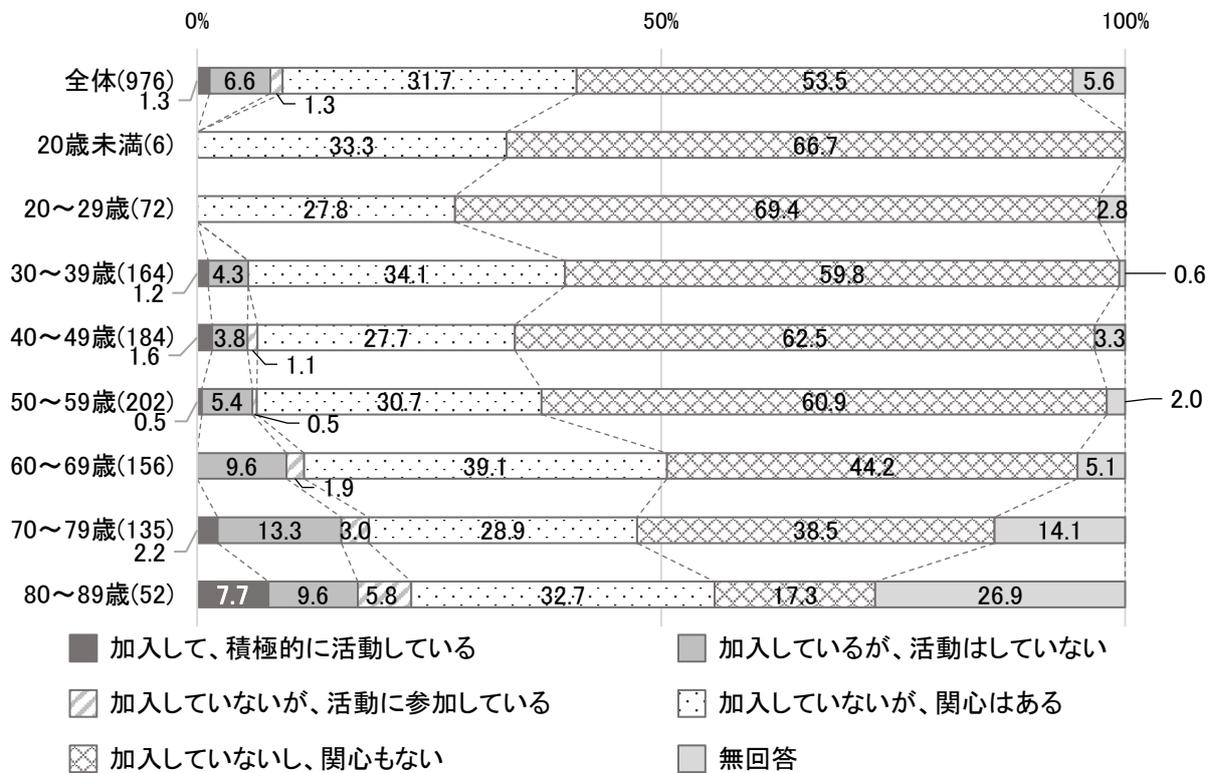
〈性別比較〉

女性の方が「加入していないが、関心はある」の割合が高くなっている。



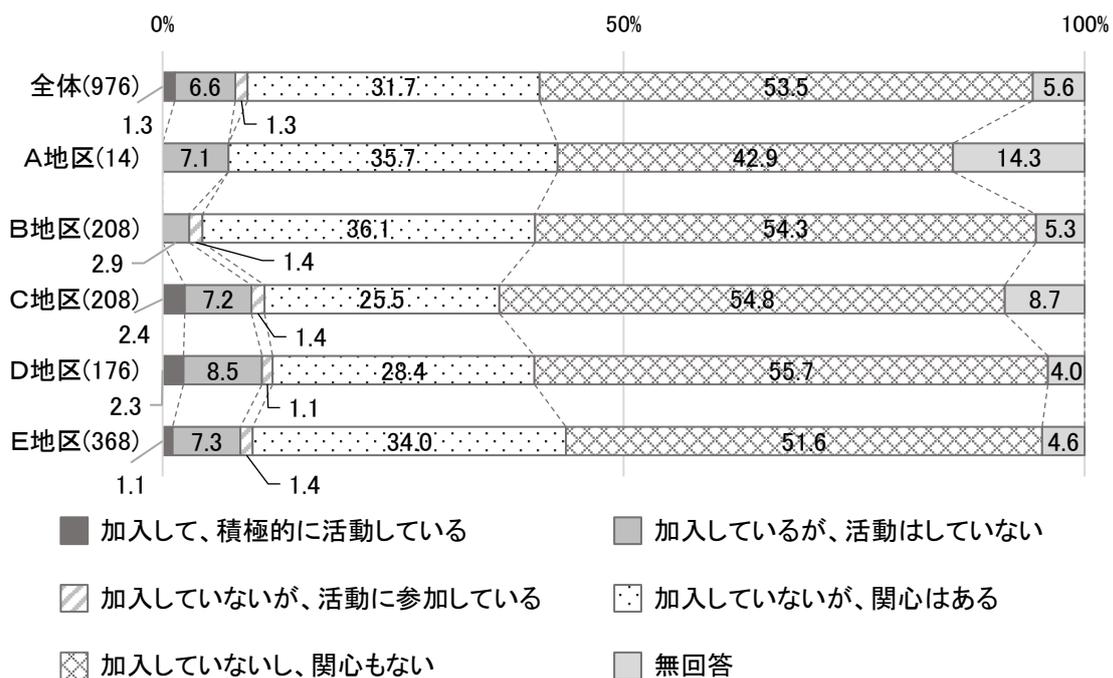
〈年齢別比較〉

全体的に、「加入して、積極的に活動している」の割合は低い傾向がみられる。20～59歳では、「加入していないし、関心もない」の割合が高く、6割程度となっている。



〈居住地区別比較〉

B地区、E地区では、「加入していないが、関心はある」の割合が比較的高く、3割を超えている

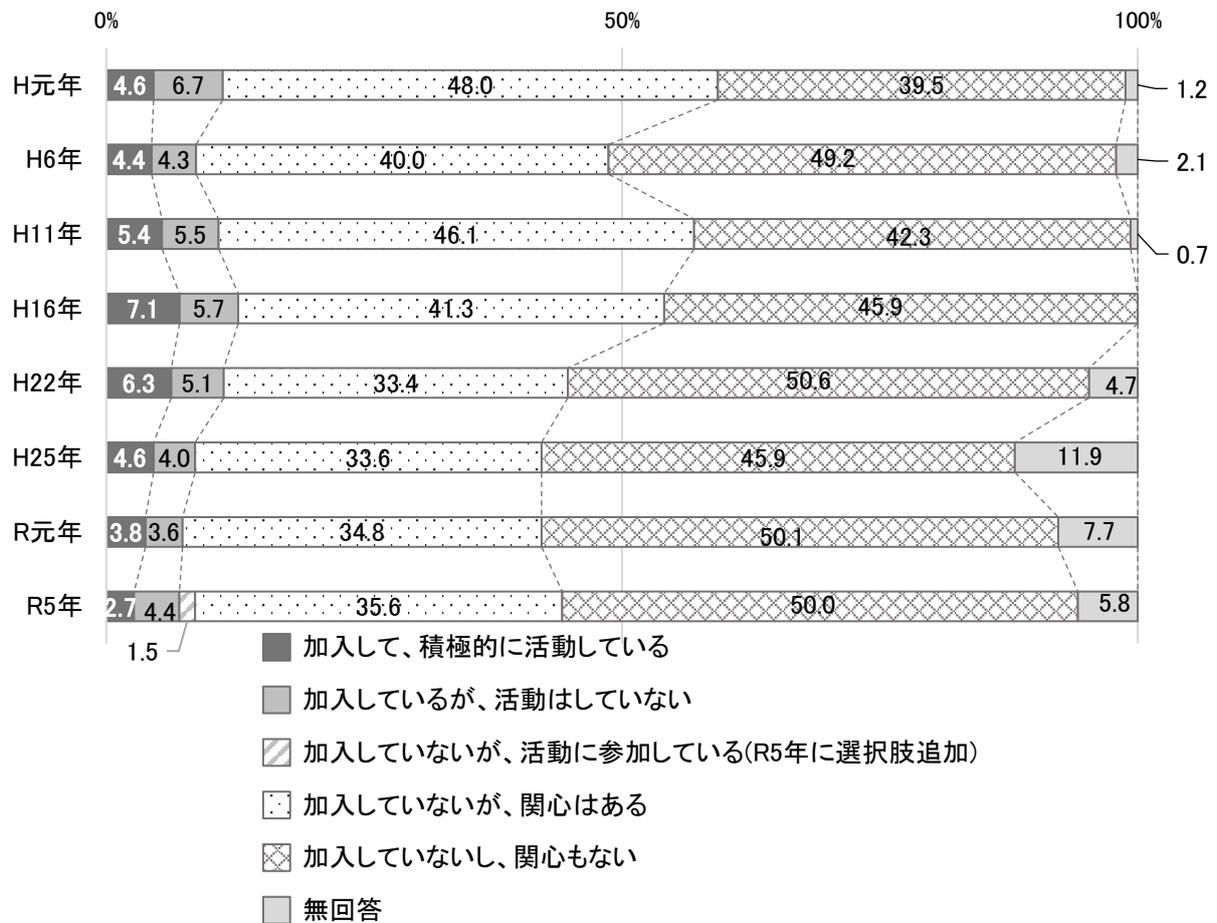


エ 音楽・舞踊などの文化芸術活動

〈経年比較〉

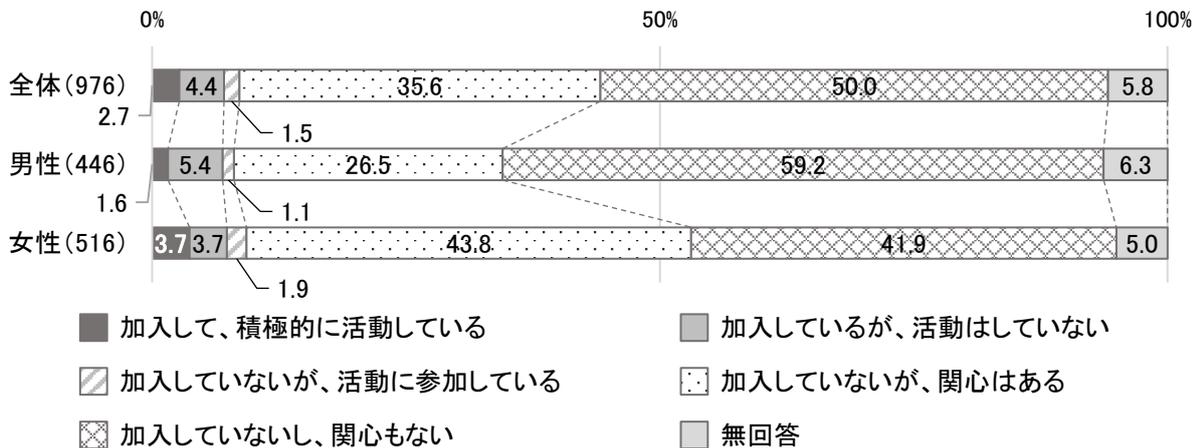
「加入して、積極的に活動している」、「加入しているが、活動はしていない」の割合は平成16年以降、減少している。

※令和5年に追加した選択肢「加入していないが、活動に参加している」は、経年比較の対象外としている。



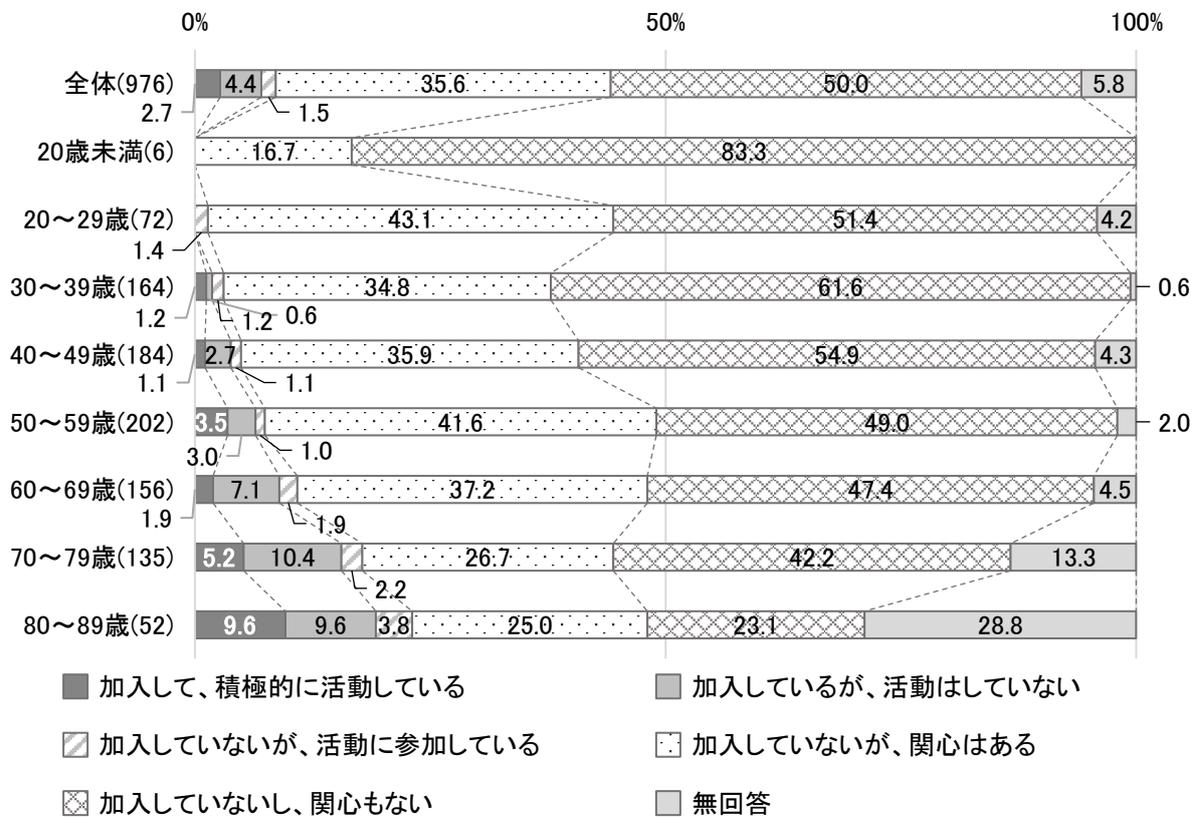
〈性別比較〉

女性の方が、「加入していないが、関心はある」の割合が高く、4割を超えている。



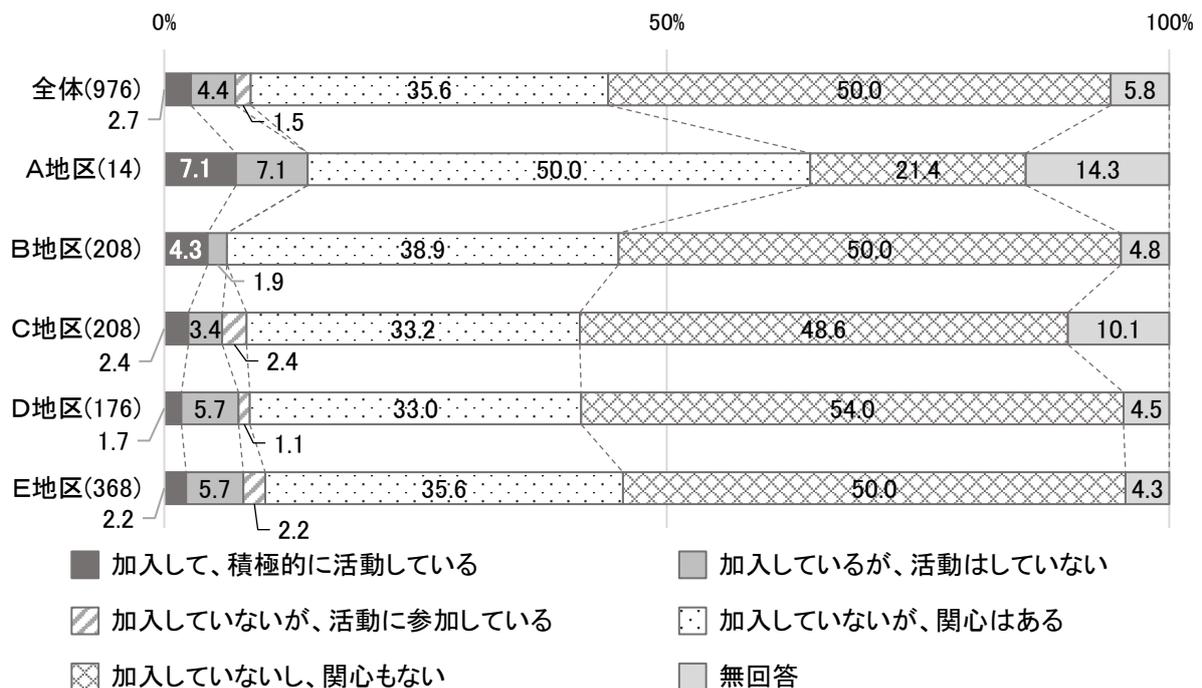
〈年齢別比較〉

全体的に、「加入して、積極的に活動している」の割合は低い傾向がみられる。20～49歳では、「加入していないし、関心もない」の割合が高く、5割を超えている。



〈居住地区別比較〉

居住地区別による回答傾向の違いはみられない。

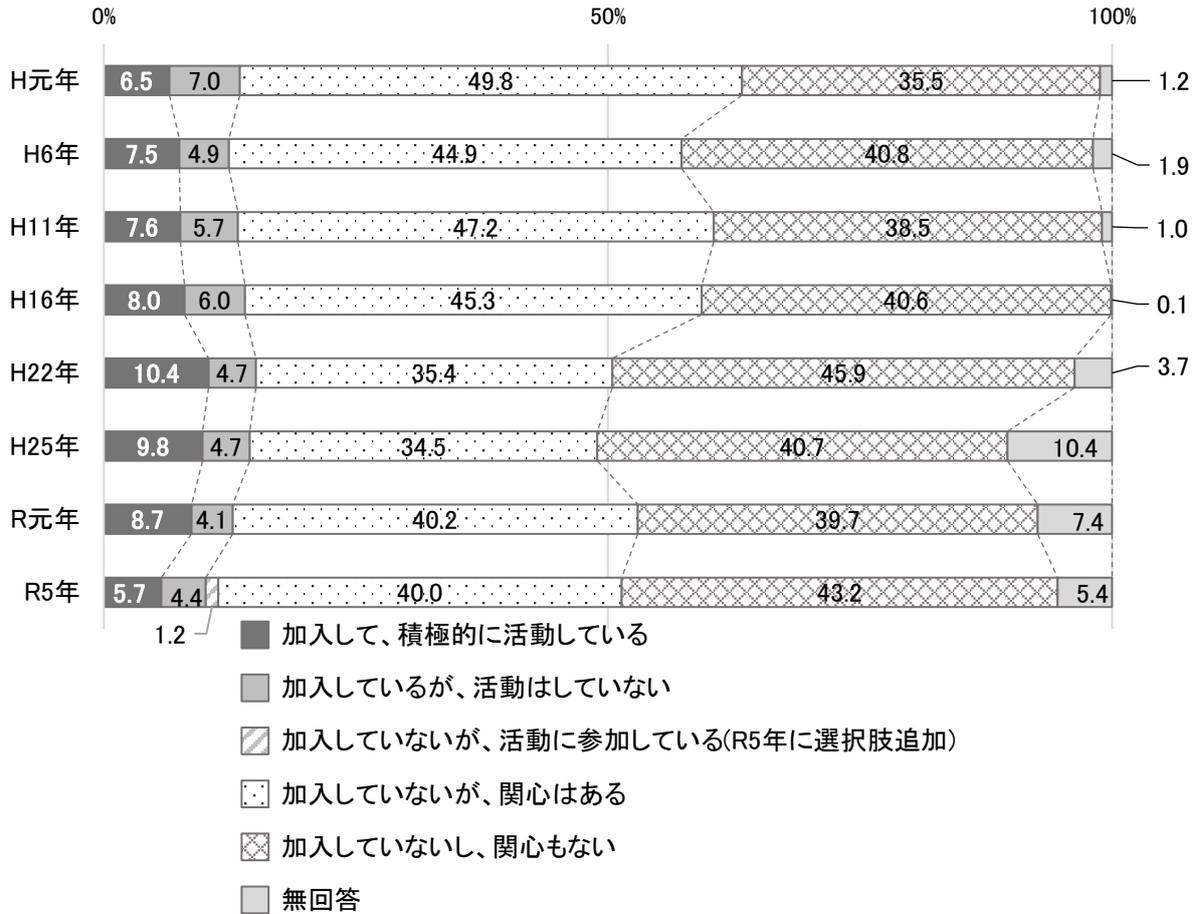


オ スポーツ・レクリエーションなどのサークル活動

〈経年比較〉

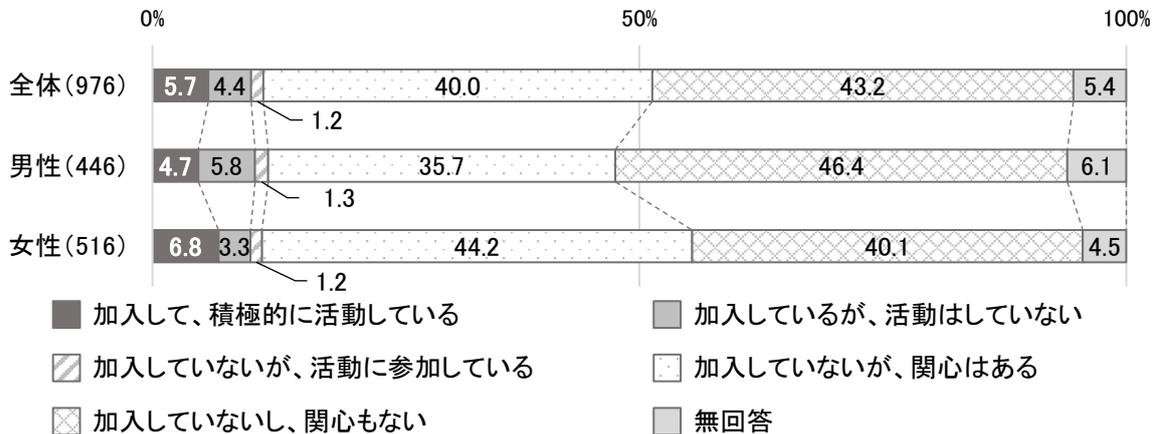
「加入して、積極的に活動している」の割合は平成22年以降、減少している。「加入しているが、活動はしていない」は、平成22年以降、横ばいとなっている。また、「加入していないが、関心はある」の割合は令和元年では増加に転じたものの、令和5年は横ばいである。

※令和5年に追加した選択肢「加入していないが、活動に参加している」は、経年比較の対象外としている。



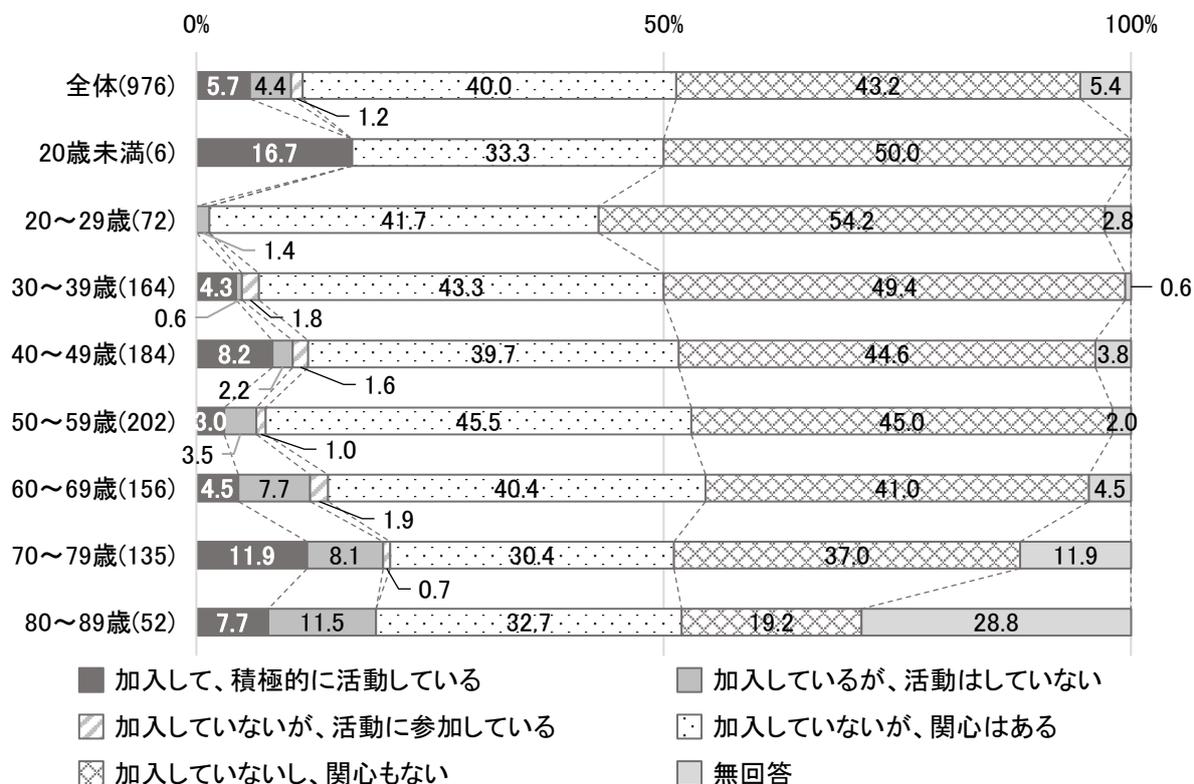
〈性別比較〉

男性の方が、「加入していないし、関心もない」の割合が高い傾向がみられる。



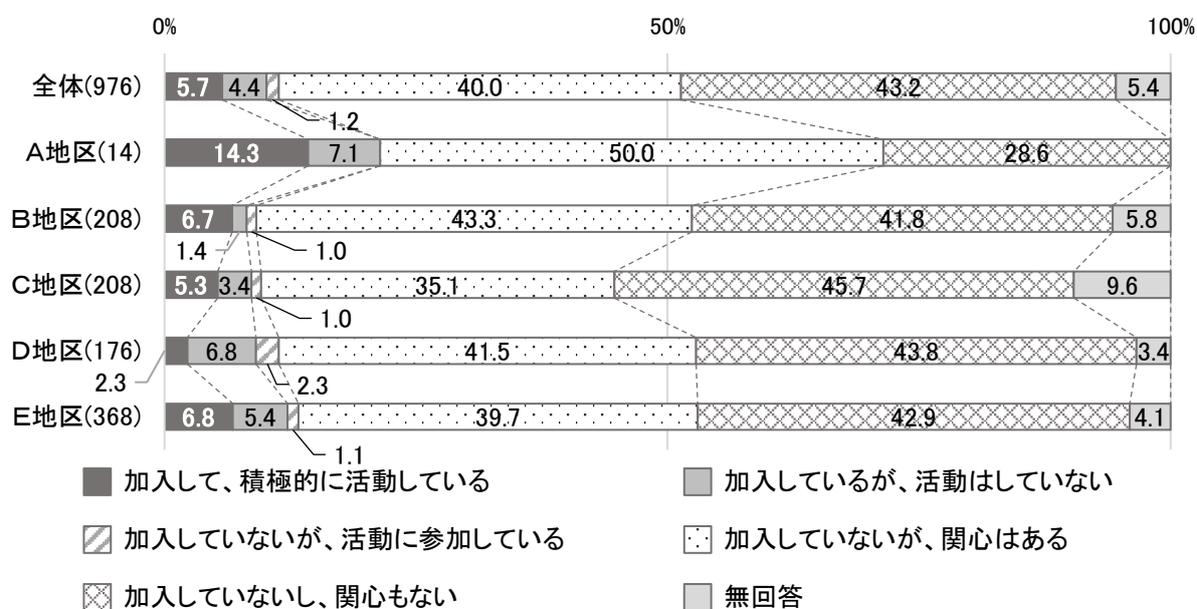
〈年齢別比較〉

30～39歳より若い世代では、「加入していないし、関心もない」の割合が5割程度となっている。



〈居住地区別比較〉

C地区では、「加入していないが、関心はある」の割合が比較的的低く、3割半ばとなっている。

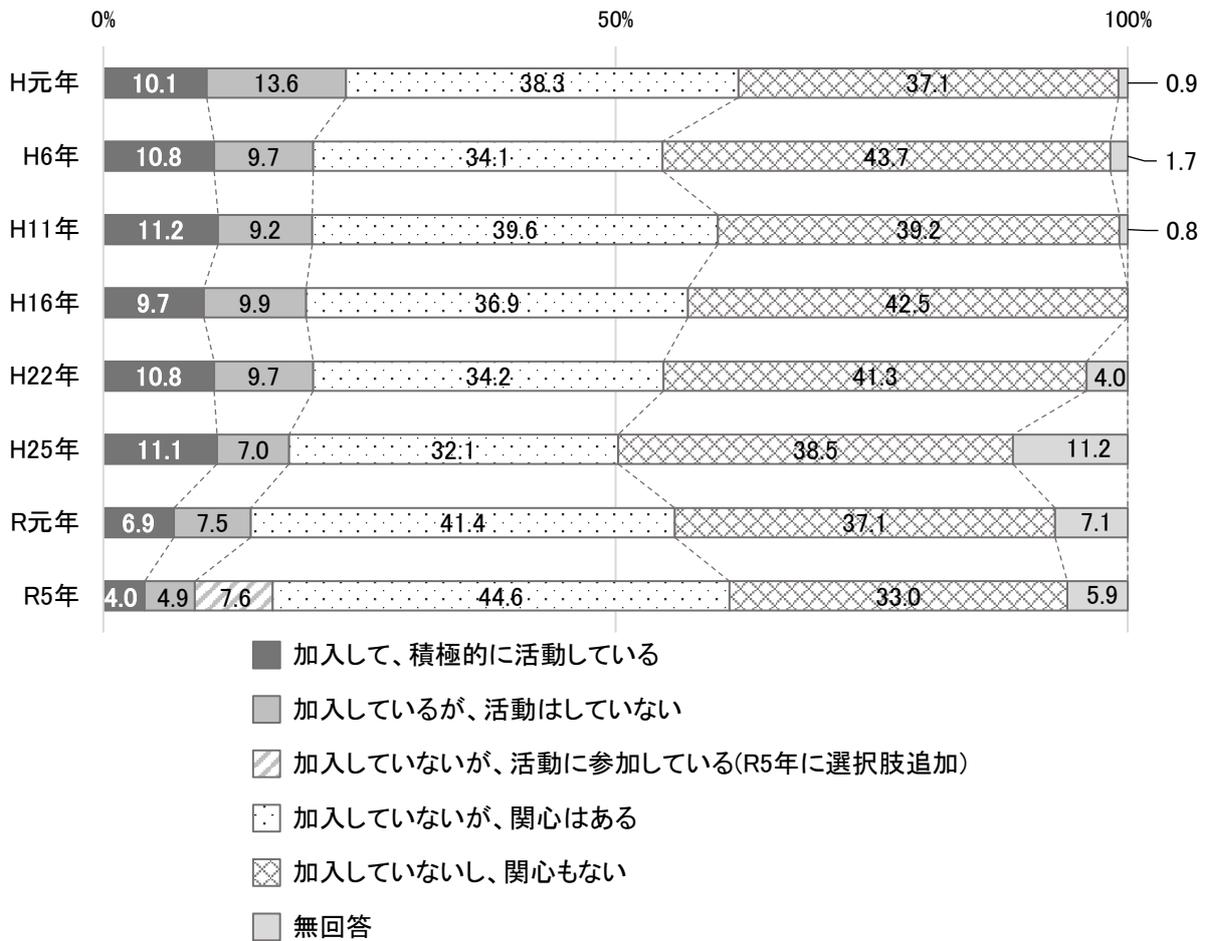


カ 祭りや各種イベントなどの地域行事活動

〈経年比較〉

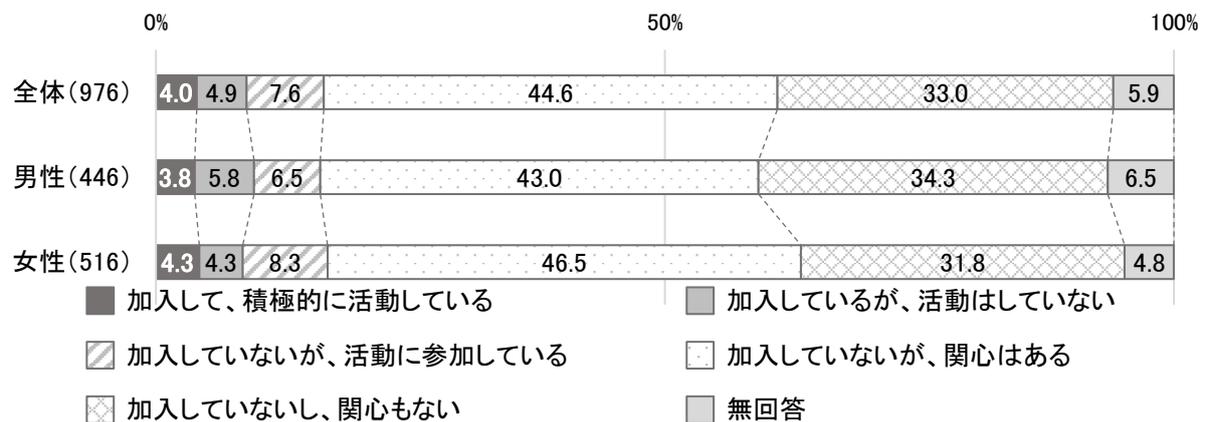
「加入して、積極的に活動している」の割合は令和元年以降、減少している。一方、「加入していないが、関心はある」の割合は令和元年以降、増加している。

※令和5年に追加した選択肢「加入していないが、活動に参加している」は、経年比較の対象外としている。



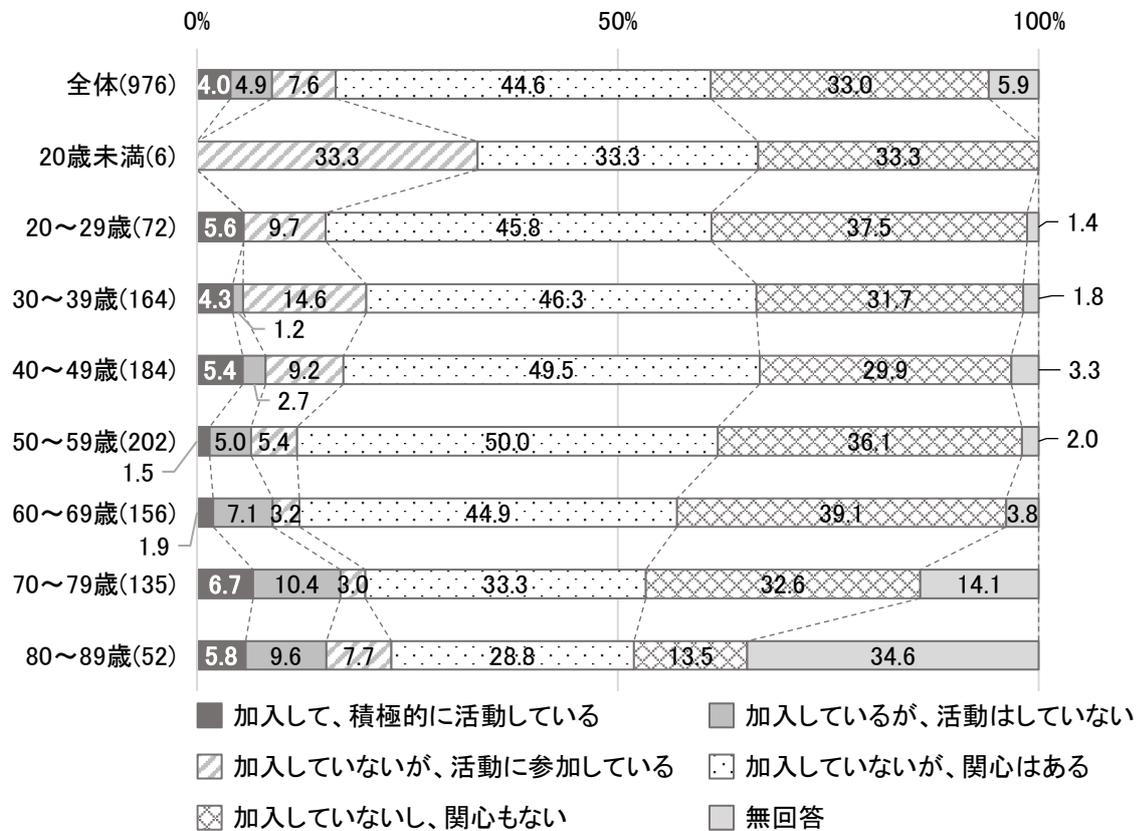
〈性別比較〉

性別による回答傾向の違いはみられない。



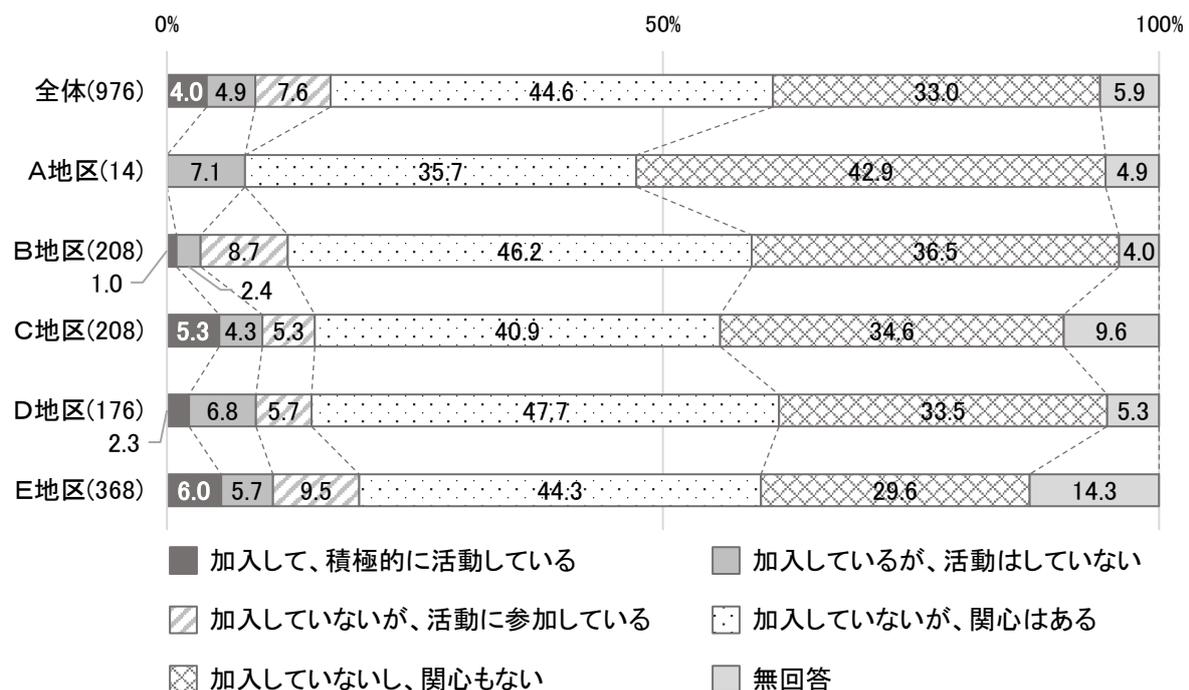
〈年齢別比較〉

40～49歳より若い世代では、「加入していないが、活動に参加している」の割合が比較的高く、1割程度となっている。



〈居住地区別比較〉

E地区では、「加入して、積極的に活動している」と「加入していないが、活動に参加している」の割合が比較的高く、1割半ばとなっている。



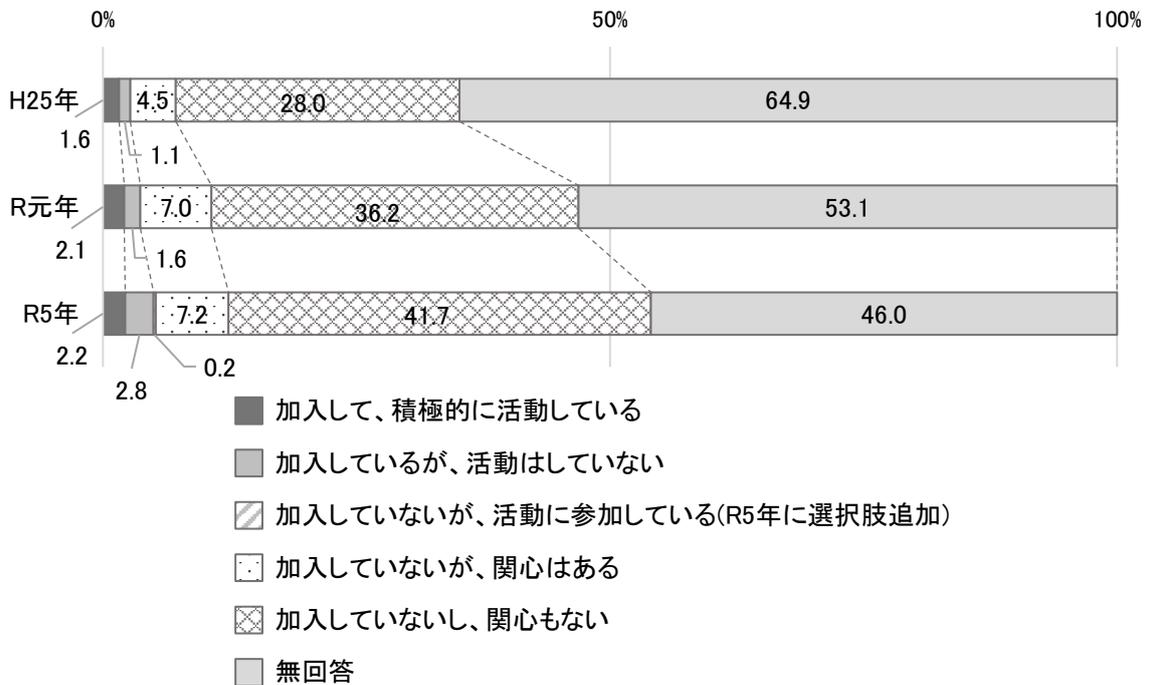
キ その他の活動

〈経年比較〉

「加入していないし、関心もない」の割合が増加している。

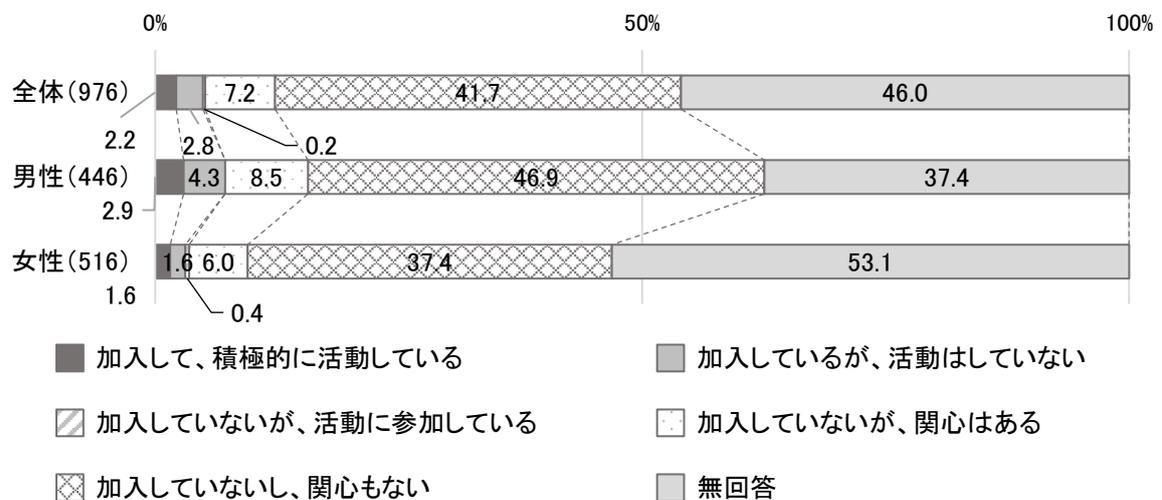
その他の活動の具体的内容としては、マンションの各種活動、学校関連の活動があげられている。

※令和5年に追加した選択肢「加入していないが、活動に参加している」は、経年比較の対象外としている。



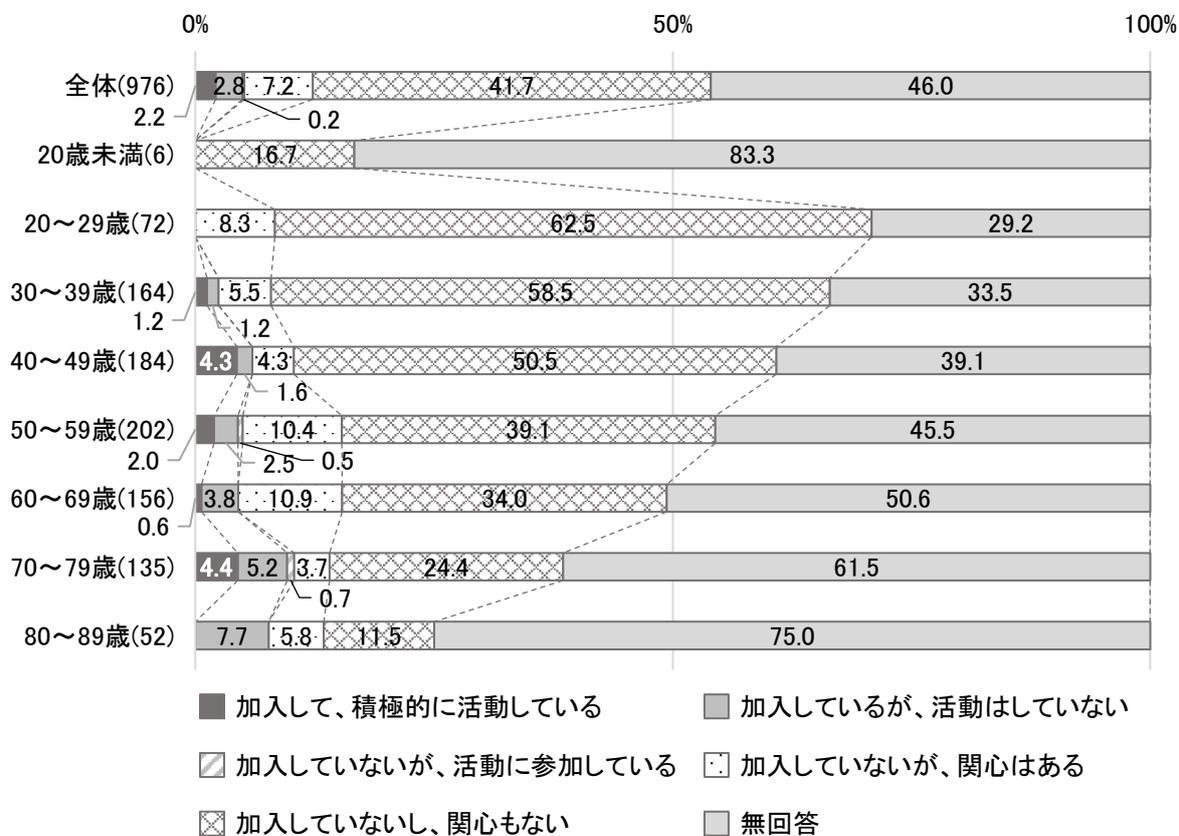
〈性別比較〉

男性の方が、「加入していないし、関心もない」の割合が高くなっている。



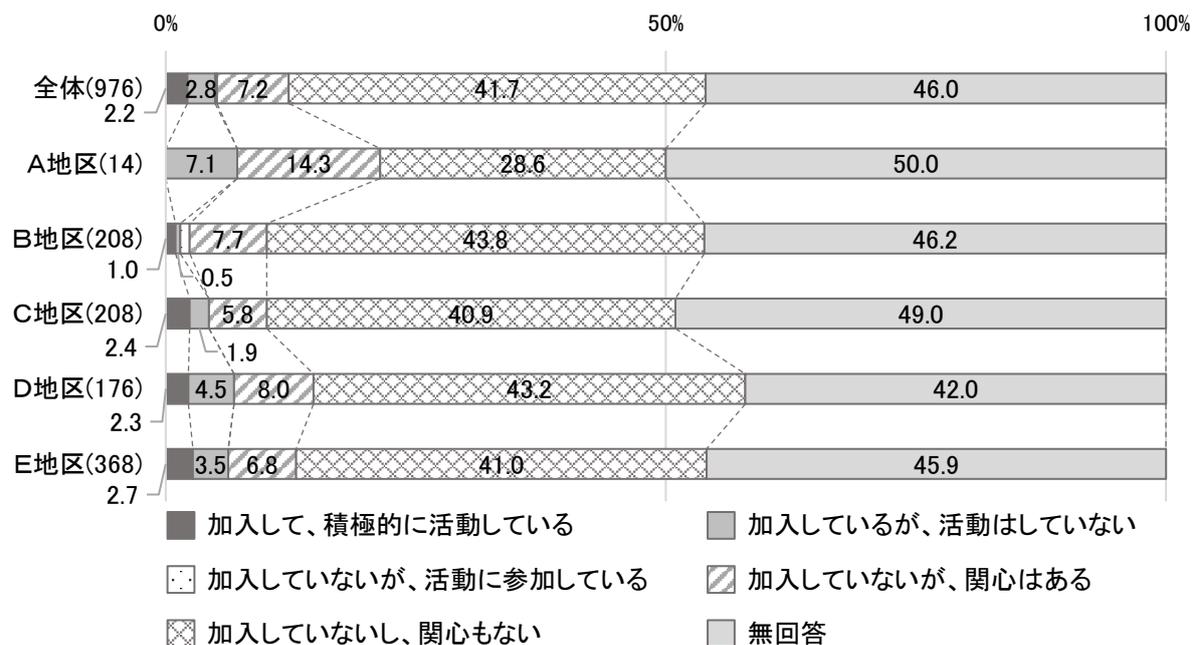
〈年齢別比較〉

年齢が高くなるにつれて、「加入していないし、関心もない」の割合が低くなっている。



〈居住地区別比較〉

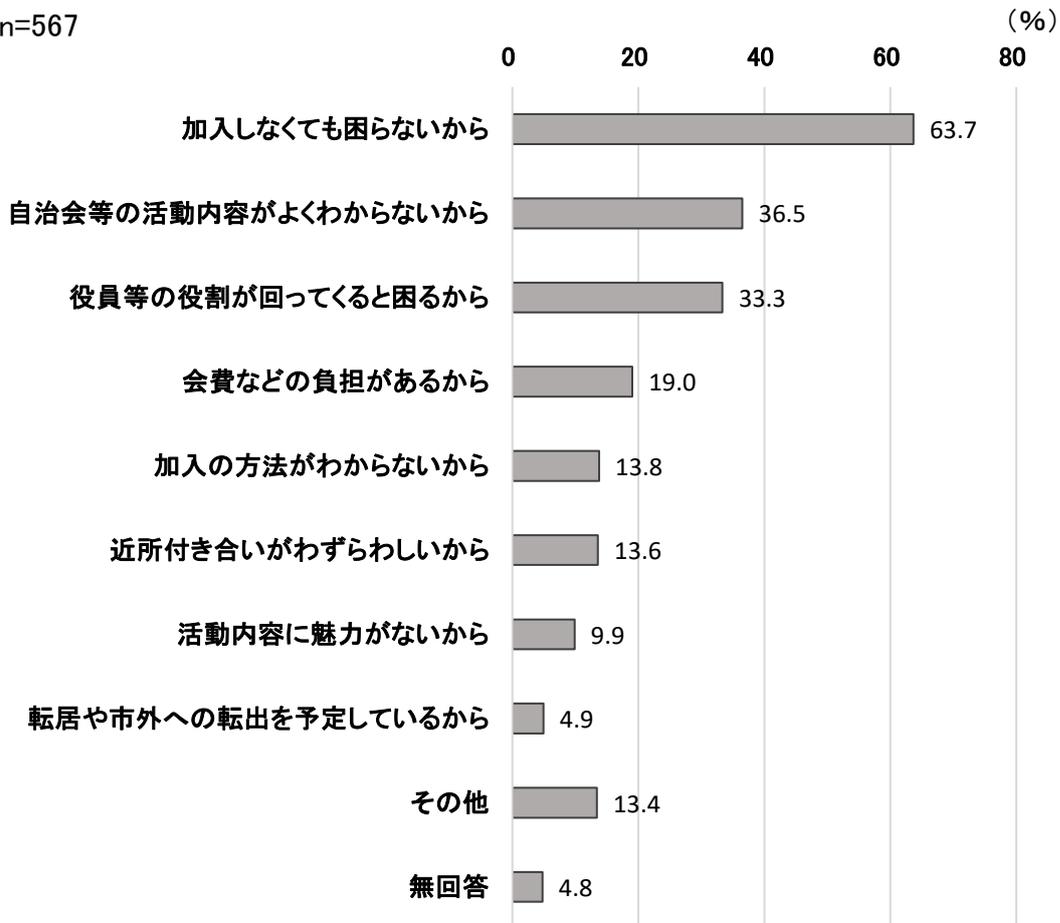
居住地区別による回答傾向の違いはみられない。



問5-1 問5の「ア自治会・町内会活動」に「加入していないが、活動に参加している」、「加入していないが、関心はある」または「加入していないし、関心もない」を選んだ方にお聞きします。加入していない理由は何ですか。あなたの考えに近いものを3つまで選んでください。

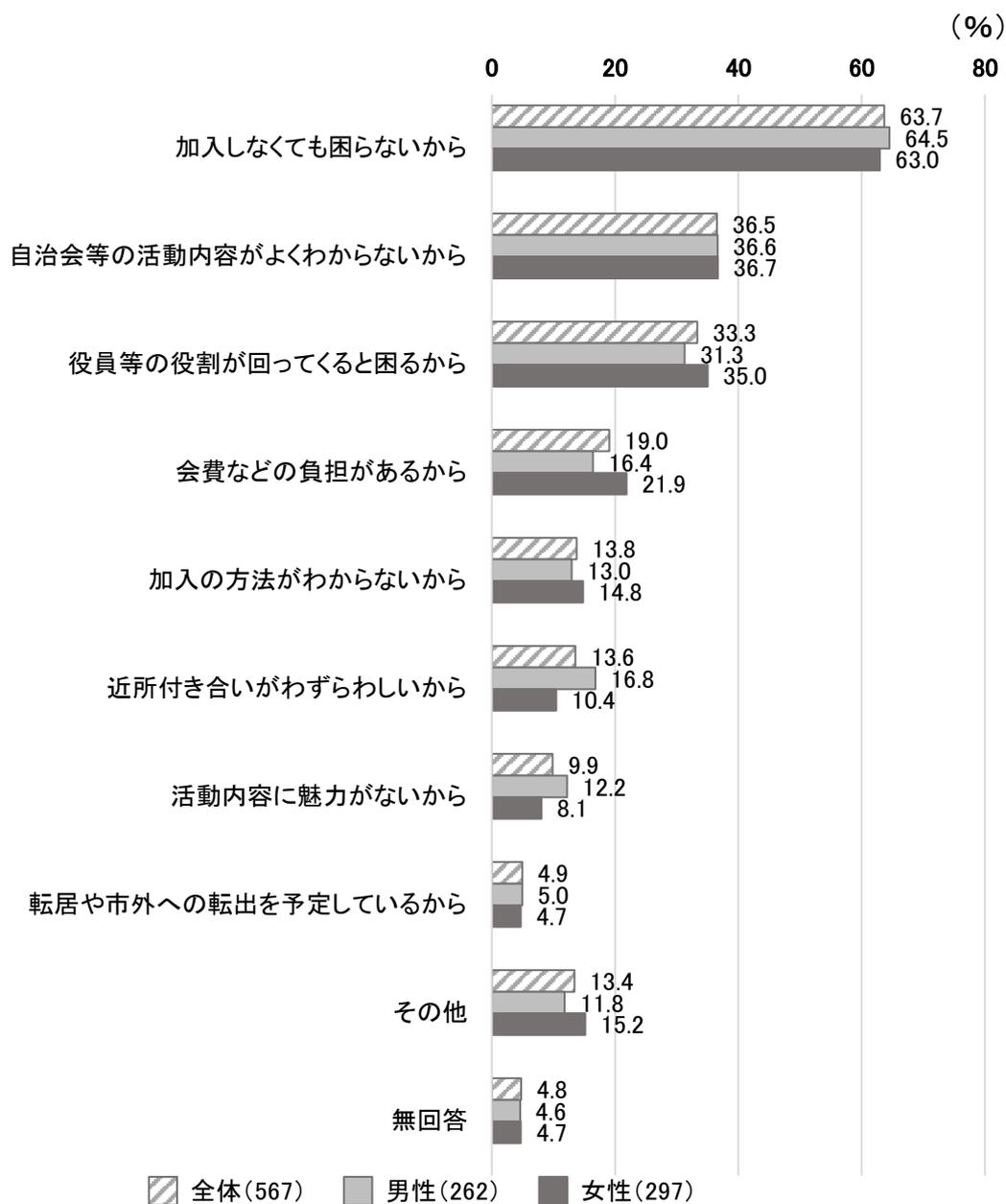
加入していない理由は、「加入しなくても困らないから」の割合が 63.7%で最も高く、続いて「自治会等の活動内容がよくわからないから」(36.5%)、「役員等の役割が回ってくると困るから」(33.3%)となっている。

n=567



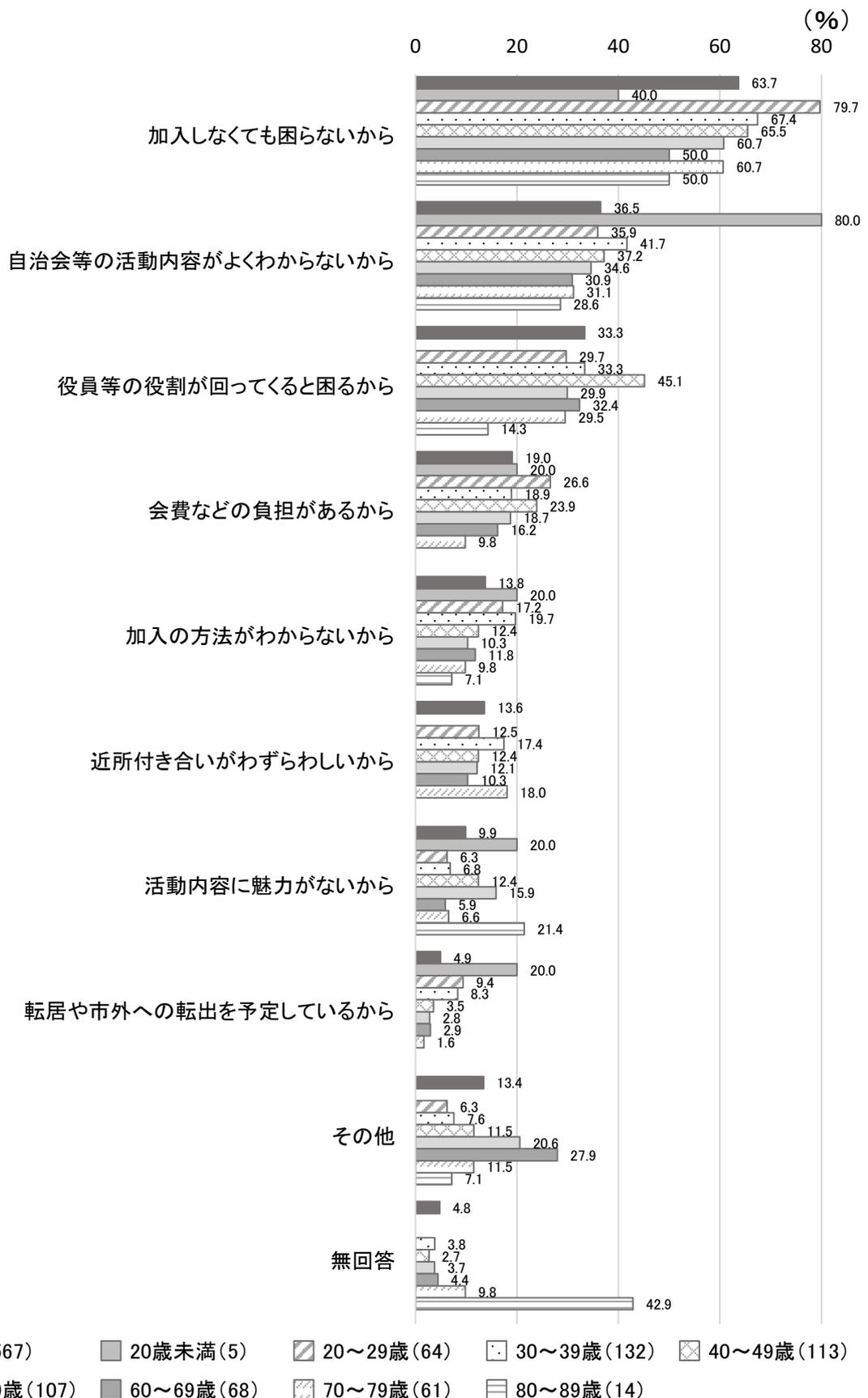
〈性別比較〉

上位項目の回答傾向に違いはみられないが、女性は、「会費などの負担があるから」の割合が比較的高く、2割を超えている。一方、男性は、「近所付き合いがわずらわしいから」の割合が女性より高い。



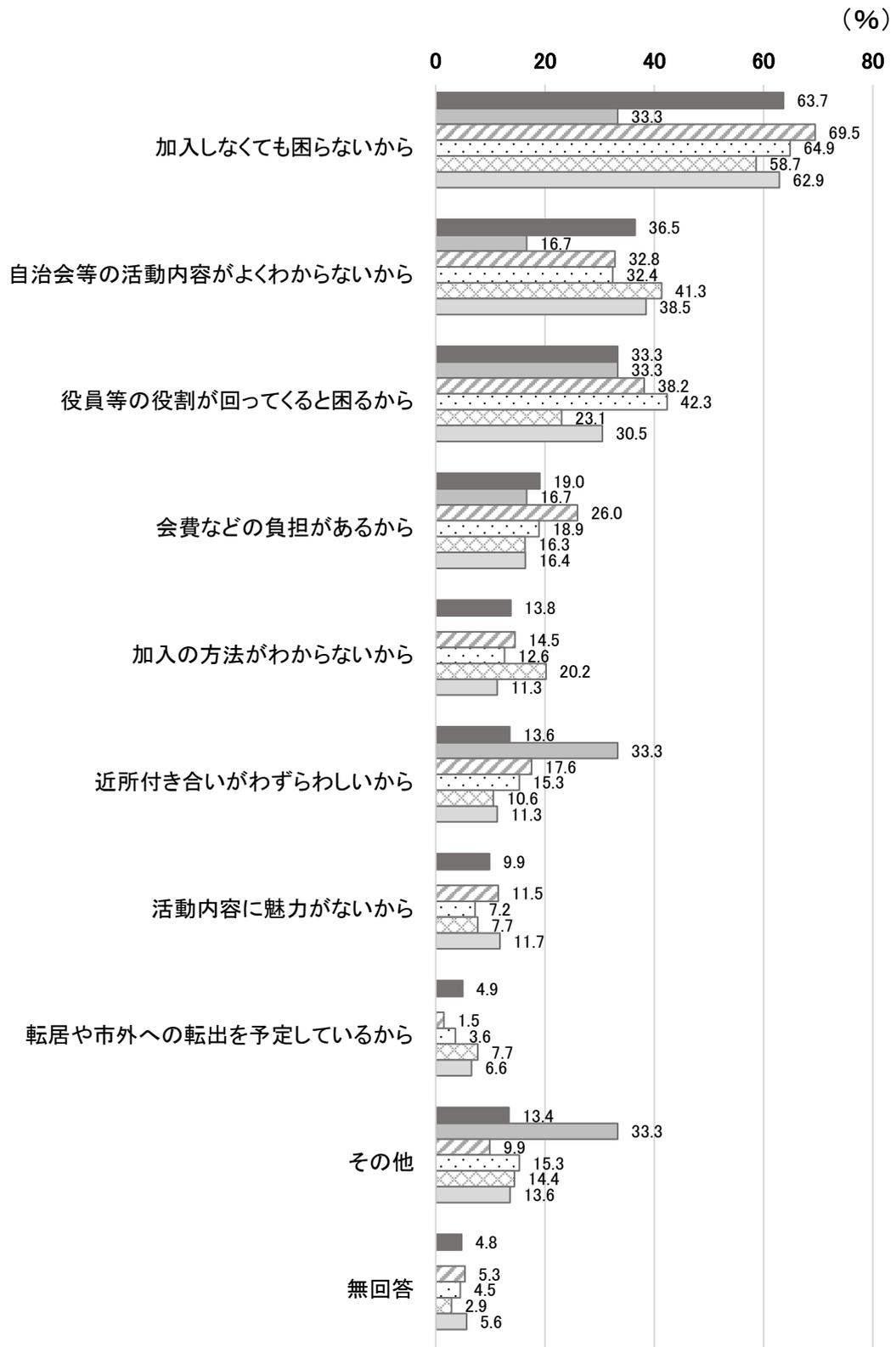
〈年齢別比較〉

年齢が低い方が、「加入しなくても困らないから」と「自治会等の活動内容がよくわからないから」の割合が高い傾向がみられる。



〈居住地区別比較〉

D地区とE地区では、「自治会等の活動内容がよくわからないから」、B地区とC地区では、「役員等の役割が回ってくると困るから」の割合が比較的高く、4割程度となっている。

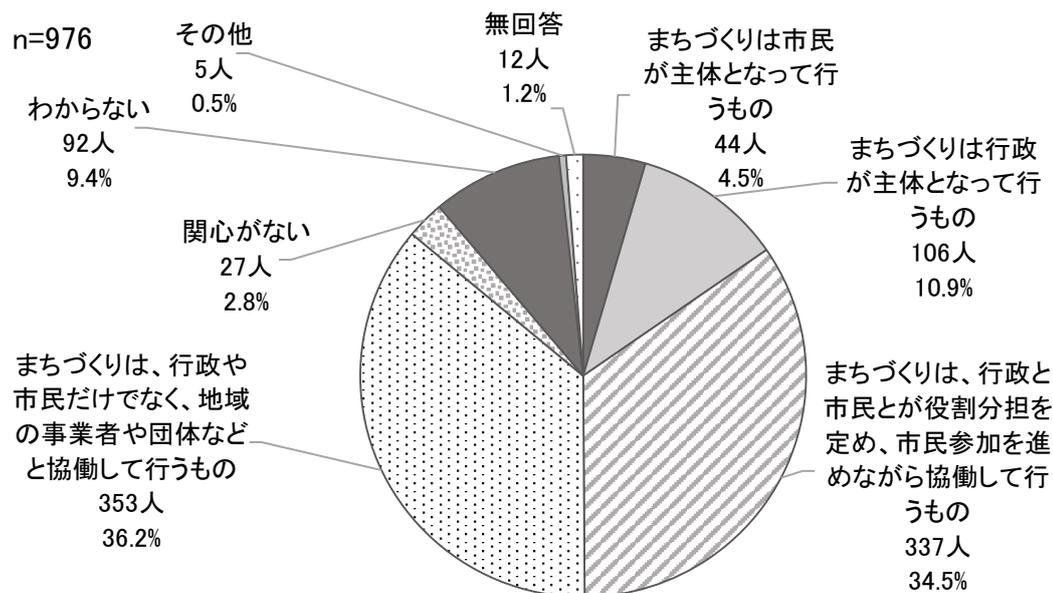


■ 全体(567) ■ A地区(6) ▨ B地区(131) ▩ C地区(111) ▤ D地区(104) ▧ E地区(213)

問6 まちづくり（住みよい地域づくりのための取組）の役割分担に関して、あなたの考えに最も近いものを次の中から1つ選んでください。

〈全体〉

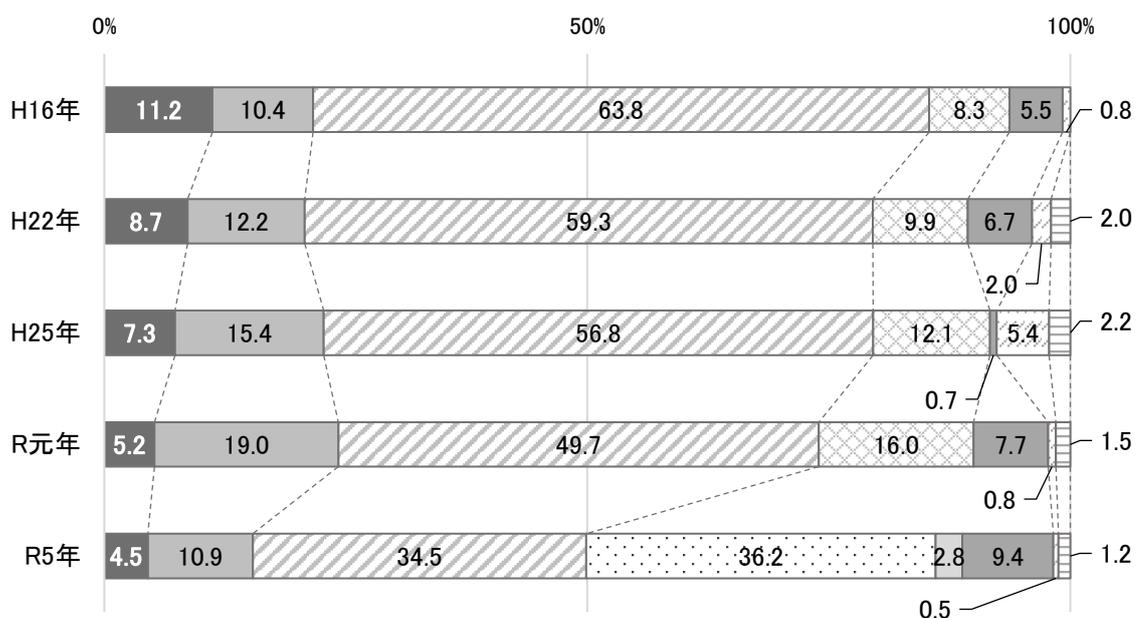
まちづくりの役割分担について、「まちづくりは、行政や市民だけでなく、地域の事業者や団体などと協働して行うもの」の割合が36.2%、「まちづくりは、行政と市民とが役割分担を定め、市民参加を進めながら協働して行うもの」の割合が34.5%となっている。



〈経年比較〉

「まちづくりは行政が主体となって行うもの」の割合は、平成16年以降、増加していたが、令和5年に減少に転じている。一方、「まちづくりは市民が主体となって行うもの」、「まちづくりは、行政と市民とが役割分担を定め、市民参加を進めながら協働して行うもの」の割合は、平成16年以降、減少している。

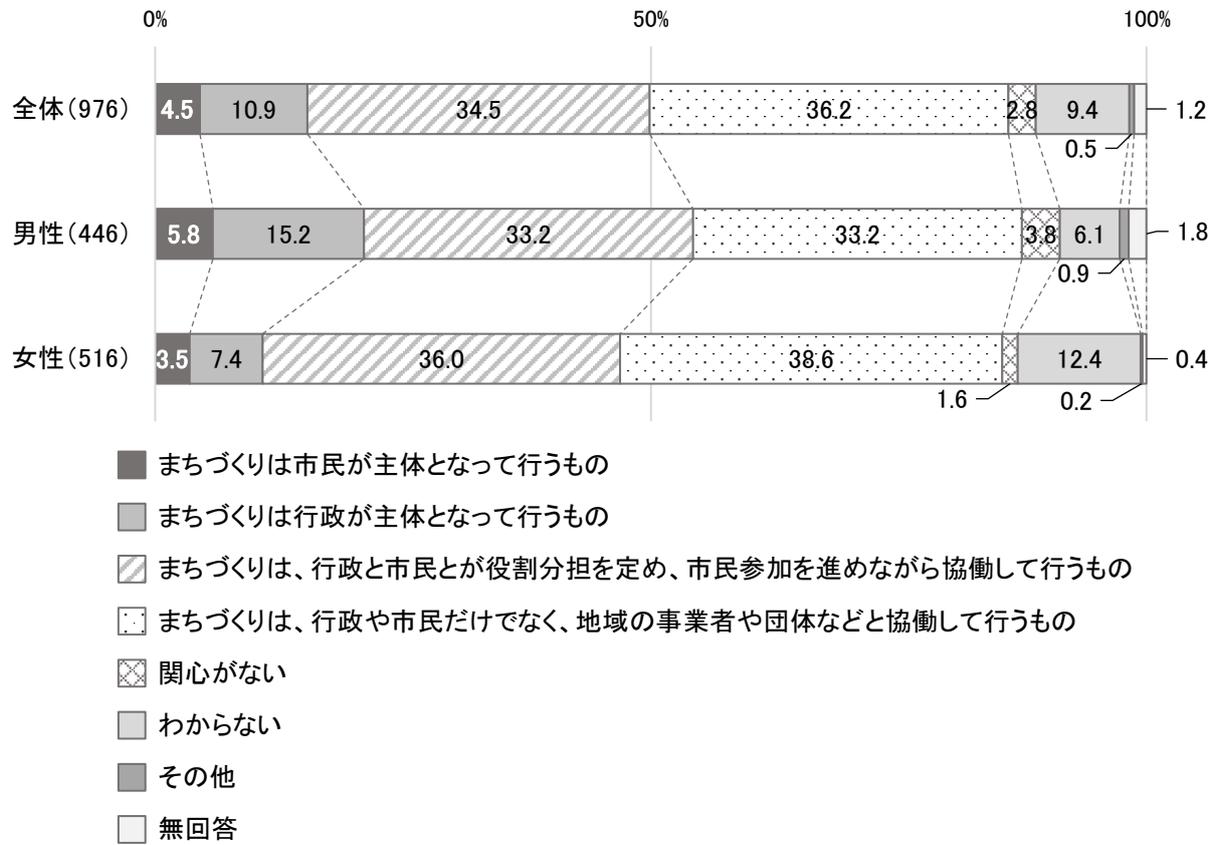
※令和5年に追加した選択肢「まちづくりは、行政や市民だけでなく、地域の事業者や団体などと協働して行うもの」、「関心がない」と、令和5年に削除した選択肢「民間事業者にまかせられる事業については、なるべく民間事業者にまかせる」は、経年比較の対象外としている。



- まちづくりは市民が主体となって行うもの
- まちづくりは行政が主体となって行うもの
- ▨ まちづくりは、行政と市民とが役割分担を定め、市民参加を進めながら協働して行うもの
- ▨ まちづくりは、行政や市民だけでなく、地域の事業者や団体などと協働して行うもの(R5年に選択肢追加)
- ▨ 民間事業者にまかせられる事業については、なるべく民間事業者にまかせる(R5年に選択肢削除)
- 関心がない
- わからない
- ▨ その他
- ▨ 無回答

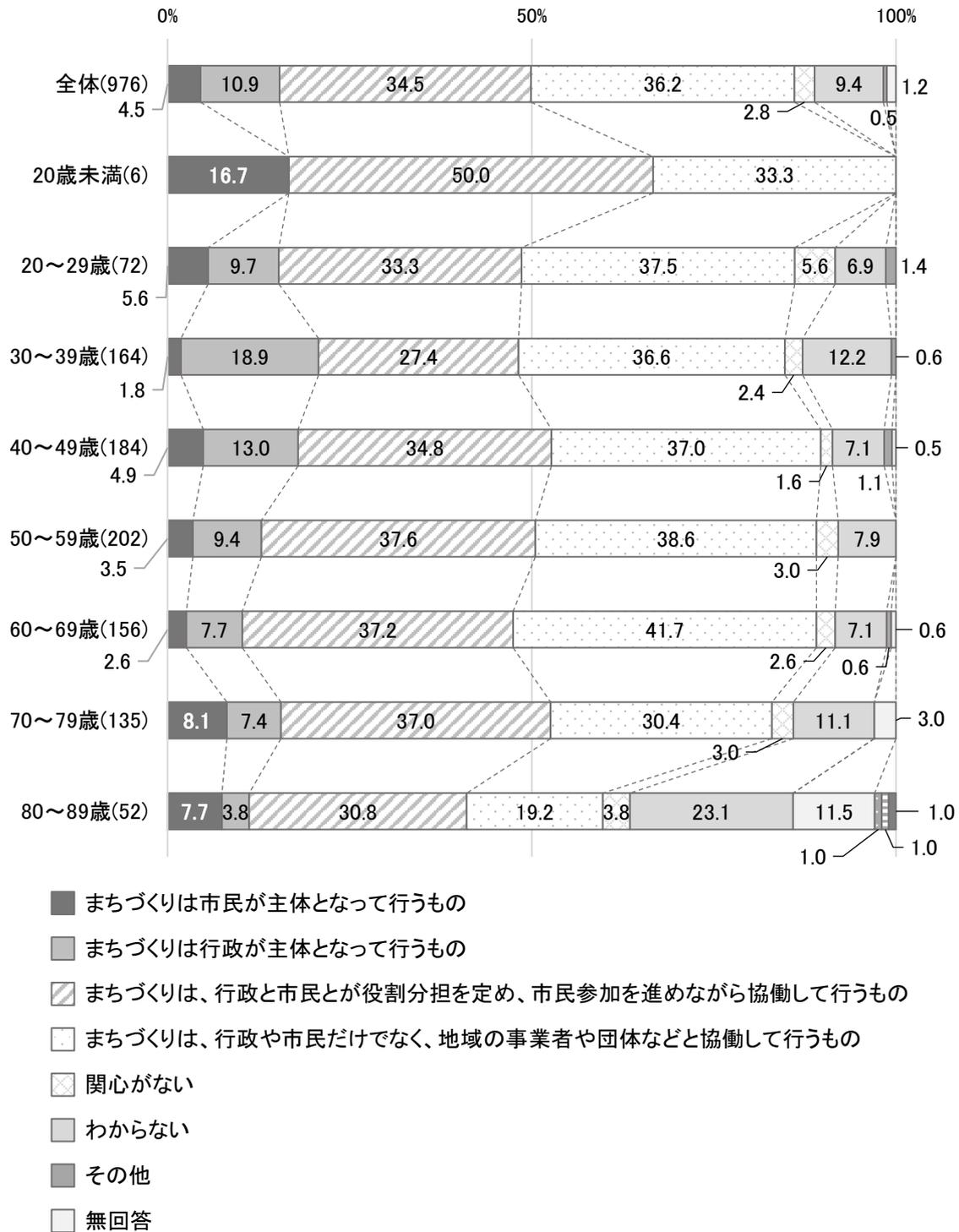
〈性別比較〉

男性は、「まちづくりは、行政が主体となって行うもの」の割合が女性の2倍となっている。



〈年齢別比較〉

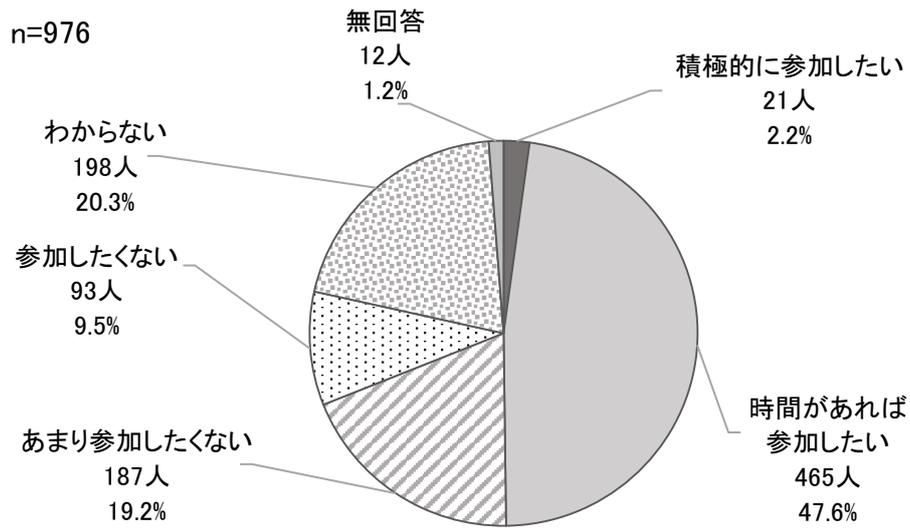
30～39歳および40～49歳では、「まちづくりは、行政が主体となって行うもの」の割合が高く、一方、50～59歳、60～69歳、70～79歳では、「まちづくりは、行政と市民とが役割分担を定め、市民参加を進めながら協働していくもの」の割合が高い傾向がみられる。



問7 今後、あなたのまちづくりに対する意欲を次の中から1つ選んでください。

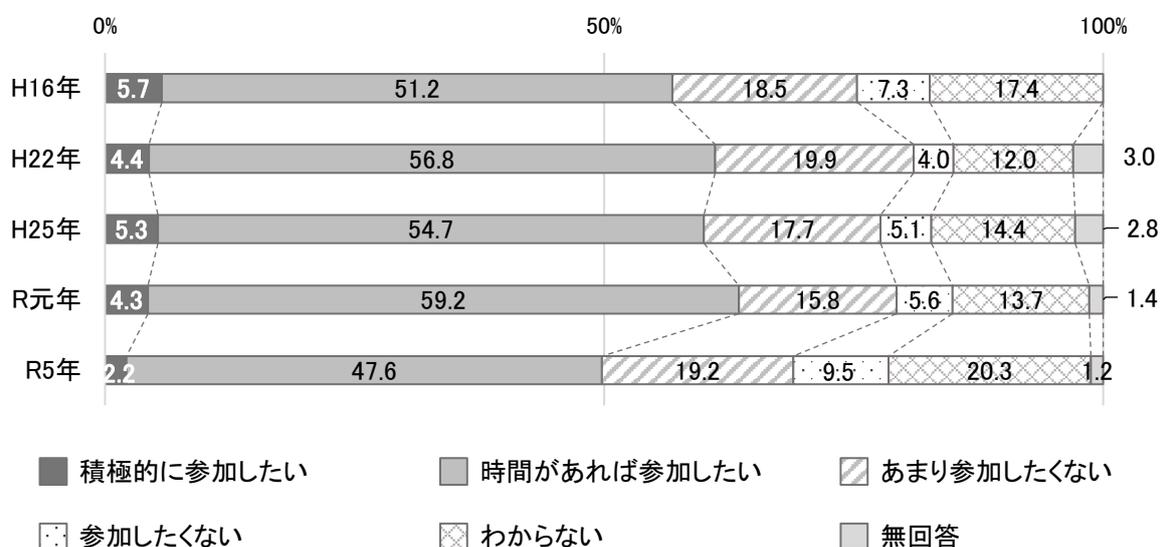
〈全体〉

今後のまちづくりに対する意欲は、「時間があれば参加したい」の割合が47.6%で最も高く、「積極的に参加したい」と合わせた割合は5割程度となっている。このほか、「わからない」(20.3%)、「あまり参加したくない」(19.2%)となっている。



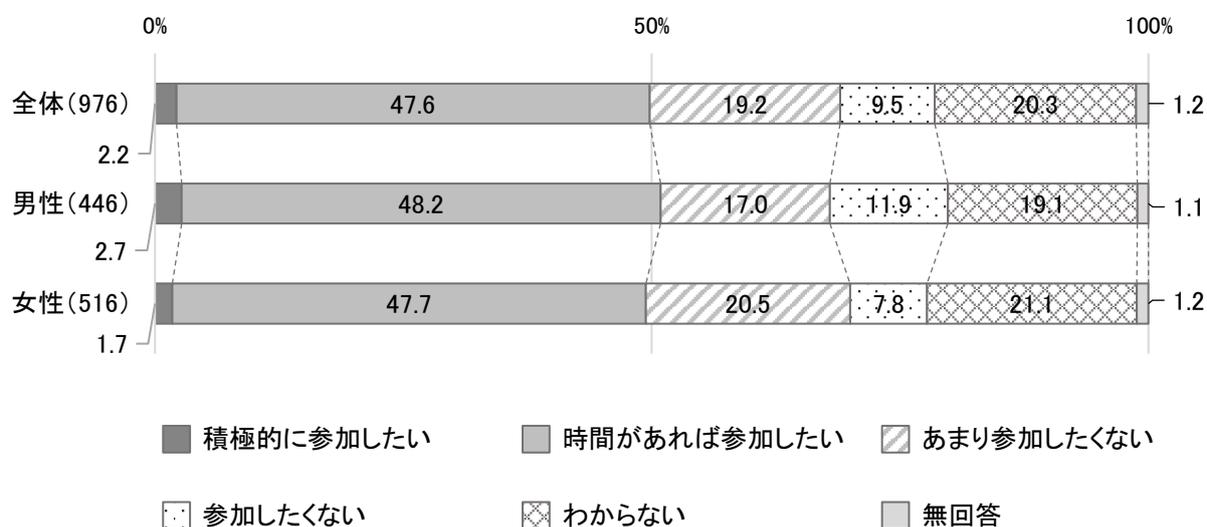
〈経年比較〉

「積極的に参加したい」と「時間があれば参加したい」を合わせた割合は、令和元年に増加に転じたものの、令和5年に大きく減少している。



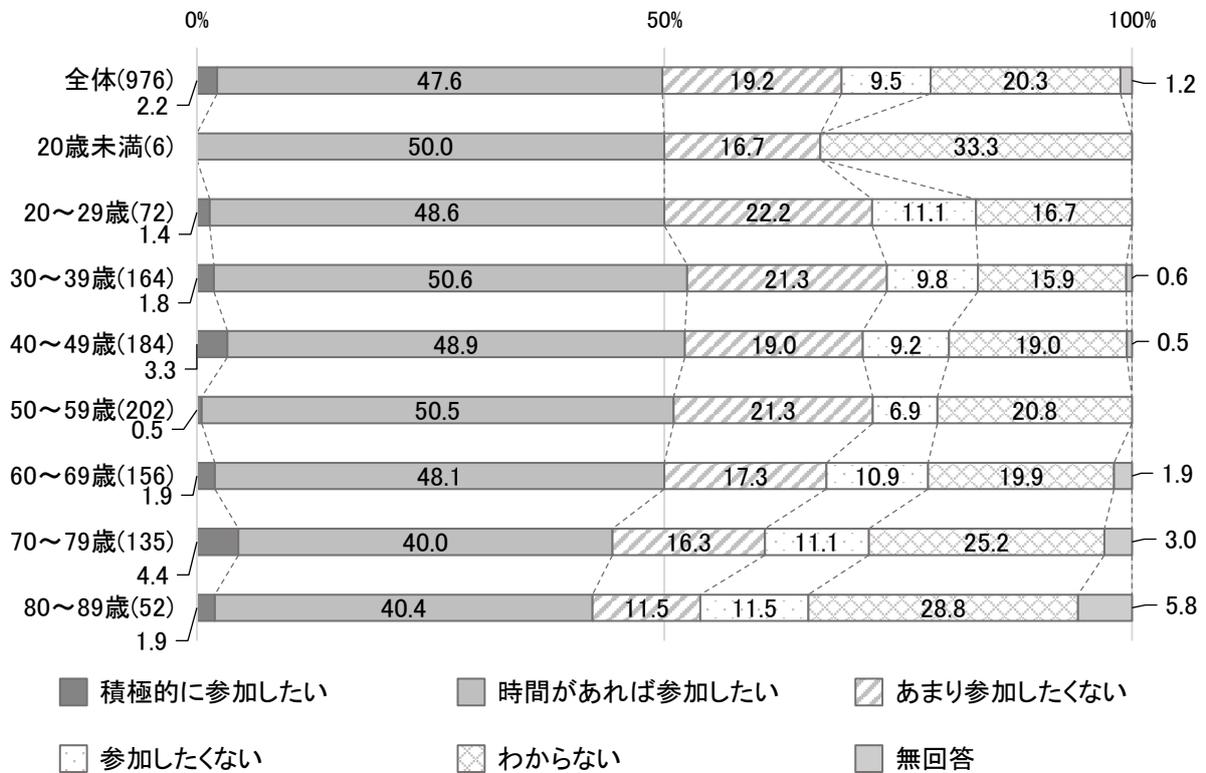
〈性別比較〉

性別による回答傾向の違いはみられない。



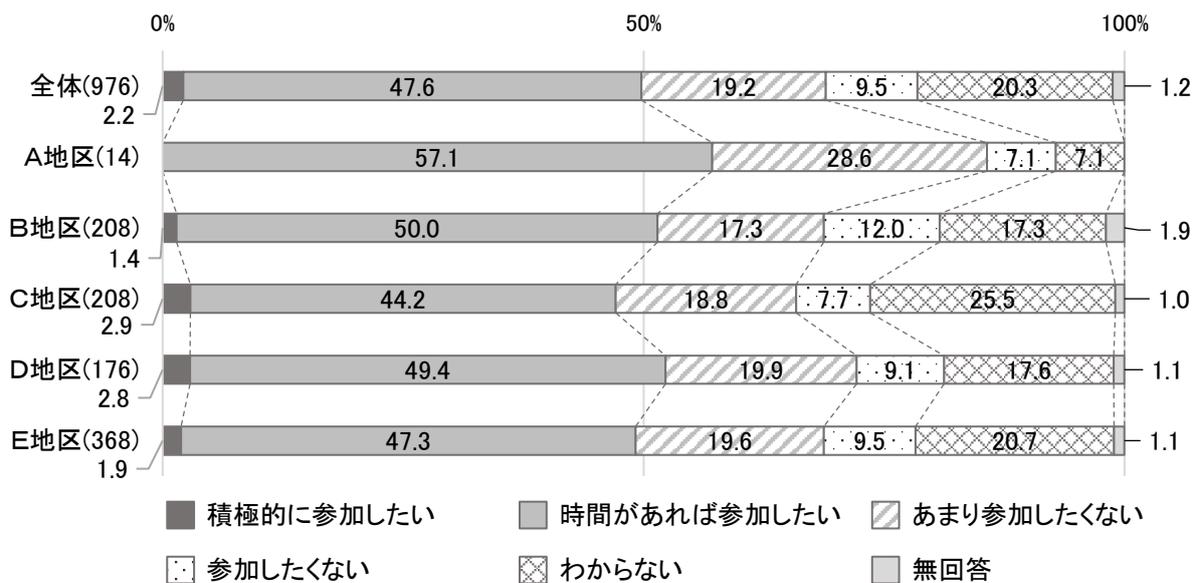
〈年齢別比較〉

60～69歳より下の世代においては、「積極的に参加したい」と「時間があれば参加したい」を合わせた“参加したい”割合は5割を超えている。



〈居住地区別比較〉

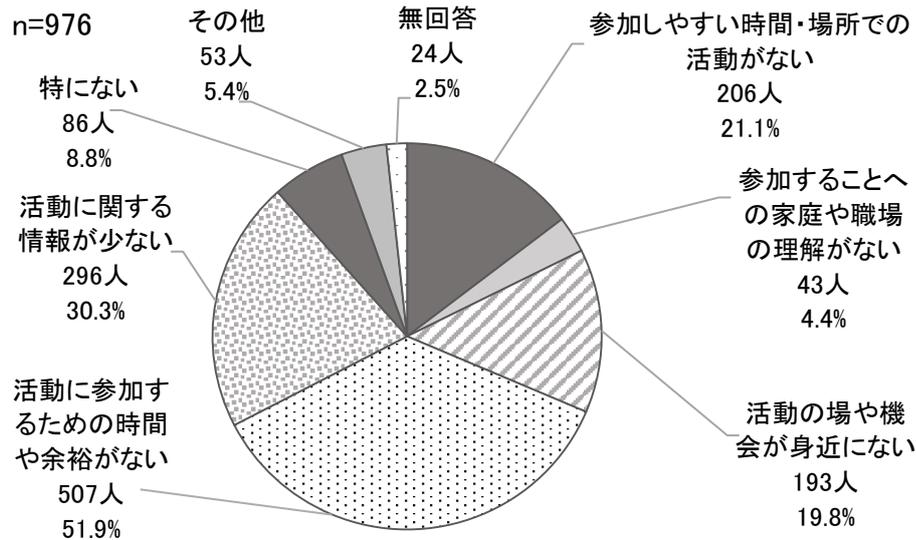
居住地区別による回答傾向の違いはみられない。



問8 あなたが、まちづくりに参加するためには、どのようなことが障害となりますか。次の中から2つまで選んでください。

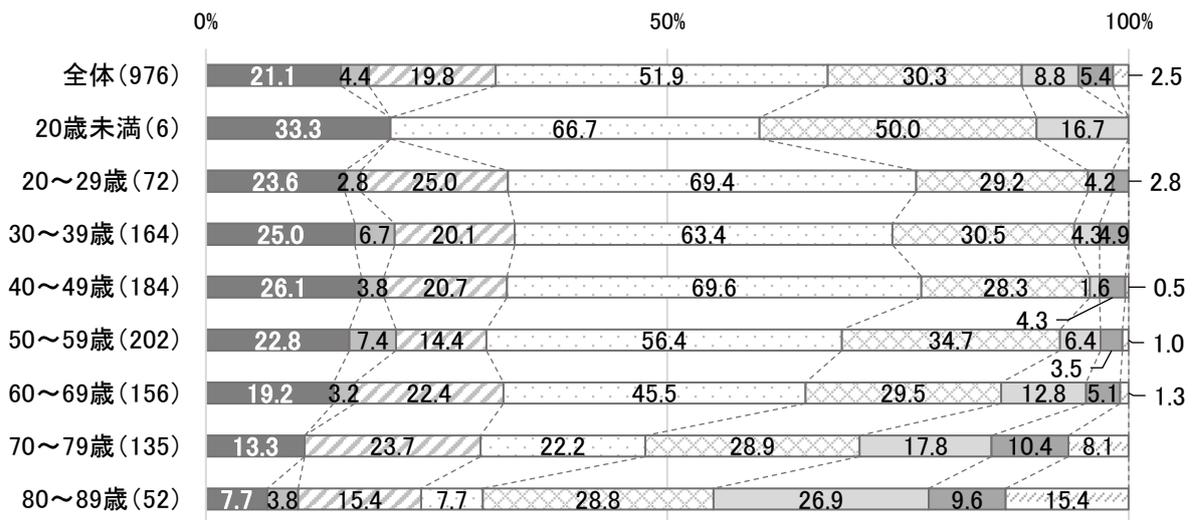
〈全体〉

まちづくりに参加するための障害については、「活動に参加するための時間や余裕がない」の割合が51.9%で最も高く、続いて「活動に関する情報が少ない」(30.3%)、「参加しやすい時間・場所での活動がない」(21.1%)、「活動の場や機会が身近にない」(19.8%)となっている。



〈年齢別比較〉

年齢が低いほど、「活動に参加するための時間や余裕がない」と「参加しやすい時間・場所での活動がない」の割合が高い傾向がみられる。



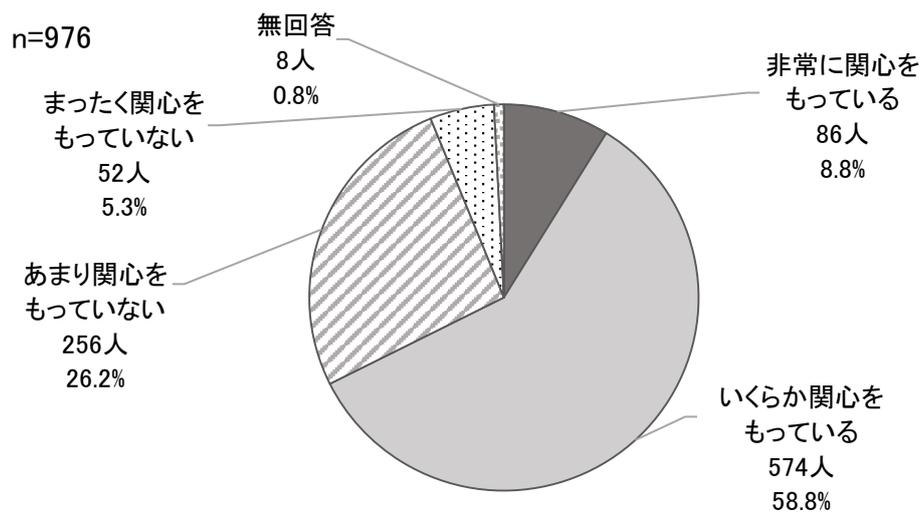
- 参加しやすい時間・場所での活動がない
- 参加することへの家庭や職場の理解がない
- ▨ 活動の場や機会が身近にない
- ▨ 活動に参加するための時間や余裕がない
- ▨ 活動に関する情報が少ない
- ▨ 特になし
- その他
- ▨ 無回答

3. 市政について

問9 あなたの市政に対する関心の度合いを次の中から1つ選んでください。

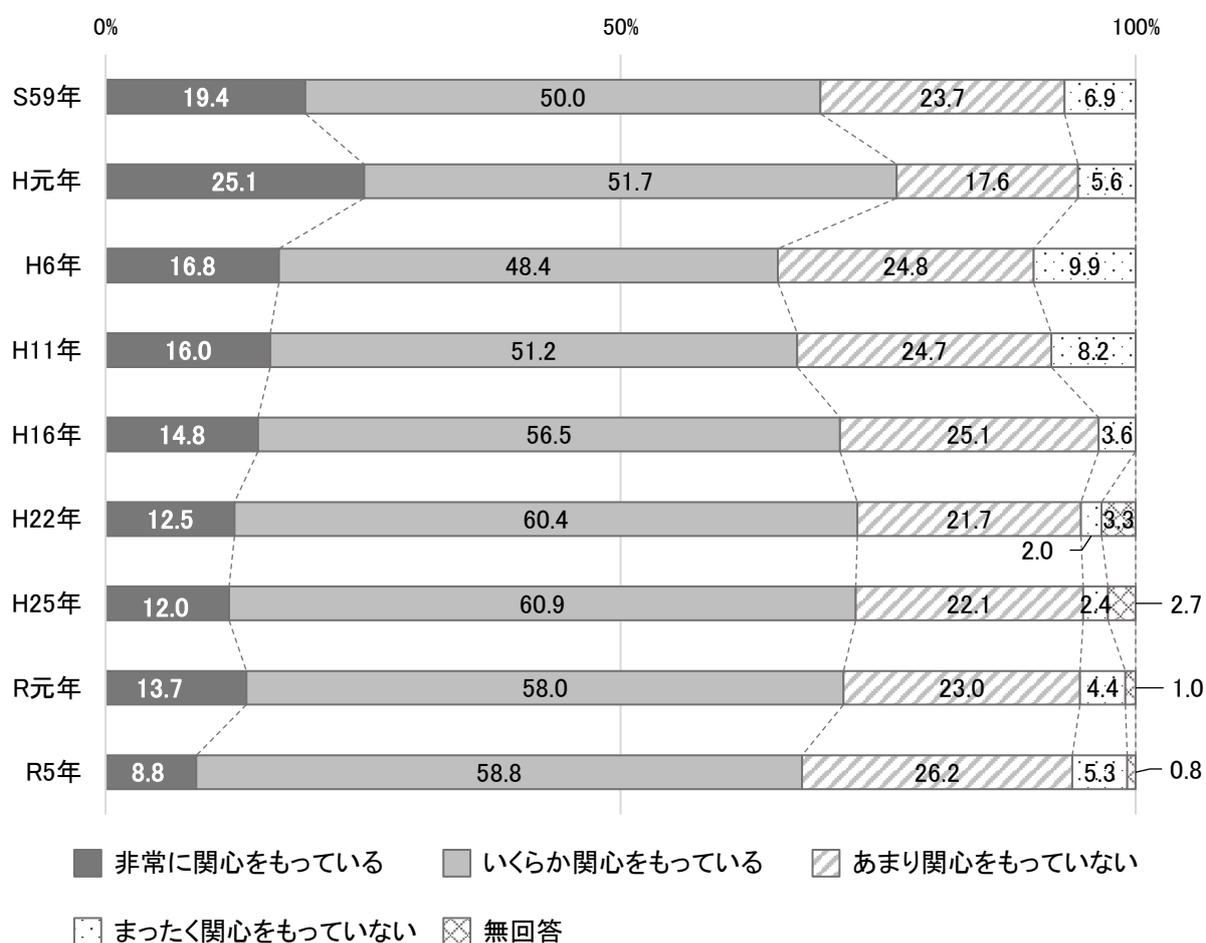
〈全体〉

市政に対する関心は、「いくらか関心をもっている」の割合が58.8%で最も高く、「非常に関心をもっている」と合わせた“関心がある”の割合は7割程度となっている。このほか、「あまり関心をもっていない」(26.2%)、「まったく関心をもっていない」(5.3%)となっている。



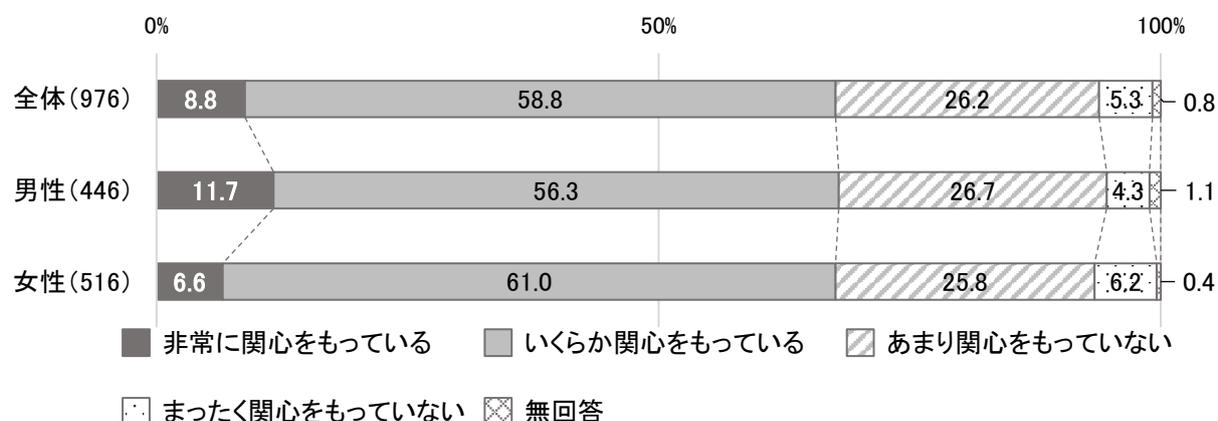
〈経年比較〉

「非常に関心をもっている」の割合は、平成元年以降、減少傾向がみられる。「いくらか関心をもっている」と合わせた“関心がある”割合は、平成11年以降増加がみられたが、令和元年以降減少している。



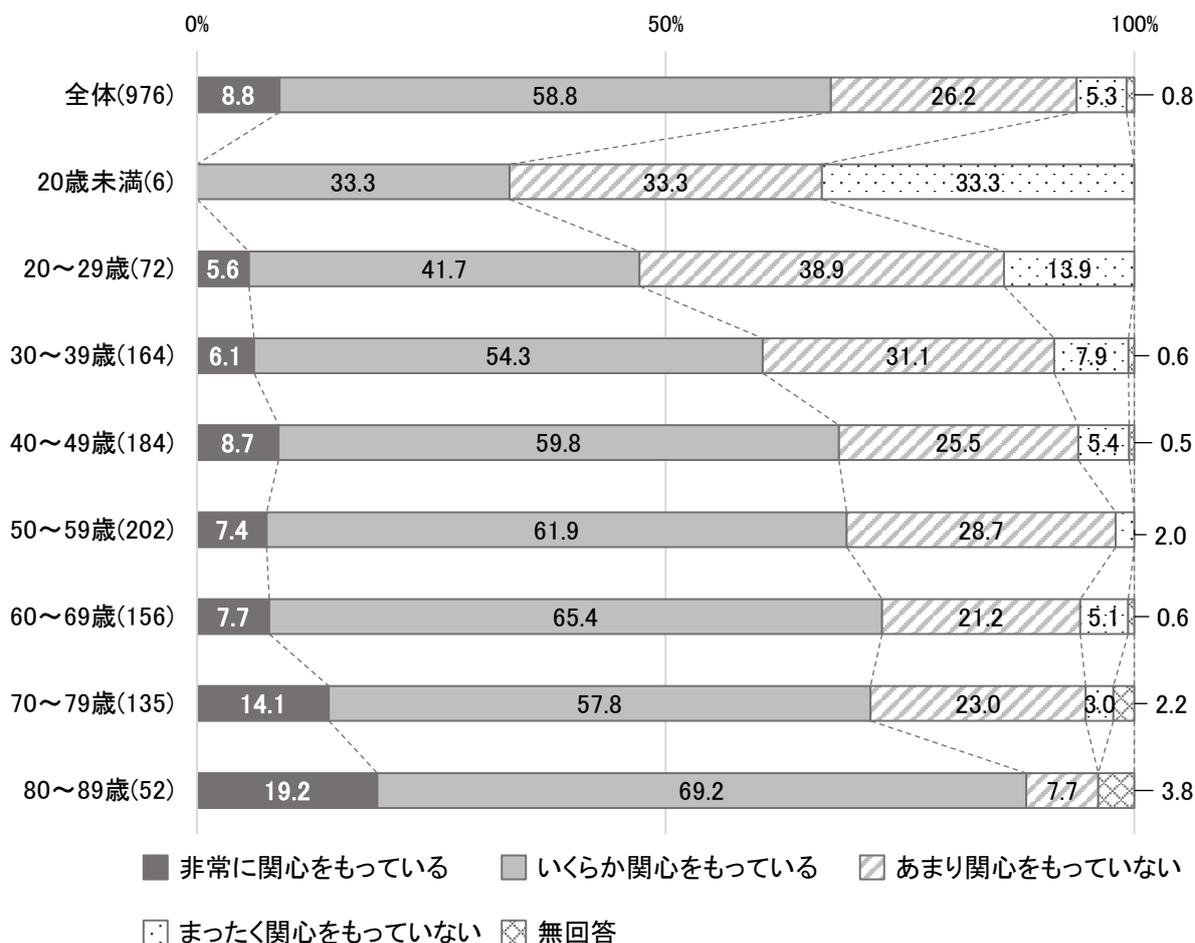
〈性別比較〉

男性は「非常に関心をもっている」の割合が女性と比べて高く、一方、女性は「いくらか関心をもっている」の割合が男性と比べて高いが、“関心がある”の割合は同程度となっている。



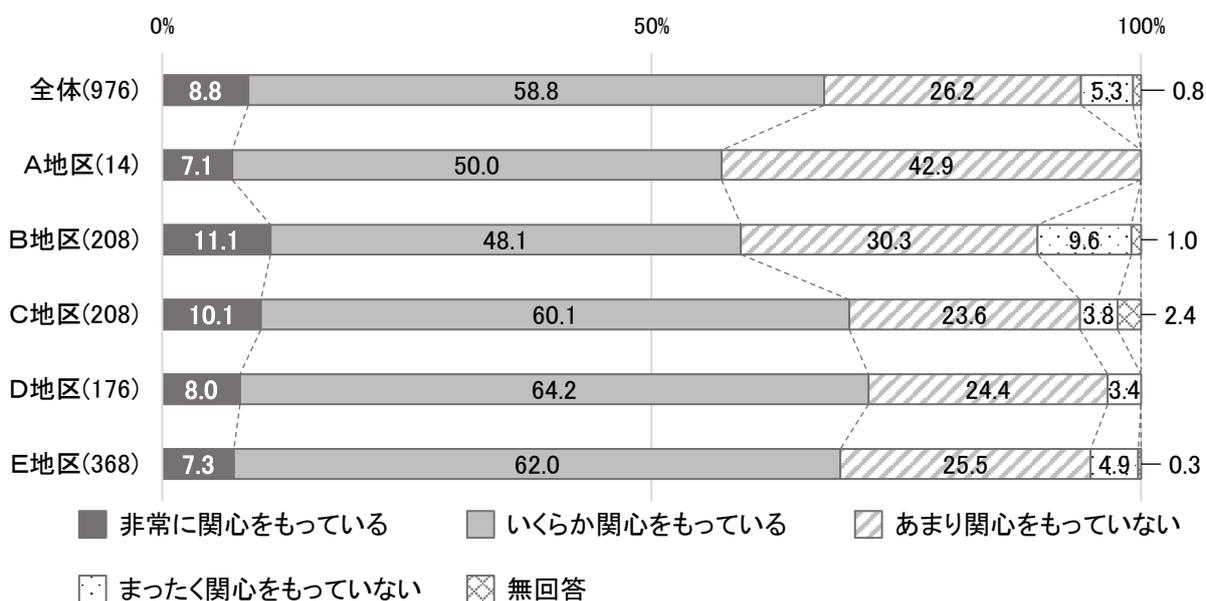
〈年齢別比較〉

年代が高い方が、「非常に関心をもっている」の割合が高くなる傾向がみられる。



〈居住地区別比較〉

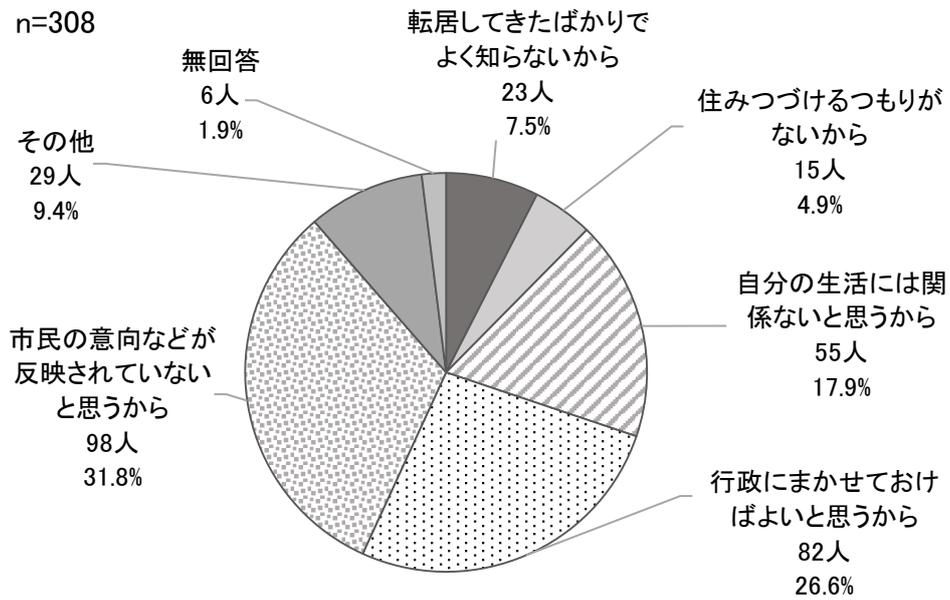
C地区とD地区では、「非常に関心をもっている」と「いくらか関心をもっている」を合わせた“関心がある”の割合が比較的高く7割を超えている。



問9-1 問9で「あまり関心をもっていない」「まったく関心をもっていない」を選んだ方にお聞きします。あなたが市政に関心がないのはどのような理由からですか。次の中から1つ選んでください。

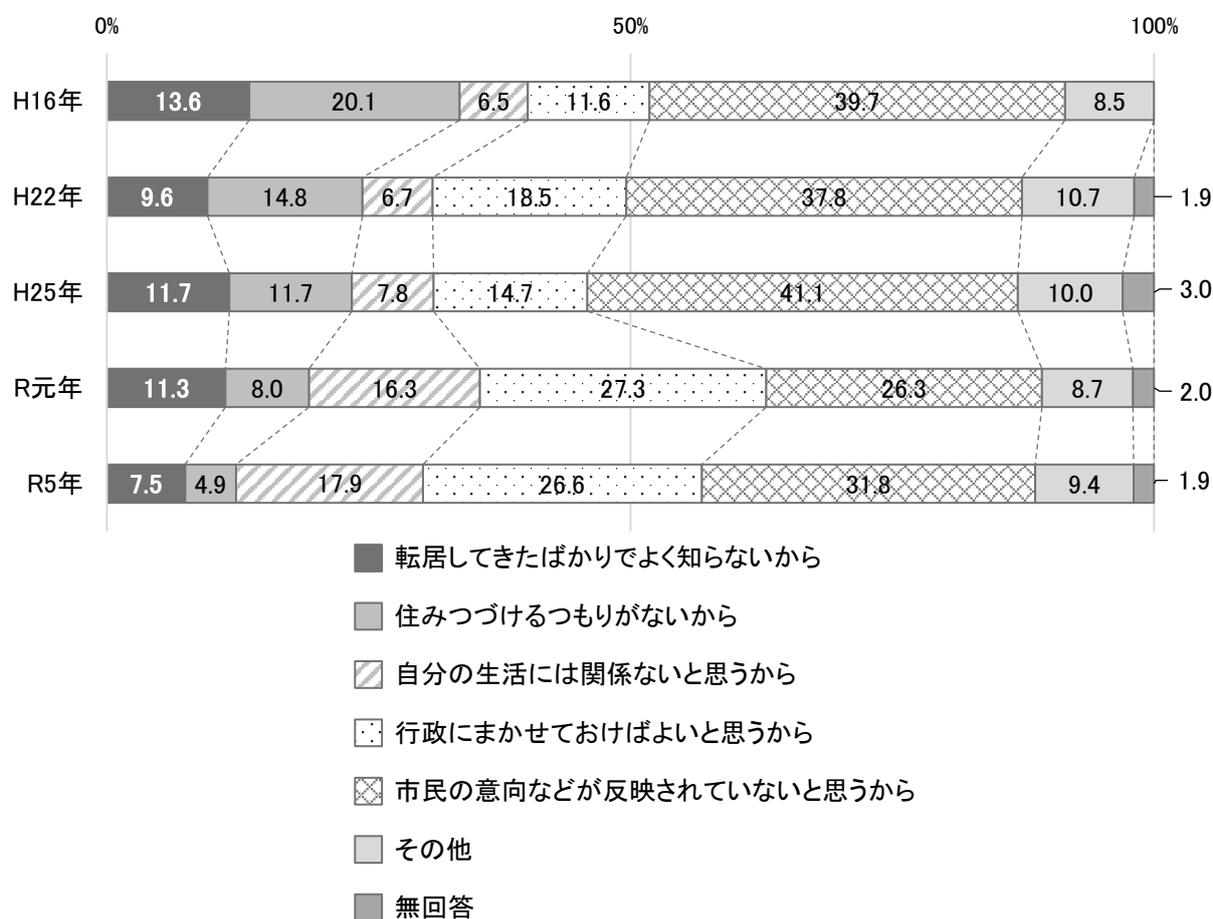
〈全体〉

市政に関心がない理由は、「市民の意向などが反映されていないと思うから」の割合が31.8%で最も高く、続いて「行政にまかせておけばよいと思うから」(26.6%)、「自分の生活には関係ないと思うから」(17.9%)となっている。



〈経年比較〉

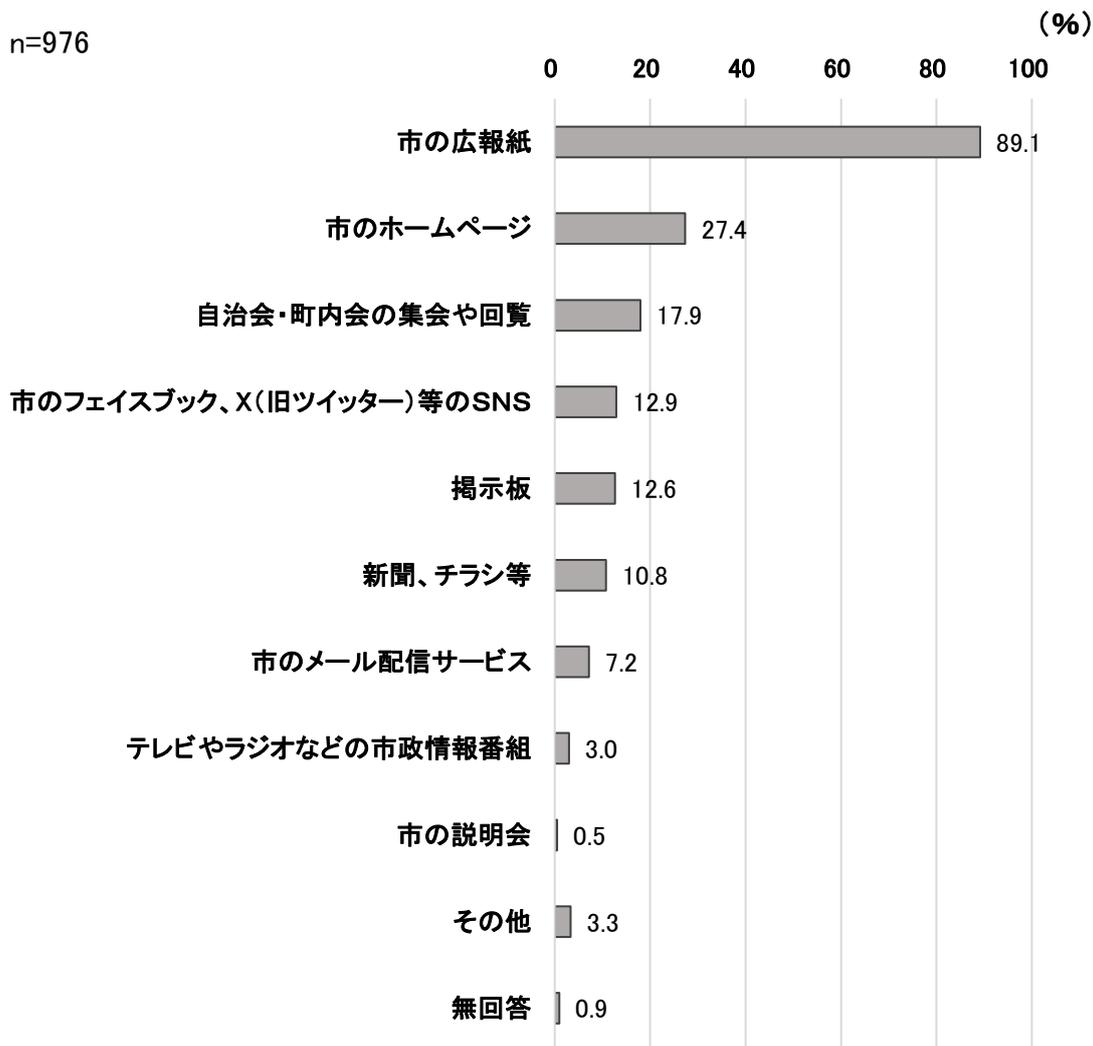
「住みつづけるつもりがないから」の割合は平成16年以降、減少している。一方、「自分の生活には関係ないと思うから」の割合は平成16年以降、増加している。また、「行政にまかせておけばよいから」の割合は令和元年に増加に転じ、令和5年も同程度となっている。



問10 あなたは、普段、市政情報（市が発信する情報、市からのお知らせ）をどのような媒体で入手していますか。次の中からすべて選んでください。

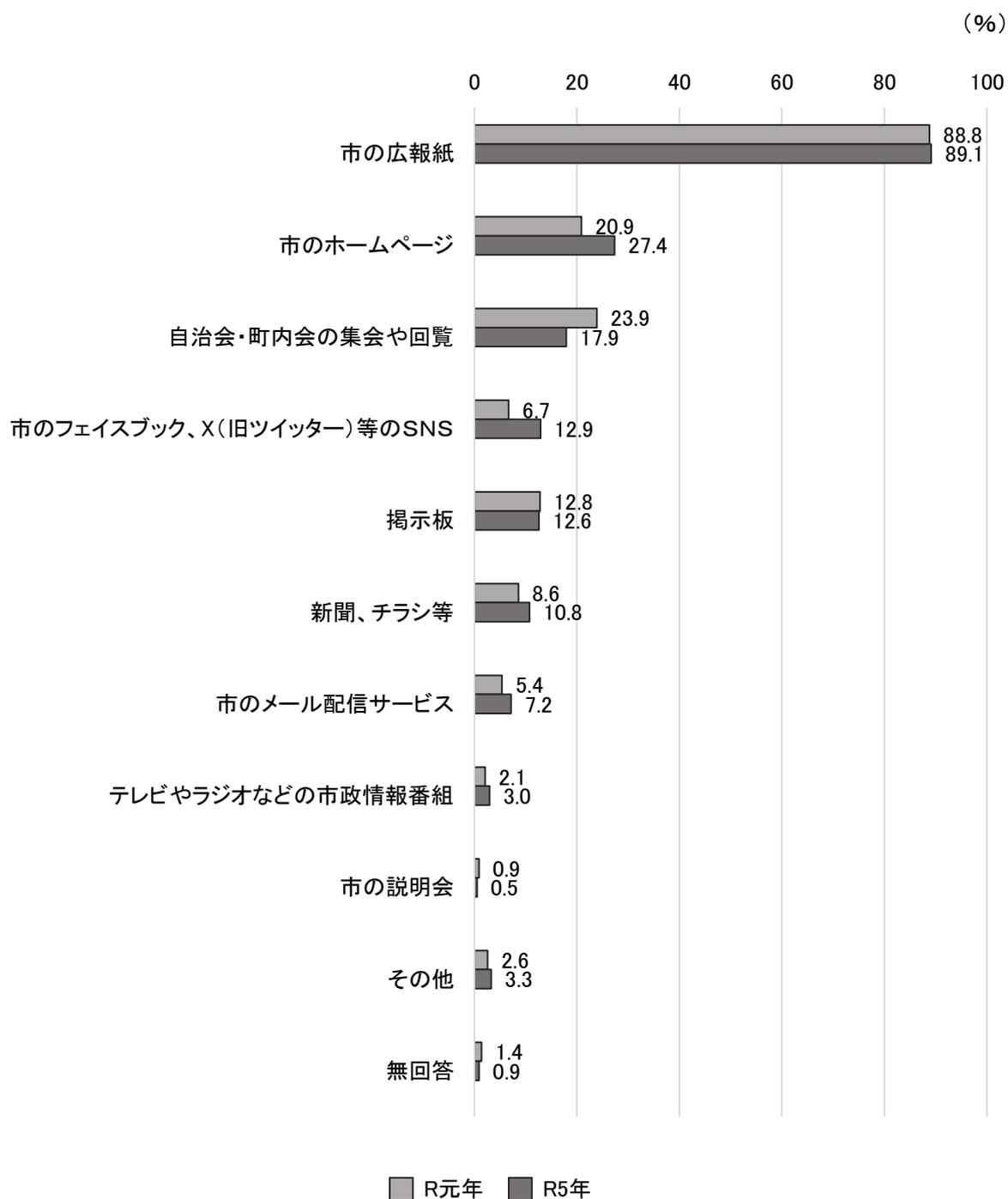
〈全体〉

市政情報の入手媒体は、「市の広報紙」の割合が89.1%で最も高く、続いて「市のホームページ」（27.4%）、「自治会・町内会の集会や回覧」（17.9%）、「市のフェイスブック、X（旧ツイッター）等のSNS」（12.9%）となっている。



〈経年比較〉

市政情報の入手媒体は、「市のホームページ」、「市のフェイスブック、X(旧ツイッター)等のSNS」の割合が5ポイント以上増加している。一方で、「自治会・町内会の集会や回覧」は減少している。

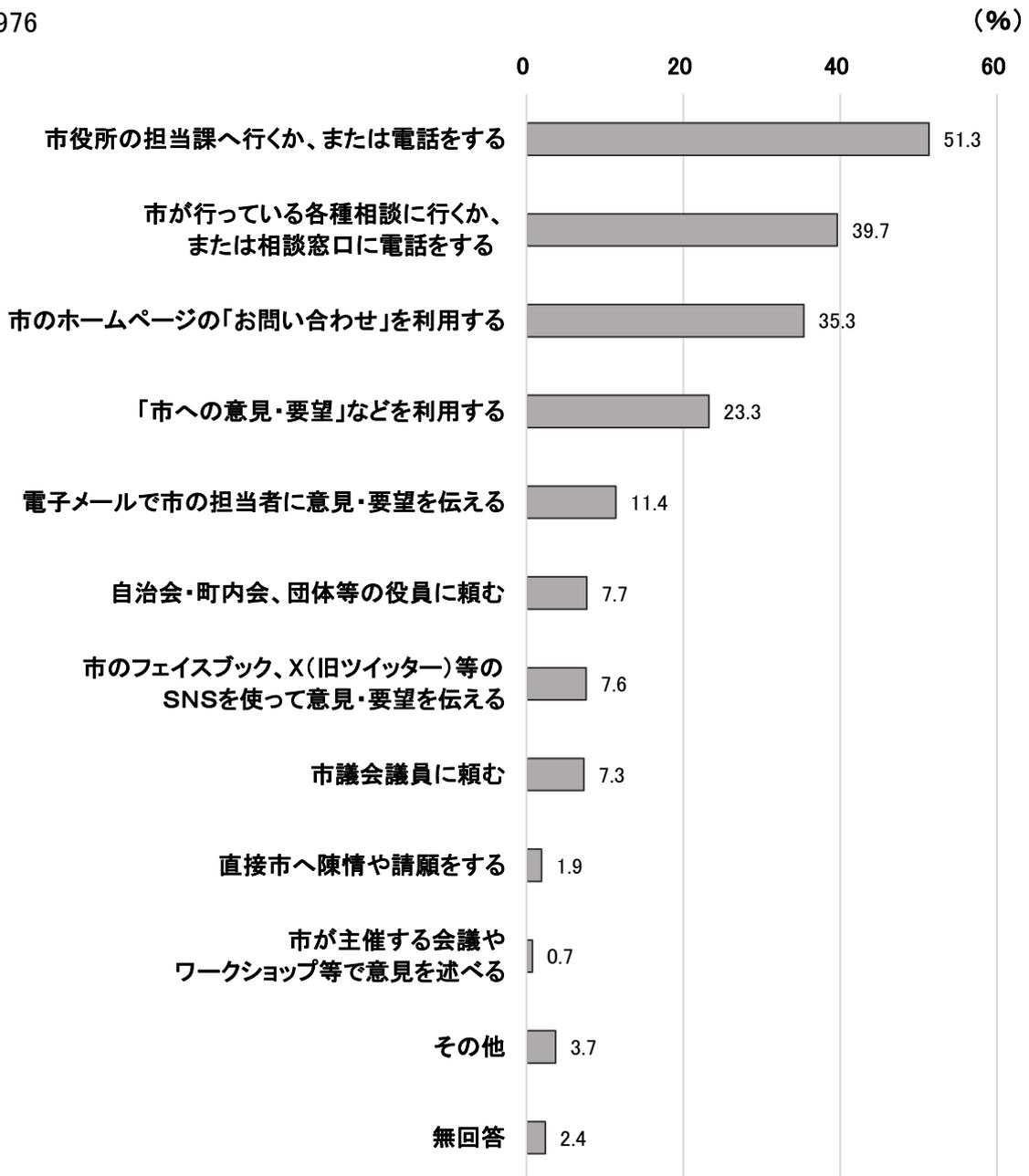


問11 あなたは、意見や要望などを市に伝えたい場合はどのような手段を選びますか。次の中から3つまで選んでください。

〈全体〉

市への意見や要望の伝達手段は、「市役所の担当課へ行くか、または電話をする」の割合が51.3%で最も高く、続いて「市が行っている各種相談に行くか、または相談窓口で電話をする」(39.7%)、「市のホームページの『お問い合わせ』を利用する」(35.3%)となっている。

n=976

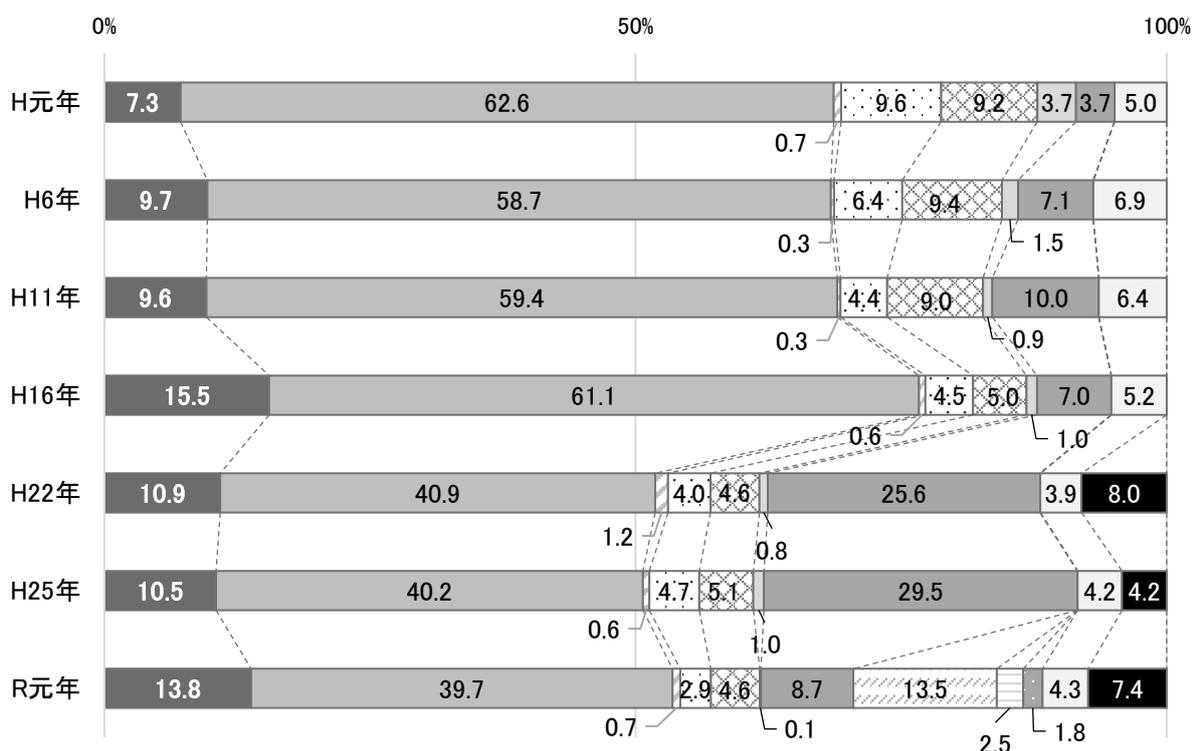


〈経年比較〉

「市が行っている各種相談に行くか、または相談窓口で電話をする」の割合は平成16年以降、減少していたが、令和元年に増加に転じている。一方、「『市への意見・要望』などを利用する」の割合は平成16年以降、増加していたが、令和元年に減少に転じている。

※選択肢「市のホームページの「お問い合わせ」を利用する」、「市のフェイスブック、X(旧ツイッター)等のSNSを使って意見・要望を伝える」、「電子メールで市の担当者に意見・要望を伝える」は、令和元年に追加したため、経年比較の対象外としている。

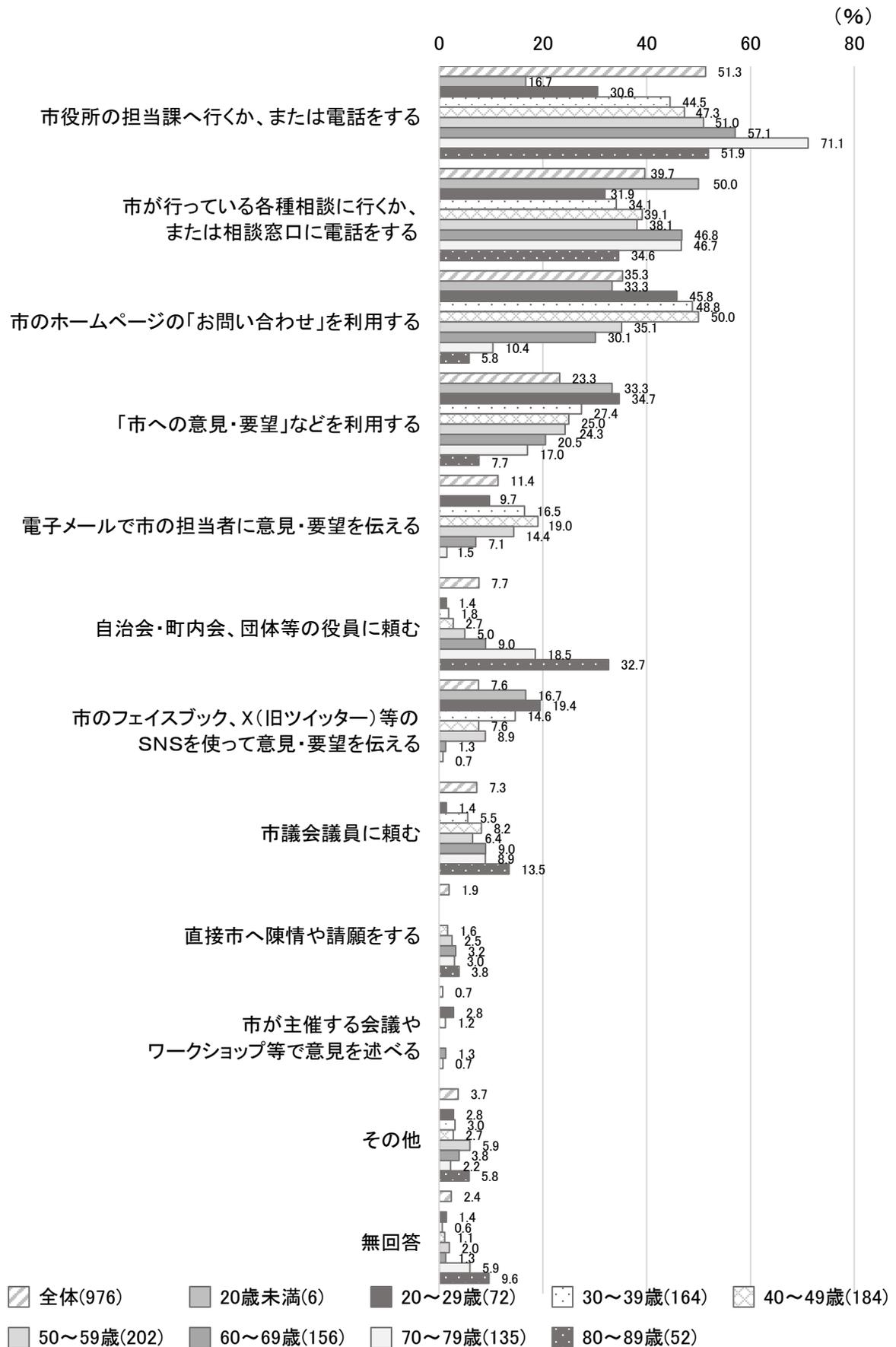
※令和5年に、単一回答から複数回答に変更しているため、過去の調査は参考として示す。



- 市が行っている各種相談に行くか、または相談窓口で電話をする
- 市役所の担当課へ行くか、または電話をする
- ▨ 市が主催する会議やワークショップ等で意見を述べる
- ▨ 市議会議員に頼む
- ▨ 自治会・町内会、団体等の役員に頼む
- 直接市へ陳情や請願をする
- 「市への意見・要望」などを利用する
- ▨ 市のホームページの「お問い合わせ」を利用する(R元年に選択肢追加)
- ▨ 市のフェイスブック、X(旧ツイッター)等のSNSを使って意見・要望を伝える(R元年に選択肢追加)
- ▨ 電子メールで市の担当者に意見・要望を伝える(R元年に選択肢追加)
- その他
- 無回答

〈年齢別比較〉

年代が高い方が、「市役所の担当課へ行くか、または電話をする」の割合が高い傾向がみられる。

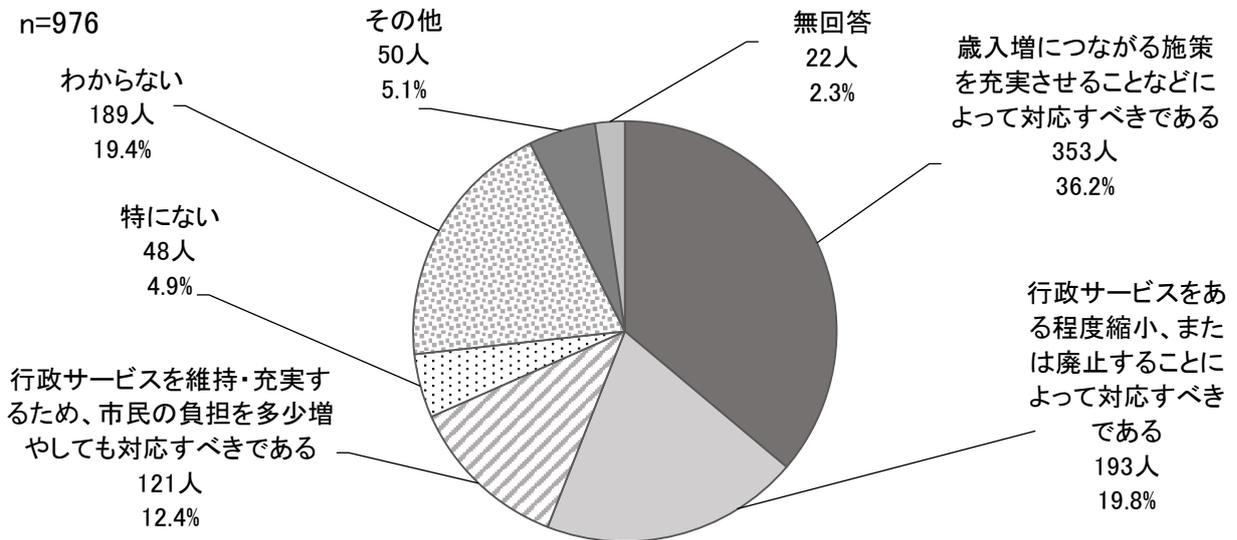


問12 今後、少子高齢化の進展により社会保障に関する支出の増加が見込まれるなど、市の財政状況がより厳しくなっていくことが予想されます。市が提供しているサービスの維持・充実について、市の努力で対応できる範囲を超えることがあった場合、どのように対応すべきだと思いますか。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

〈全体〉

行政サービスの維持・充実の考え方については、「歳入増につながる施策を充実させることなどによって対応すべきである」の割合が36.2%で最も高く、続いて「行政サービスをある程度縮小、または廃止することによって対応すべきである」(19.8%)、「行政サービスを維持・充実するため、市民の負担を多少増やしても対応すべきである」(12.4%)、「わからない」(19.4%)となっている。

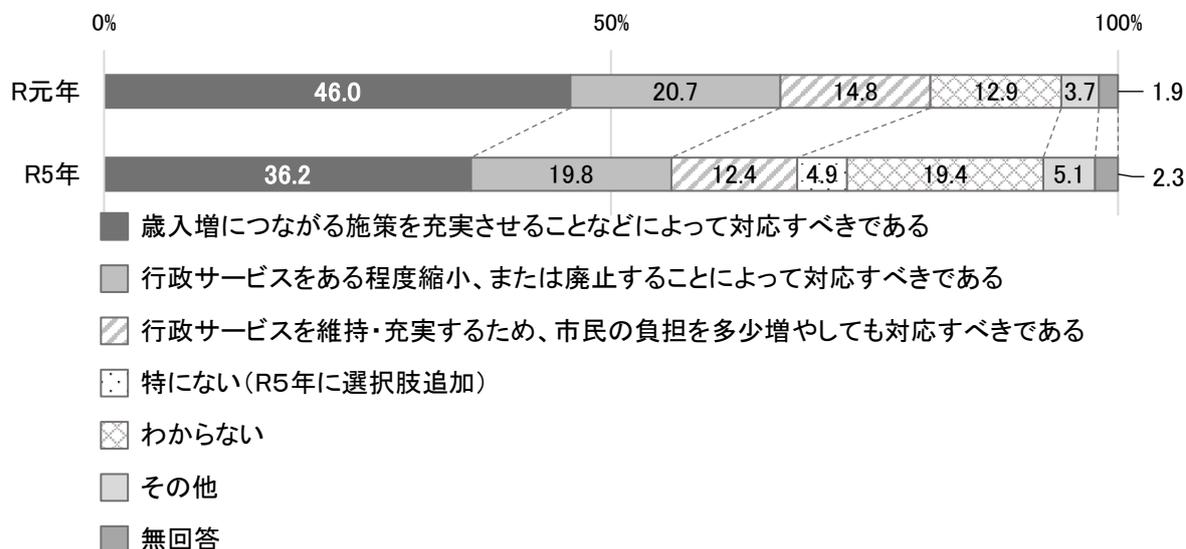
「その他」と回答した50人のうち、多かった意見として、「必要なもの・無駄なものを精査した上でのサービスの見直し」13人、「市議会議員定数の削減」7人が挙げられる。



〈経年比較〉

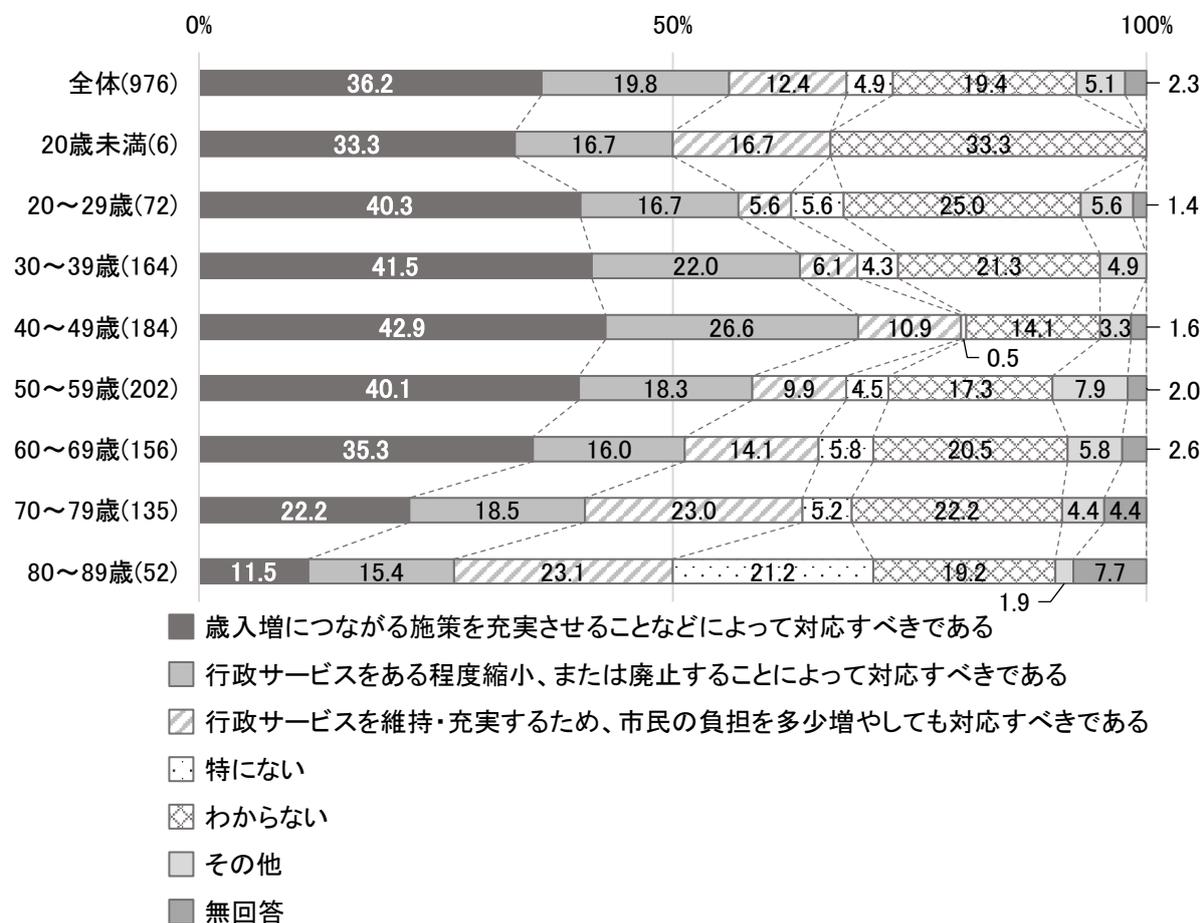
「歳入増につながる施策を充実させることなどによって対応すべきである」、「行政サービスをある程度縮小、または廃止することによって対応すべきである」、「行政サービスを維持・充実するため、市民の負担を多少増やしても対応すべきである」の割合が減少し、一方で「わからない」の割合が増加した。

※選択肢「特にない」は、令和5年に追加したため、経年比較の対象外としている。



〈年齢別比較〉

年代が低い方が、「歳入増につながる施策を充実させることなどによって対応すべきである」の割合が高くなる傾向がみられる。



4. 市の全般的な取組について

問13 以下に示す第5次朝霞市総合計画の政策分野ごとの取組（1から31）について、それぞれのよう感じていますか。次の取組ごとに、当てはまる番号を1つずつ選んでください。

（1）各分野の取組の満足度・重要度

第5次朝霞市総合計画前期基本計画の分野ごとの取組31項目のそれぞれについて、満足度と重要度を調査した。

〈満足度・全体〉

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた“満足”の割合が高く、5割を超えている取組は、「廃棄物処理」（58.8%）、「上下水道整備」（56.9%）、「防災・消防」（54.1%）の3項目である。

また、「やや不満である」と「不満である」を合わせた“不満”の割合が高く、2割を超えている取組は、「道路交通」（41.8%）、「土地利用」（23.7%）、「産業活性化」（22.2%）の3項目である。

〈重要度・全体〉

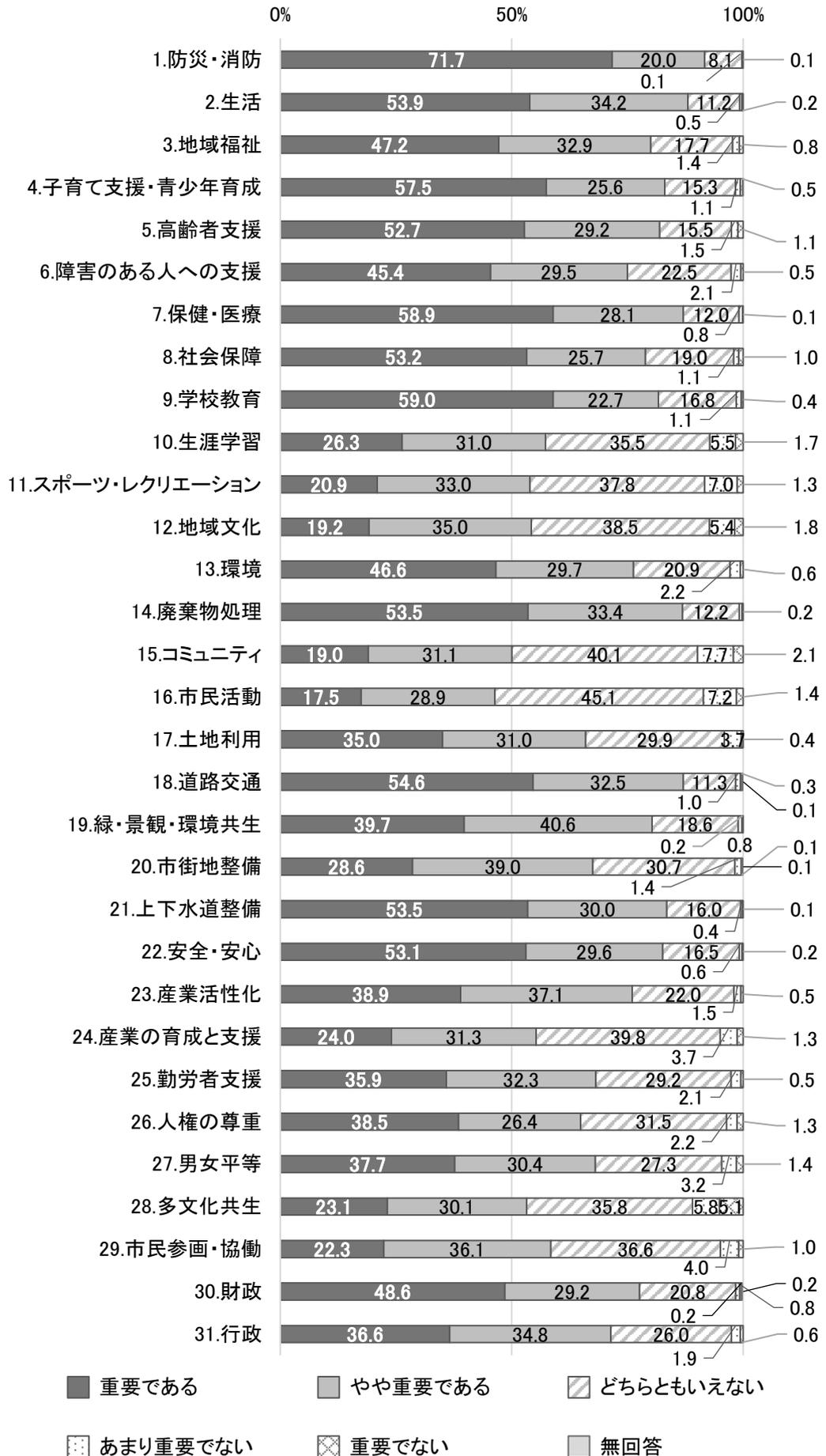
「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた“重要である”の割合が高く、8割を超えている取組は、「防災・消防」（91.7%）、「生活」（88.1%）、「道路交通」（87.1%）、「保健・医療」（87.0%）、「廃棄物処理」（86.9%）、「上下水道整備」（83.5%）、「子育て支援・青少年育成」（83.1%）、「安全・安心」（82.7%）、「高齢者支援」（81.9%）、「学校教育」（81.7%）、「緑・景観・環境共生」（80.3%）、「地域福祉」（80.1%）の12項目である。

また、「あまり重要でない」と「重要でない」を合わせた“重要でない”の割合が高く、1割を超えている取組は、「多文化共生」（10.9%）の1項目であり、続いて、「コミュニティ」（9.8%）、「市民活動」（8.6%）、「スポーツ・レクリエーション」（8.3%）となっている。

〈満足度〉



〈重要度〉



(2) 各分野の取組に対する満足度・重要度（加重平均）

各分野の取組に対する満足度・重要度の評価について、下記のとおり無回答を除く回答者の加重平均値を求め、数値化した。

＜満足度＞	＜重要度＞	＜ポイント＞
A：「満足している」	A：「重要である」	2ポイント
B：「ある程度満足している」	B：「どちらかといえば重要である」	1ポイント
C：「わからない」	C：「わからない」	0ポイント
D：「やや不満である」	D：「あまり重要でない」	-1ポイント
E：「不満である」	E：「重要でない」	-2ポイント

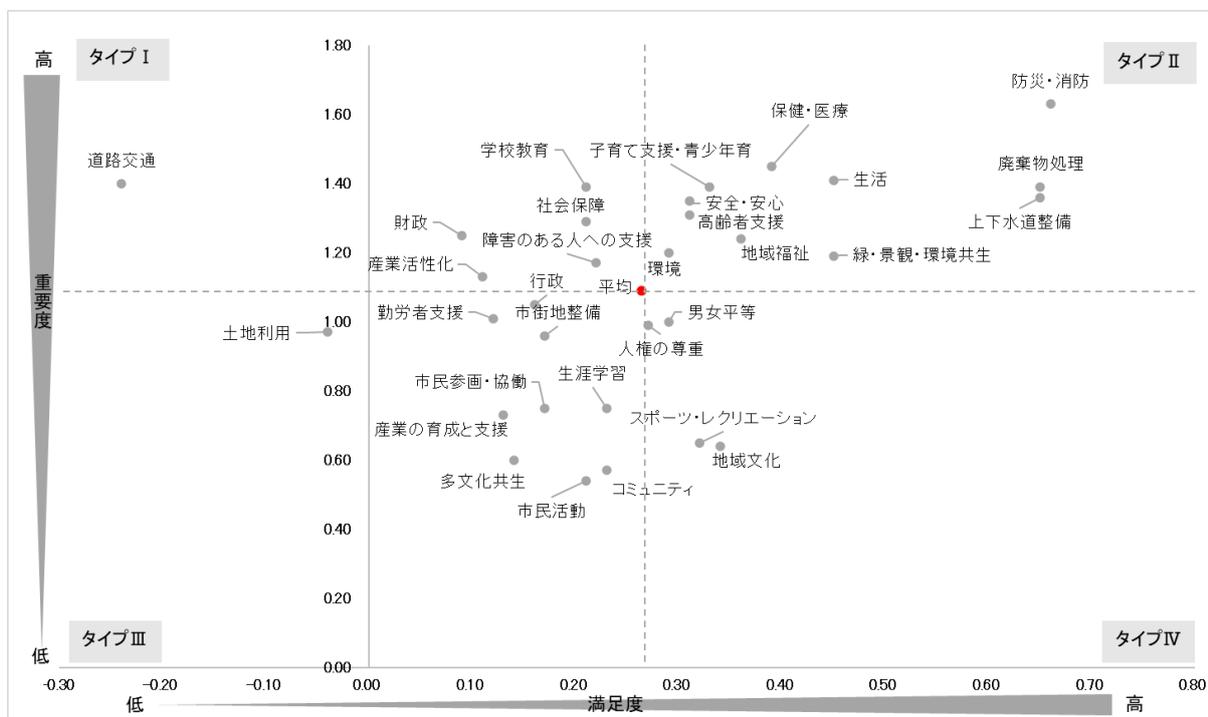
$$\text{加重平均} = \frac{A \times 2 + B \times 1 + C \times 0 + D \times (-1) + E \times (-2)}{\text{(無回答を除く回答総数)}}$$

※回答者が全員「満足している」「重要である」であれば、2.0ポイントとなり、全員が「ある程度満足している」「どちらかといえば重要である」であれば、1.0ポイントとなる。

満足度は「土地利用」、「道路交通」を除きプラス評価で、また重要度はすべてプラスの評価となっている。満足度が高い上位項目は、「防災・消防」、「廃棄物処理」、「上下水道整備」で、また、重要度が高い上位項目は、「防災・消防」、「保健・医療」、「生活」となっている。

分野ごとの取組	満足度	重要度
1.防災・消防	0.66	1.63
2.生活	0.45	1.41
3.地域福祉	0.36	1.24
4.子育て支援・青少年育成	0.33	1.39
5.高齢者支援	0.31	1.31
6.障害のある人への支援	0.22	1.17
7.保健・医療	0.39	1.45
8.社会保障	0.21	1.29
9.学校教育	0.21	1.39
10.生涯学習	0.23	0.75
11.スポーツ・レクリエーション	0.32	0.65
12.地域文化	0.34	0.64
13.環境	0.29	1.20
14.廃棄物処理	0.65	1.39
15.コミュニティ	0.23	0.57
16.市民活動	0.21	0.54
17.土地利用	-0.04	0.97
18.道路交通	-0.24	1.40
19.緑・景観・環境共生	0.45	1.19
20.市街地整備	0.17	0.96
21.上下水道整備	0.65	1.36
22.安全・安心	0.31	1.35
23.産業活性化	0.11	1.13
24.産業の育成と支援	0.13	0.73
25.勤労者支援	0.12	1.01
26.人権の尊重	0.27	0.99
27.男女平等	0.29	1.00
28.多文化共生	0.14	0.60
29.市民参画・協働	0.17	0.75
30.財政	0.09	1.25
31.行政	0.16	1.05
平均	0.26	1.09

続いて、満足度と重要度の相関関係をマトリクス(散布図)で表す。縦軸は「重要度」、横軸は「満足度」を表しており、2本の破線は、それぞれ「重要度」の全項目(31項目)の平均値と、「満足度」の全項目(31項目)の平均値の位置を示している。



なお、4つの象限別には、以下のとおり分類される。

タイプ I	「重要度」が平均値以上で、「満足度」は平均値以下のもの。 重要度が高いが、現在の満足度が低いことから、 今後力を入れて取り組むべきと考えられる項目
タイプ II	「重要度」が平均値以上で、「満足度」も平均値以上のもの。 今後の重要度が高いが、現在の満足度も高いことから、 現状維持を図るべきと考えられる項目
タイプ III	「重要度」が平均値以下で、「満足度」も平均値以下のもの。 現在の満足度が低い、今後の重要度も低いことから、 状況に応じて取り組むべきと考えられる項目
タイプ IV	「重要度」が平均値以下で、「満足度」は平均値以上のもの。 現在の満足度が高く、今後の重要度は低いことから、 水準の維持は求められるが、市民からみた優先度は高くないと考えられる項目

〈経年比較〉

今回調査では、満足度平均・重要度平均ともに、前回調査を上回っている（令和元年度調査の満足度平均は0.20、重要度平均は0.95）。

タイプⅢ（状況に応じて取り組むべき項目）から、新たにタイプⅠ（今後注力すべき項目）の位置づけとなった項目としては、産業活性化、財政があげられる。一方、タイプⅠ（今後注力すべき項目）から、タイプⅡ（現状維持の項目）の位置づけに変わった項目としては、安全・安心、高齢者支援、地域福祉があげられる。

	令和5年度調査	令和元年度調査
タイプⅠ	道路交通／学校教育／社会保障／障害のある人への支援／産業活性化／財政	道路交通／安全・安心／学校教育／高齢者支援／障害者支援／地域福祉・社会保障
タイプⅡ	防災・消防／廃棄物処理／上下水道整備／生活／保健・医療／子育て支援・青少年育成／高齢者支援／地域福祉／安全・安心／緑・景観・環境共生／環境	防災・消防／ごみ処理／生活／保健・医療／市街地整備／子育て支援・青少年育成／緑・景観・環境共生／環境
タイプⅢ	土地利用／市街地整備／勤労者支援／産業の育成と支援／市民参画・協働／市民活動／コミュニティ／多文化共生／生涯学習／行政	土地利用／勤労者支援／産業の育成と支援／産業活性化／男女平等／人権の尊重／市民参画・協働／市民活動／多文化共生／シティ・セールス朝霞ブランド／行財政
タイプⅣ	人権の尊重／男女平等／スポーツ・レクリエーション／地域文化	生涯学習／スポーツ・レクリエーション／コミュニティ／地域文化

【参考】興味・関心の有無の割合

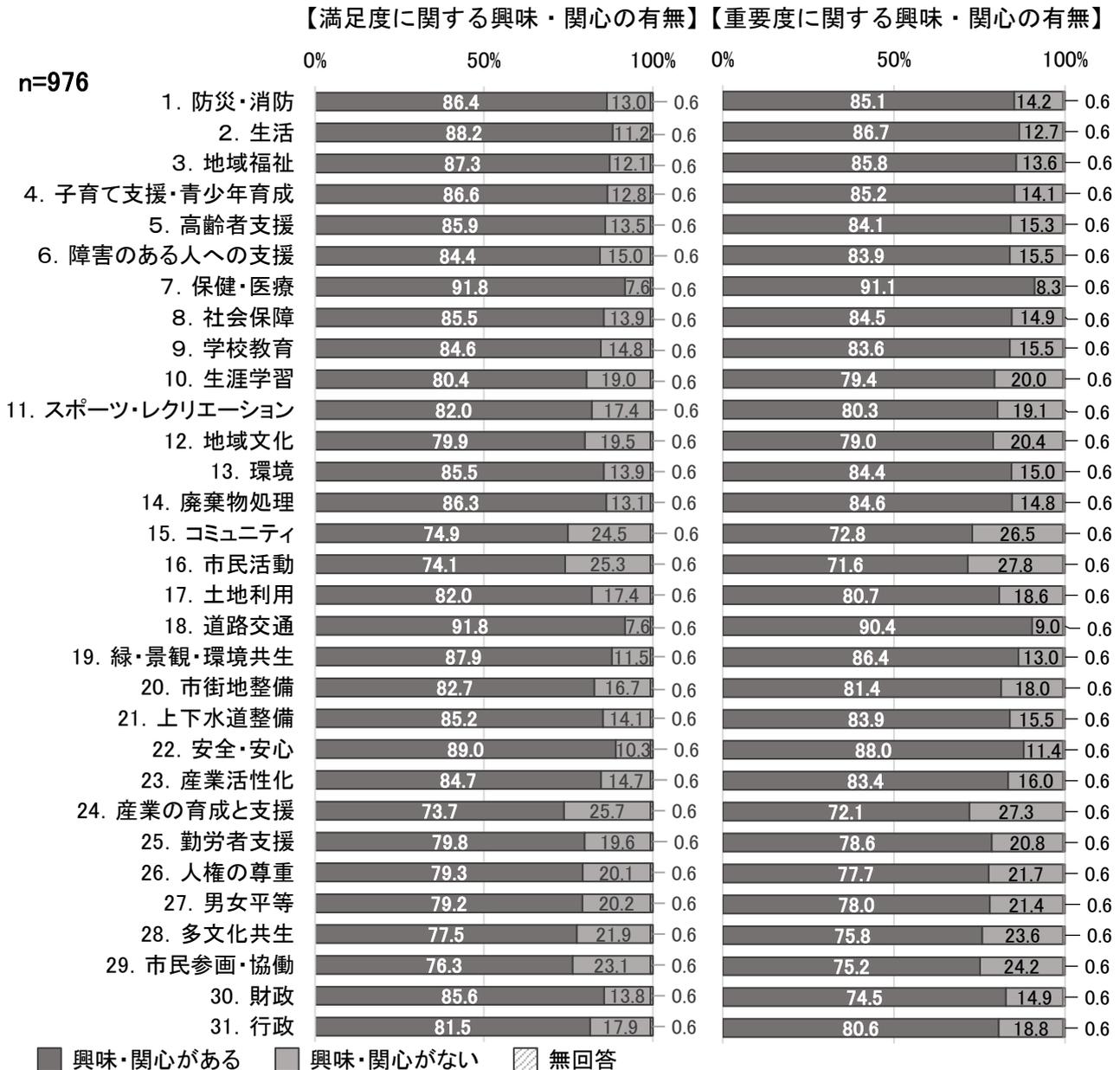
各取組の満足度・重要度割合は、各取組に「興味・関心がない」と回答した人を除いて算出した。この際、用紙の調査票では、満足度・重要度を合わせて、取組ごとの興味・関心を聞いたが、一方、インターネットによる回答では、満足度または重要度ごと、かつ取組ごとに、興味・関心の有無を聞いた。以下には、参考として、満足度・重要度ごとの興味・関心の有無の割合について示す。

〈満足度に関する興味・関心の有無〉

満足度についての各取組への関心は、すべての取組で7割以上が「興味・関心がある」と答えている。「道路交通」「保健・医療」(91.8%)が最も高く、「産業の育成と支援」(73.7%)は最も低い。

〈重要度に関する興味・関心の有無〉

重要度についての各取組への関心は、すべての取組で7割以上が「興味・関心がある」と答えている。「保健・医療」(91.1%)が最も多く、「市民活動」(71.6%)は最も低い。



〈満足度・年齢別比較〉

60～69歳および70～79歳では「保健・医療」、70～79歳では「高齢者支援」、80～89歳では「学校教育」と「産業活性化」が上位5項目に入っている。

〈重要度・年齢別比較〉

20～29歳および30～39歳では「子育て支援・青少年育成」、30～39歳および40～49歳では「学校教育」、50～59歳、60～69歳、70～79歳では「高齢者支援」が上位5項目に入っている。

〈満足度・居住地区別比較〉

D地区では「安全・安心」が上位5項目に入っている。

〈重要度・居住地区別比較〉

D地区では「学校教育」、B地区では「安全・安心」、C地区では「子育て支援・青少年育成」が上位5項目に入っている。

満足度〈全体〉

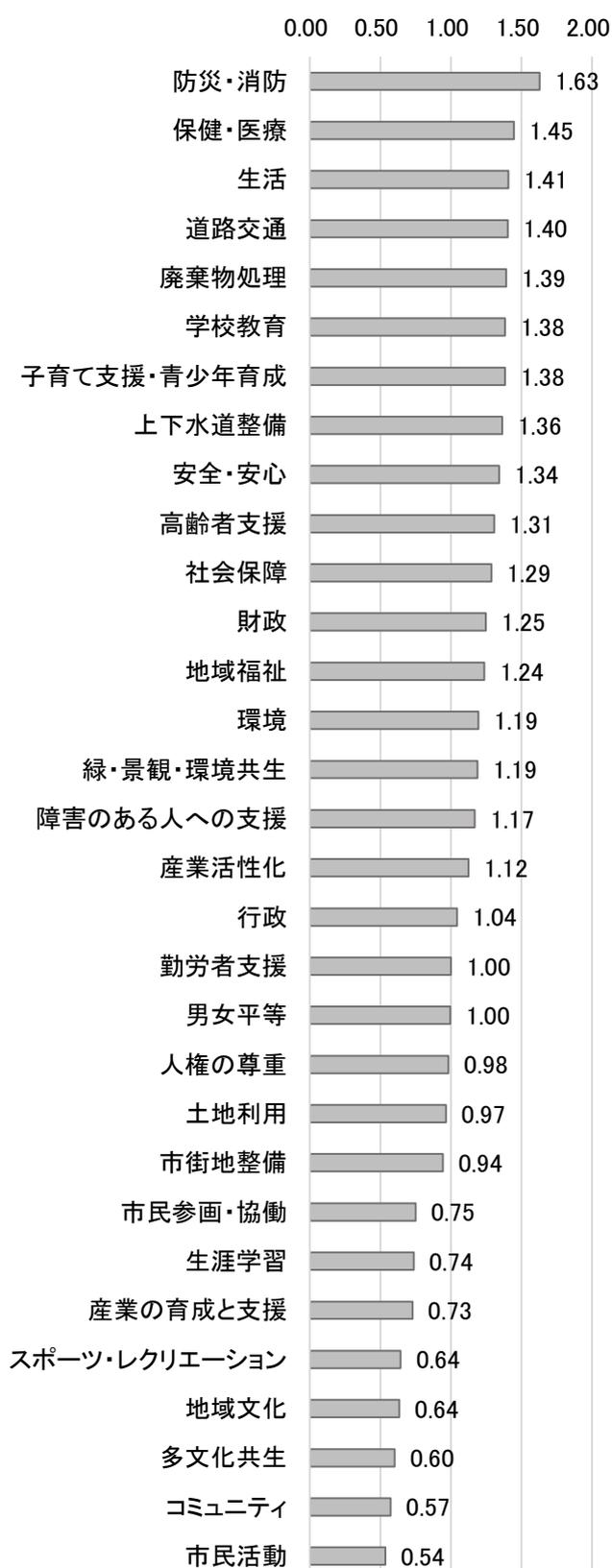
重要度〈全体〉

n=976

(%)

n=976

(%)



満足度<20歳未満>

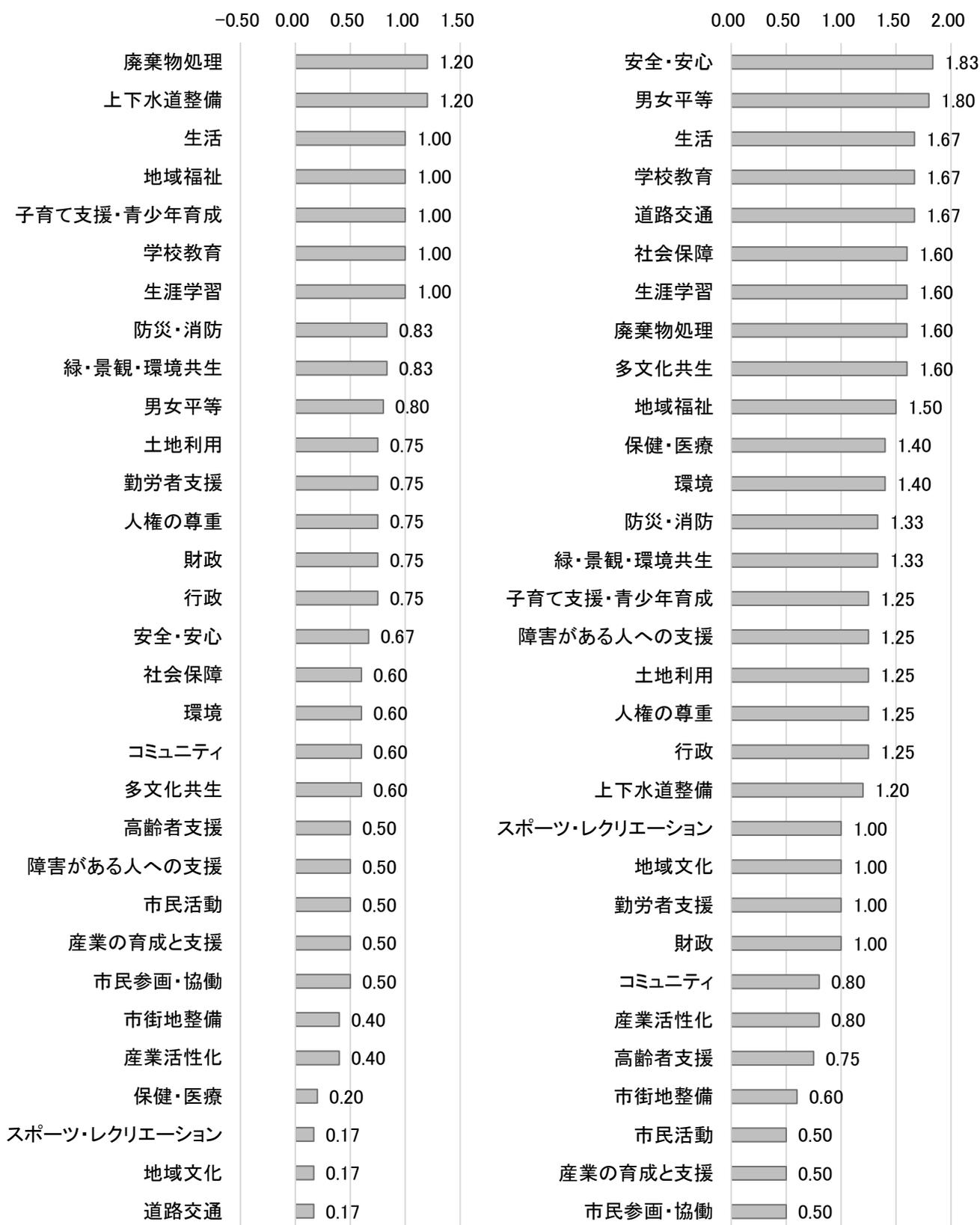
重要度<20歳未満>

n=6

(%)

n=6

(%)



満足度〈20~29歳〉

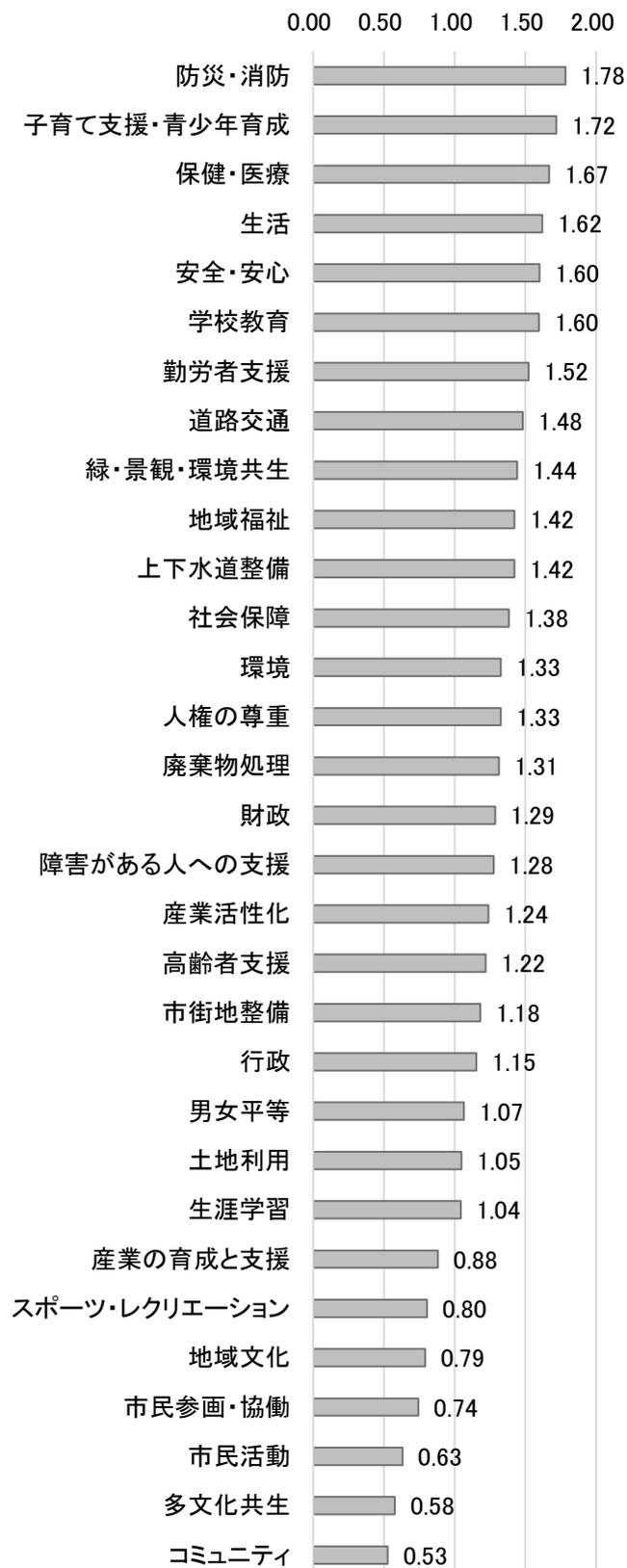
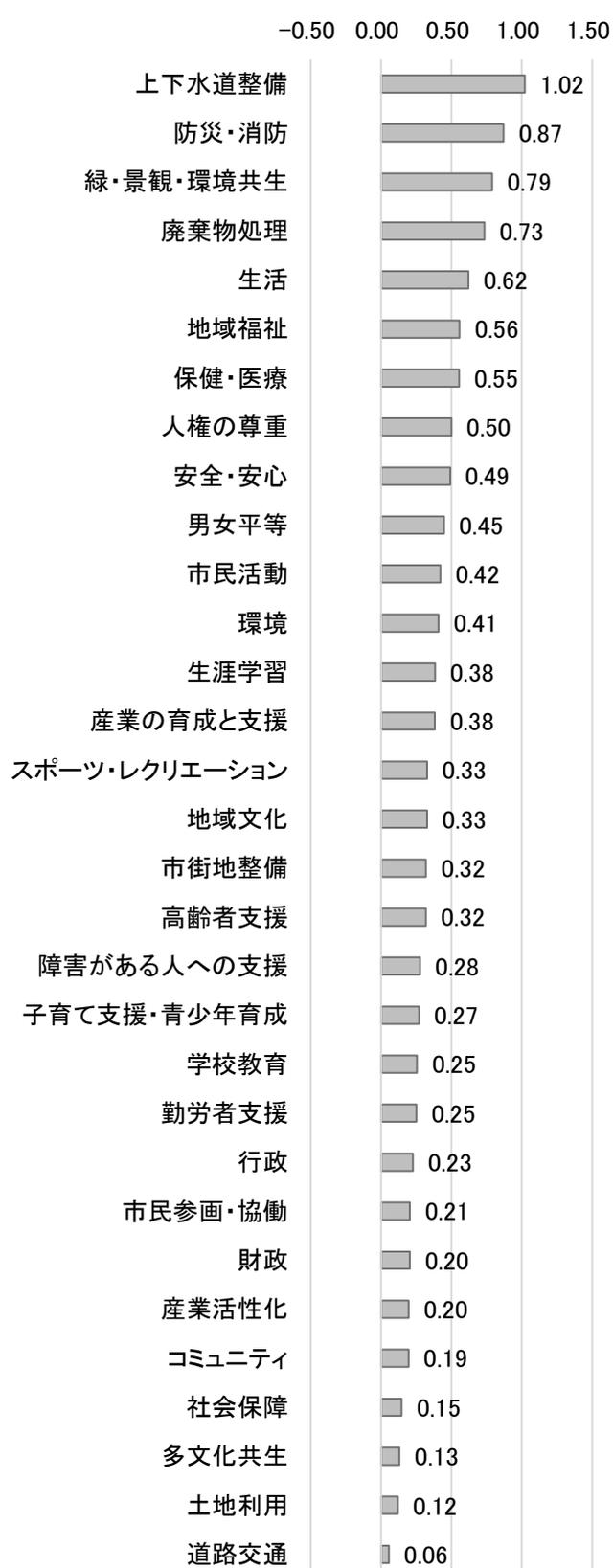
重要度〈20~29歳〉

n=72

(%)

n=72

(%)



満足度<30~39歳>

重要度<30~39歳>

n=164

(%)

n=164

(%)



満足度〈40~49歳〉

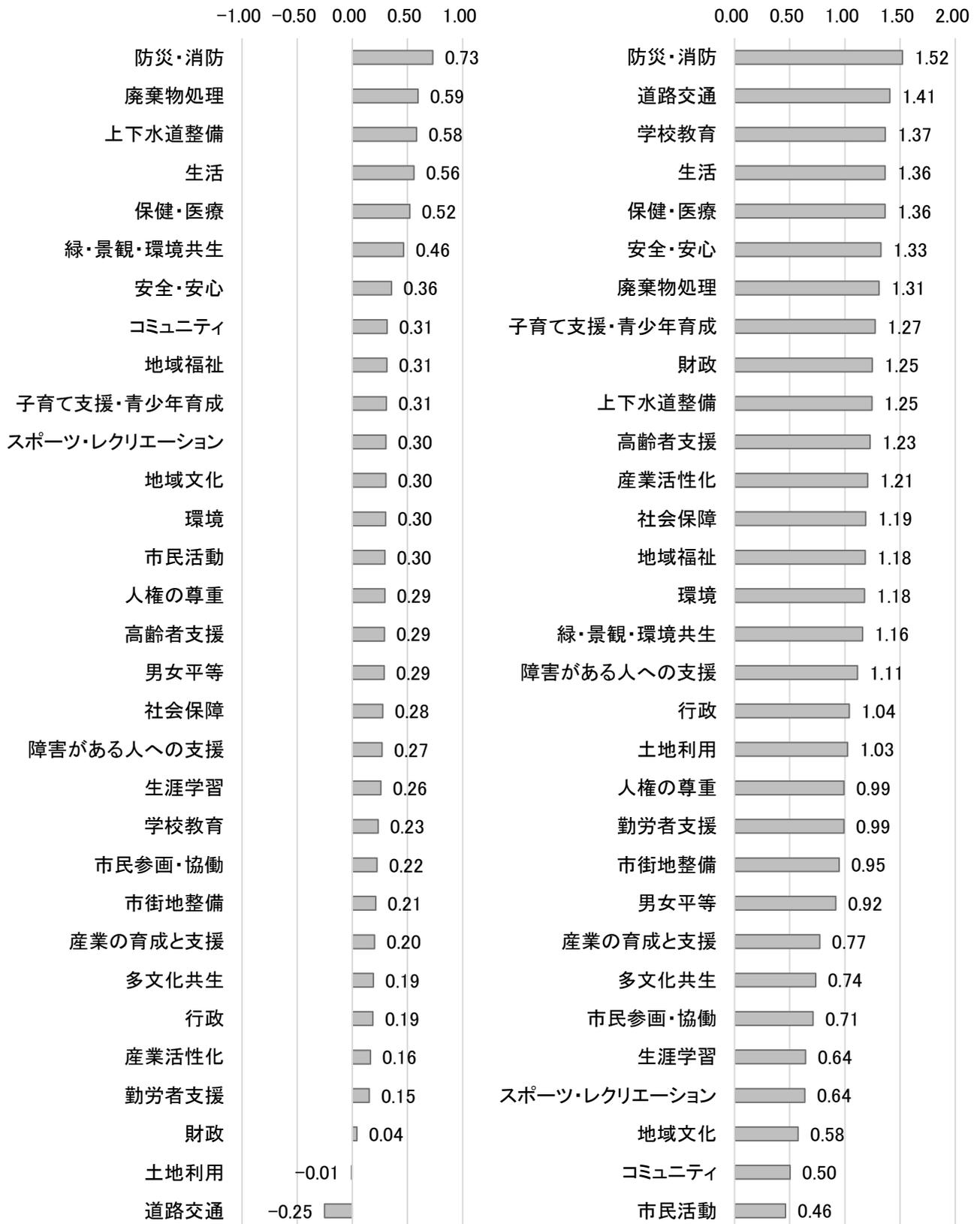
重要度〈40~49歳〉

n=184

(%)

n=184

(%)



満足度〈50~59歳〉

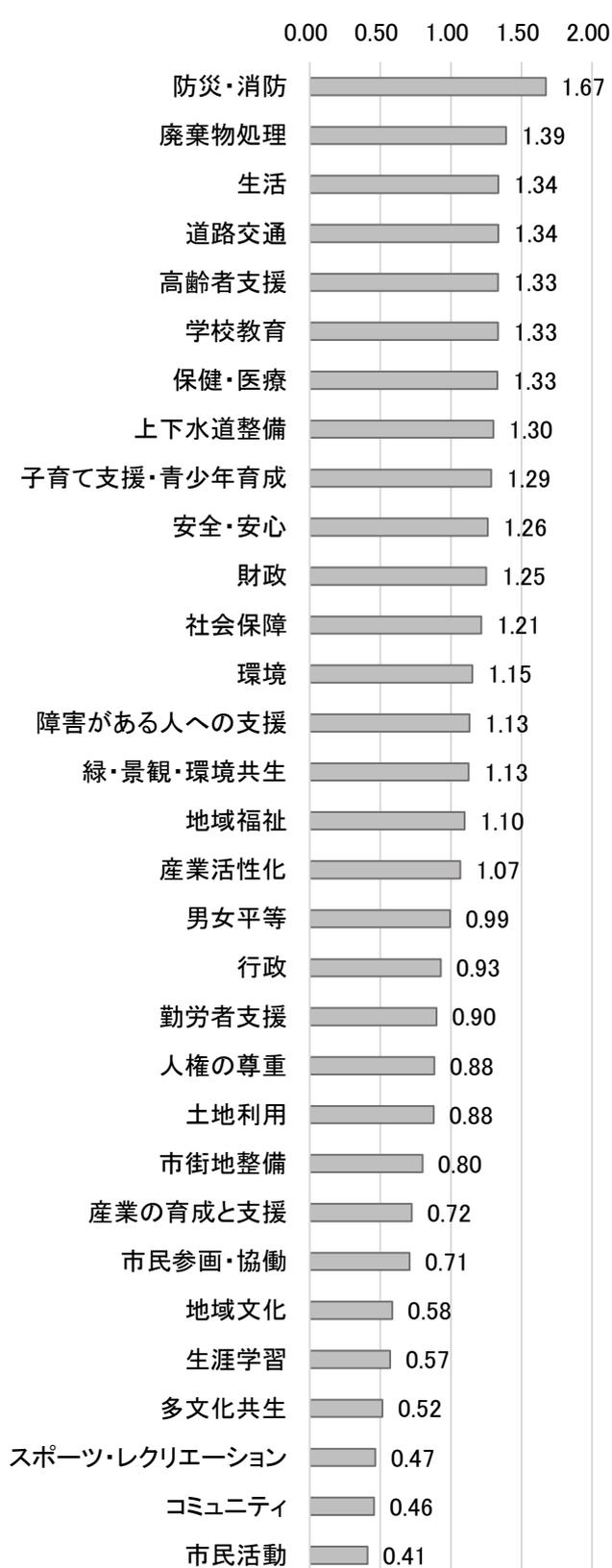
重要度〈50~59歳〉

n=202

(%)

n=202

(%)



満足度〈60~69歳〉

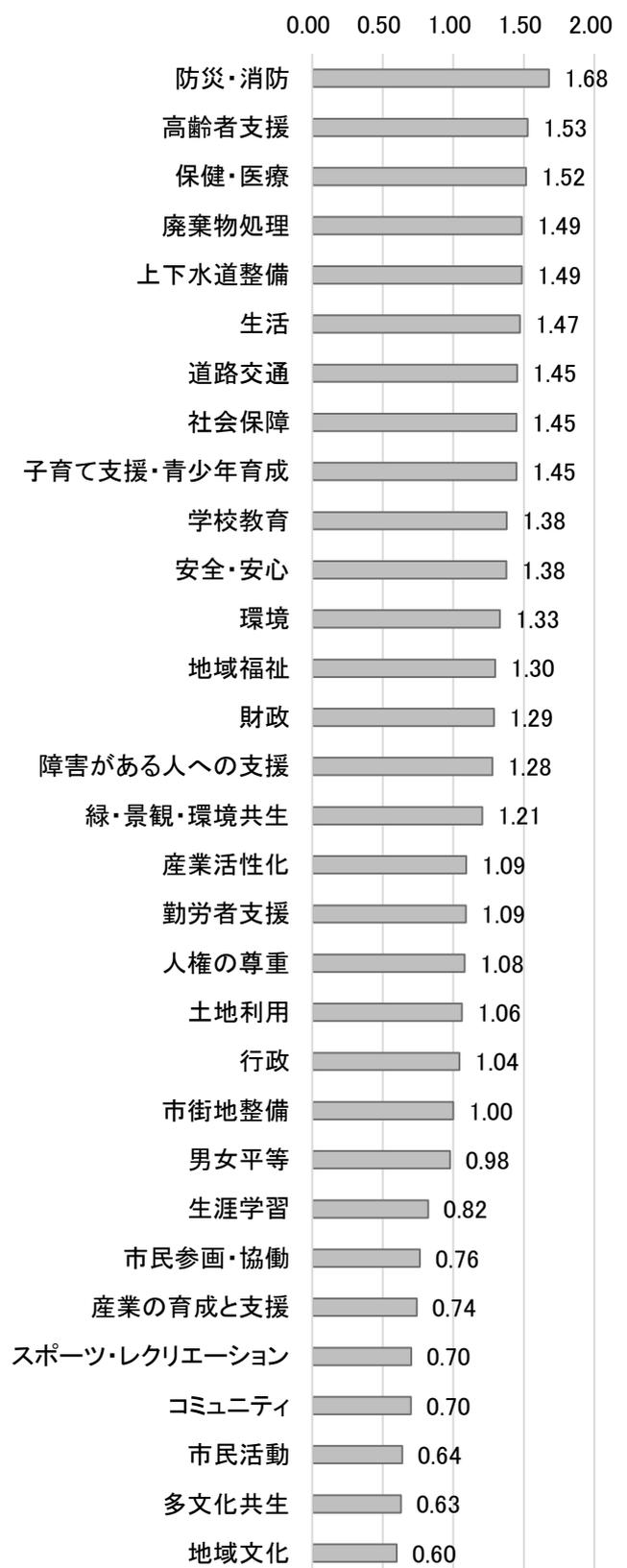
重要度〈60~69歳〉

n=156

(%)

n=156

(%)



満足度〈70~79歳〉

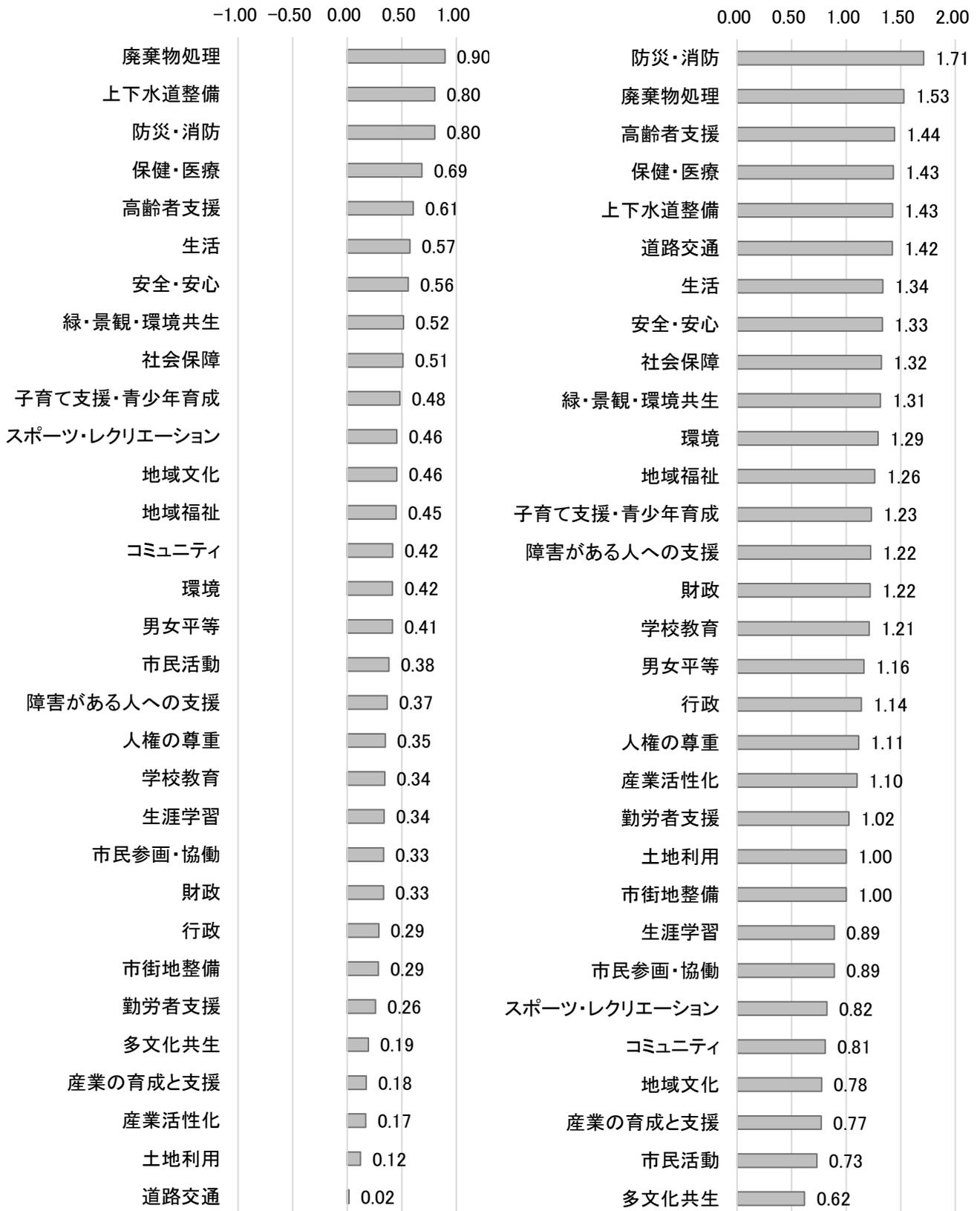
重要度〈70~79歳〉

n=135

(%)

n=135

(%)



満足度<80~89歳>

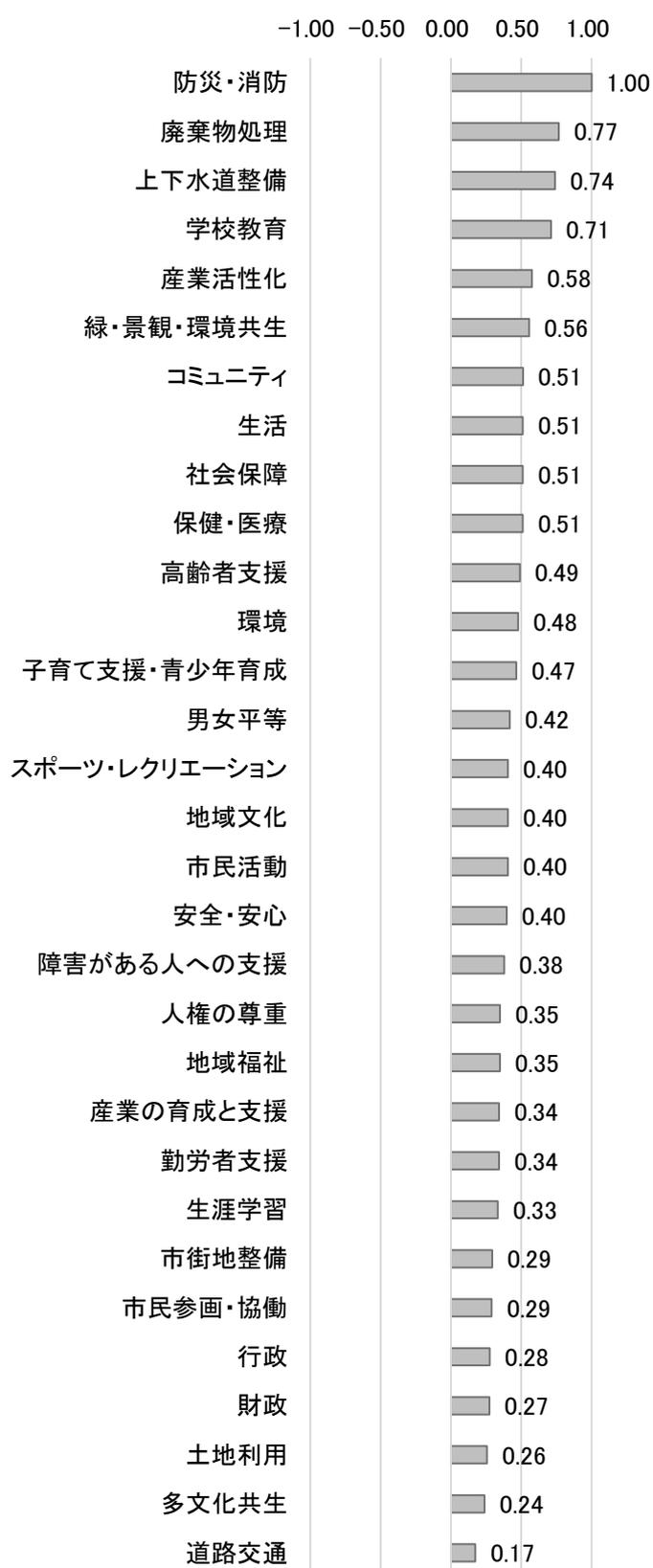
重要度<80~89歳>

n=52

(%)

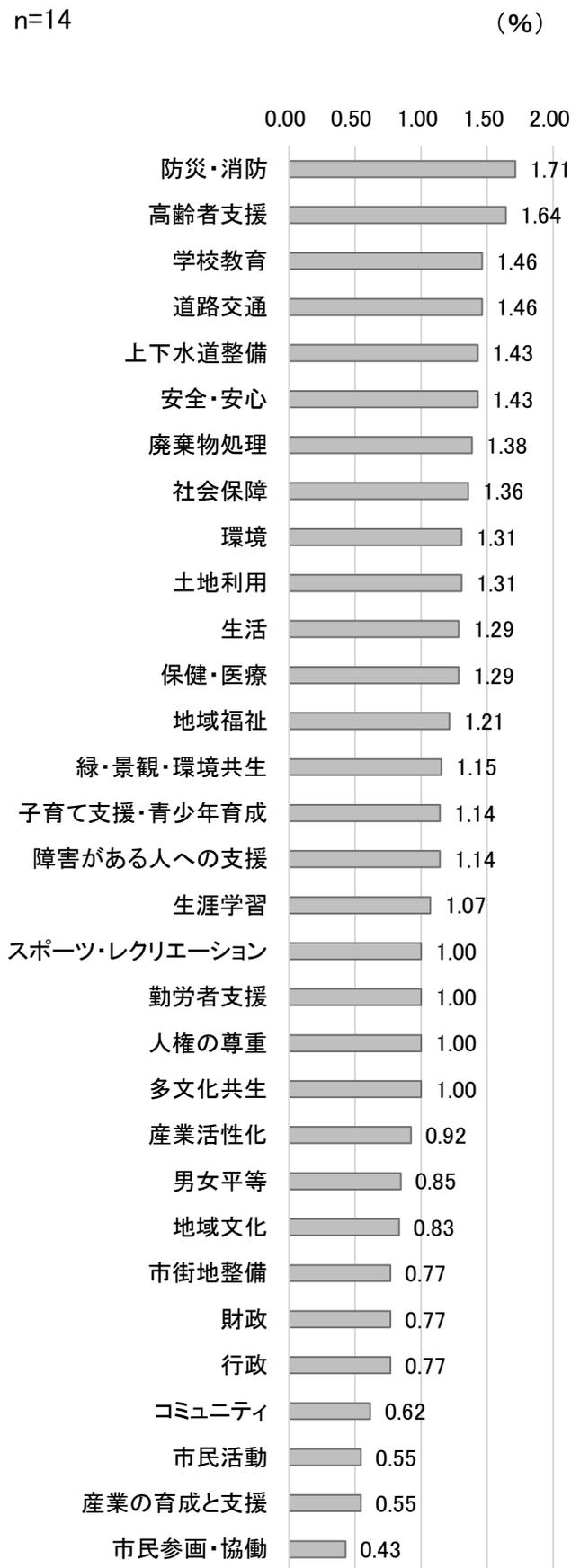
n=52

(%)



満足度<A地区>

重要度<A地区>



満足度〈B地区〉

n=208

(%)

-1.00 -0.50 0.00 0.50 1.00

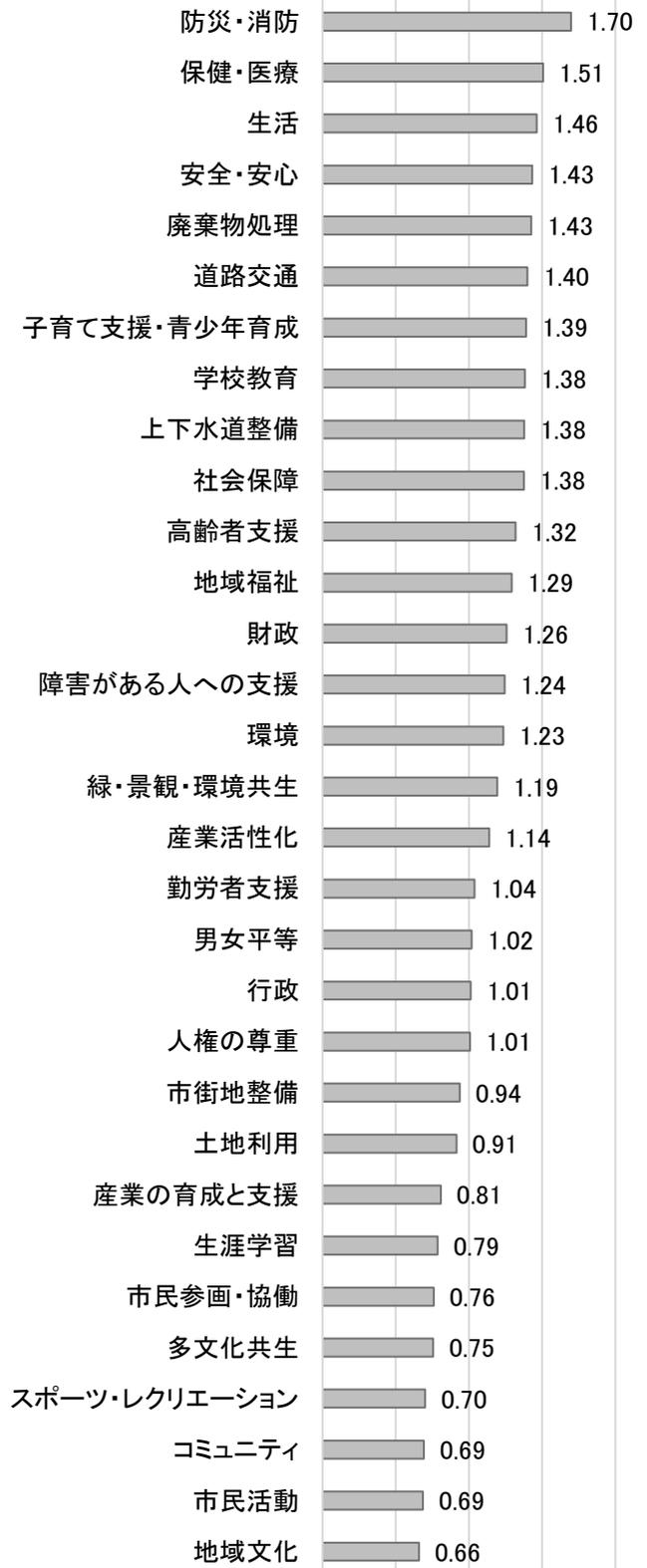


重要度〈B地区〉

n=208

(%)

0.00 0.50 1.00 1.50 2.00



満足度<C地区>

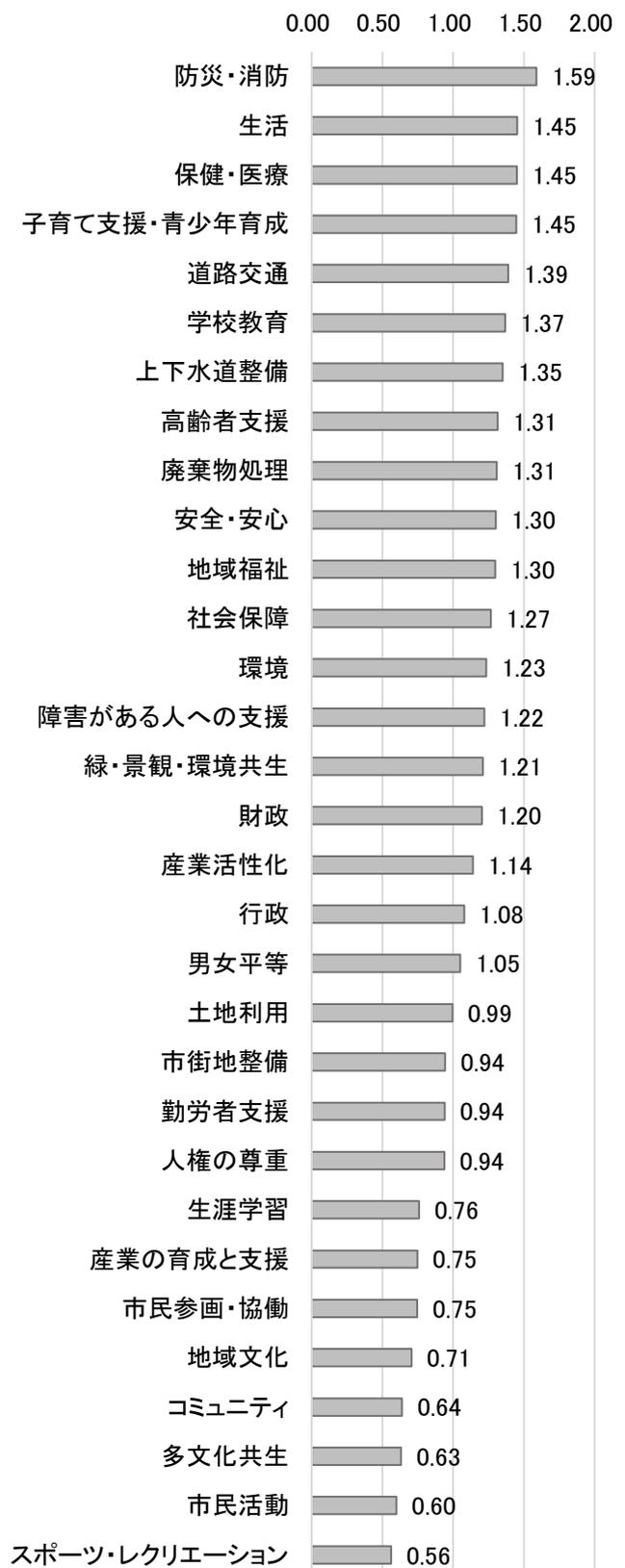
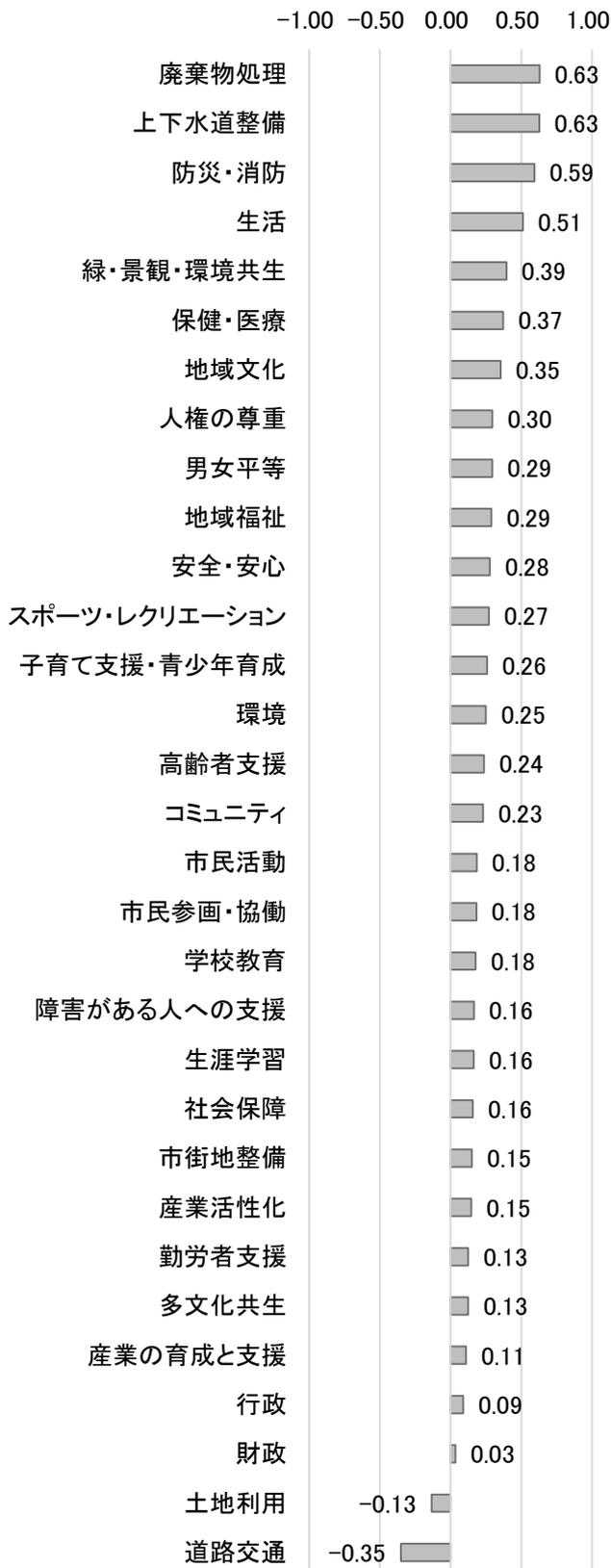
重要度<C地区>

n=208

(%)

n=208

(%)

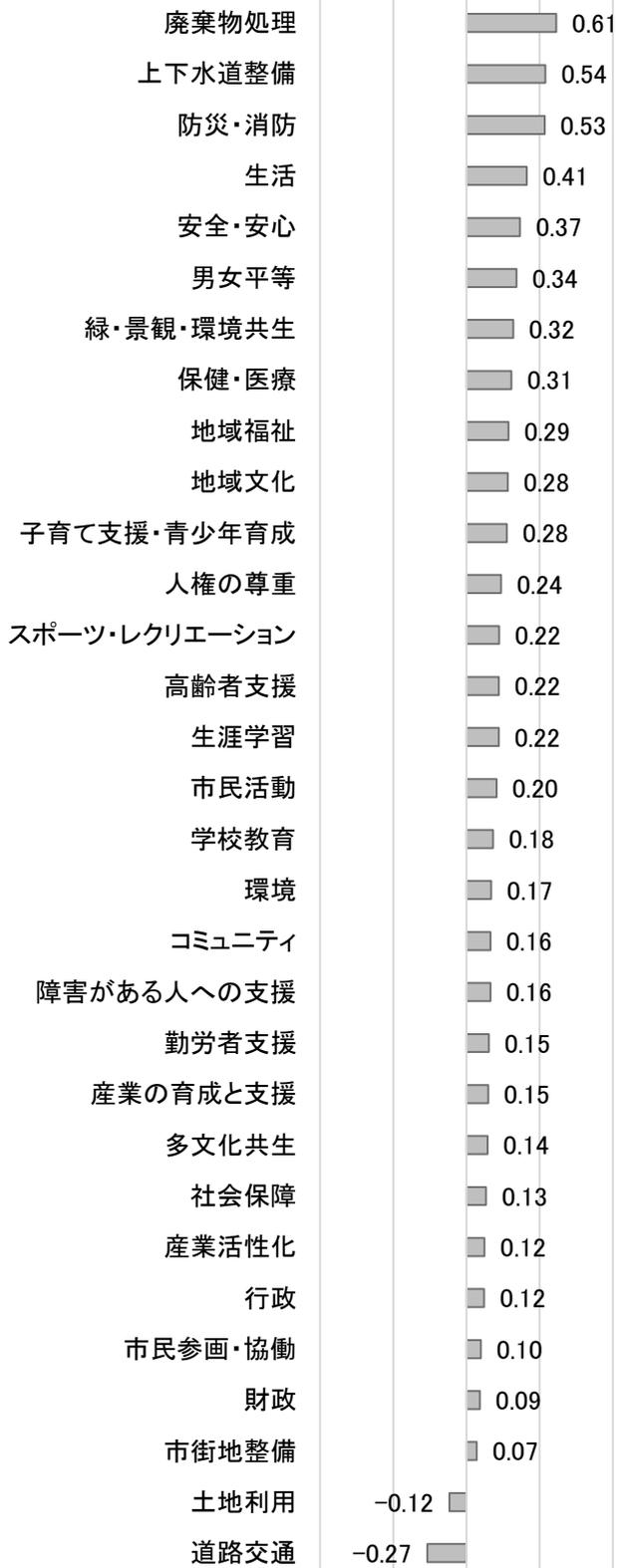


満足度〈D地区〉

n=176

(%)

-1.00 -0.50 0.00 0.50 1.00

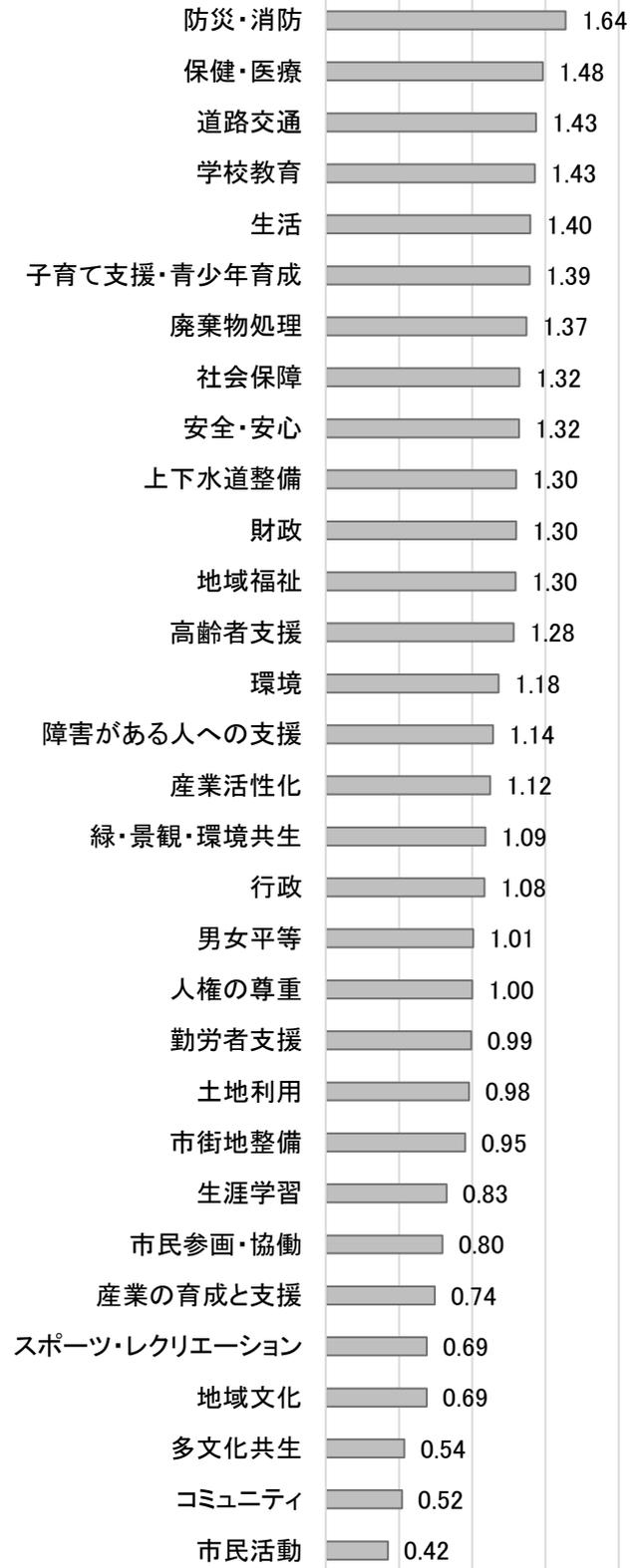


重要度〈D地区〉

n=176

(%)

0.00 0.50 1.00 1.50 2.00



満足度〈E地区〉

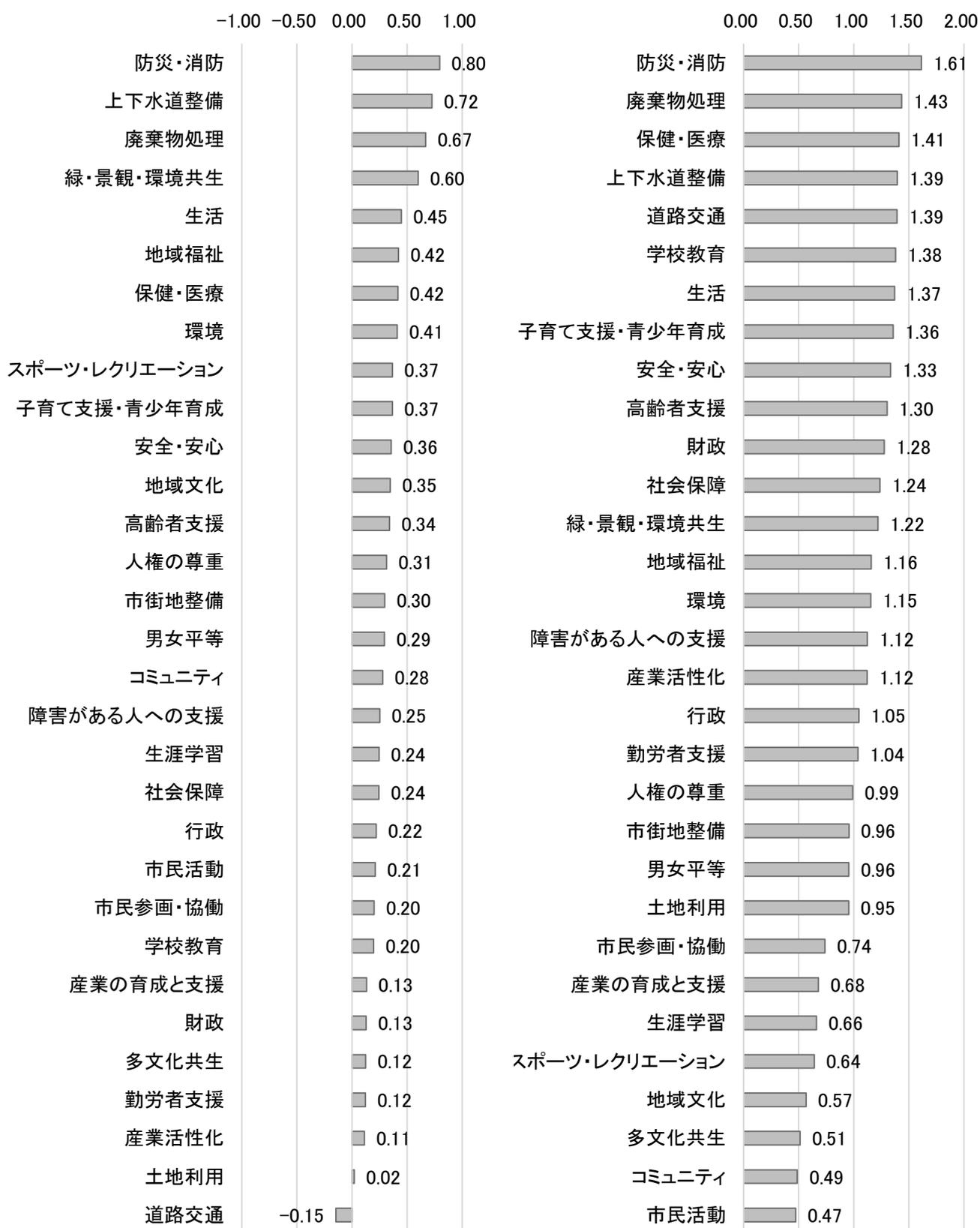
重要度〈E地区〉

n=368

(%)

n=368

(%)



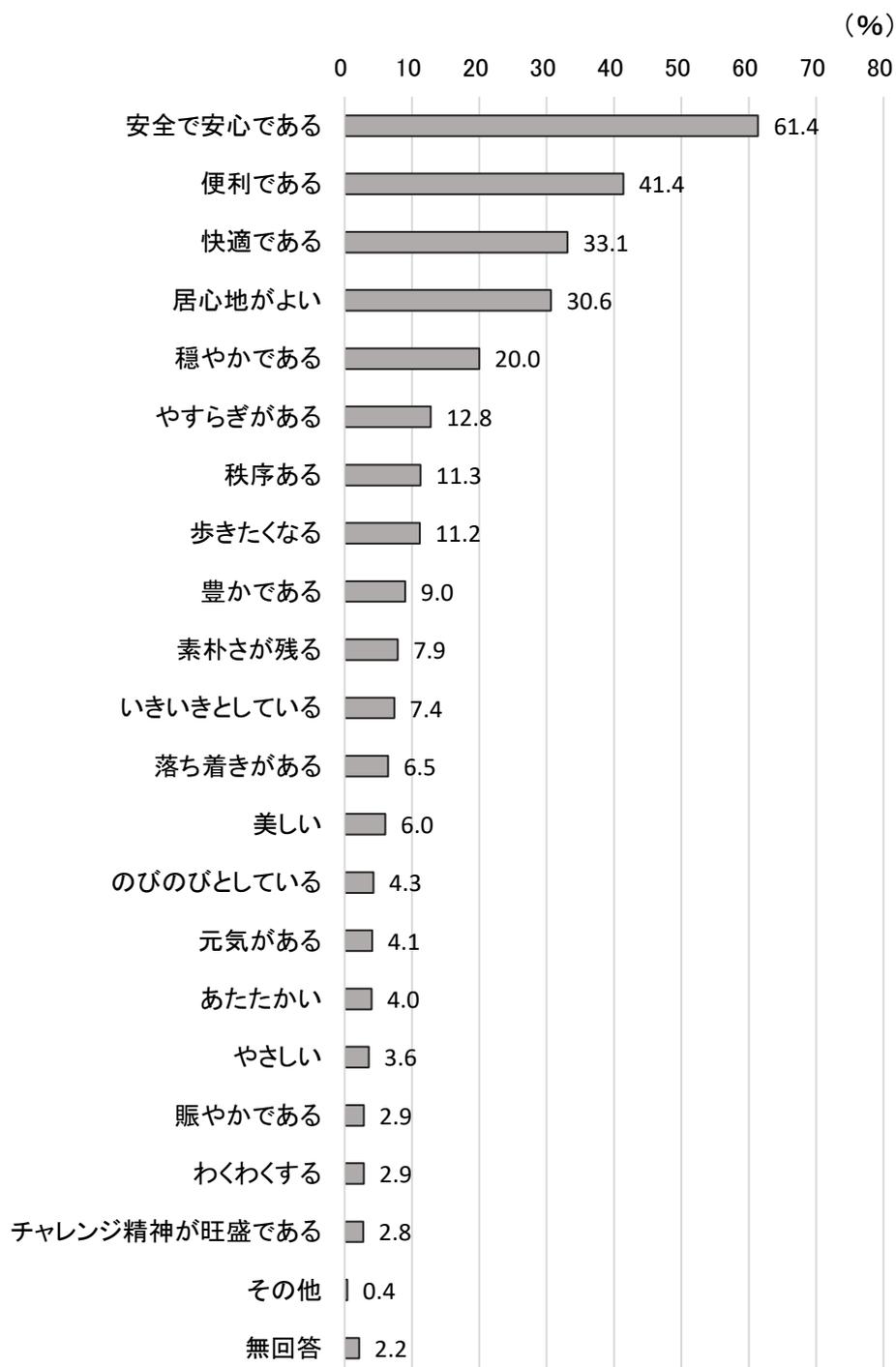
5. これからのまちづくりについて

問14 将来の朝霞市はどのようなまちであればよいと思いますか。あなたのイメージに近いものを、次の中から3つまで選んでください。

〈全体〉

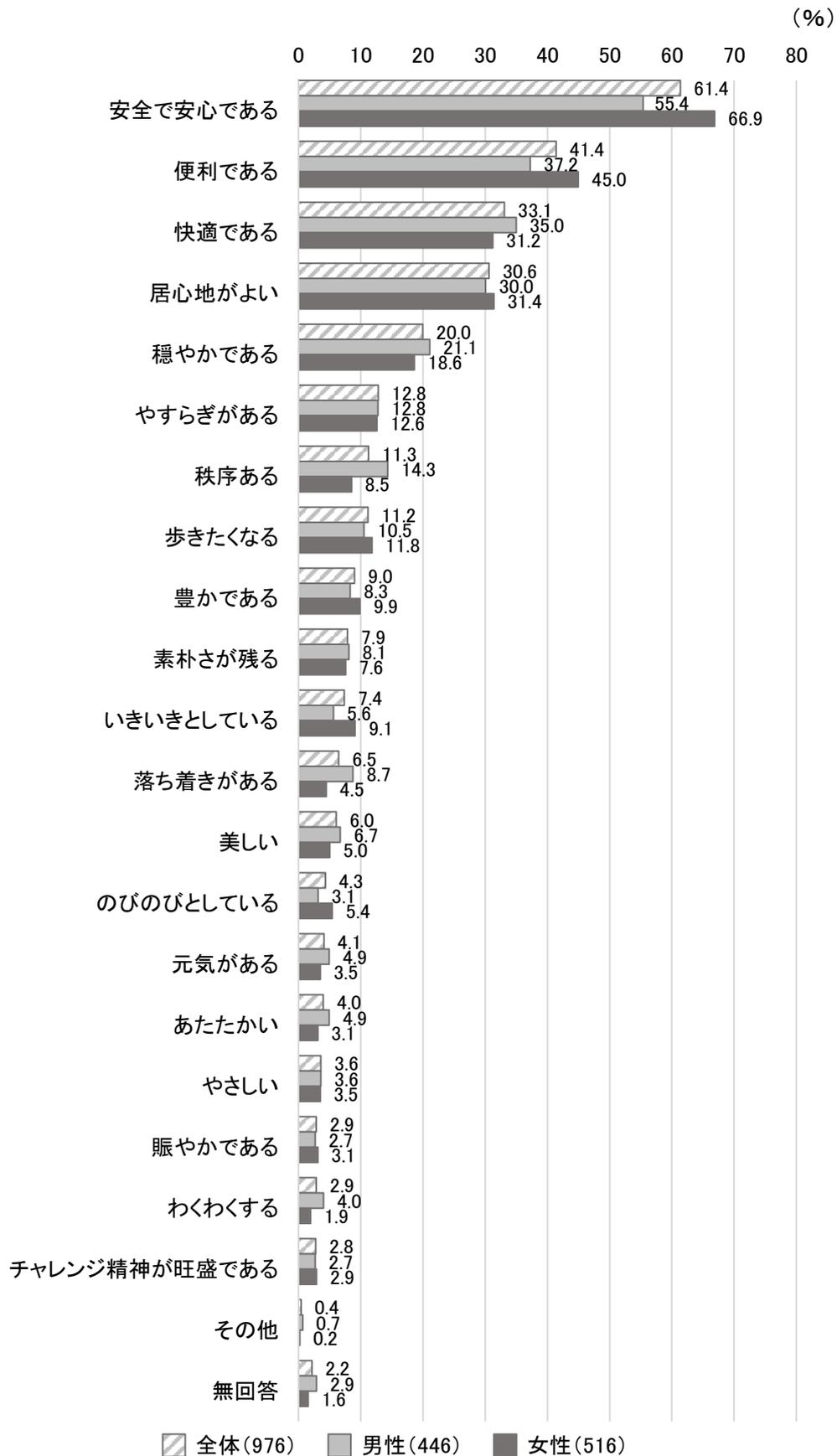
将来の朝霞市の望ましいイメージは、「安全で安心である」の割合が61.4%で最も高く、続いて「便利である」(41.4%)、「快適である」(33.1%)、「居心地がよい」(30.6%)となっている。

n=976



〈性別比較〉

性別により上位項目に大きな違いはみられず、上位2項目は女性の方が割合が高くなっている。



〈年齢別比較〉

年齢が高い方が、「安全で安心である」の割合が高く、年齢が低い方が「快適である」の割合が高い傾向がみられる。

	全体 (976)	20歳未 満(6)	20～29 歳(72)	30～39 歳(164)	40～49 歳(184)	50～59 歳(202)	60～69 歳(156)	70～79 歳(135)	80～89 歳(52)
穏やかである	20.0	16.7	30.6	17.7	19.0	23.8	17.3	14.1	25.0
あたたかい	4.0	16.7	8.3	3.7	1.6	5.0	3.2	4.4	3.8
やすらぎがある	12.8	-	11.1	10.4	12.0	10.9	16.7	17.8	11.5
快適である	33.1	50.0	36.1	31.7	38.6	39.1	29.5	21.5	25.0
落ち着きがある	6.5	16.7	12.5	7.3	4.9	7.4	5.1	6.7	-
素朴さが残る	7.9	-	6.9	6.7	8.7	6.4	10.3	6.7	11.5
美しい	6.0	16.7	5.6	1.8	6.5	5.9	8.3	8.9	1.9
安全で安心である	61.4	83.3	51.4	53.7	60.9	60.9	69.2	67.4	61.5
のびのびとしている	4.3	16.7	5.6	6.7	7.1	3.5	1.9	1.5	1.9
秩序ある	11.3	-	8.3	9.8	9.2	12.9	12.8	17.0	1.9
やさしい	3.6	-	2.8	4.3	3.8	4.5	1.9	3.0	5.8
便利である	41.4	-	34.7	46.3	39.1	39.6	40.4	46.7	44.2
賑やかである	2.9	-	6.9	3.7	3.3	3.0	1.3	2.2	-
元気がある	4.1	-	-	5.5	3.3	3.5	4.5	4.4	7.7
いきいきとしている	7.4	-	9.7	7.9	6.5	7.4	7.7	8.1	3.8
チャレンジ精神が旺盛 である	2.8	-	5.6	4.9	2.2	1.5	2.6	1.5	3.8
わくわくする	2.9	16.7	1.4	6.7	4.3	2.0	0.6	1.5	-
豊かである	9.0	16.7	8.3	12.8	10.3	7.4	6.4	8.1	9.6
居心地がよい	30.6	16.7	25.0	29.9	32.1	32.2	32.7	28.9	30.8
歩きたくなる	11.2	33.3	16.7	9.8	9.2	8.9	11.5	14.1	13.5
その他	0.4	-	-	0.6	-	1.0	0.6	-	-
無回答	2.2	-	1.4	3.7	1.6	1.0	1.3	3.0	5.8

問14-1 あなたの考える、朝霞市のキャッチフレーズや将来の都市イメージを自由に記入してください。

記入があったのは、回答者976人のうち359人(36.8%)である。(以下は抜粋)

【安全・安心】

- ・ 誰もが安全に安心して暮らせるまち朝霞
- ・ 災害に強く安心できるまち
- ・ 安全、安心、明るい明日へ朝霞
- ・ 暮らしやすく安心・安全で元気のある町朝霞
- ・ 健康寿命を伸ばし安心して一生を終えることができるような街
- ・ 老若男女安心して暮らせる街
- ・ "子どもの頃から安心して住み続けるまち" あさか

【住みやすい・暮らしやすい・居心地が良い】

- ・ すみやすい あったかいまち 朝霞
- ・ 居心地がよくわくわくするまち朝霞
- ・ 穏やかで居心地の良い町朝霞
- ・ おとなも子どももみんな住みやすいまち朝霞
- ・ 都心に近い小田舎、住み良い町 朝霞
- ・ 誰もが住みたくなるまち朝霞
- ・ 自然豊かな 便利で居心地がいいまち 朝霞
- ・ 長く住み続けたいまち 朝霞
- ・ どこに行ってもわくわくする 居心地がいい街
- ・ いきいきとして住みやすいまち朝霞
- ・ 世代を超えて 住み続けたいまち 朝霞

【緑・自然】

- ・ みどり豊かな快適環境都市
- ・ 暮らしと緑の共存
- ・ 都心に近く緑の多い朝霞
- ・ 緑豊かな街、朝霞!!
- ・ 緑と人がつながる街朝霞。
- ・ 都心から近い自然の多いまち
- ・ 緑と成長し続ける街、朝霞
- ・ 利便性と自然が共存している街
- ・ 自然豊かで緑がまぶしい、誰も見放さないやさしい街
- ・ 自然と都市の共存、豊かな人間

【子ども・子育て】

- ・ 若い人、子どもたちが元気で明るいまち
- ・ 子育てに適しているまち

- ・ 素朴でおだやか 子どもと散歩ができる町
- ・ 子どもが安心して成長できる町
- ・ 子どもにも高齢者にも優しいうるおいのあるまち
- ・ 子どもたちが安心して住める朝霞

【その他】

- ・ 「オンリーワン (only one) 朝霞」
- ・ いきいきとした暮らしが息づく町 朝霞
- ・ 「ここは朝霞、みんなが集まるたんぼぼのまち」
- ・ 笑顔の多いまち
- ・ いつか「帰ろう」と思えるまち朝霞
- ・ 私が私らしくいられるまち朝霞
- ・ フレッシュシティ
- ・ 朝霞とともに生きていく
- ・ 帰るのが楽しみなまち 朝霞
- ・ 『「あ」いのある「サ」ポートが充実した「か」んきょうのまち 朝霞』
- ・ ほっとする街 朝霞
- ・ あなたと共に 朝霞で生きたい

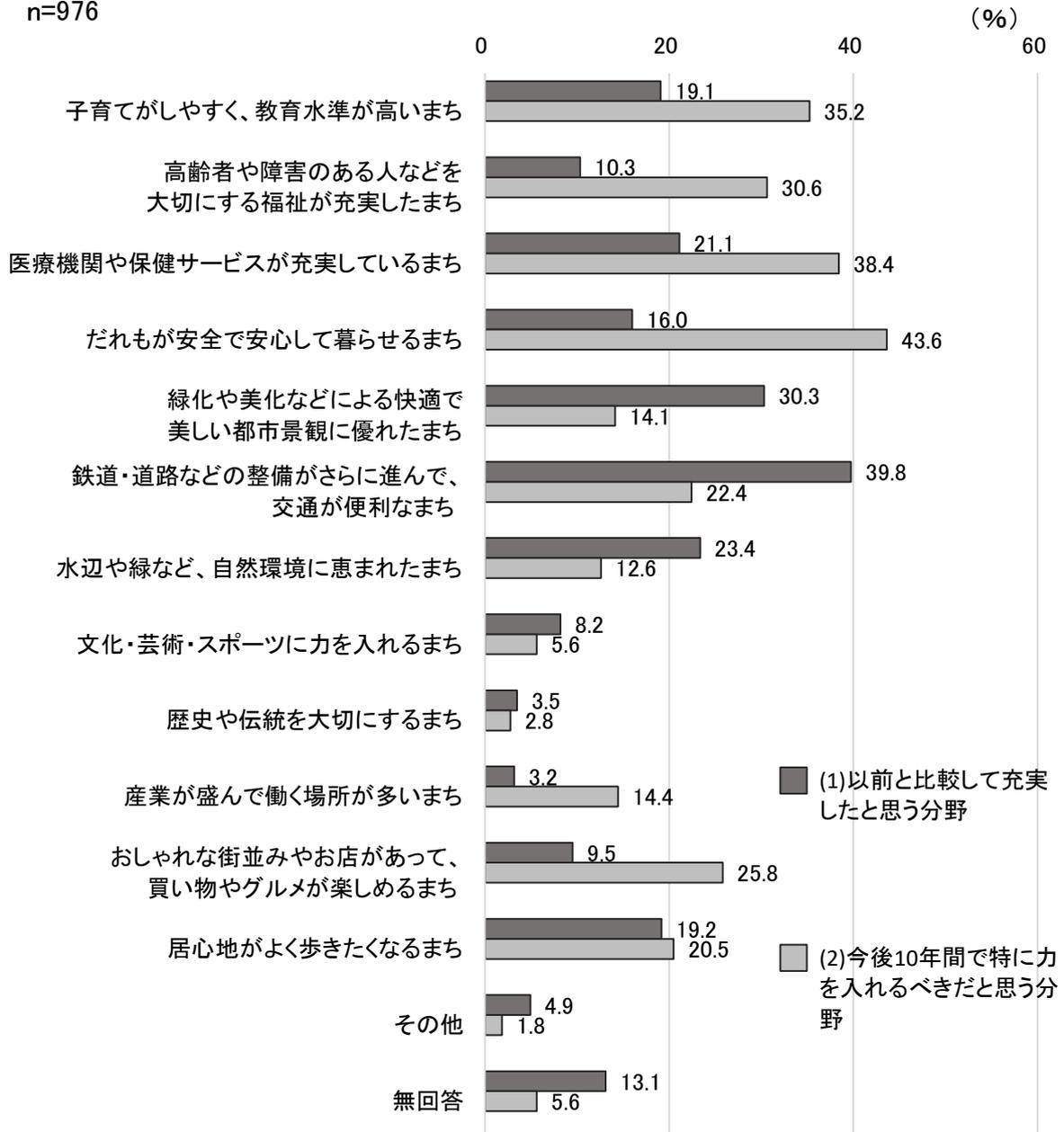
問15 あなたが、以前の朝霞市と比較して充実してきたと思うまちづくりの分野は何ですか。また、今後10年間で朝霞市が特に力を入れるべきだと思うまちづくりの分野は何ですか。
 (1)と(2)について、あなたのイメージに近いものを、1～13の中からそれぞれ3つまで選んで番号を記入してください。

〈全体〉

「(1)以前と比較して充実したと思う分野」は、「鉄道・道路などの整備がさらに進んで、交通が便利なまち」(39.8%)が最も高く、続いて、「緑化や美化などによる快適で美しい都市景観に優れたまち」(30.3%)、「水辺や緑など、自然環境に恵まれたまち」(23.4%)である。

「(2)今後10年間で特に力を入れるべきだと思う分野」は、「だれもが安全で安心して暮らせるまち」(43.6%)が最も高く、続いて、「医療機関や保健サービスが充実しているまち」(38.4%)、「子育てがしやすく、教育水準が高いまち」(35.2%)となっている。

n=976

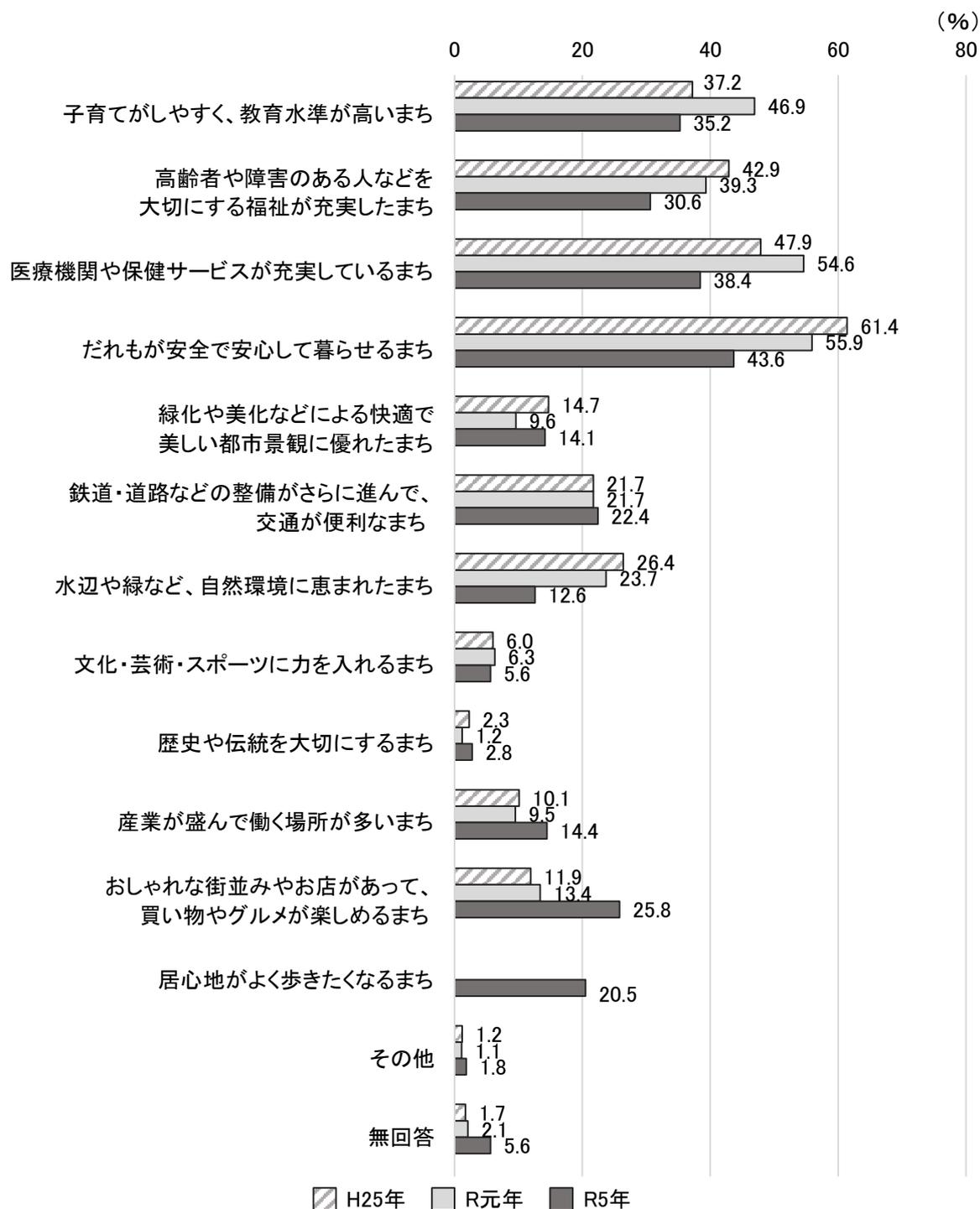


〈経年比較〉

将来の朝霞市で力を入れるべき分野について、上位項目の「だれもが安全で安心して暮らせるまち」、
「医療機関や保健サービスが充実しているまち」、「子育てがしやすく、教育水準が高いまち」のいずれも
割合が減少している。一方、「おしゃれな街並みやお店があって、買い物やグルメが楽しめるまち」のほか、
「産業が盛んで働く場所が多いまち」の割合は増加している。

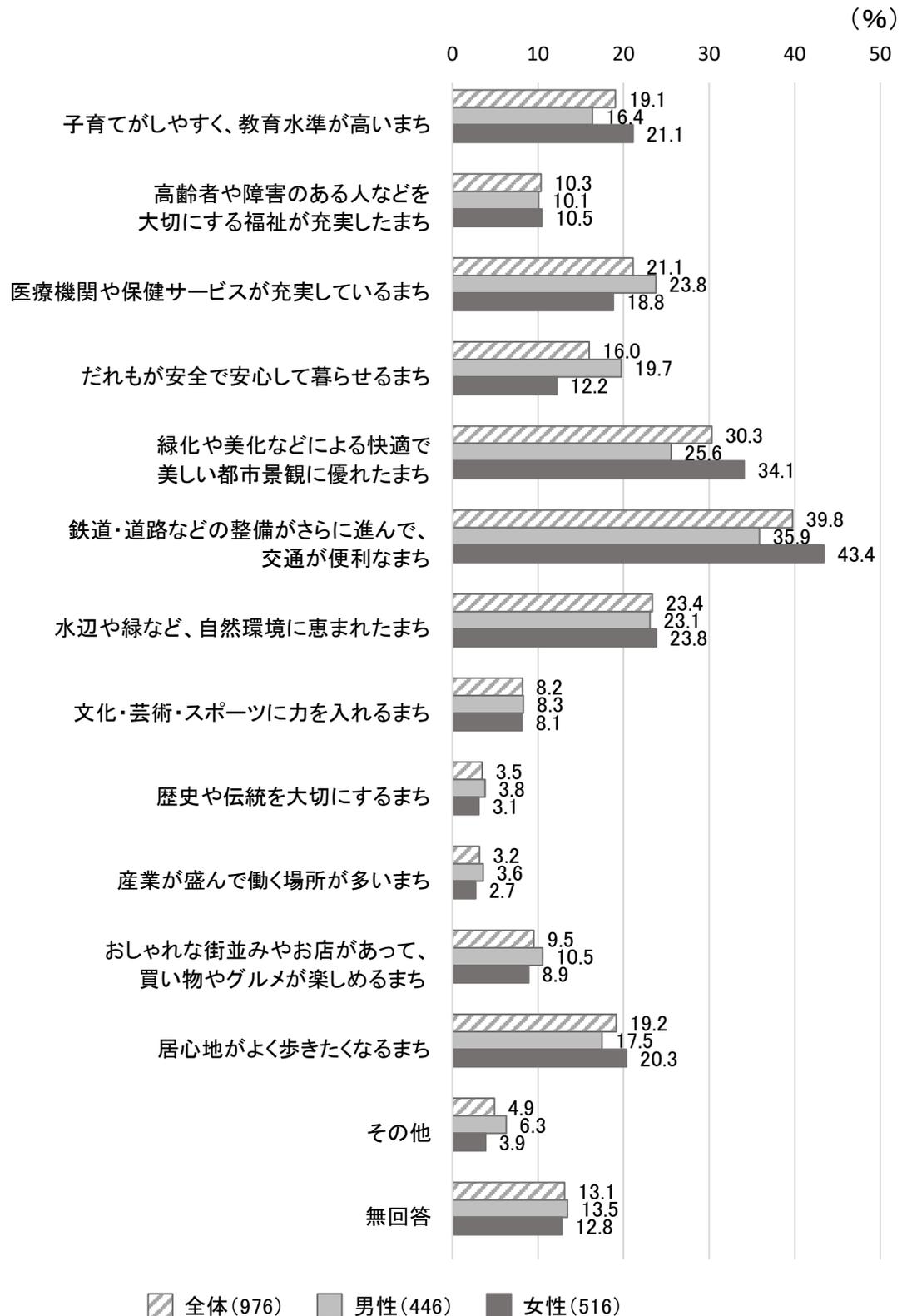
※平成25年、令和元年調査では、将来の朝霞市をどのようなまちにしていきたいかを聞いた。

※選択肢「居心地がよく歩きたくなるまち」は、令和5年に追加したため、経年比較の対象外としている。

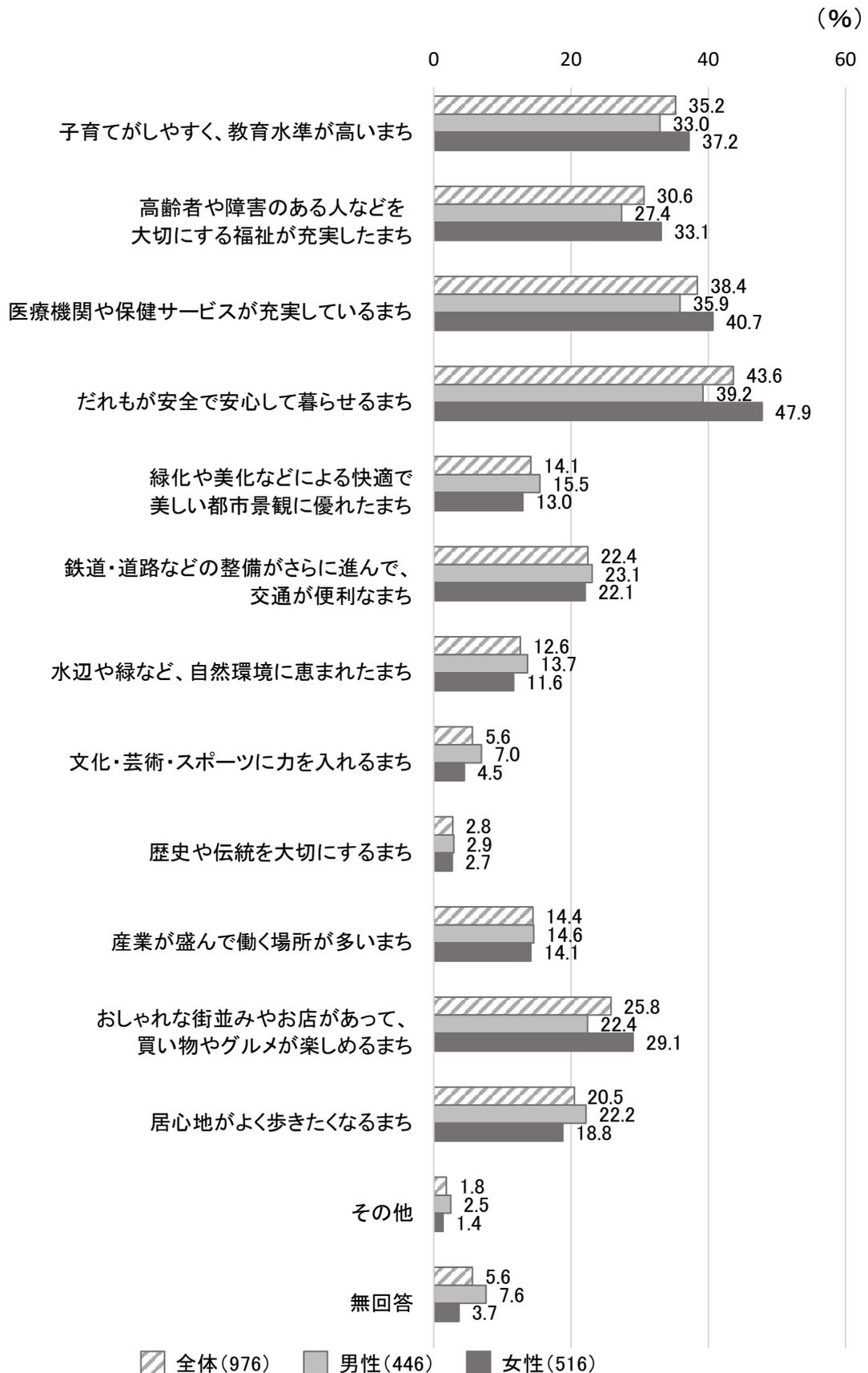


〈性別比較〉

「(1)以前と比較して充実したと思う分野」について、上位分野の「鉄道・道路などの整備がさらに進んで、交通が便利なまち」と「緑化や美化などによる快適で美しい都市景観に優れたまち」は、女性の割合が高い。一方、男性は、「医療機関や保健サービスが充実しているまち」と「だれもが安全で安心して暮らせるまち」の割合が高くなっている。

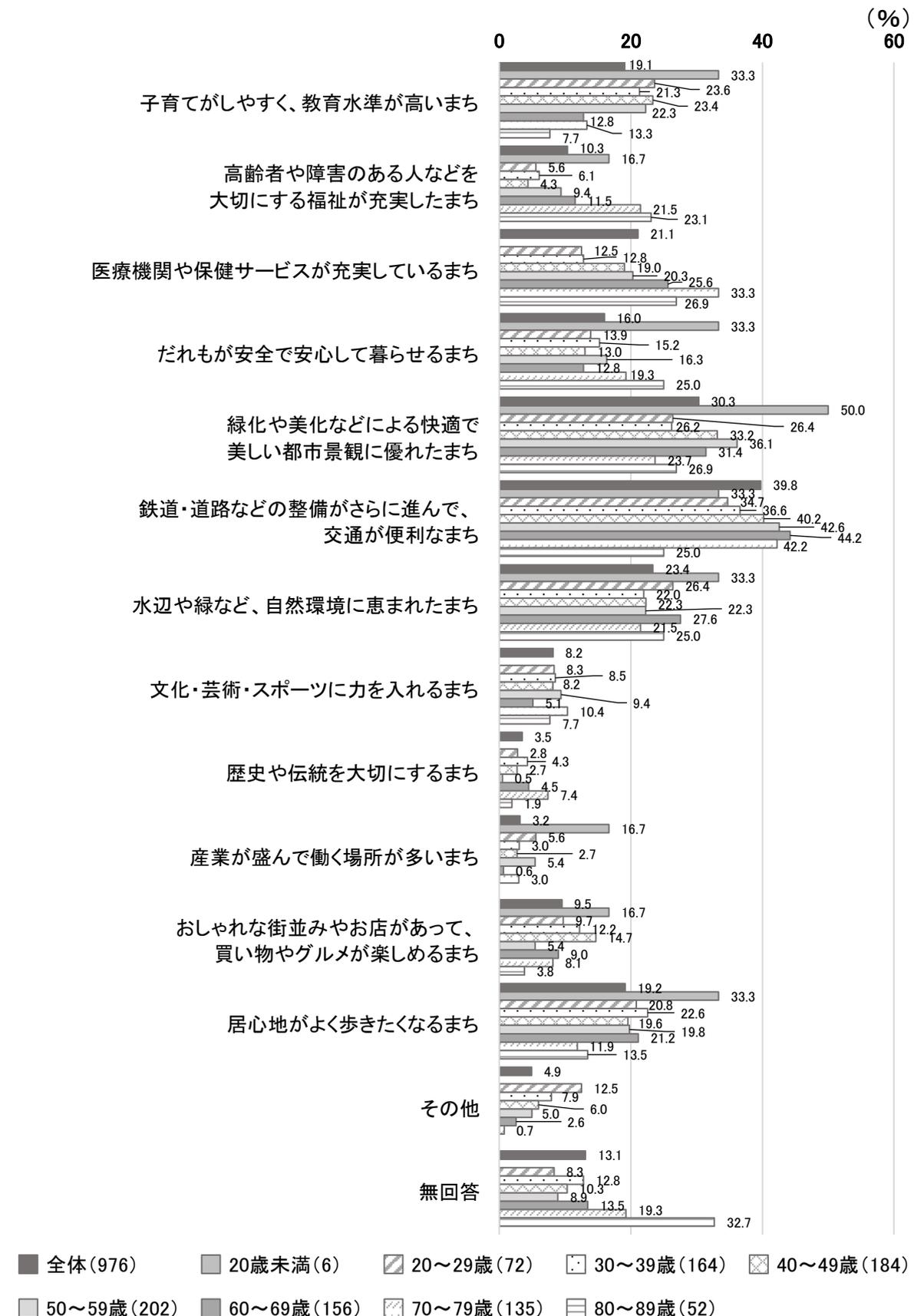


「(2)今後10年間で特に力を入れるべきだと思う分野」について、上位4分野は、いずれも女性の割合が高くなっている。

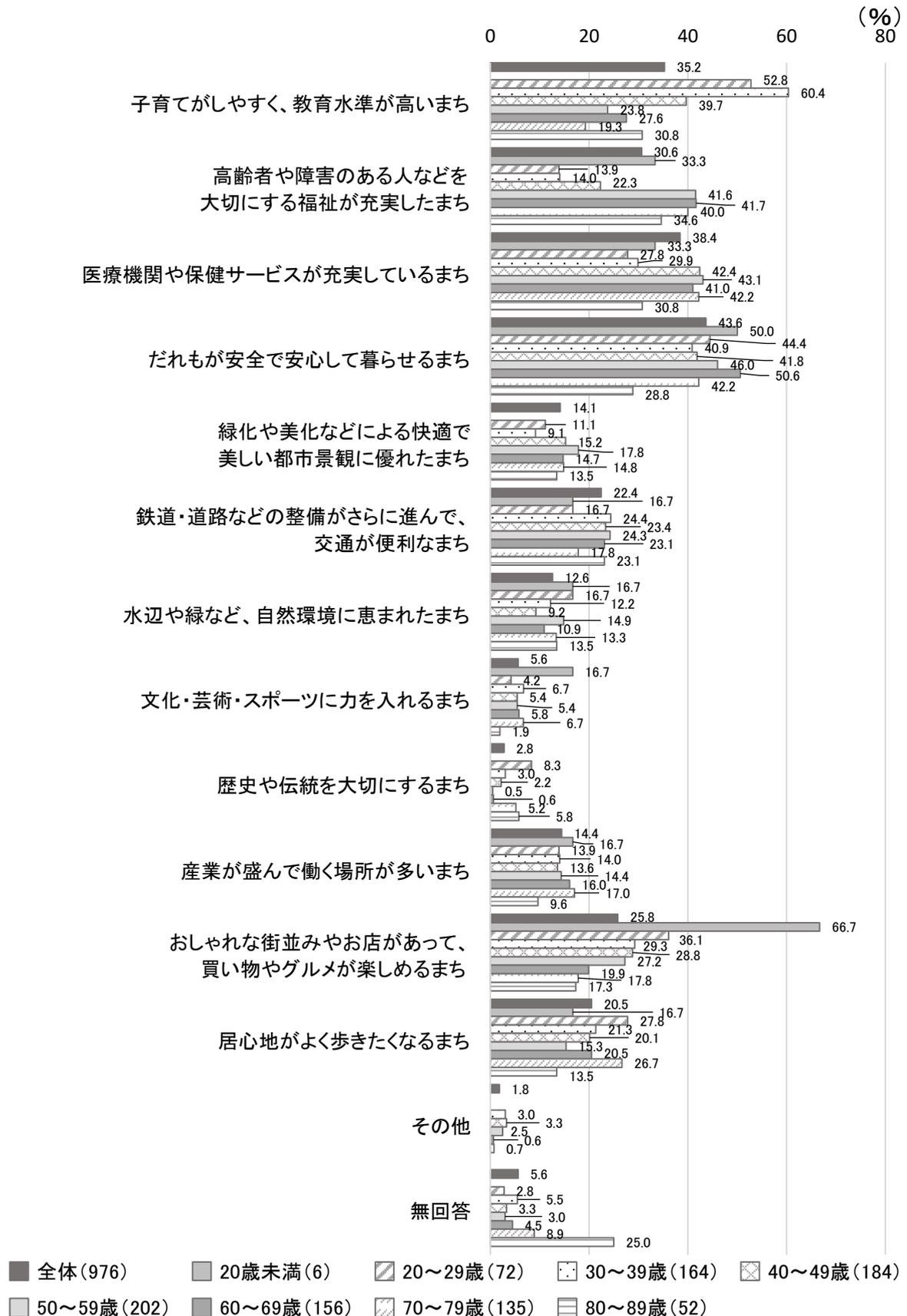


〈年齢別比較〉

「(1)以前と比較して充実したと思う分野」について、年齢が高いほど、「鉄道・道路などの整備がさらに進んで、交通が便利なまち」の割合が高い傾向がみられる。



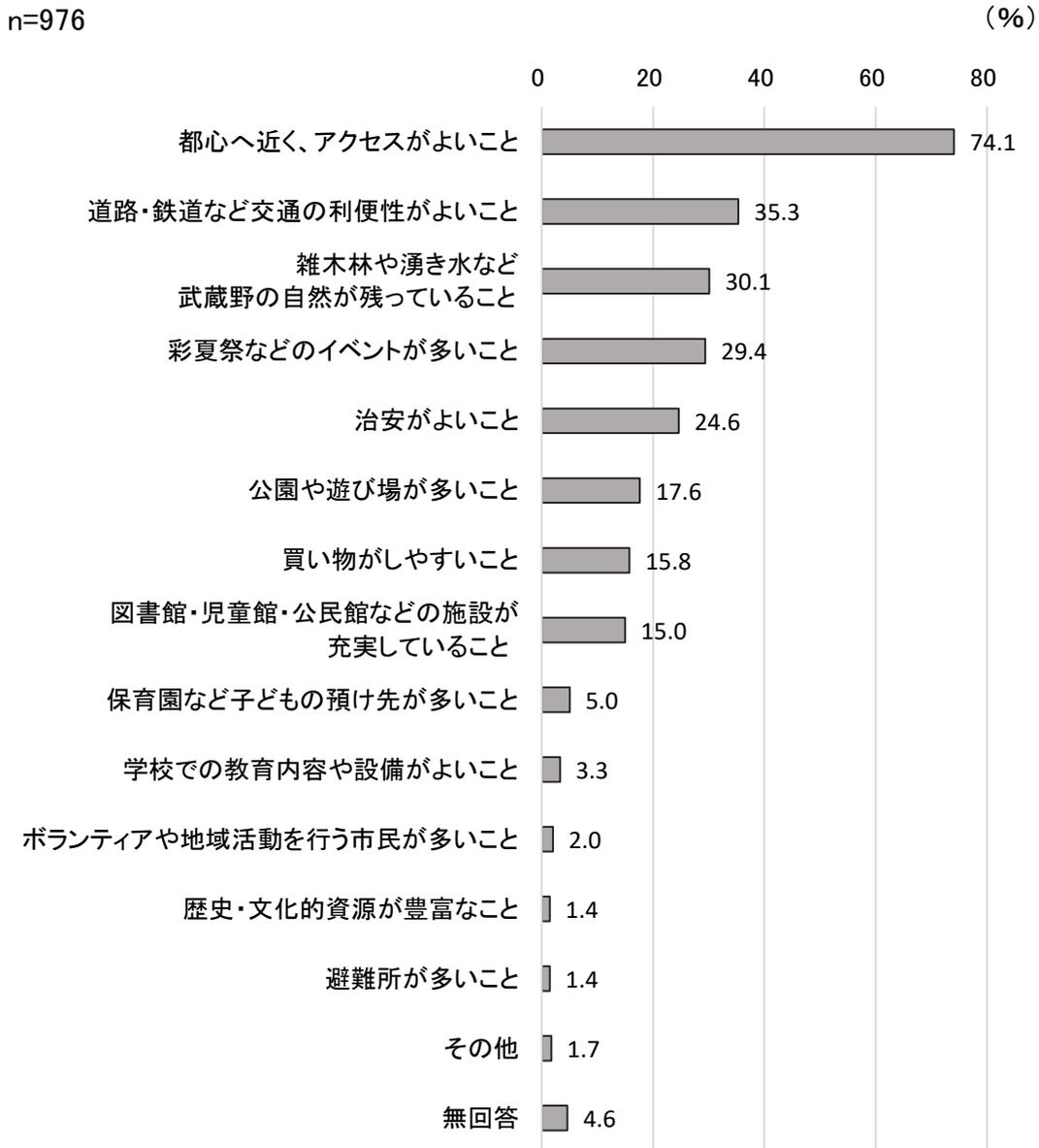
「(2)今後10年間で特に力を入れるべきだと思う分野」について、年齢が高いほど、「高齢者や障害のある人などを大切にする福祉が充実したまち」の割合が高く、一方、年齢が低いほど、「おしゃれな街並みやお店があって、買い物やグルメが楽しめるまち」の割合が高い傾向がみられる。



問16 あなたは、未来に生かしていきたい朝霞市の強みは何だと思えますか。次の中からあなたのお考えに最も近いものを3つまで選んでください。

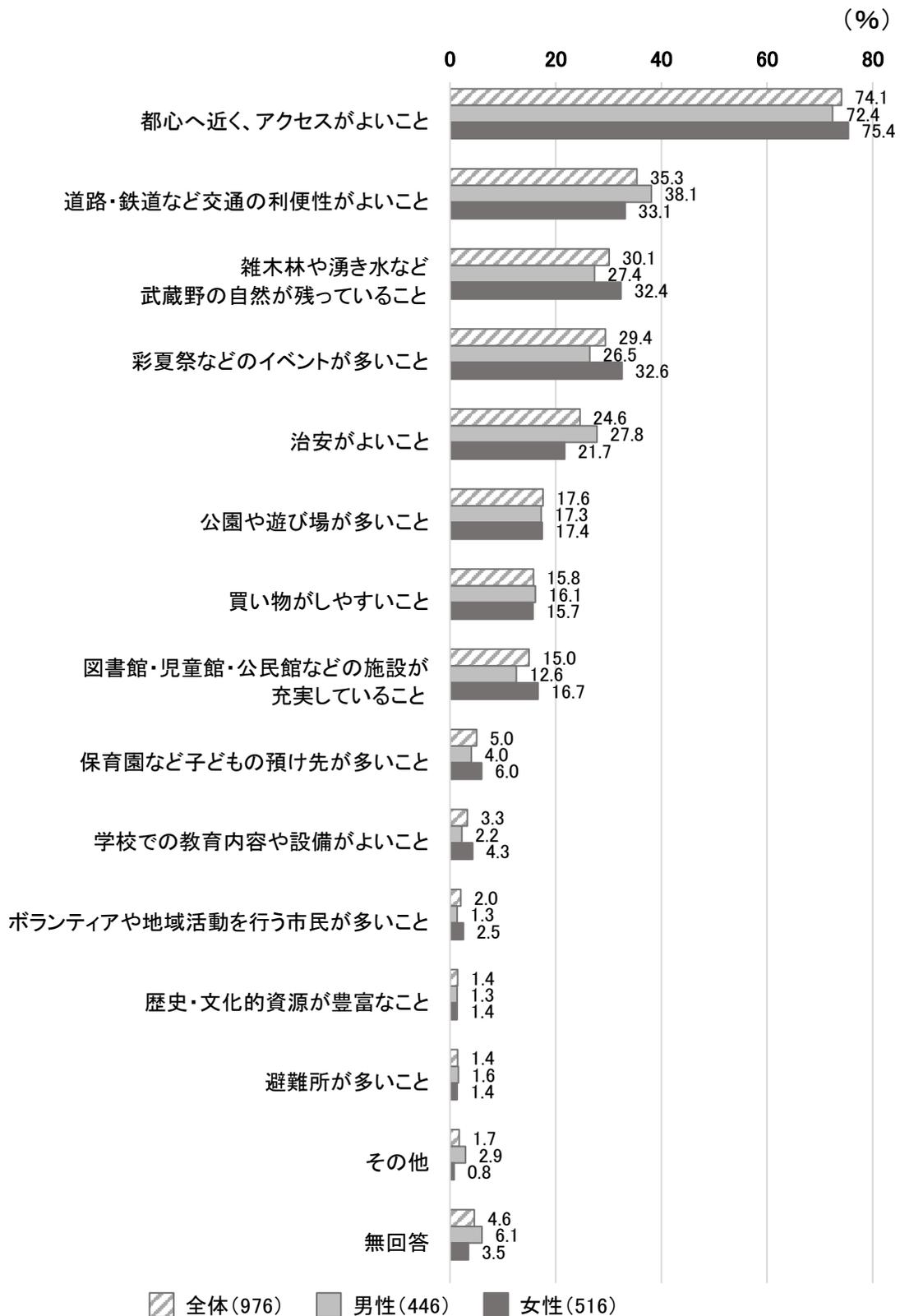
〈全体〉

未来に生かしていきたい朝霞市の強みは、「都心へ近く、アクセスがよいこと」の割合が74.1%で最も高く、続いて「道路・鉄道など交通の利便性がよいこと」(35.3%)、「雑木林や湧き水など武蔵野線の自然が残っていること」(30.1%)、「彩夏祭などのイベントが多いこと」(29.4%)となっている。



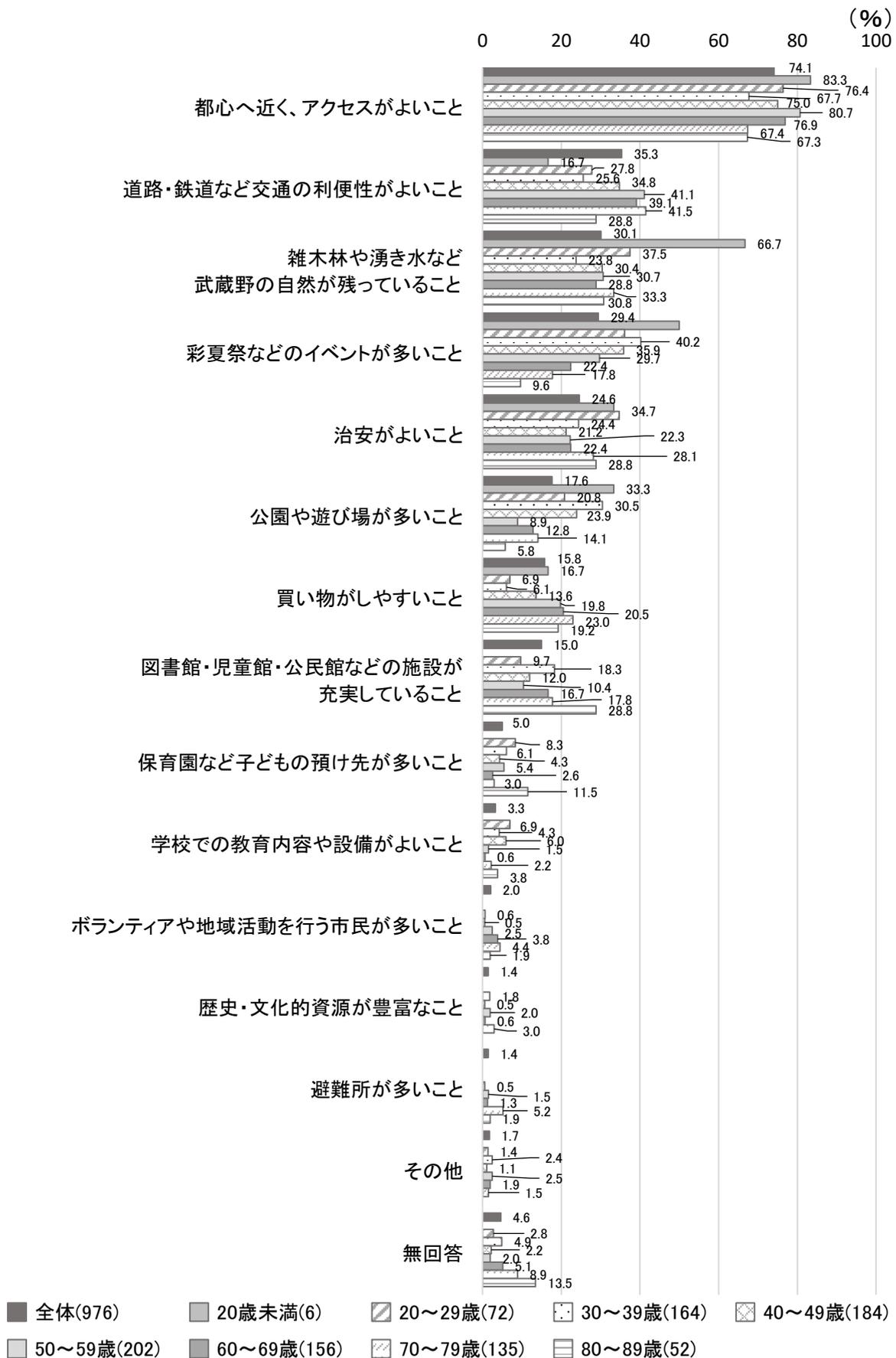
〈性別比較〉

男性は、「道路・鉄道など交通の利便性がよいこと」と「治安がよいこと」、女性は、「雑木林や湧き水など武蔵野の自然が残っていること」と「彩夏祭などのイベントが多いこと」の割合が高くなっている。



〈年齢別比較〉

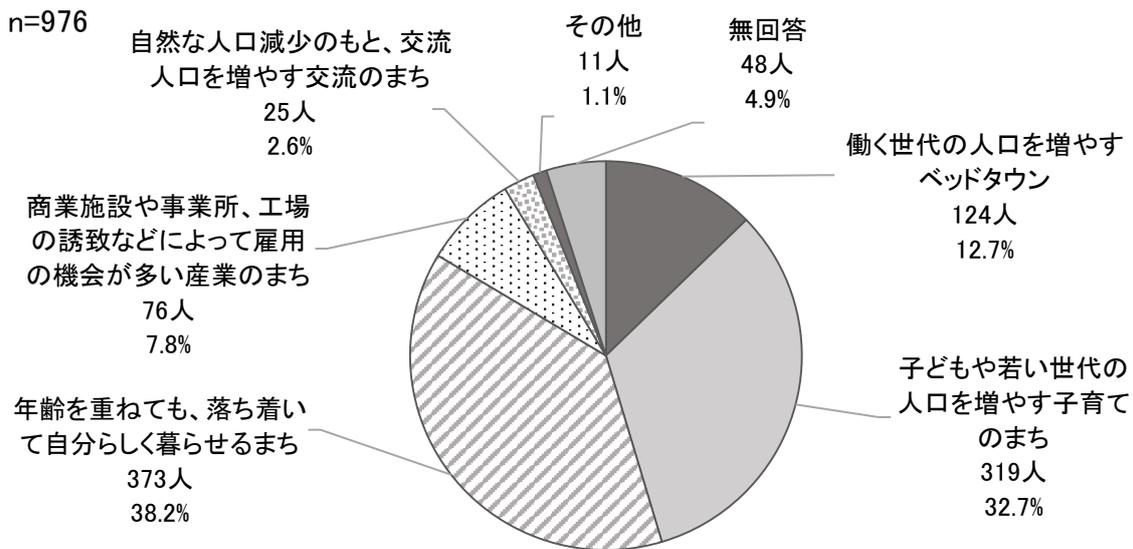
年齢が低いほど、「彩夏祭などのイベントが多いこと」の割合が高い傾向がみられる。



問17 今後、人口減少・少子高齢化が進むことが予想される中、朝霞市のまちづくりはどのような方向をめざすべきと考えますか。次の中からあなたのお考えに最も近いものを1つ選んでください。

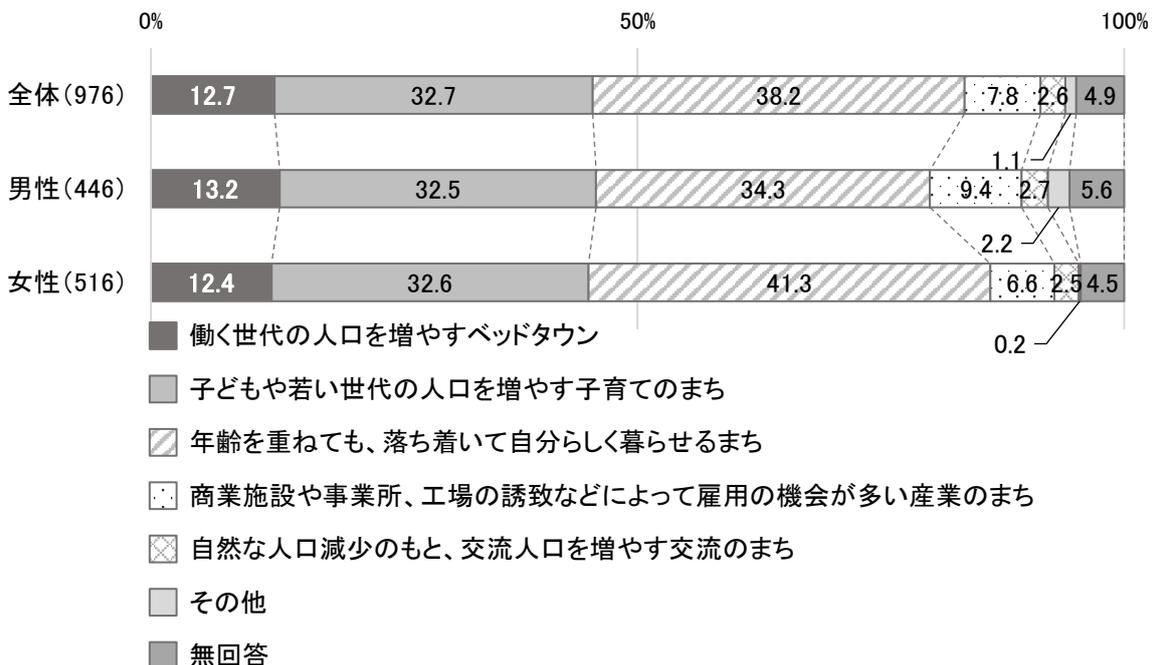
〈全体〉

人口減少・少子高齢化を踏まえたまちづくりの方向性は、「年齢を重ねても、落ち着いて自分らしく暮らせるまち」の割合が38.2%で最も高く、続いて「子どもや若い世代の人口を増やす子育てのまち」(32.7%)、「働く世代の人口を増やすベッドタウン」(12.7%)となっている。



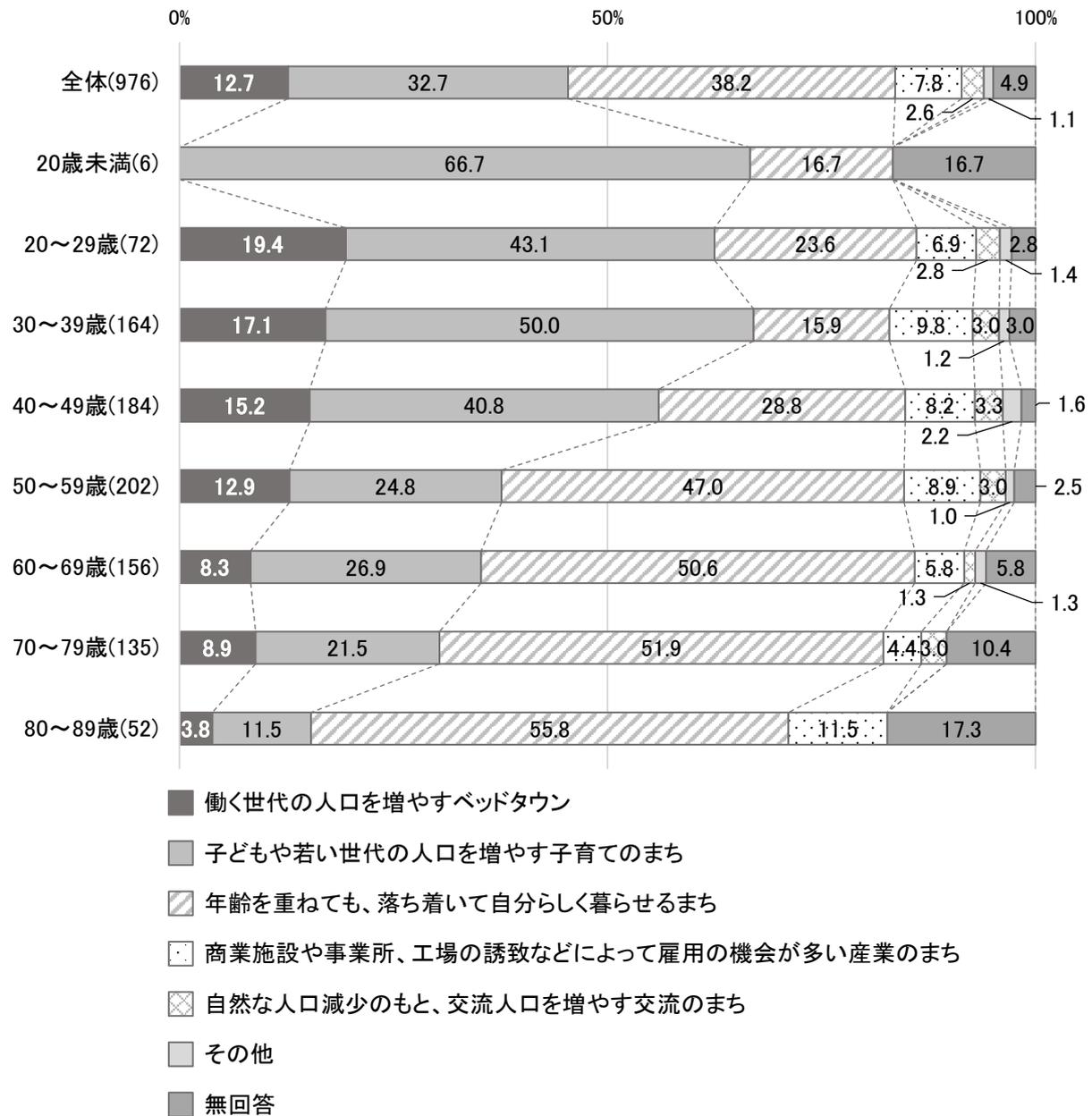
〈性別比較〉

女性は「年齢を重ねても、落ち着いて自分らしく暮らせるまち」の割合が高くなっている。



〈年齢別比較〉

年齢が低いほど、「子どもや若い世代の人口を増やす子育てのまち」と「働く世代の人口を増やすベッドタウン」の割合が高く、一方、年齢が高いほど、「年齢を重ねても、落ち着いて自分らしく暮らせるまち」の割合が高い傾向がみられる。

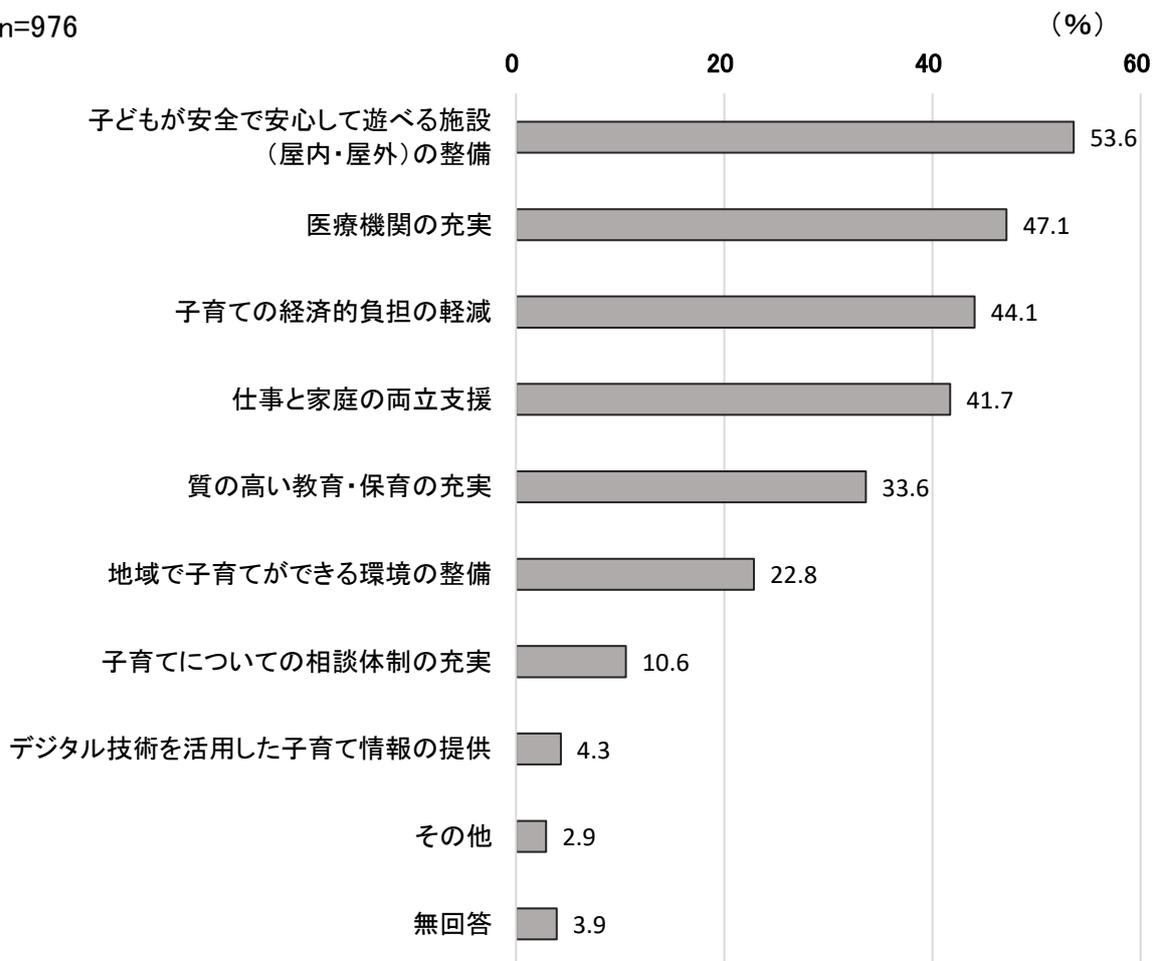


問18 あなたは、朝霞市が若者や子育て世帯に選ばれるまちになるために、どのようなことが重要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

〈全体〉

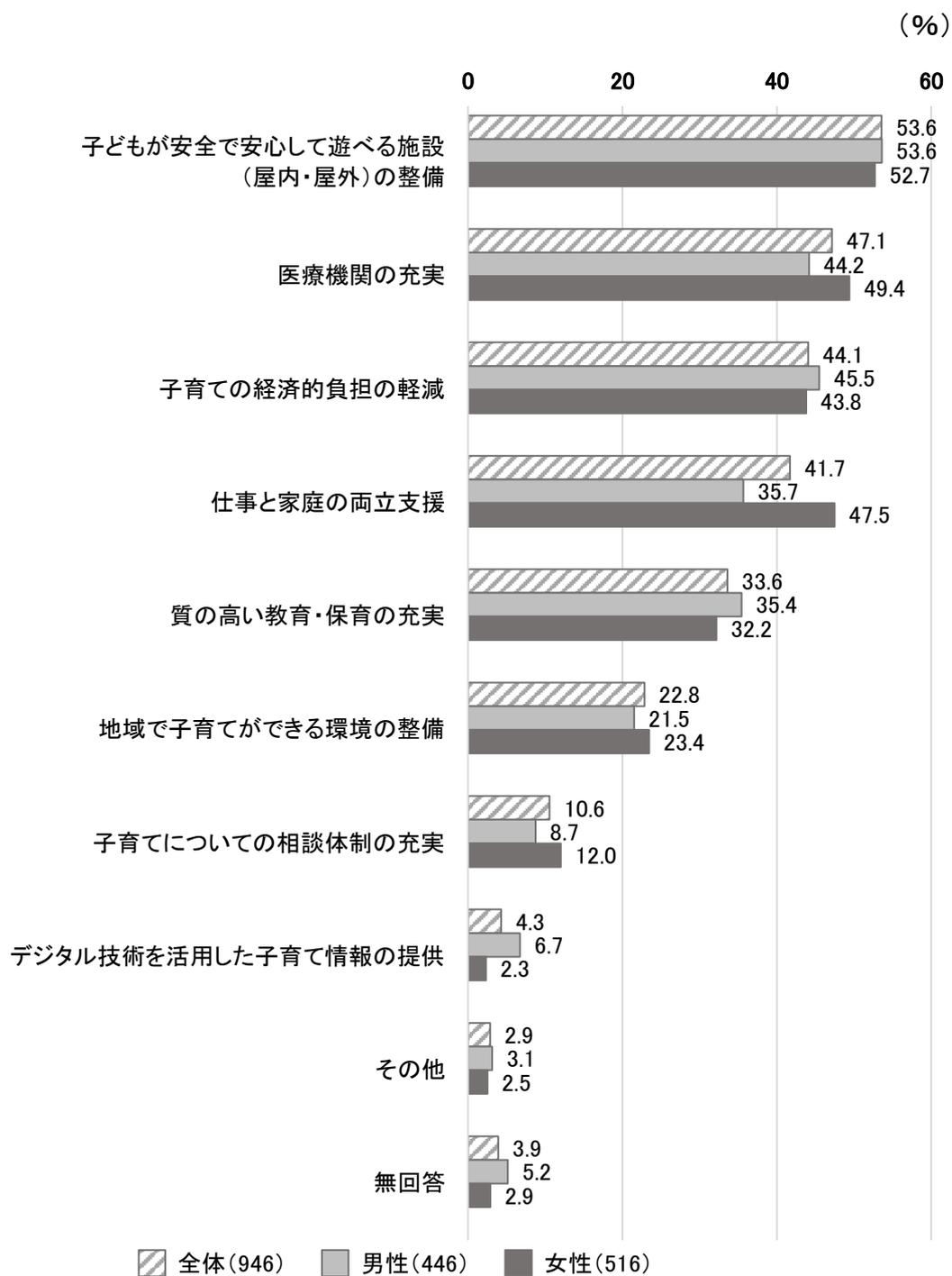
子育て世帯に選ばれるまちになるためのまちづくりの方向性は、「子どもが安全で安心して遊べる施設（屋内・屋外）の整備」の割合が53.6%で最も高く、続いて「医療機関の充実」（47.1%）、「子育ての経済的負担の軽減」（44.1%）、「仕事と家庭の両立支援」（41.7%）となっている。

n=976



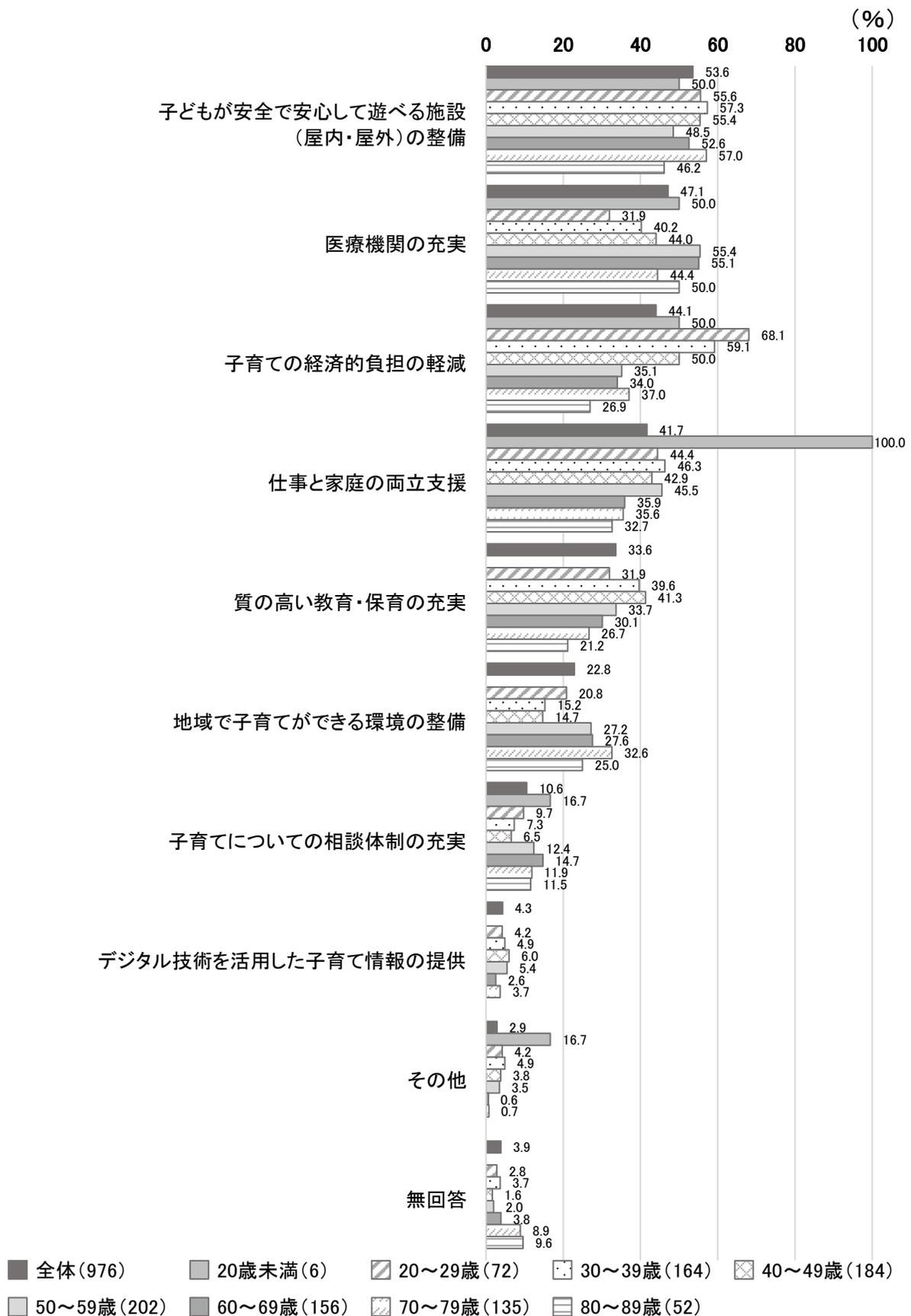
〈性別比較〉

女性は、「医療機関の充実」、「仕事と家庭の両立支援」の割合が高くなっている。



〈年齢別比較〉

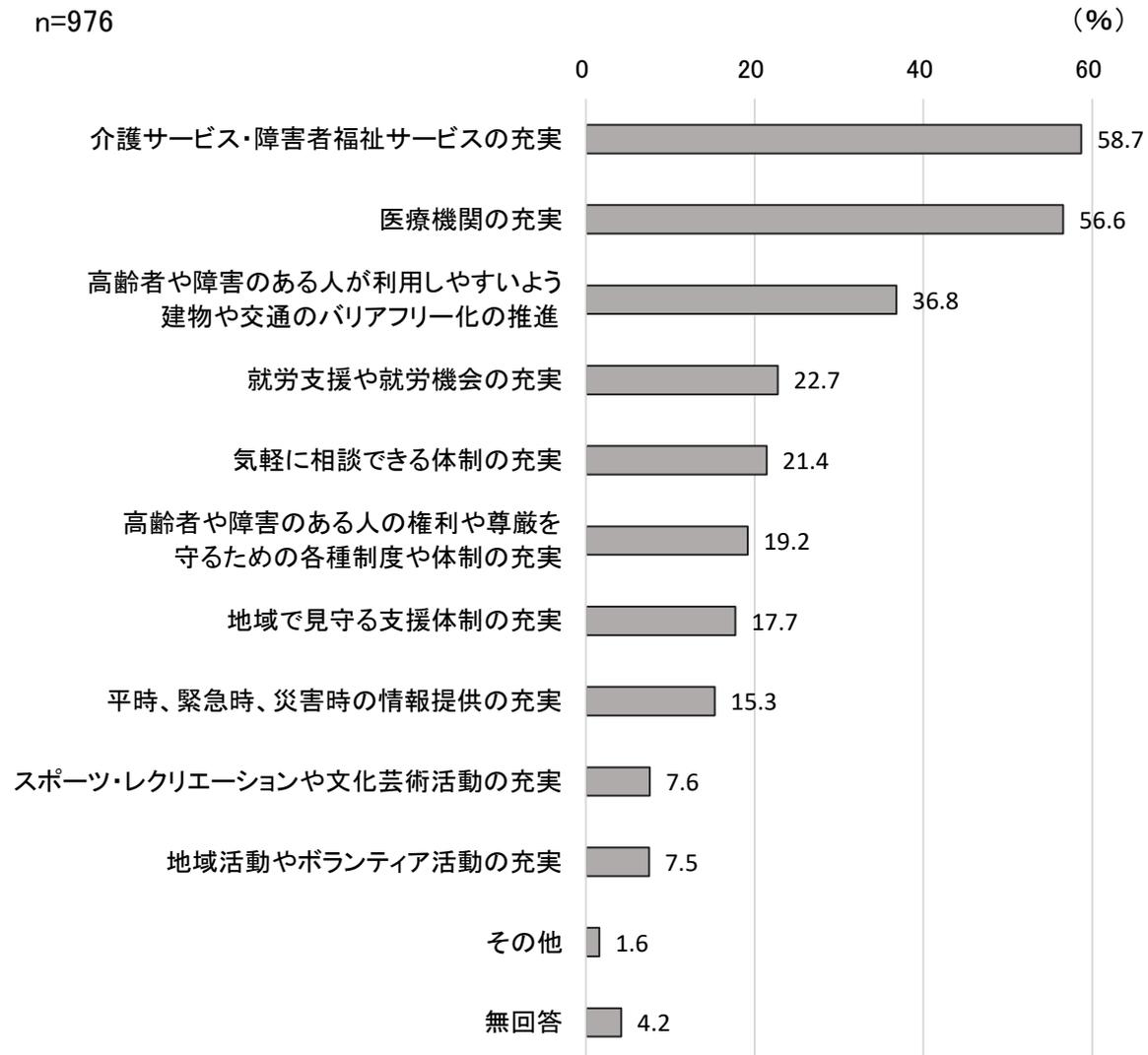
年齢が低いほど、「子育ての経済的負担の軽減」や「仕事と家庭の両立支援」、「質の高い教育・保育の充実」の割合が高い傾向がみられる。



問19 あなたは、高齢者や障害のある人が安心して暮らせるまちになるために、どのようなことが重要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

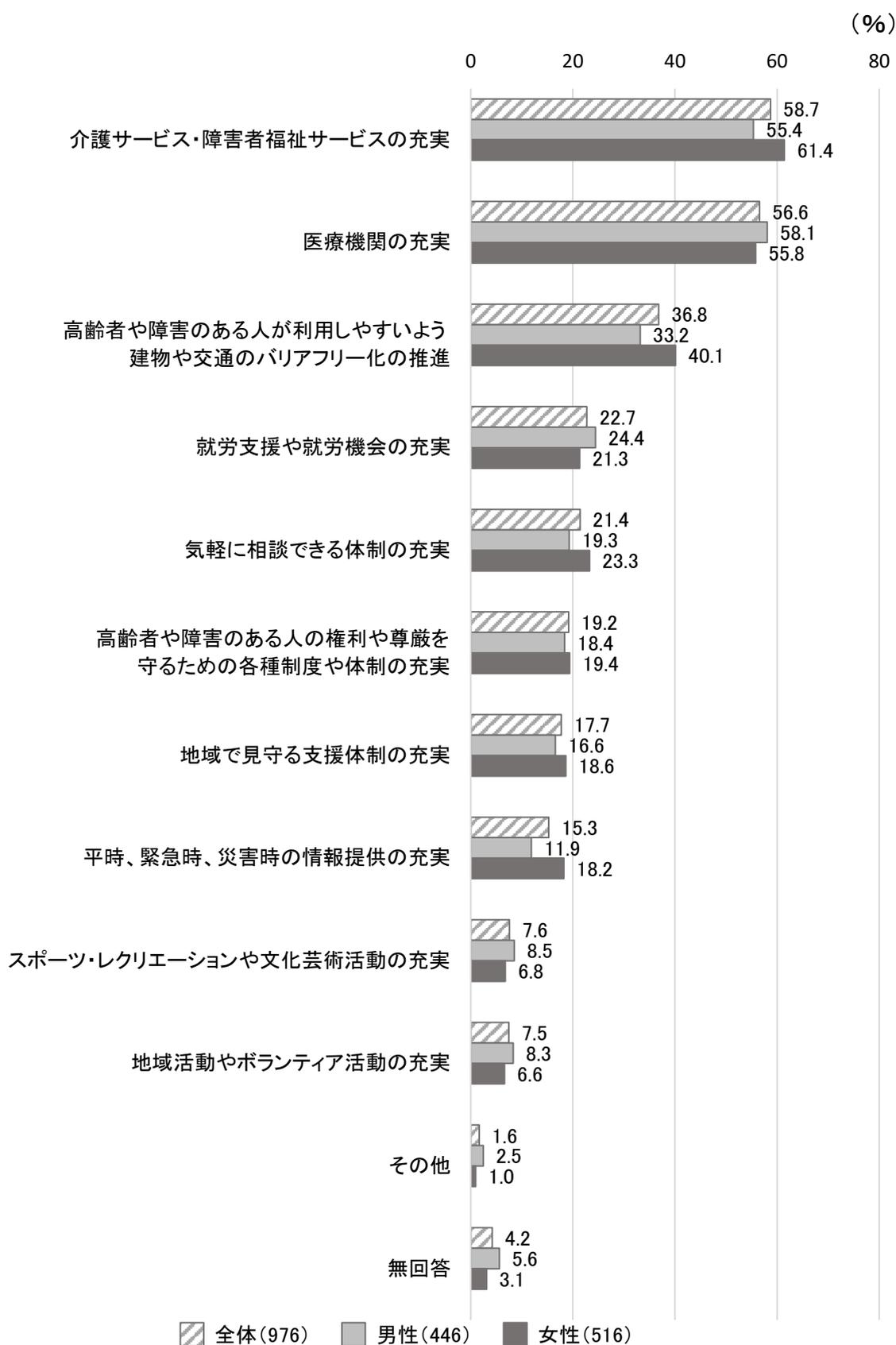
〈全体〉

高齢者や障害のある人が安心して暮らせるまちになるために重要なこととしては、「介護サービス・障害者福祉サービスの充実」の割合が58.7%、続いて「医療機関の充実」(56.6%)となっており、「高齢者や障害のある人が利用しやすいよう建物や交通のバリアフリー化の推進」(36.8%)が続いている。



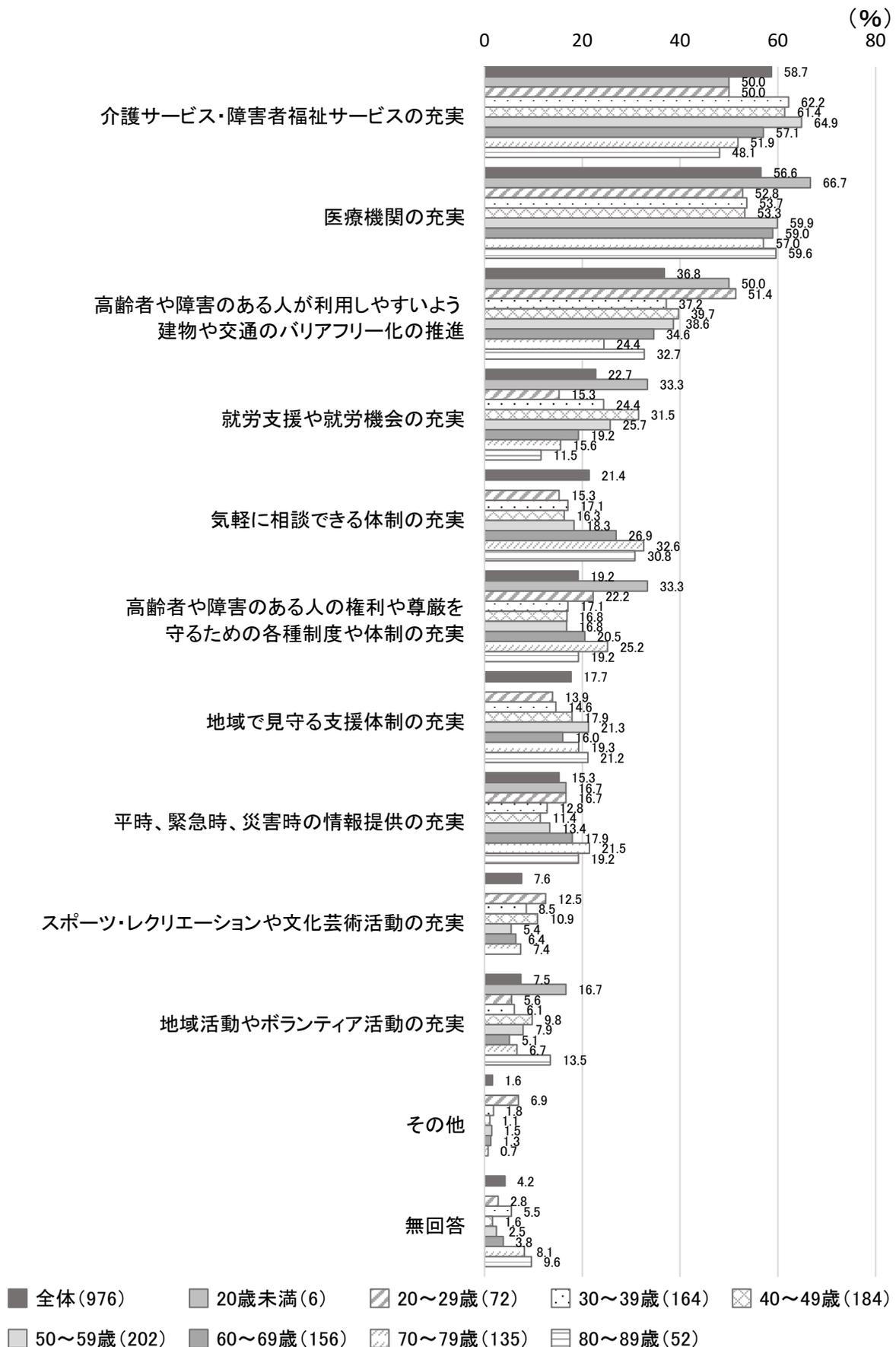
〈性別比較〉

女性は、「介護サービス・障害者福祉サービスの充実」と「高齢者や障害のある人が利用しやすいよう建物や交通のバリアフリー化の推進」の割合が高くなっている。



〈年齢別比較〉

年齢が高いほど、「気軽に相談できる体制の充実」の割合が高い傾向がみられる。

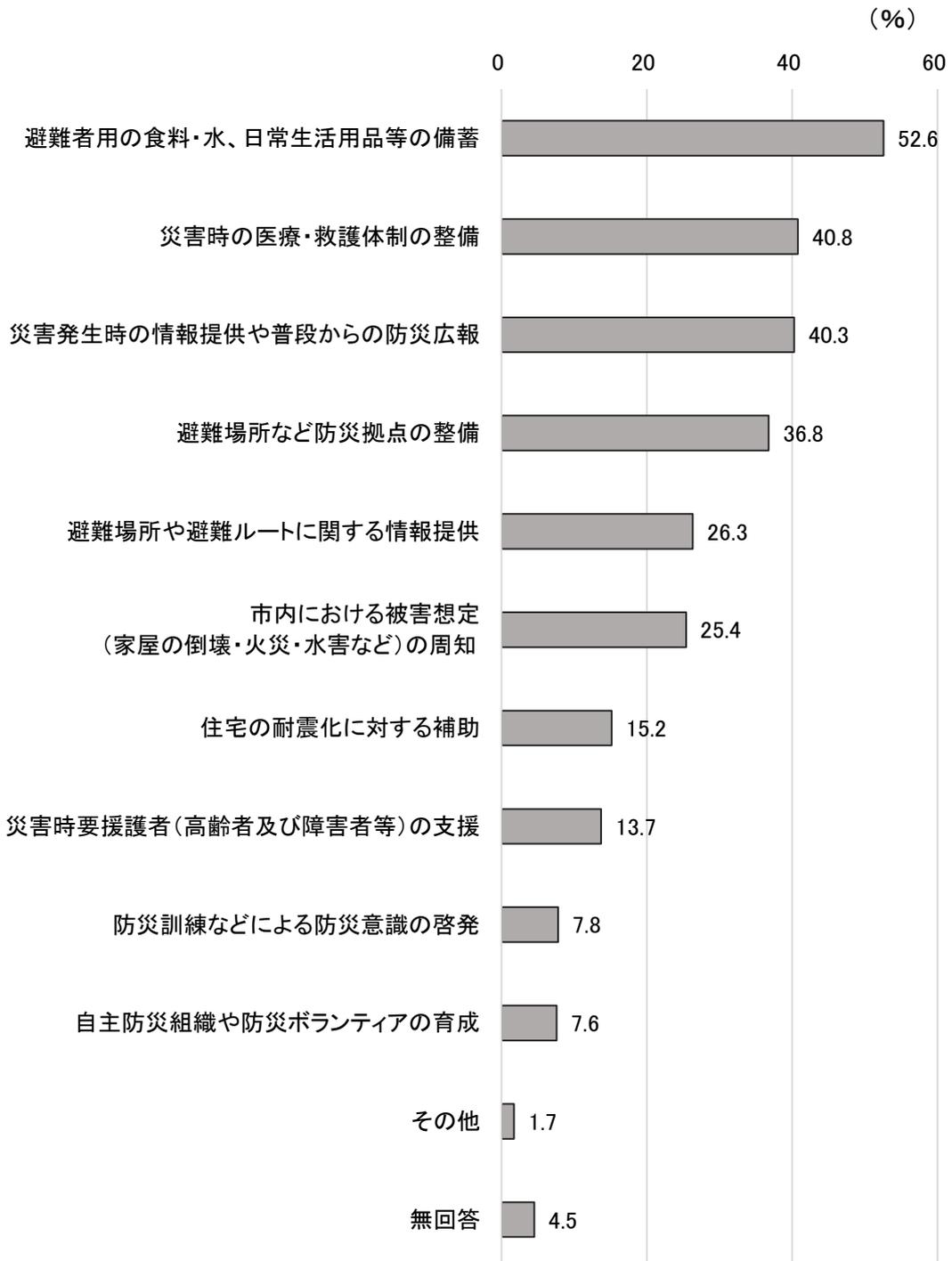


問20 あなたは、災害対策として、行政にどのようなことを期待していますか。次の中から3つまで選んでください。

〈全体〉

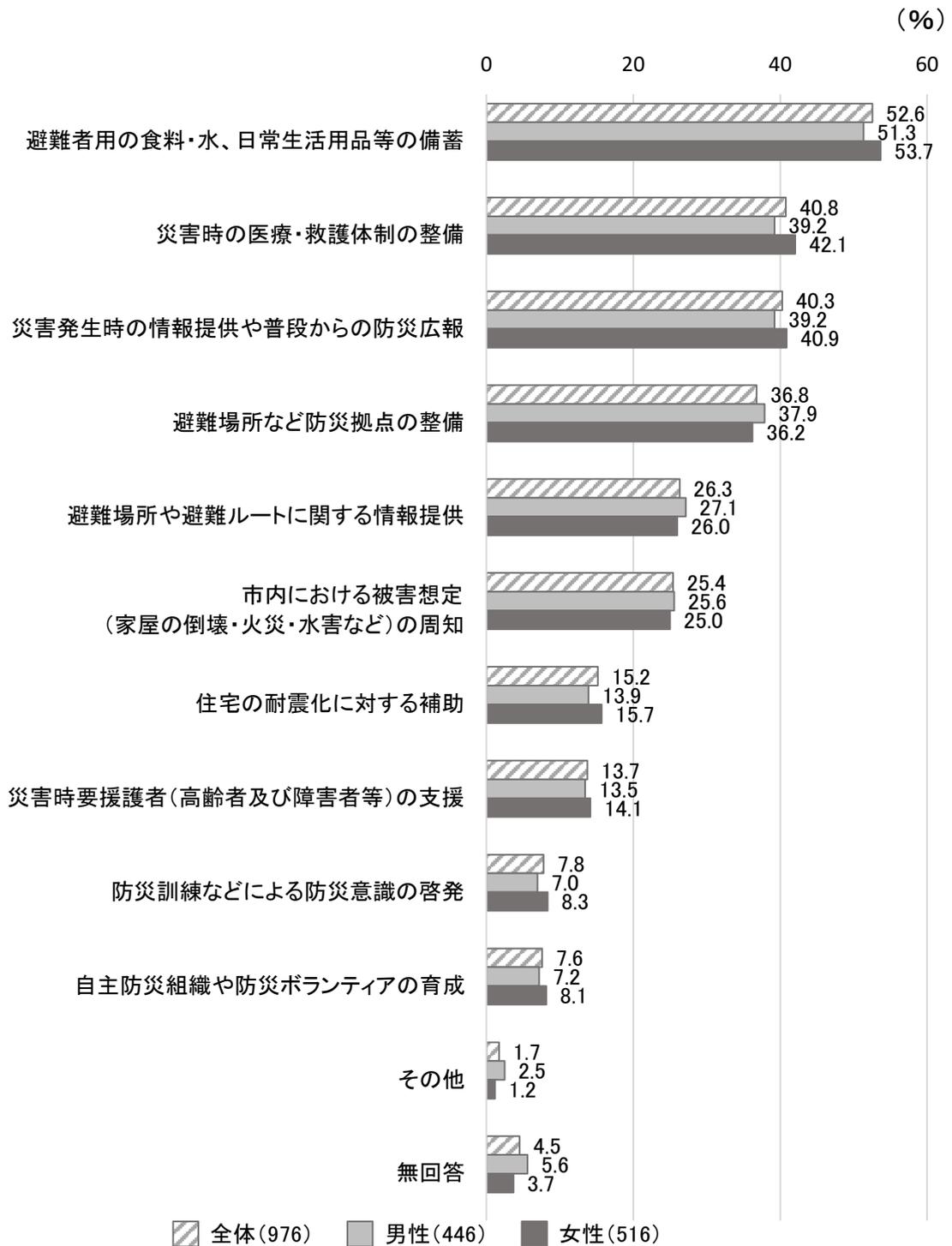
災害対策として行政に期待していることは、「避難者用の食料・水、日常生活用品等の備蓄」の割合が52.6%で最も高く、続いて「災害時の医療・救護体制の整備」(40.8%)、「災害発生時の情報提供や普段からの防災広報」(40.3%)となっている。

n=976



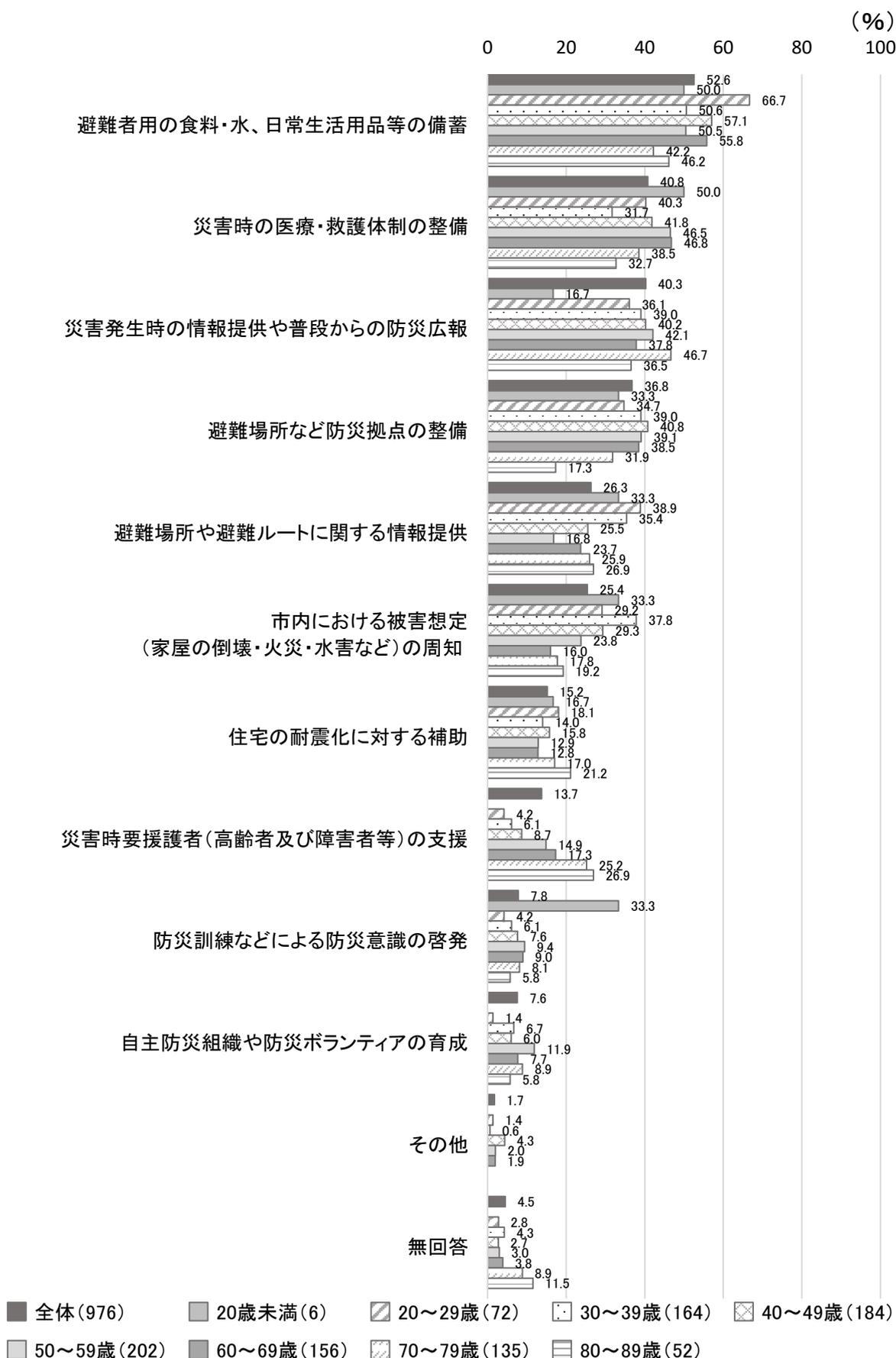
〈性別比較〉

性別による回答傾向の違いはみられない。



〈年齢別比較〉

年齢が低いほど、「避難者用の食料・水、日常生活用品等の備蓄」の割合が高い傾向がみられる。

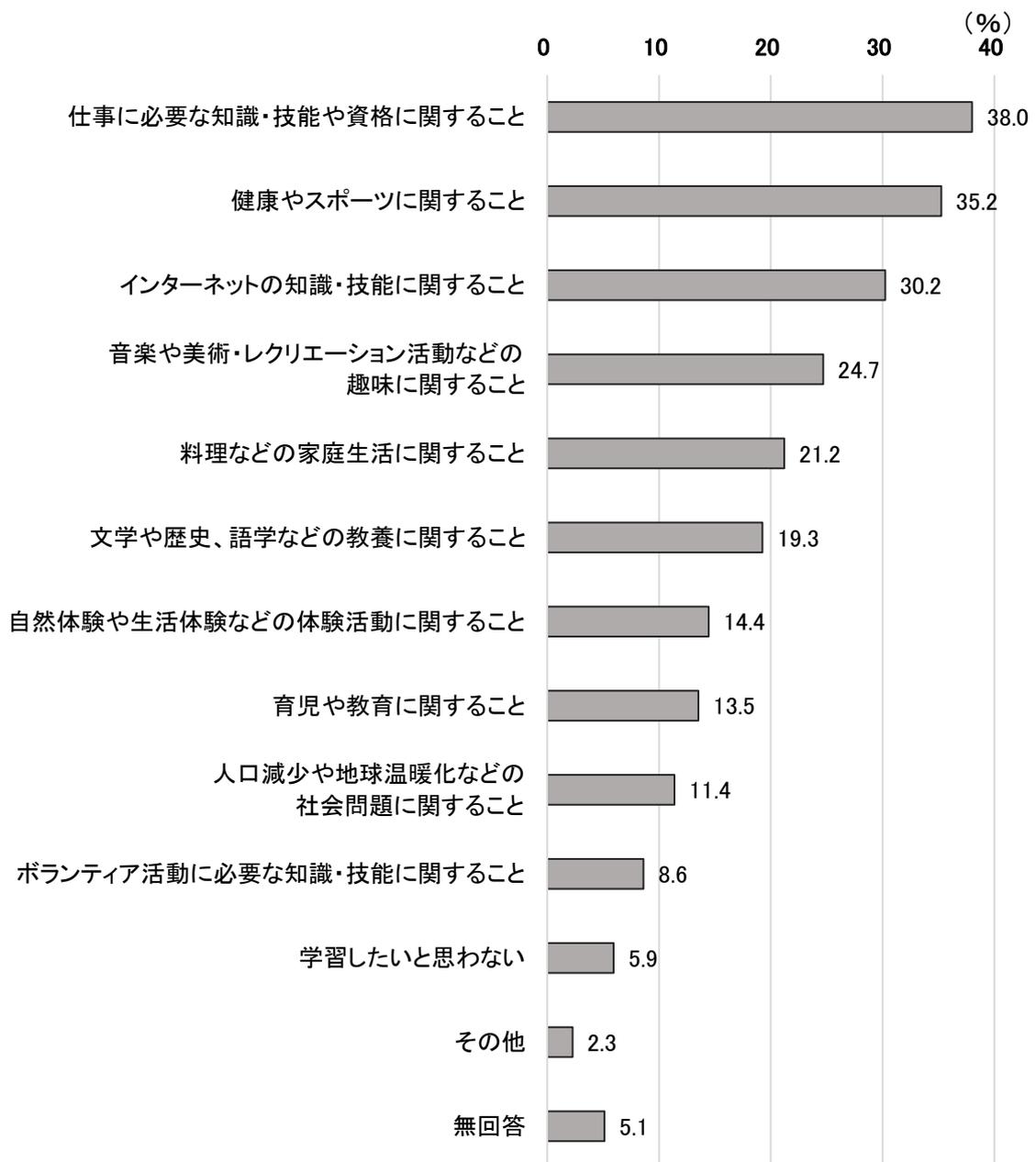


問21 あなたは、これから学習するとすれば、どのようなことを学びたいですか。次の中から3つまで選んでください。

〈全体〉

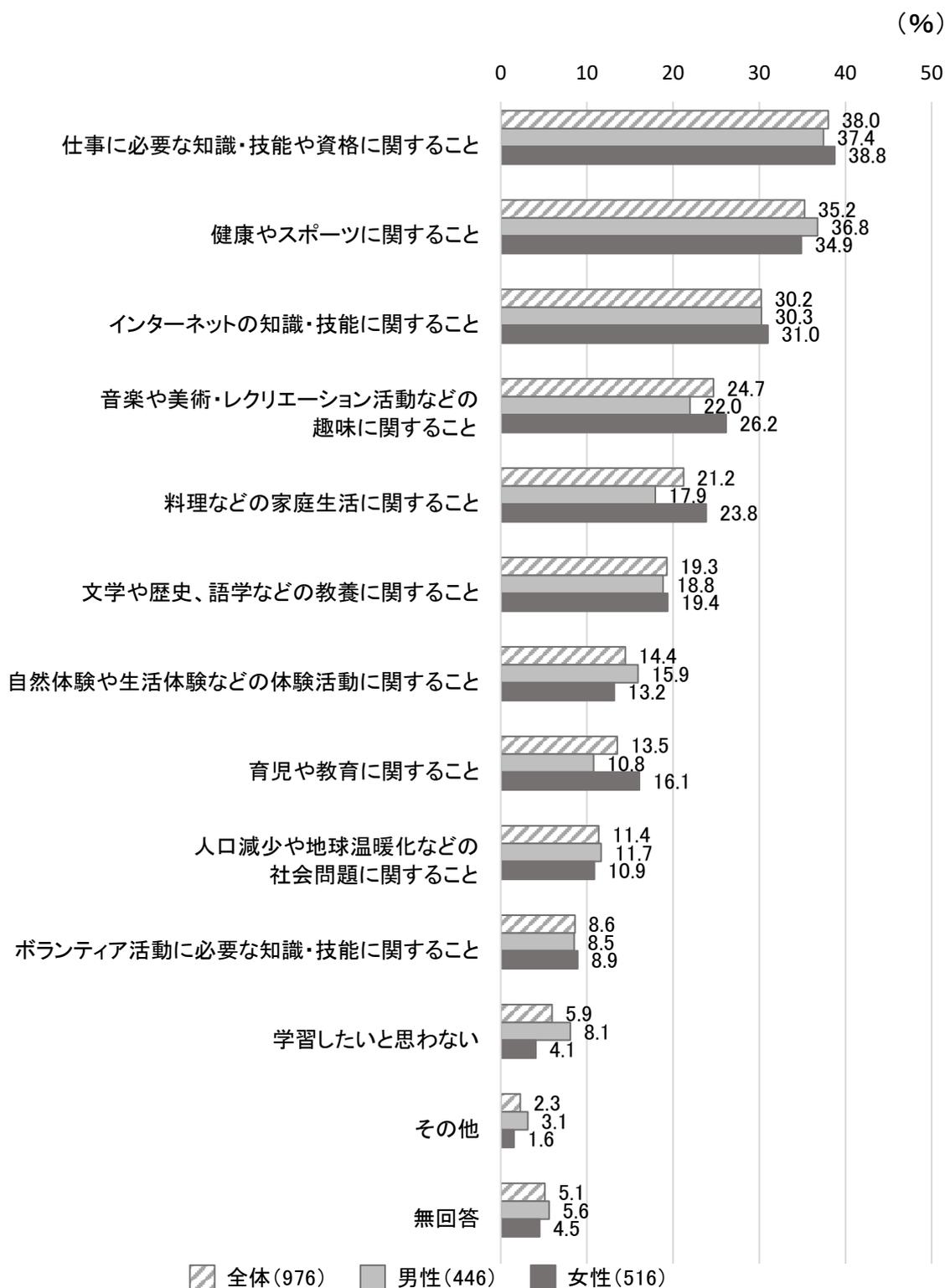
これから学習したいことは、「仕事に必要な知識・技能や資格に関すること」の割合が38.0%で最も高く、「健康やスポーツに関すること」(35.2%)、「インターネットの知識・技能に関すること」(30.2%)が続く。

n=976



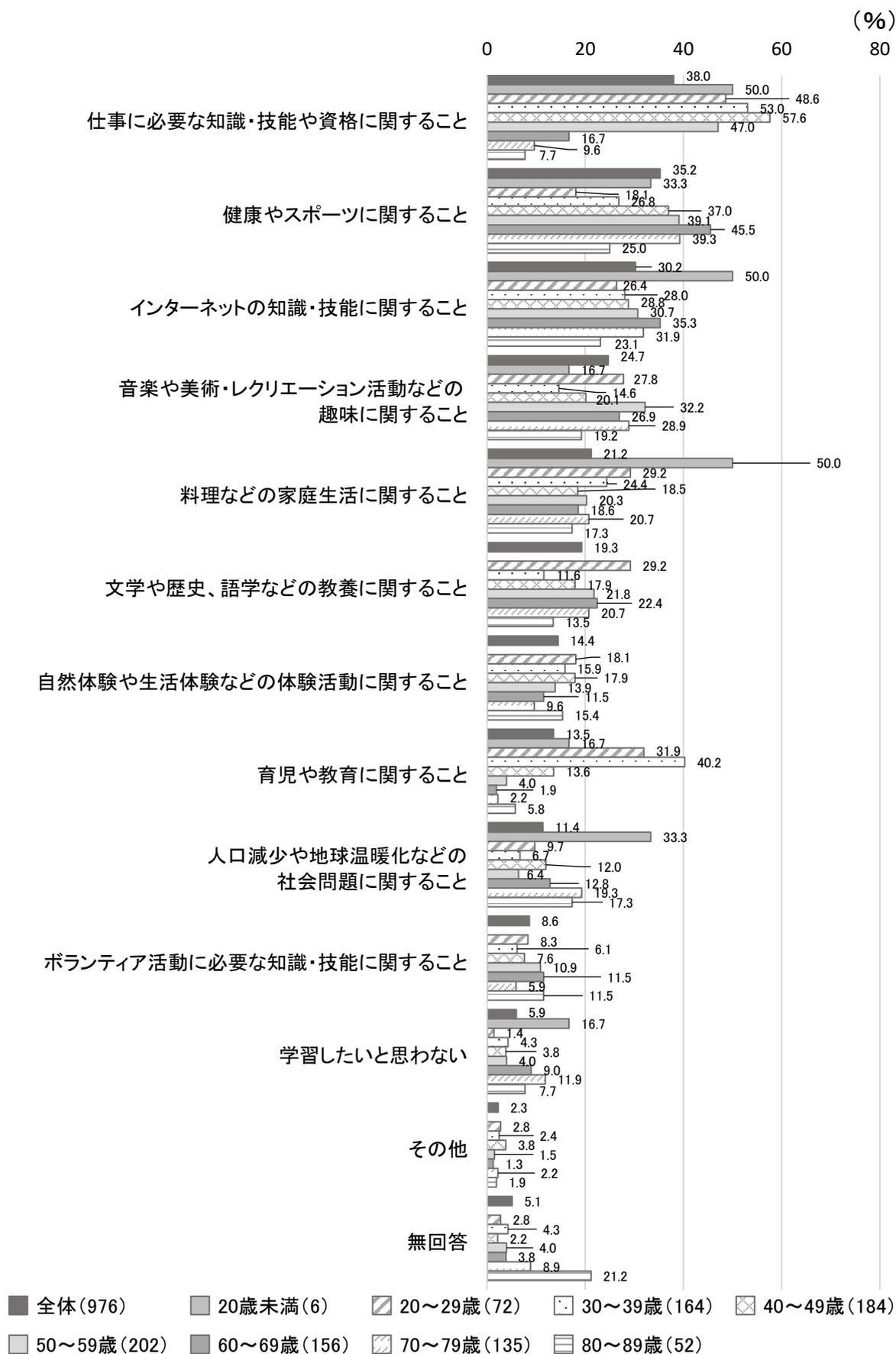
〈性別比較〉

上位項目の回答傾向に違いはみられないが、女性は、「音楽や美術・レクリエーション活動などの趣味に関すること」と「料理などの家庭生活に関すること」の割合が高くなっている。



〈年齢別比較〉

30代以下の年齢では、「育児や教育に関すること」の割合が高い傾向がみられる。



問21-1 問21で「学習したいと思わない」以外を選んだ方にお聞きします。学習のために、どのような施設を利用していきたいですか。(複数回答可)

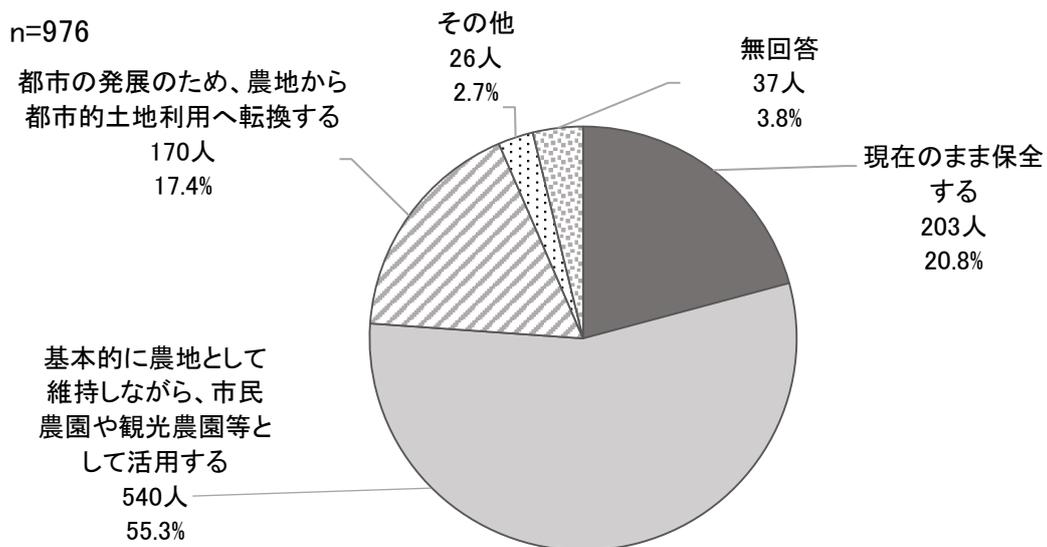
「学習のために、どのような施設を利用して行きたいですか」について、492件の回答があった。

「公民館」が194件で最多、続いて「図書館」180件、「運動ができる施設(体育館、わくわくドーム、ジム、スポーツ施設、陸上競技場等)」57件、「インターネットが使える環境(自宅で学べるため施設は不要を含む)」31件、「学校や大学等の学校施設」29件、「市民センター」22件、「カフェ」10件となっている。

問22 市街地の農地について、今後どのようにしたらよいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

〈全体〉

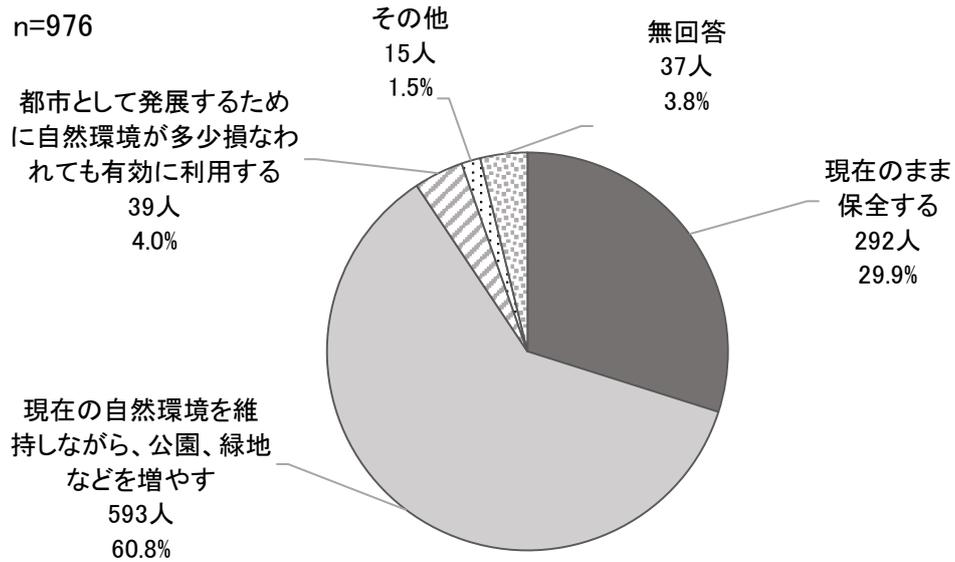
市街地の農地について、「基本的に農地として維持しながら、市民農園や観光農園等として活用する」の割合が55.3%と最も高く、「現在のまま保全する」(20.8%)、「都市の発展のため、農地から都市的土地利用へ転換する」(17.4%)が続く。



問23 自然環境（黒目川、新河岸川、武蔵野の原生林などの水辺・緑地など）について、今後どのようにしたらよいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

〈全体〉

自然環境の今後について、「現在の自然環境を維持しながら、公園、緑地などを増やす」の割合が60.8%と最も高い。「現在のまま保全する」は29.9%であり、一方、「都市として発展するために自然環境が多少損なわれても有効に利用する」は4.0%となっている。

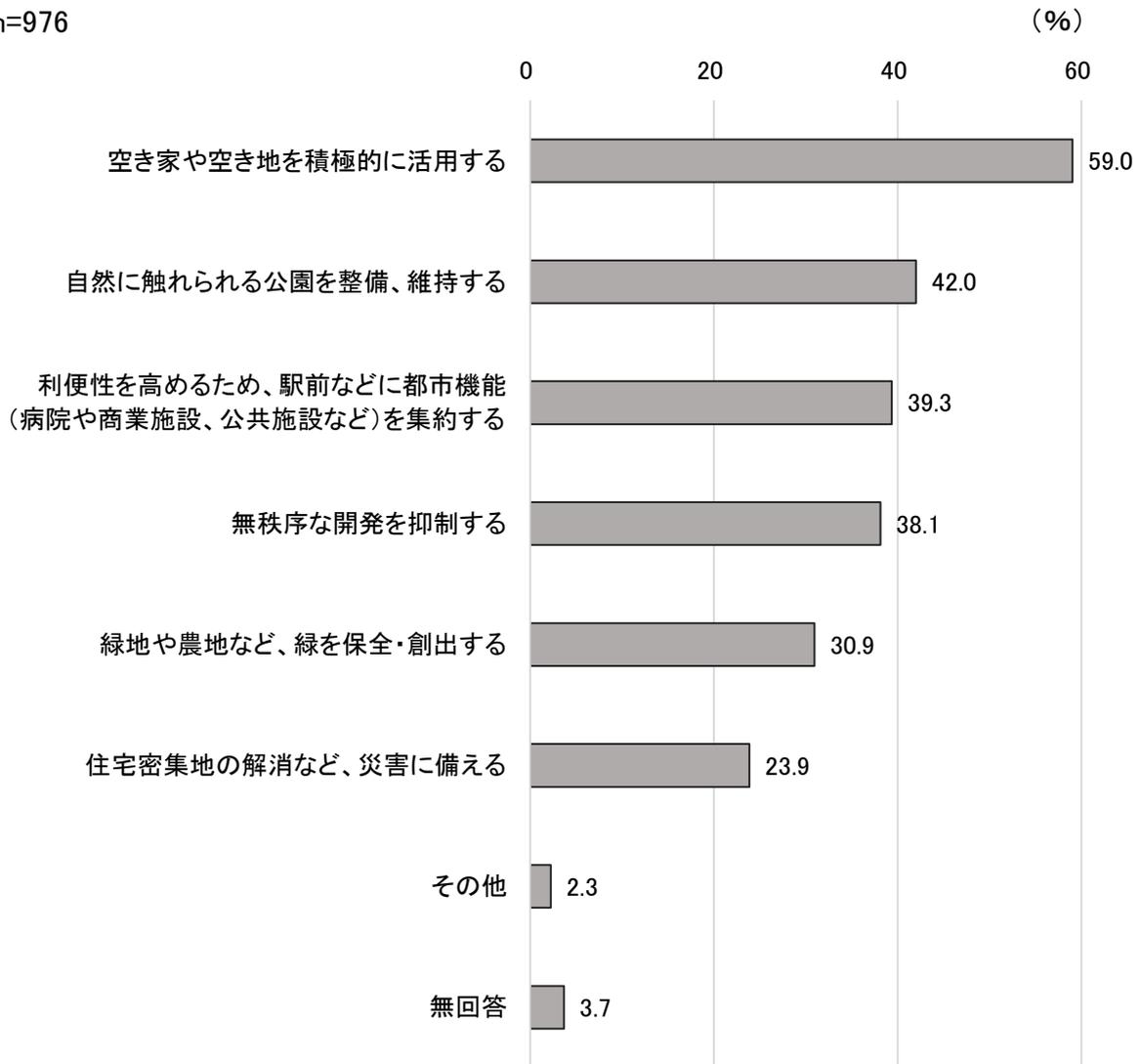


問24 今後、どのような土地利用が望ましいと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

〈全体〉

今後の土地利用について、「空き家や空き地を積極的に活用する」の割合が59.0%と最も高く、続いて、「自然に触れられる公園を整備、維持する」(42.0%)、「利便性を高めるため、駅前などに都市機能(病院や商業施設、公共施設など)を集約する」(39.3%)、「無秩序な開発を抑制する」(38.1%)となっている。

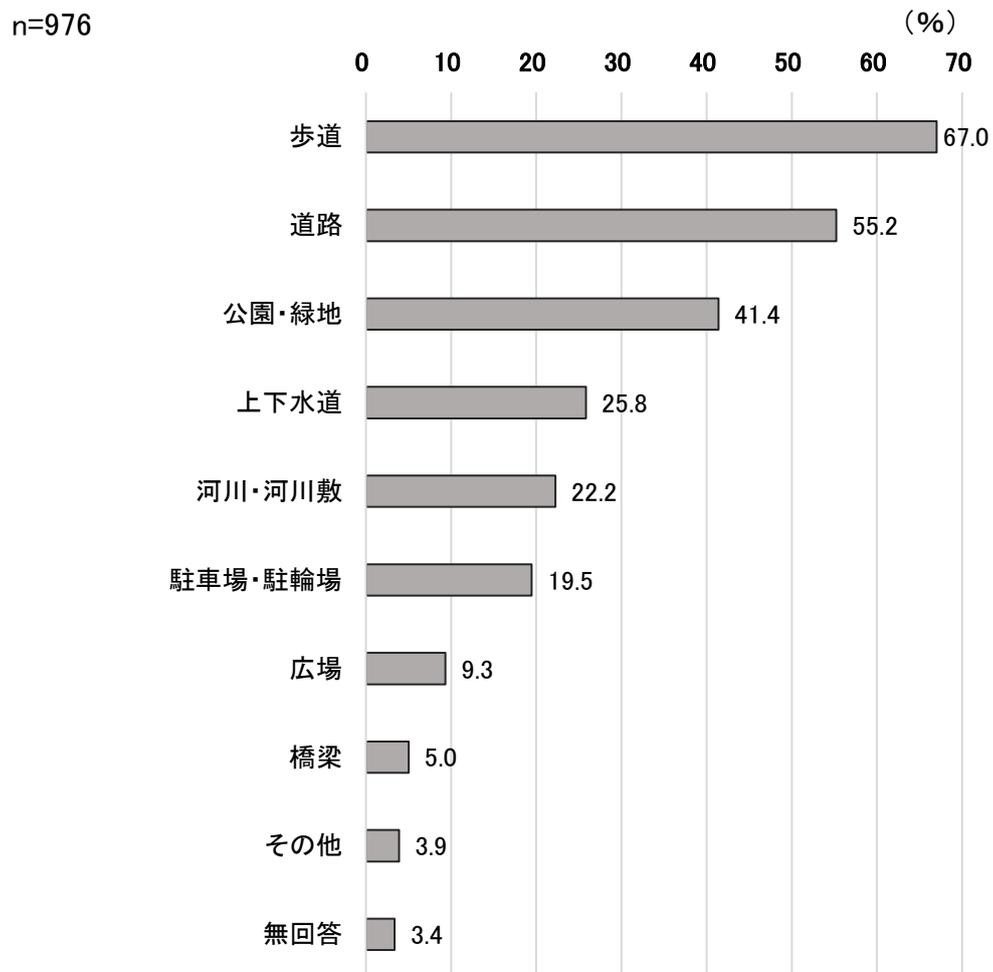
n=976



問25 市内の都市基盤の維持・整備について、今後、力を入れるべきだと思うものは何ですか。次の中から3つまで選んでください。

〈全体〉

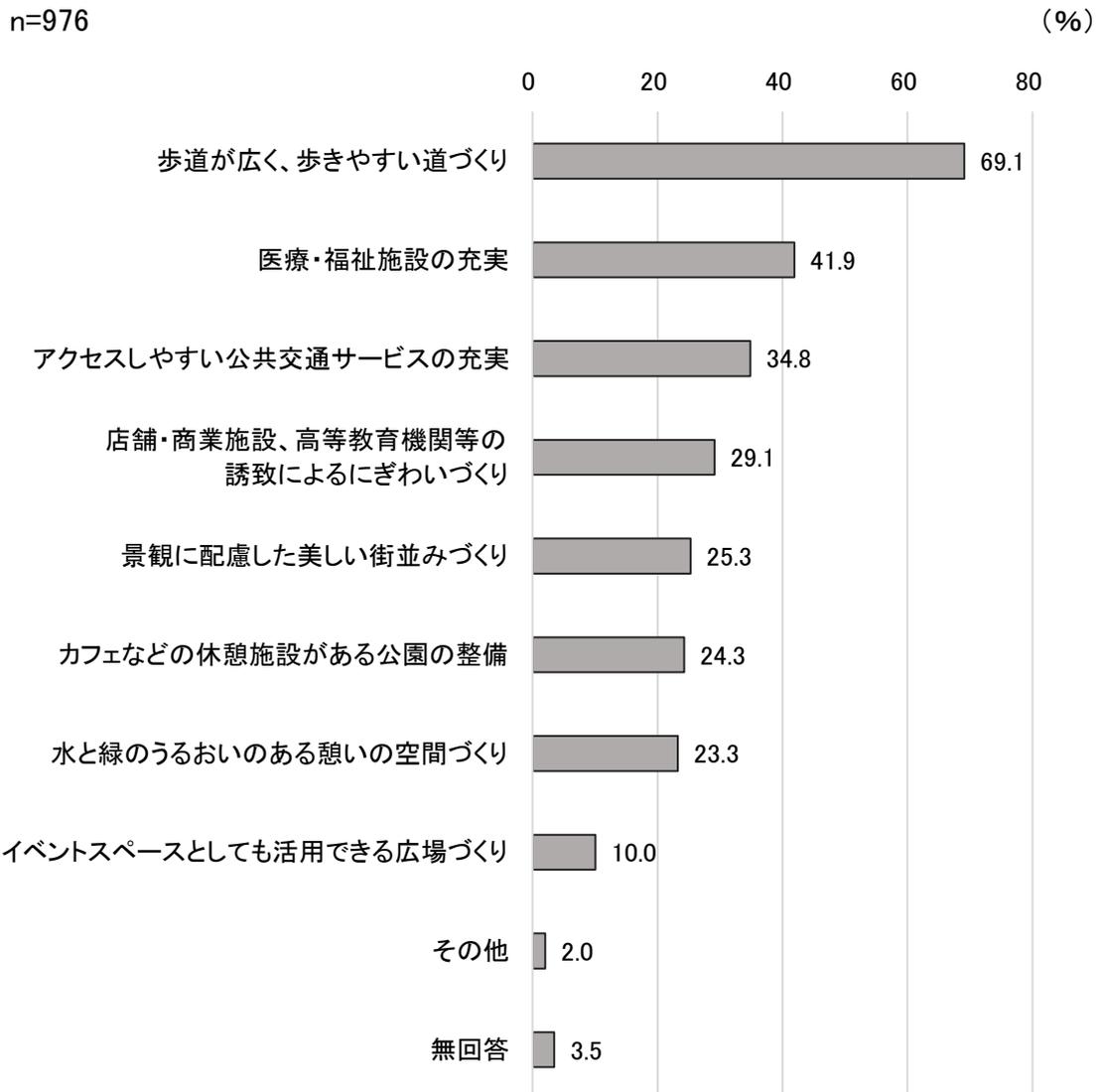
今後、維持・整備に力を入れるべき都市基盤について、「歩道」の割合が67.0%と最も高く、続いて、「道路」(55.2%)、「公園・緑地」(41.4%)となっている。



問26 今後、まちなかの魅力を高めるために、どのような取組が必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

〈全体〉

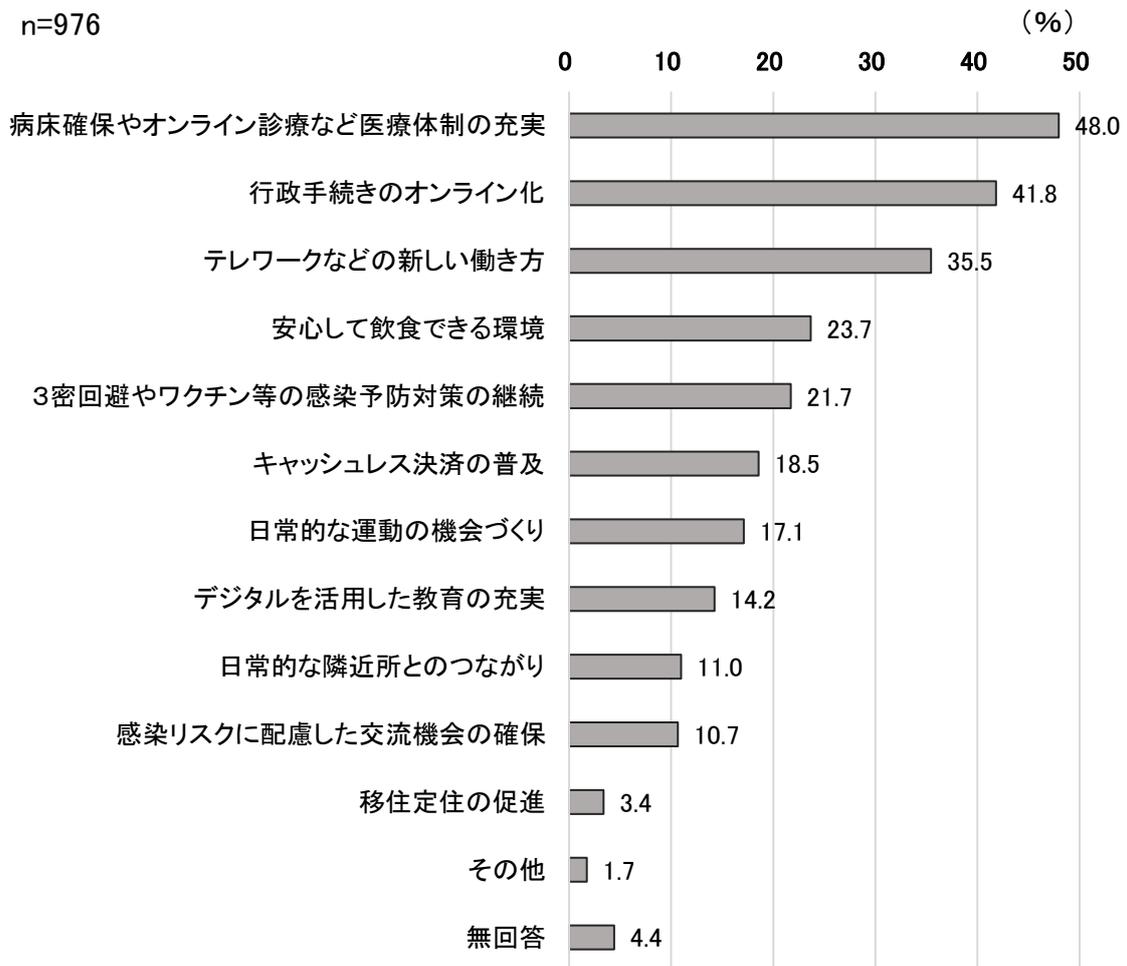
まちなかの魅力を高めるための取組について、「歩道が広く、歩きやすい道づくり」の割合が69.1%と最も高く、続いて、「医療・福祉施設の充実」(41.9%)、「アクセスしやすい公共交通サービスの充実」(34.8%)、「店舗・商業施設、高等教育機関等の誘致によるにぎわいづくり」(29.1%)となっている。



問27 新型コロナウイルス感染症の流行を経験して、今後重要だと思うことは何ですか。次の中から3つまで選んでください。

〈全体〉

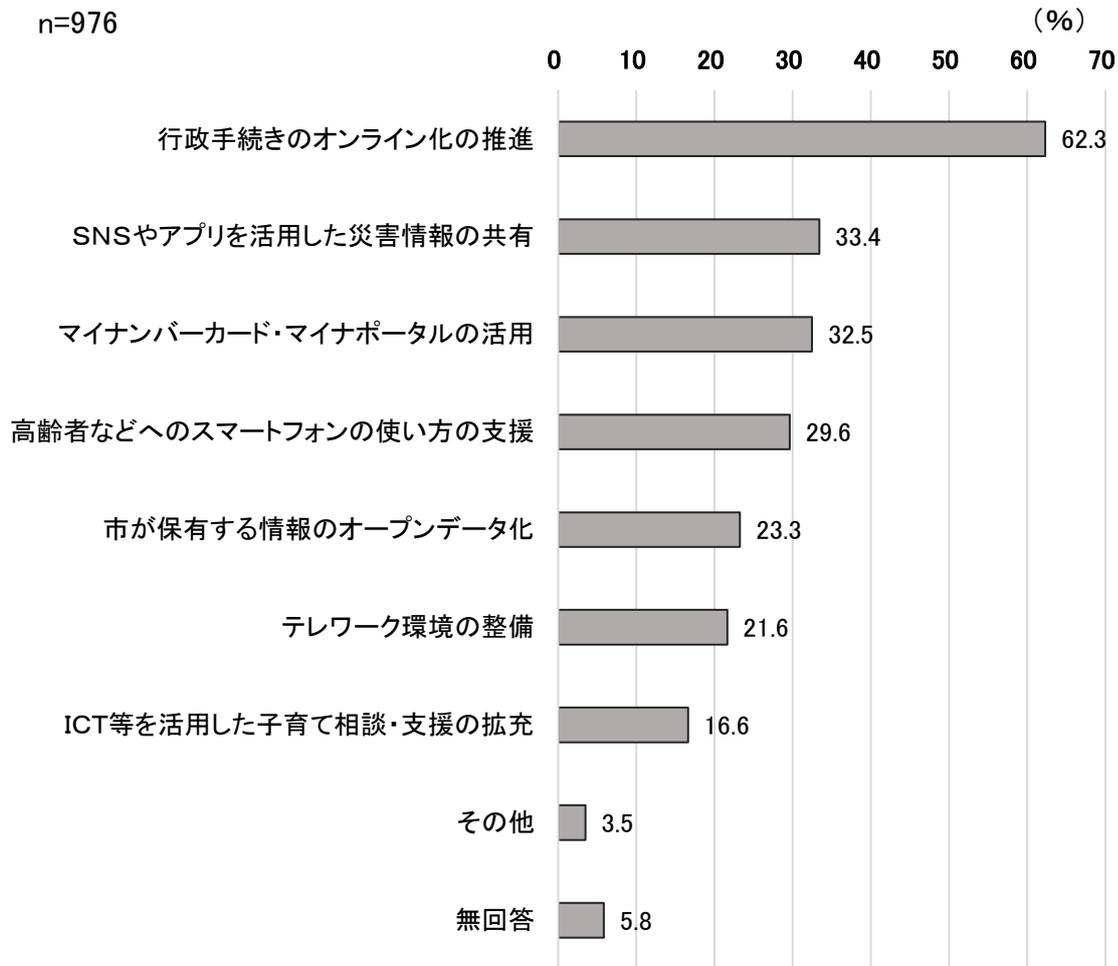
新型コロナウイルス感染症の流行を経験して、今後重要だと思うことは、「病床確保やオンライン診療など医療体制の充実」の割合が48.0%と最も高く、続いて、「行政手続きのオンライン化」(41.8%)、「テレワークなどの新しい働き方」(35.5%)となっている。



問28 朝霞市において、今後どのようなデジタル化の取組が重要と考えますか。次の中から3つまで選んでください。

〈全体〉

デジタル化の取組について重要なことは、「行政手続きのオンライン化の推進」の割合が62.3%と最も高く、続いて、「SNSやアプリを活用した災害情報の共有」(33.4%)、「マイナンバーカード・マイナポータル」の活用」(32.5%)、「高齢者などへのスマートフォンの使い方の支援」(29.6%)となっている。



6. 自由意見

問29 自由意見欄

最後に、今後のまちづくりや市政について、ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

自由意見欄に記入があったのは、回答者976人のうち331人(33.9%)である。

<全文> ※概ね原文のとおり記載している。

【都市基盤・産業振興】

- ・ 朝霞の歴史と原風景を維持しつつ、便利な生活環境を整える町づくり。
- ・ 車があることが前提のまち。今の住まいで、老後どうやって生活していくか考えてしまう。坂が多く、施設も分散しているため、せめてバスだけでもまんべんなく走っていてほしい。朝霞の人はイベントが大好きなので、それを利用して市の収入につながるようにすればいいと思う。イルミネーションも少しずつ増えているが、もっと力を入れてイベント化して、出店するお店を増やして、参加費などをまちのために役立ててほしい。
- ・ 東京都市圏に極めて近い市町村で、自然環境の保全をメイン市政として掲げているところはないと思います。基地跡地を残すという英断を機に首都圏唯一の「自然環境保全」を目指していただきたいです。都市機能を駅に集中させ、国道周辺と二駅(朝霞、朝霞台)周辺以外は自然環境を復元することを望みます。
- ・ 市役所通りのシャッターが閉まっているお店を開発してほしいです。老若男女の人達が来れるようなお店を造ったり、駅前に本屋(以前は駅の中でしたが、別の場所へ移転。)がほしいです。/朝霞駅の商業施設、東武カードをポイント付加してほしいです。志木・和光市駅はできるのに朝霞は何故？
- ・ まちの活性化、魅力UPのためにも、1日14万人が乗降する朝霞台駅、北朝霞駅周辺の都市開発を鉄道会社に働きかけ、協業して行ってほしいです。
- ・ 車道に新たに自転車用の道を造るのであれば、歩道の中に自転車道を造った方が、安全だと考えます。(歩道を広くしてその中に自転車用の道路を造る。)自転車と車の接触事故が減るし、狭い道で自転車による車の渋滞を防げると考えています。
- ・ 朝霞市は地理的要因(黒目川)により坂が多く、徒歩・自転車等での移動が少々不便である。上記対策として、公共交通(市民バスなど)の更なる充実に期待したいです。また、道路の狭い箇所も安全に通行できるように、歩道の整備もお願いします。
- ・ クルリンバスなど、細い道も割と多いので、もっと、あちらこちらを巡回できるようにしたら、もっと住み良い町になるのでは？
- ・ 畑の多い市として、農産物の提供の場として、道の駅等の整備ができれば、外からも出向いて来る方々もいるだろうし、市民も喜ぶことと思います。そこに人が集まり、そこで働く方々がいる。是非、整備してくれたらと思います。

【健康・福祉】

- ・ 既婚ですが子どもはおらず、40歳手前で子どものことを考えた時、市の助成は何を得られるのか調べてみました。不妊治療などの助成に年齢制限があり、特に受けられる助成は見当たらず、経済的にも子どもは無理かなと思ってしまいました。こういう考えの人が一人、二人と重なると増々少子化に拍車がかかると思います。晩婚化も進んでいるいま、世の流れにあった助成を検討していただきたいと切に思いました。
- ・ 朝霞市の環境、子育て支援、文化、イベント、生涯教育などはおおむね満足しています。今後自分が歳をとっていくことを考えると、医療、市内交通、年齢が高くても働ける環境、老人福祉などが気になります。
- ・ いつも病院が混んでいます。朝霞市の人口に対して病院が少なすぎます。もっと増やしてほしいです。隣の和光市の方が充実しているように感じます。
- ・ 県外の母が突然入院となり途方に暮れていたところ、地域包括支援センターの方に親切に相談に乗ってもらい、本当に助かりました。子ども、高齢者、女性、男性、外国人、マイノリティの人などが、困った時に、気軽に相談できる場所づくりを求めたいです。そして、それら情報を色々な方法で共有してもらえたらと思います。「父親、母親、子ども2人」の家族モデルはとくに崩れて多様化しているので、ひとりひとりが住みやすいと思えるまちにしてほしいです。朝霞は都心にも近く、そのわりに自然も豊かでとても気に入っています。ぜひ上記取組を求めます。また若い人に向けて、政治への関心を高めてほしいです。まちづくりの主体が自分たち、代弁者である人を選ぶ選挙の大切さを小学校からきちんと教えてほしいです。
- ・ 朝霞が大好きです!もっと、もっと高齢者にも障がい者にも健常者にも、居心地いい街づくりを、何卒よろしく願います!!朝霞台駅周辺の充実化!!(駅設備含む)ホームガイドの早期実現化!!
- ・ 医療の充実。かかりつけ医にかかっている、緊急時の対応に不満があります。救急外来のある病院も担当の先生がいないと、断られる(通院してる病院なのに)。
- ・ いつまでも自身の足で歩けるよう、日々努力していますが、市で体操教室を計画してくれてありがたいのですが、人数が少なすぎます。椅子に座っての体操の為、行動範囲も狭く、もう少し人数が増えるとありがたいのですが、抽選になり、皆ガッカリしております。お金を出してサークル参加の方法もありますが、年金生活では、その余裕もないとの、皆さんの意見です。残り少ない余生を元気に過ごしたいものです。

【子育て・教育・文化】

- ・ とても住みやすいです。現在、大学生、高校生、中学生と3人子どもがいるので、その世代にも少し補助があると助かります。幼稚園など卒園してから無償化になった残念な世代です。また、緑が多い朝霞が気に入っている、緑を残してほしいです。
- ・ 子どもが放課後、安心して過ごせる場所(学童、児童館以外)であれば助かります。
- ・ 子育てに関するお金は平等に、所得制限はやめてほしい。放デイ利用料も所得による差をなくしてほしい。子どもの医療費無償を高校生までにしてほしい。小、中の給食費を無償化してほしい。
- ・ 子育て支援に注力してほしいです。子ども医療無償化、高校費用無償化など。金銭的心配なく安心して子育て出来るまちだと思えたら、ずっと住みつづけたいと思っています。
- ・ 朝霞市に住んで4年経ちますが、経済面から子どもを授かる気になれません。

- ・ 少子高齢化を止める為にも子ども3人目まで授かれるような施策を期待しております。例:義務教育である中学校まで学費、医療費を無償化する等。
- ・ 子育て世代に優しい町になってほしいです。将来のある子ども達に過ごしやすい環境が必要だと思います。朝霞に住み続けて、子育てをしたいという友人がたくさんいます。若い人の意見をたくさん聞いてほしいです。
- ・ 体育館などでスポーツ教室を開いて、誰でも参加できるようなことをしてほしい。
- ・ 子育て支援を充実させて欲しい。本当にお金がかかるのは高校以降です。高校の授業料の補助や、大学の授業料の補助をして頂きたいです。子どもが自ら進学を希望したくても親にそれだけの収入がなく進学をあきらめなければならないような社会にならないためにも、学びたいと思っている子には進学ができるようにして欲しい。(大学に通うことで社会人になったときには、しっかりとした収入を得て、税金も支払えることになるのでは)
- ・ 児童館や児童クラブの運営に、子ども達が直接意見を言えるような仕組みを作って欲しい。子どもの声をひろうような運営にしていきたいです。
- ・ 子どもをもつ母親が働ける環境、仕組みを整えてほしいです。/専業主婦が求職活動するのが難しい。→保育園に入れない。/仕事がある主婦も限られた時間でしか働くことができない。→幼稚園の預かり保育は園によって充実してるものの、小学校の学童保育の利用者が限られてしまう。また、普段は学童の利用をしなくても大丈夫な家庭も、夏休みなど長期休暇の間、子どもの預け先がなく、母親は働くことが難しくなる。若者や子育て世帯に選ばれるまちになるには、上記の改善が必要だと思います。幼稚園児の母である私自身、また同じような立場の人たちも上記のことで色々悩み、考えています。働きたいお母さんたちは沢山います。どうか解決して頂きたく思います。よろしく願います。

【環境・コミュニティ】

- ・ 私はまだ十数年しか朝霞に住んでいませんが、この十数年でだいぶ便利になり、緑が少なくなってしまったと思っています。便利になるのは嬉しいですし、住みやすいですね。ただ、緑が少なくなってきているのは、さびしい気持ちにもなります。子どもたちの教育にもやはり、ほどよい緑や自然が大切だと思います。今のような朝霞のいい所、自然や緑を守っていつて頂けたらと思います。
- ・ 黒目川や新河岸川の流域に残された自然環境を残して街づくりを期待します。地権者から土地借上げ、購入、協力を得て、広域的な緑地を中心とした、誰でも憩える居場所づくり、街づくりを行う。
- ・ 緑が多く、楽しい生活ができています。ありがとうございます。
- ・ 今後のまちづくりにあたっては、今後のまちのイメージを市と市民が共有化し、更に市民の積極的な参画で進めていくことが必要と思っています。しかしながら、市と市民のつながりを見たアンケートでは一個人ないしは仲間内だけの小集団とのつながりでしかなく、市指導型で市民が動く形になっているとしか思えません。通常時はこのようなつながりでも大きな問題が発生することはないと思いますが、非常時には何ら機能しない連携と思われれます。このため、非常時の連携を深めるためにも、また、明日の朝霞を考える場合でも、市の意向を受けてそれを推進する組織だった臣民団体(町内会・各種団体等)が必要不可欠だと思います。特に町内会は地元根付いた組織であり、市はもっと連携を深め、町内会活動が活性化するよう、指導してもらいたいと思います。

【災害対策・防犯・市民生活】

- ・ 不審者対策で定期的にパトロールをしてほしいです。ムクドリ、カラス対策もお願いします。
- ・ 洪水による水害が出ないよう整備をしてほしい。
- ・ ここ数年のうちに、外国から働きに来た人達が増えたと感じます。今後、多国籍、多文化志向となってくるかと思いますが、身近なところでは、ごみの分別、ごみの出し方といった日常のことや、環境や治安面で、誰もが住みやすい環境を整えてほしいと願います。
- ・ 防災あさかのスピーカーが少ないのと、質が悪く音声がわかりにくい。有事の時に役に立たないと思うので心配。
- ・ 日頃、車中泊やキャンプをしていて、感じている事として、災害時に一次避難場所、またはシェルターとして利用できるキャンピングカーや、車中泊車によるイベント(車中泊を軸とした食事やトイレ体験、実際の車中泊)をやってみたい。
- ・ 細街路の安全確保(一方通行の設定など)。街灯増設。交番の設置。
- ・ 街灯が暗い箇所がいくつかあります。点検等を行い、適宜、対応をして頂けるとありがたいです。

【行財政運営】

- ・ 朝霞に越して来たのは最近なので、実情のほどは分かりませんが、昨今の DX、AI 事情に対して、どのような方針でキャッチアップ、取り入れていくのかが気になっています。デジタル庁や東京都のように舵を切れるのかは今後10年を大きく分けるのではないのでしょうか。また AI 導入や DX の際に、既存の業務をただデジタル化してはどうしようもなく、そもそも業務の意味や、流れをきちんと見直し、意味のある改革となれば良いと感じます。全てをデジタル化すれば全ての問題が解決するという訳ではありませんが、想像以上に改善できるはずでです。これらを「デジタル推進課」だけの問題とするのではなく、全庁的な問題と捉えて、重要な方針の一つとできないか、ご検討いただければと思います。
- ・ 一部の人のために、予算を使用するなどのない、無駄遣いのない行政をよく考えてやってもらいたい。将来に見すえたまちづくり、人づくりが必要だと考えます。
- ・ 魅力的なまちづくりは何かという、つかみどころのない永遠のテーマに向け、具現化できるよう日々努力されている事と思います。様々な市民の最大公約数的な意見を把握しつつ、将来に向けて朝霞の子どもたちが生まれた、あるいは育った「まち」に誇りを持ち更に住み続けたいと思うような希望のあるまちづくりを、行政という立場から進めてください。マスコミ等で取り上げられるような施設や催し物等を企画するなど、「まち」のシンボリックなものがあったとしても良いかもしれません。
- ・ サステナブルに住み続けられるようにするため、行政サービスは不可欠。行政サービスを維持するための財源確保が必要。企業誘致を進めるための商業施設と駅前の再開発が必要。駅から近くに雨でも濡れないオフィスビルと共有テレワーク施設のあるワーキングスペースを確保する。都内へのアクセスの良さとほどよい住みやすさをアピールしつつ企業誘致に力を入れるべき。市役所、学校のリニューアルに力を入れ、住みやすさが一目瞭然な状態をつくる。畑や河川は整備維持し、広く市民利用ができるようにする。住んでよし、働くにもよし、アクセス良しをアピール。SDGs や CSV を意識し、広く民間企業の協力を得られるようにする。官民連携課の設置。民間企業の協力で市民サービスを充実させる。
- ・ 市民が意見や要望を市へ調節伝える「目安箱」的なものを、市役所や主な公的機関へ設置する。ま

たは市のホームページからメールにて送付できるようにする。もし既に対応済みであるならば、もっと広報により市民に知らしめる。/市内循環「宮戸3丁目」のバス停の道路道幅が極端に狭くなっており、カーブ時に正面衝突しそうになる。近隣の車は注意しながらカーブを進むが、他県や他市の車はかなりのスピードでカーブして、事故が起こりやすい。(子どもの安全を確保した為に車道を狭くしたけれど、道幅が狭くカーブで危険がある。)※カーブでスピードを落とすような注意喚起や工夫が必要である。

- ・ 朝霞市、新座市、志木市の連携した事業の促進を望みます。
- ・ 健全な街づくりは、行政や市民の協力で成り立つものだと思います。急速に高齢化が進んでいます。老若男女が仲良く暮らせるまちづくりを期待したいです。
- ・ 単身者用の施策もあるとうれしいです。コミュニティスペース付きの単身者用集合住宅があったら住みたいです。

【その他】

- ・ 頑張ってくれている感じはするが、色々なイベントが朝霞駅方面寄り、朝霞台、特に朝志ヶ丘地区は少し取り残された感がある。/空き家対応として高齢者が集う場や、子どもの放課後の遊び場など活用してほしい。/高低差のある地形を生かして見はらし台などもあったらよい。/ダイチャリはとってもよい。朝霞のウリにもできる。坂が多いので電動は必須。/こども大学もよい取り組みだと思う。今後も共に市政に取り組みたいと思います。
- ・ 広報やHPからの情報では、現状分からないことが多いです。実際に市政活動に関わる機会があればもっと関心を深めることが出来るのではと思います。
- ・ 街の情報が広報誌のみでしかわからない。
- ・ ホームページ等を見にいけばよいかもしいが、もっと発信をしてほしい。
- ・ 彩夏祭の他にも朝霞に来たくするようなイベントがもっとあると良いと思います。
- ・ 市内の外国人と関われるような、イベントがあれば嬉しいです。
- ・ 彩夏祭が好きなので今後も続いて欲しいです。
- ・ イベントや取組などとても充実したまちだと思って住んでいます。行政が担える範囲には限界があると思いますが、だからと言って何でも地域の方と協働というのも難しいと思います。何かに特化するまちよりいろんなものがほどほどに充実しているまちが住みやすいと思います。
- ・ 普段の生活を維持することに精一杯で、今まで「朝霞市」のまちづくりや市政について無関心でしたが、これから少し興味を持ってみようかと感じました。

第2部 青少年アンケート結果

I 調査の概要

1. 調査の目的

この青少年アンケートは令和8年度(2026年度)から10年間のまちづくりの指針となる「第6次朝霞市総合計画」を策定するに当たって、まちづくりに対する青少年の意向を把握し、基礎資料として活用するために行ったものである。

2. 調査の方法

- ① 調査対象 市内居住の12歳以上18歳未満の男女(令和5年4月1日時点での満年齢)
- ② 対象者数 1,000人
- ③ 抽出方法 住民基本台帳(令和5年11月1日現在)から無作為抽出
- ④ 調査方法 郵送配布・回収、インターネットによる回答を併用
- ⑤ 調査期間 令和5年11月24日送付、12月25日締切

3. 集計・分析のための地区区分

A地区	大字上内間木、大字下内間木
B地区	朝志ヶ丘、北原、田島、西原、浜崎、宮戸
C地区	大字台、大字根岸、岡、仲町、根岸台
D地区	泉水、西弁財、東弁財、三原
E地区	青葉台、幸町、栄町、膝折町、本町、溝沼、陸上自衛隊朝霞駐屯地

4. 調査項目

- ① 朝霞市について日頃感じていること
- ② これからのまちづくりについて
- ③ 地域との関わりについて
- ④ 市の取組について
- ⑤ 自由意見

5. 回収結果

- ① 調査票発送数 1,000票
- ② 有効回収数 281票(紙回答:178票、Web回答103票)
- ③ 有効回収率 28.1%(紙回答:17.8%、Web回答:10.3%)

6. 報告書の見方

①用語について

- ・ 図表中の「n」(=number)は、設問に対する回答者数を示す。
- ・ 選択肢の文字数が多いものは、本文や図表中で省略した表現を用いている。

②集計について

- ・ 比率は、全て百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。このため、比率の合計が100%にならない場合がある。なお、集計上の無回答には、無効な回答も含んでいる。
- ・ 複数回答形式の設問については、設問に対する回答者数を母数として比率(%)を算出している。このため、合計が100%を超えることがある。

③意識調査の信頼性について

- ・ 本調査は、調査対象となる母集団から標本を抽出し、母集団の比率を推測する標本調査であるため、調査結果には統計上の誤差が生じることがある。今回の単純集計の場合の標本誤差(信頼度95%とした場合)は、次の式により求められる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N=母集団の数
n=比率算出の基数(回答サンプル数)
p=回答の比率(0≦p≦1)

- ・ 今回の市民意識調査では、母集団の数7,501人を(令和5年11月1日現在)として、有効回収数(サンプル数=281票)から標本誤差を計算すると、±5.9%以内になる(信頼度95%とした場合)。

① 経年比較について

- ・ これまで実施した意識調査との経年比較を行った(平成22年度、平成25年度、令和元年度実施)。
- ・ 平成22年度調査では、朝霞市に立地する市立中学校及び県立高校から、各学校とも1クラスずつ抽出し、在学する生徒を対象に調査を行っているため、前々回調査との経年比較については、それぞれの結果を単純に比較することができないが、一部参考として記載している。

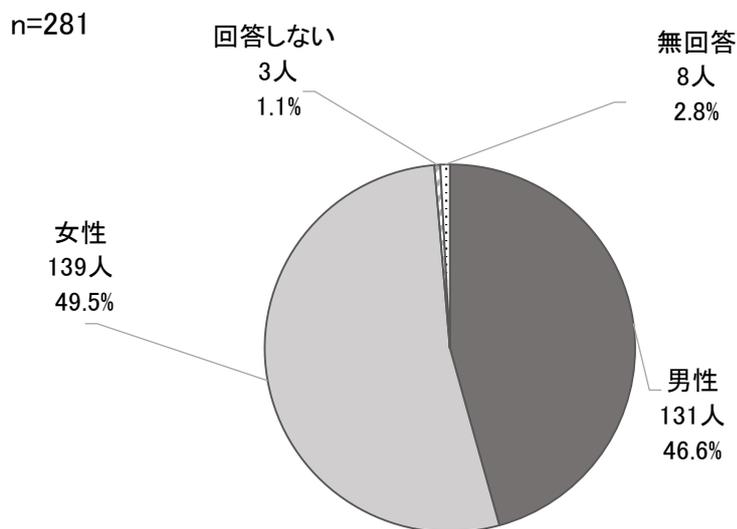
② 居住地区別比較について

- ・ 居住地区(A~E地区)別比較を行ったが、A地区は回答数が少ないため、居住地区別比較文中では触れていない。

7. 回答者の属性

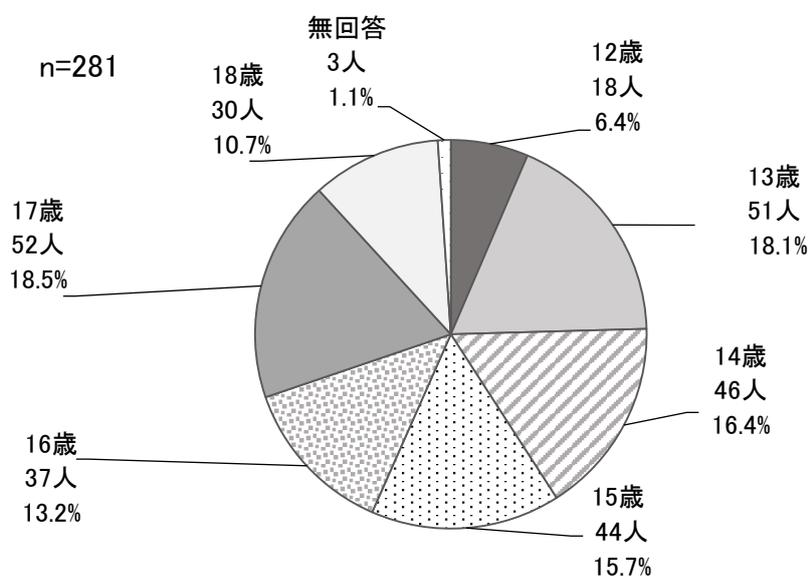
F1 あなたの性別は。

回答者の性別は、「女性」の割合が49.5%、「男性」の割合が46.6%となっている。



F2 あなたの年齢は。

回答者の年齢は、「17歳」の割合が18.5%と最も高い。また、「12~15歳」の割合が56.6%、「16~18歳」の割合が42.4%となっている。

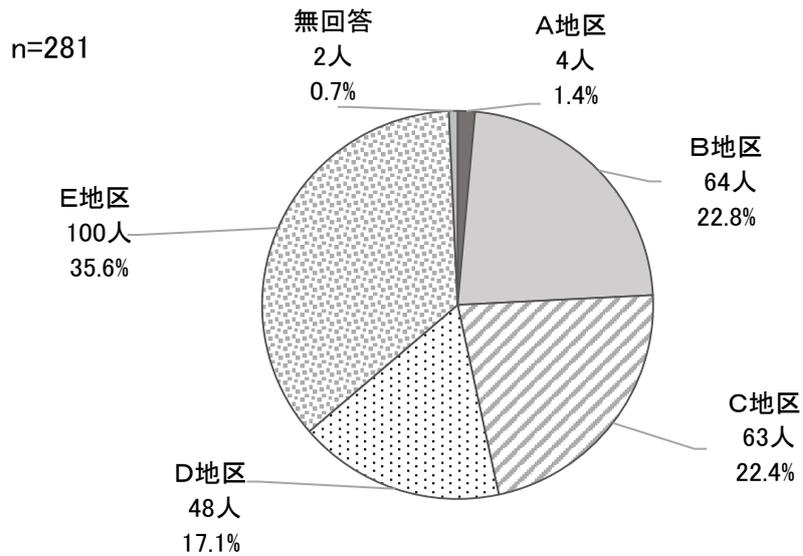


F3 あなたのお住まいはどの地区ですか。

回答者の住んでいる地区は、「E地区」の割合が 35.6%で最も高く、続いて「B地区」(22.8%)、「C地区」(22.4%)、「D地区」(17.1%)、「A地区」(1.4%)となっている。

町(丁)・大字別でみた住んでいる地区は、「根岸台」の割合が 12.1%で最も高く、続いて「三原」(10.3%)、「栄町」(9.6%)となっている。

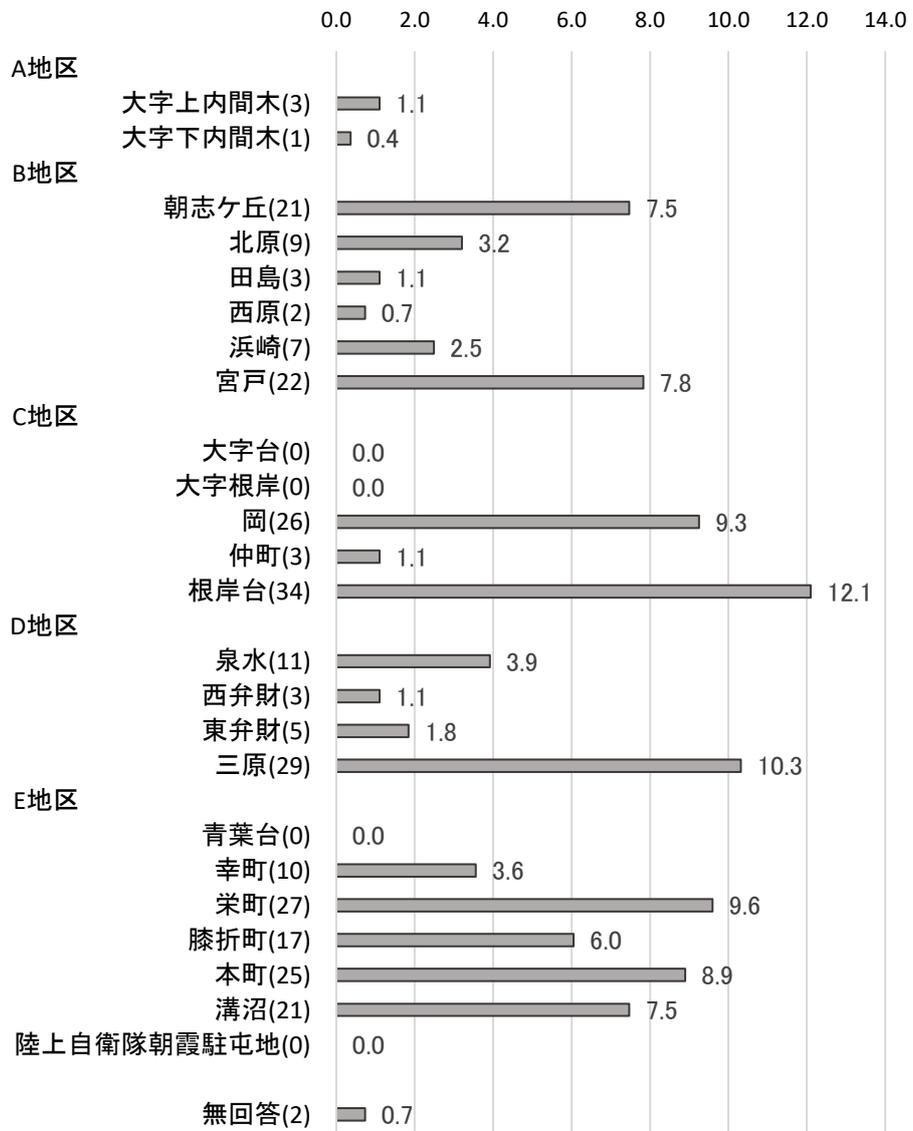
※地区区分については、128ページ「3. 集計・分析のための地区区分」参照。



【町（丁）・大字別居住地区】

n=281

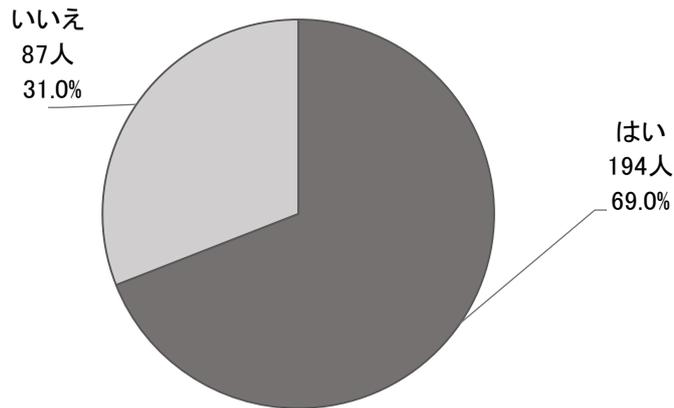
(%)



F4 あなたは、生まれた時、または幼少の頃から朝霞市にお住まいですか。

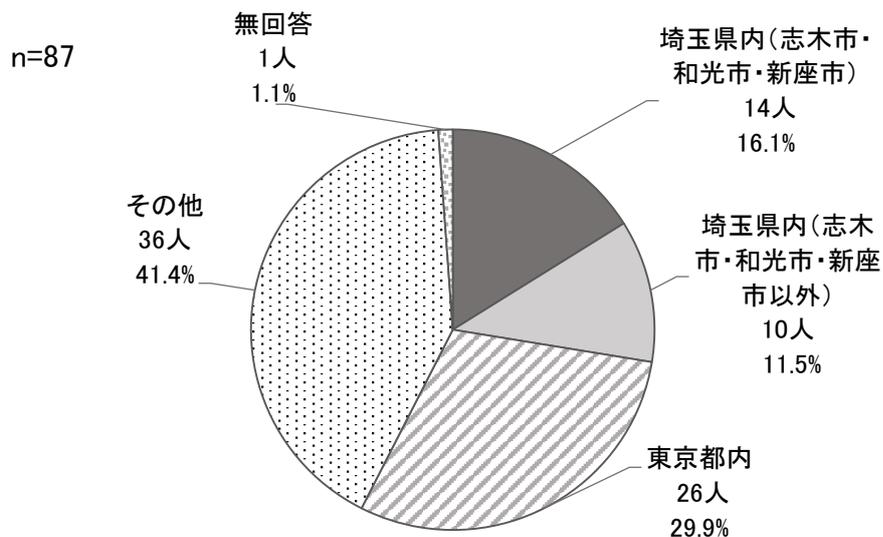
回答者が生まれた時から朝霞市に住んでいるかどうかについては、「はい」の割合が69.0%、「いいえ」の割合が31.0%となっている。

n=281



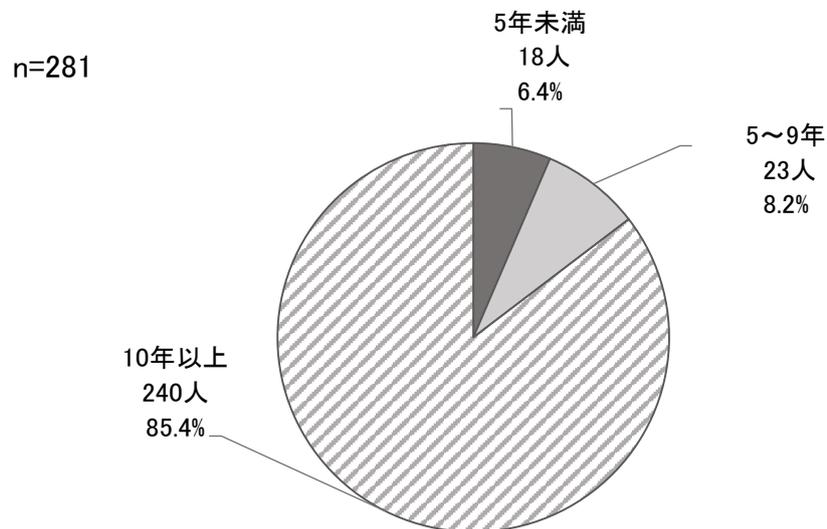
F5 F4で「いいえ」と回答された方にお聞きします。朝霞市に住む以前はどちらにお住まいでしたか。

市外から転入してきた回答者の以前の住まいは、「その他」を除くと、「東京都内」の割合が29.9%と最も高く、続いて、「埼玉県内(志木市・和光市・新座市)」(16.1%)、「埼玉県内(志木市・和光市・新座市以外)」(11.5%)となっている。



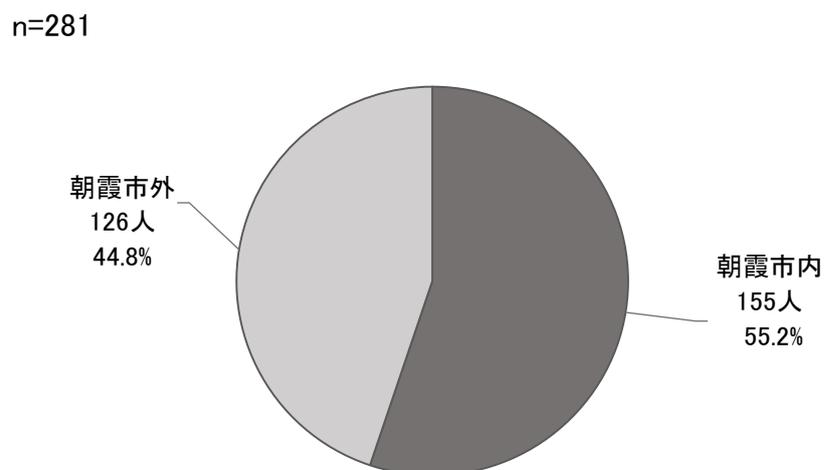
F6 あなたは、朝霞市にお住まいになってどれくらいになりますか。

回答者の朝霞市に住んでいる年数は、「10年以上」の割合が 85.4%で最も高く、続いて「5～9年」(8.2%)、「5年未満」(6.4%)となっている。



F7 あなたの通学や通勤先は。

回答者の通学・通勤先は、「朝霞市内」の割合が 55.2%、「朝霞市外」の割合が 44.8%である。



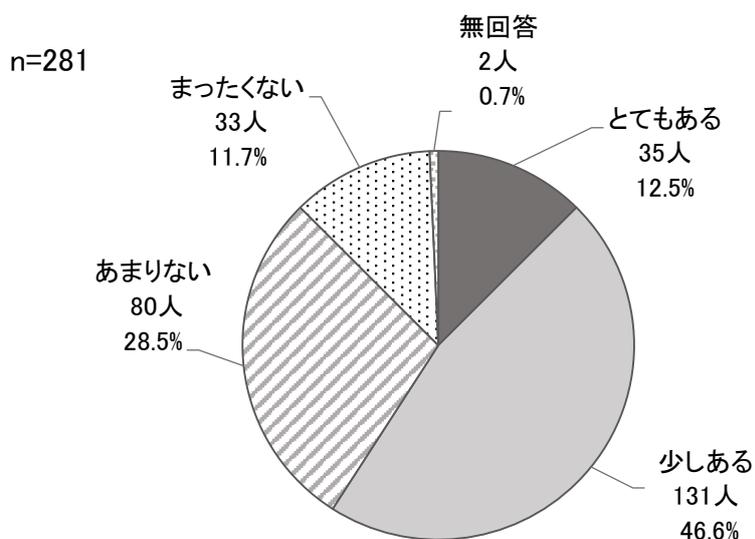
II 回答結果

1. 朝霞市について日頃感じていること

問1 あなたは、「朝霞市のまちづくり」に関心がありますか。次の中から1つ選んでください。

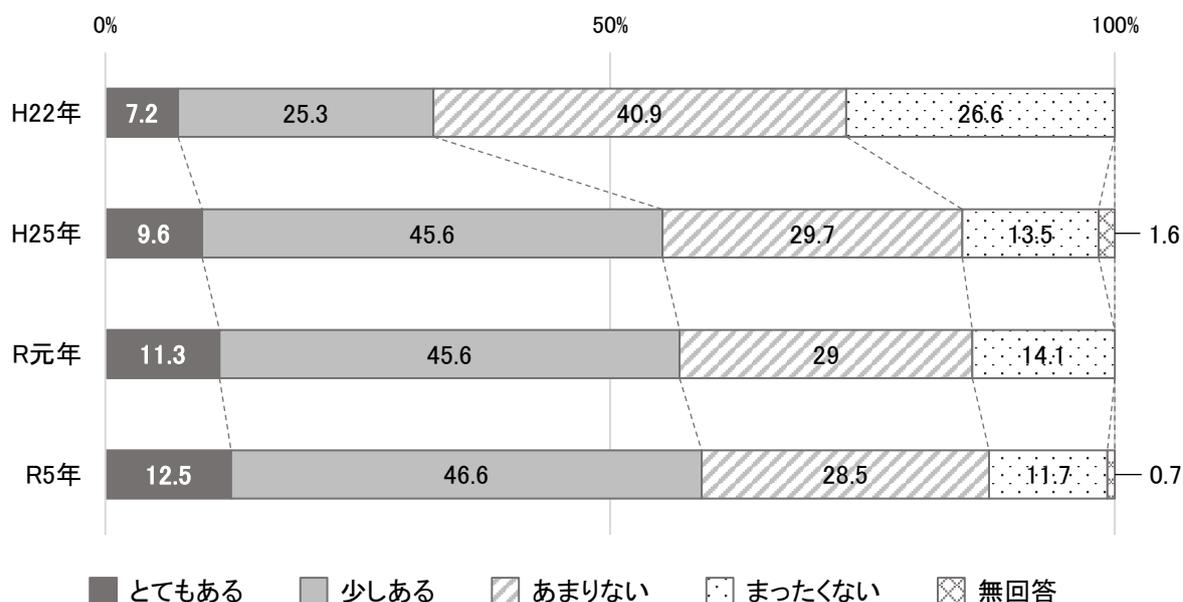
〈全体〉

朝霞市のまちづくりへの関心は、「とてもある」(12.5%)、「少しある」(46.6%)を合わせた“関心がある”の割合が59.1%となっている。一方、「あまりない」(28.5%)、「まったくない」(11.7%)を合わせた“関心がない”の割合が40.2%となっている。



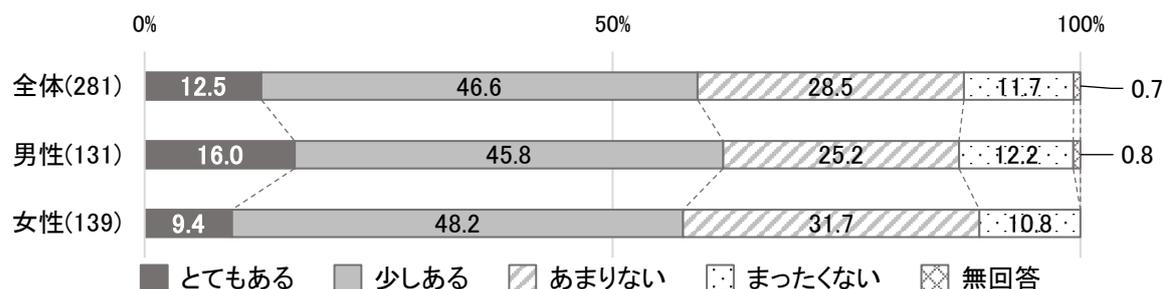
〈経年比較〉

「とてもある」、「少しある」の割合は平成22年以降、増加している。



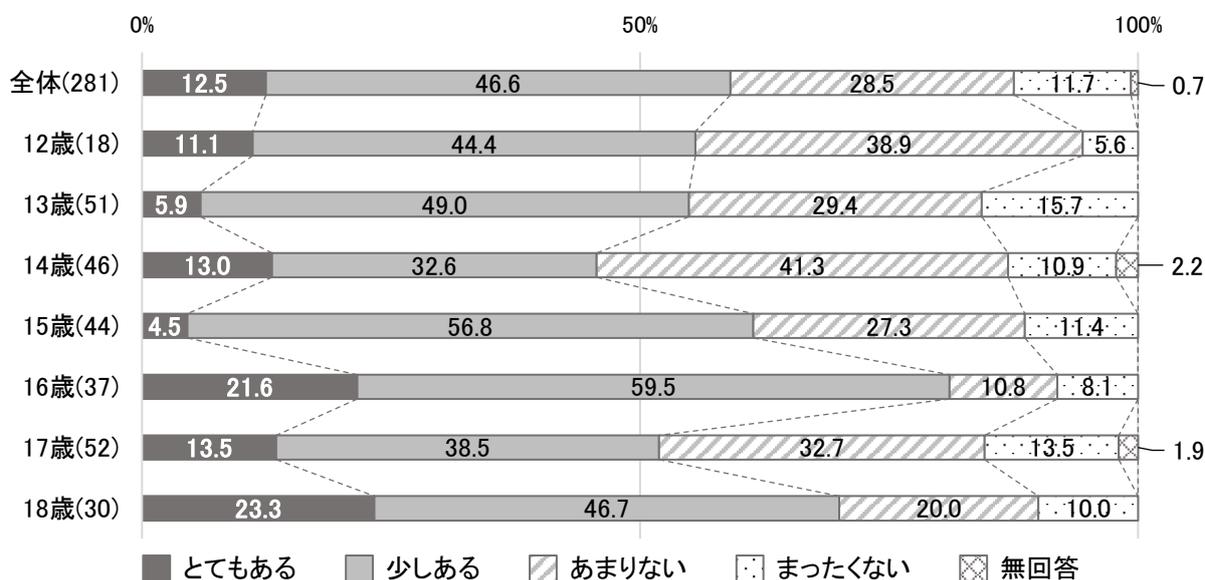
〈性別比較〉

性別による回答傾向の違いはみられない。



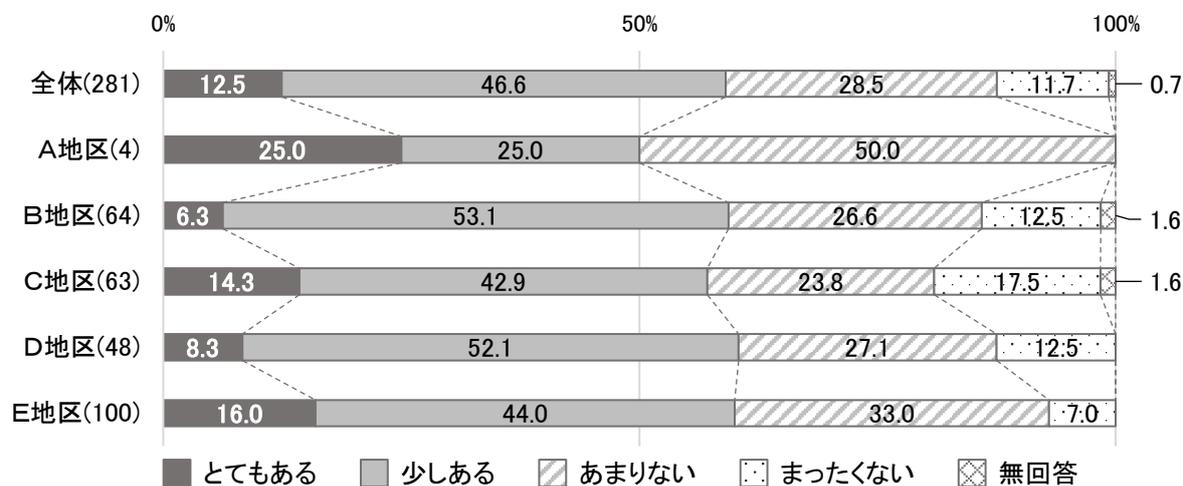
〈年齢別比較〉

概ね、16~18歳の方が12~15歳と比べ「とてもある」と「少しある」を合わせた“関心がある”の割合が高い傾向がみられる。



〈居住地区別比較〉

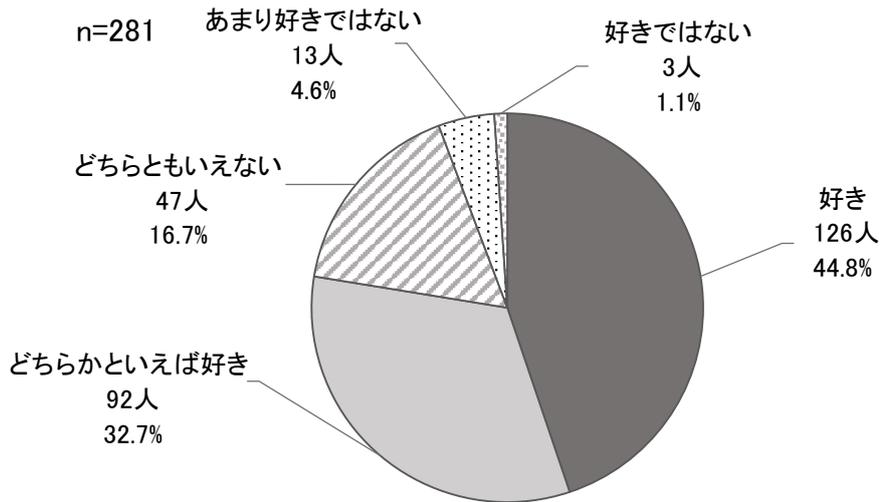
B地区とD地区では、「とてもある」の割合が1割未満で低くなっている。



問2 あなたは「朝霞市」が好きですか。次の中から1つ選んでください。

〈全体〉

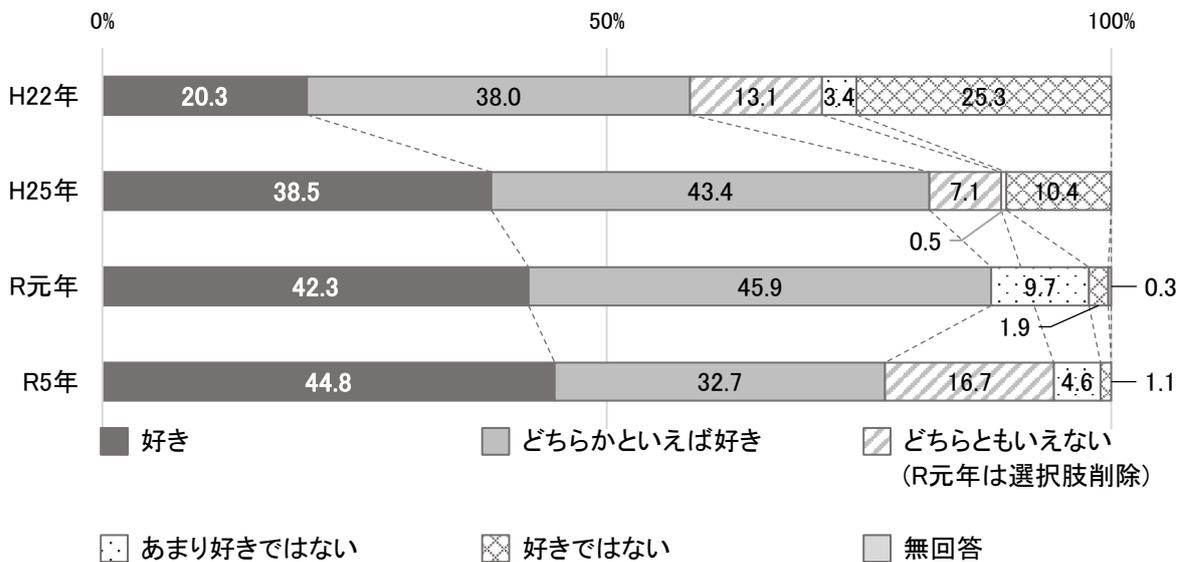
朝霞市が好きかどうかは、「好き」(44.8%)、「どちらかといえば好き」(32.7%)を合わせた“好き”の割合が77.5%となっている。一方、「あまり好きではない」(4.6%)、「好きではない」(1.1%)を合わせた“好きではない”の割合が5.7%となっている。



〈経年比較〉

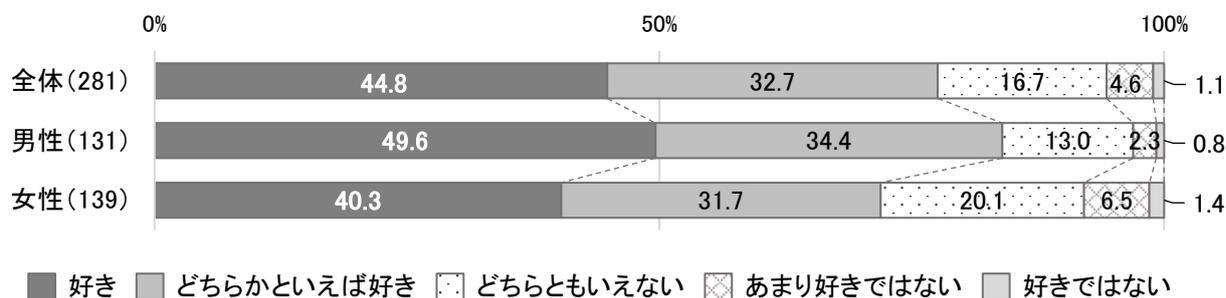
「好き」の割合は平成22年以降、増加している。「どちらかといえば好き」の割合は、増加傾向にあったが、令和5年に減少している。

※平成22年、平成25年は、選択肢「嫌い」を「好きではない」に読み替えている。



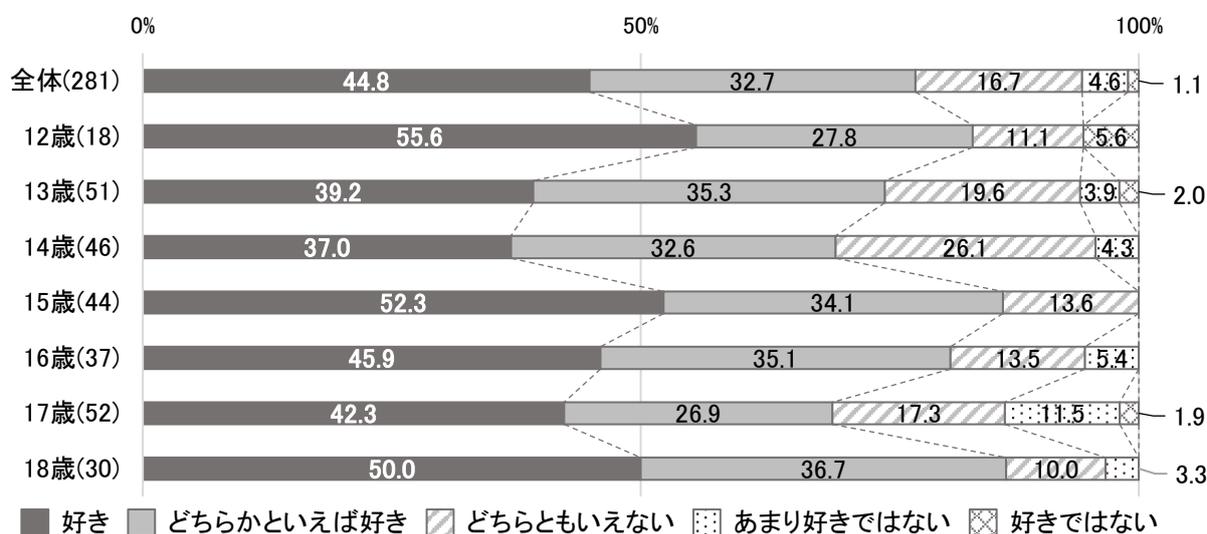
〈性別比較〉

男性は「好き」の割合が女性より高く、「どちらかといえば好き」を合わせた“好き”の割合が8割を超えている。



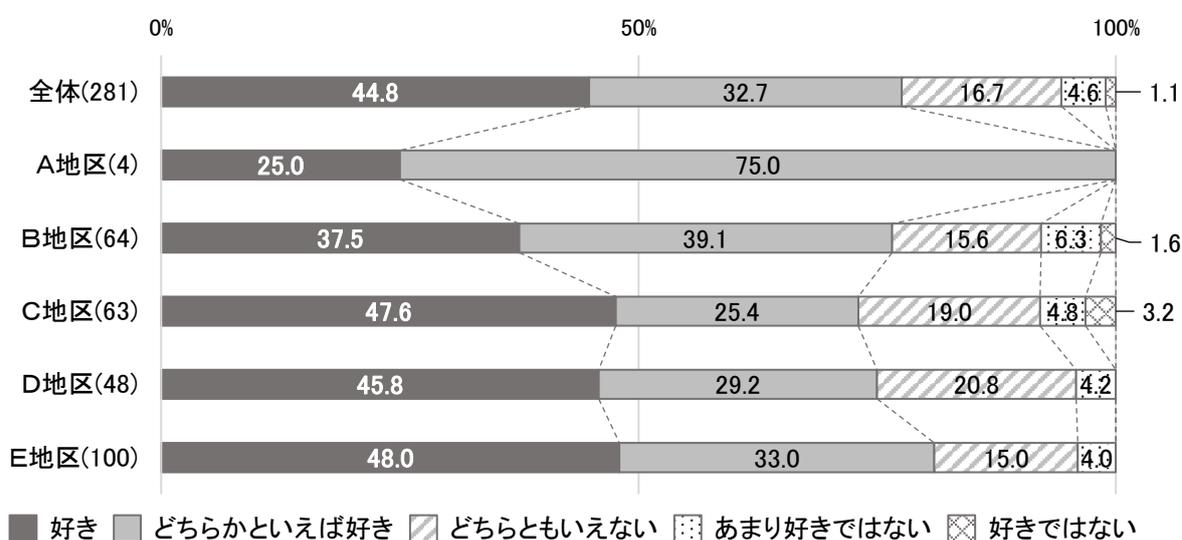
〈年齢別比較〉

12歳と15歳、16歳、18歳では、「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた“好き”の割合が8割を超えている。



〈地域別比較〉

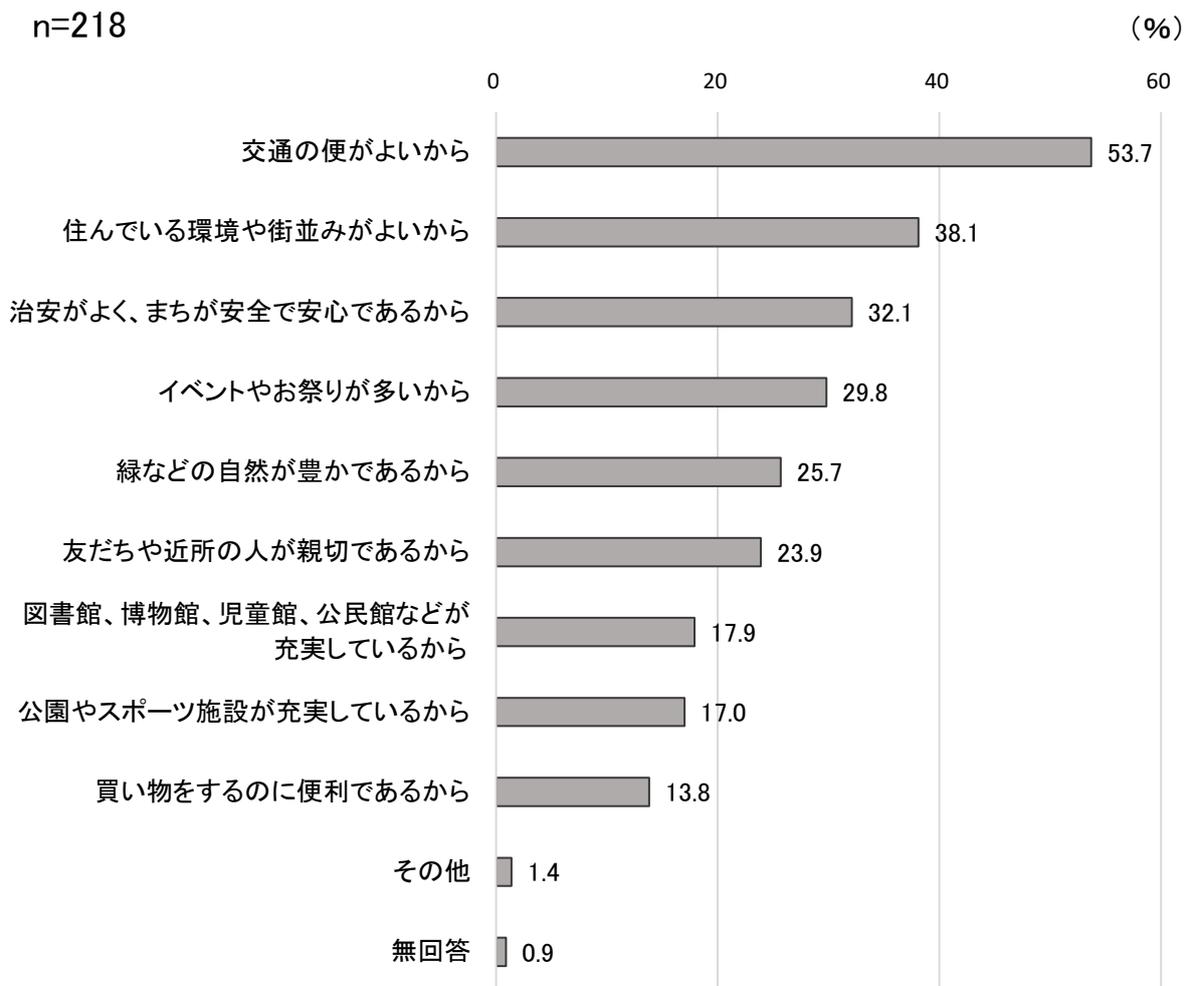
E地区では、「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた“好き”の割合が8割を超えている。



問3 問2で「好き」「どちらかといえば好き」を選んだ方にお聞きします。その理由は何ですか。次の中から3つまで選んでください。

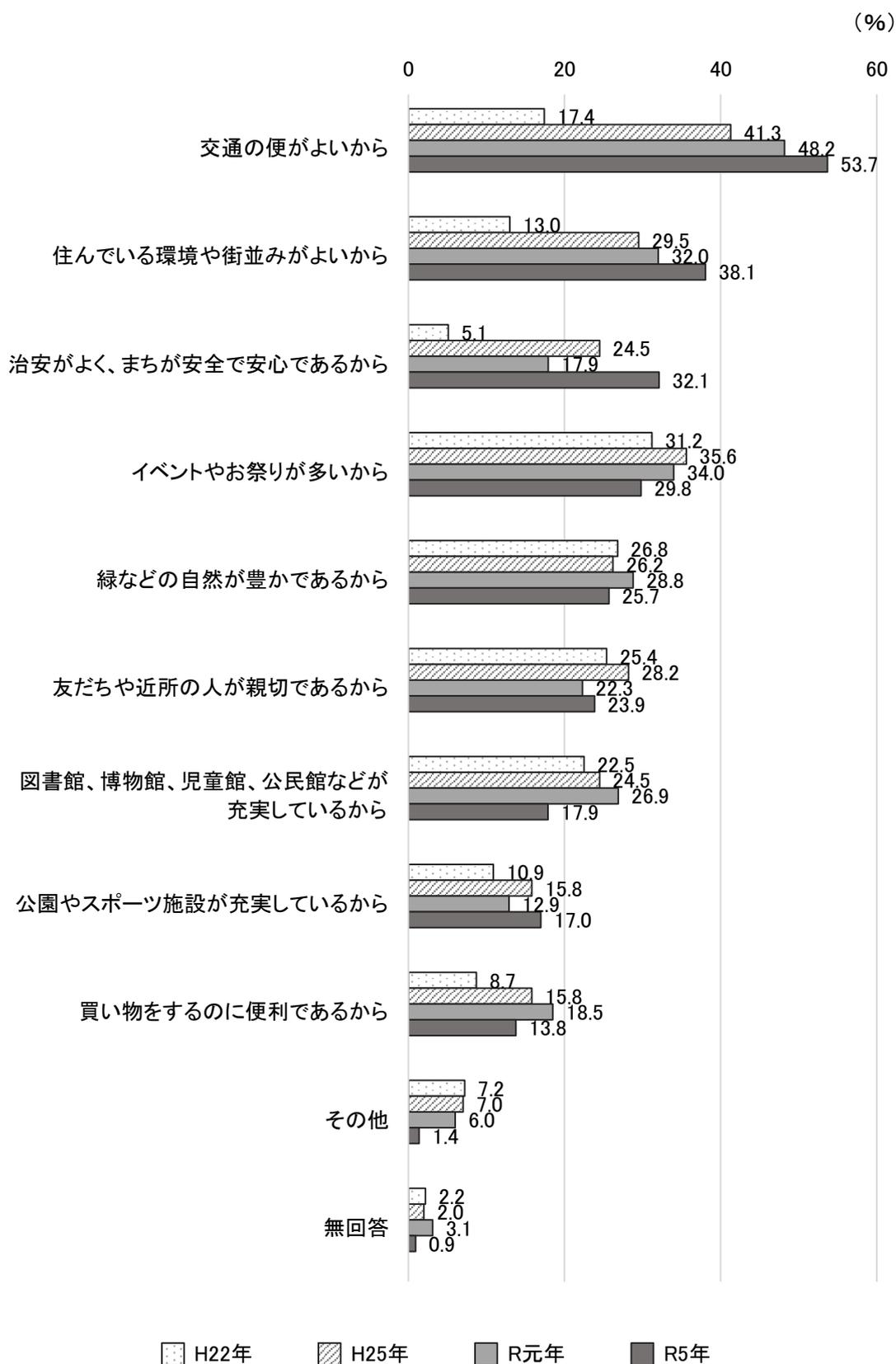
〈全体〉

朝霞市が好きな理由は、「交通の便がよいから」の割合が53.7%で最も高く、続いて「住んでいる環境や街並みがよいから」(38.1%)、「治安がよく、まちが安全で安心であるから」(32.1%)となっている。



〈経年比較〉

「交通の便がよい」と「住んでいる環境や街並みがよいから」の割合は平成22年以降、増加している。
 「治安がよく、まちが安全であるから」の割合は、令和5年に大きく増加している。



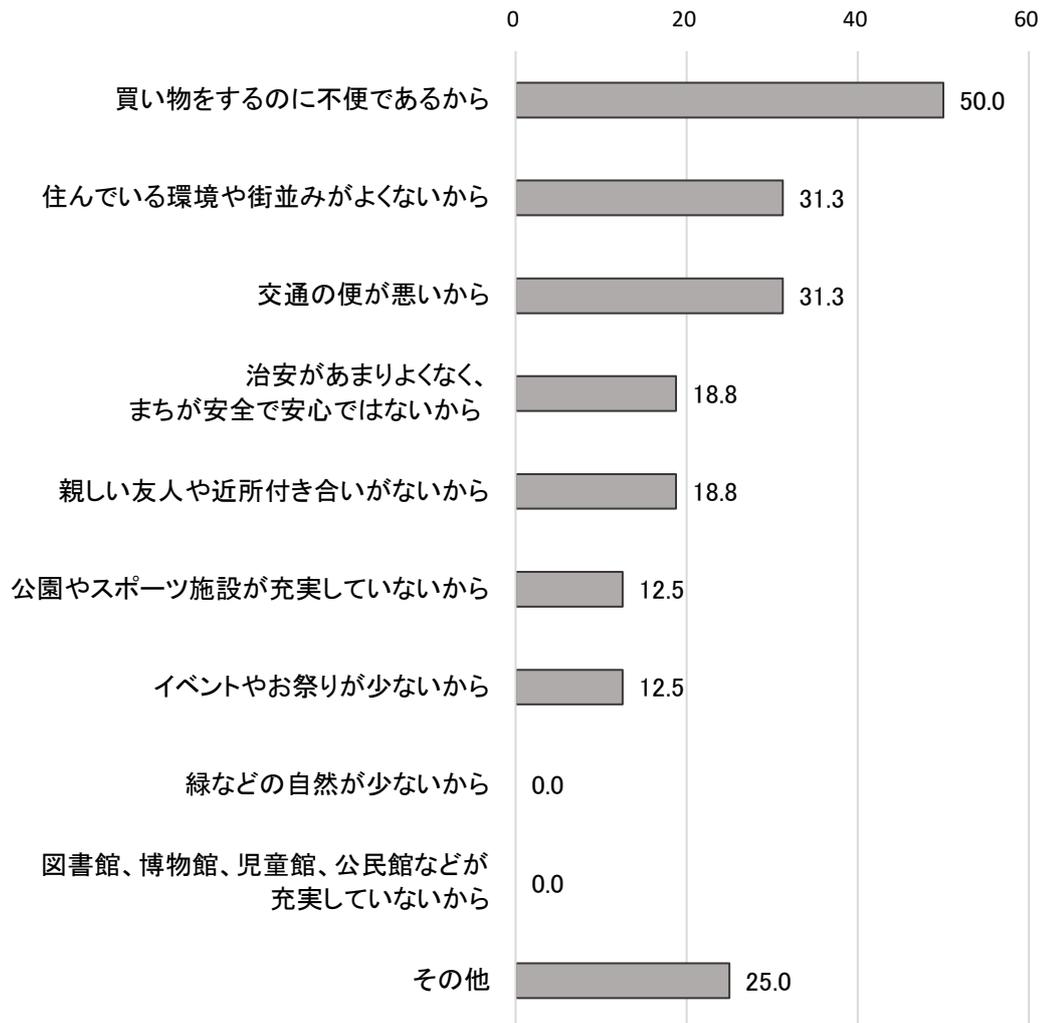
問4 問2で「あまり好きではない」「好きではない」を選んだ方にお聞きします。その理由は何ですか。次の中から3つまで選んでください。

〈全体〉

朝霞市が好きではない理由は、「買い物をするのに不便であるから」の割合が50.0%で最も高く、続いて「住んでいる環境や街並みがよくないから」、「交通の便が悪いから」（ともに31.3%）となっている。

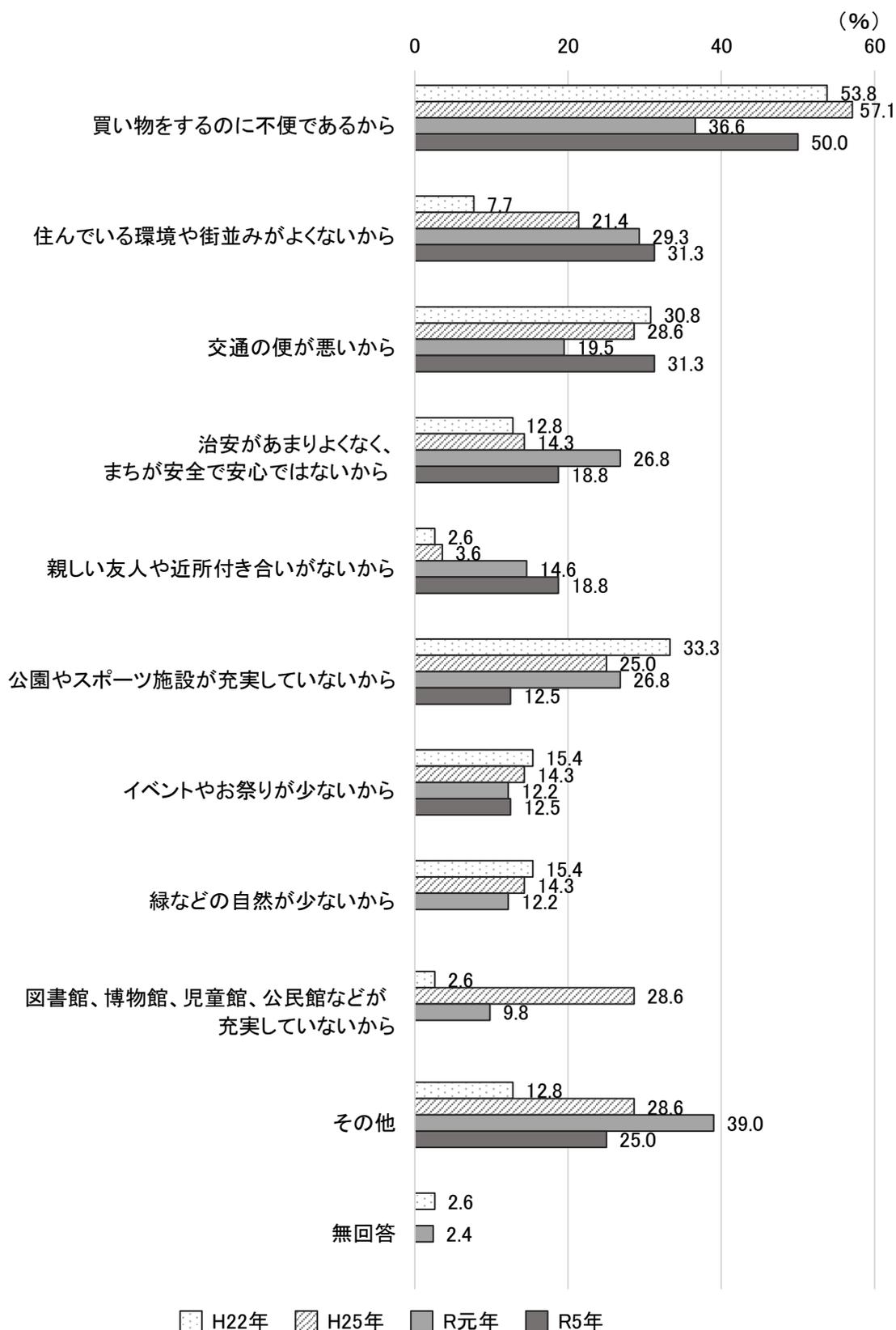
n=16

(%)



〈経年比較〉

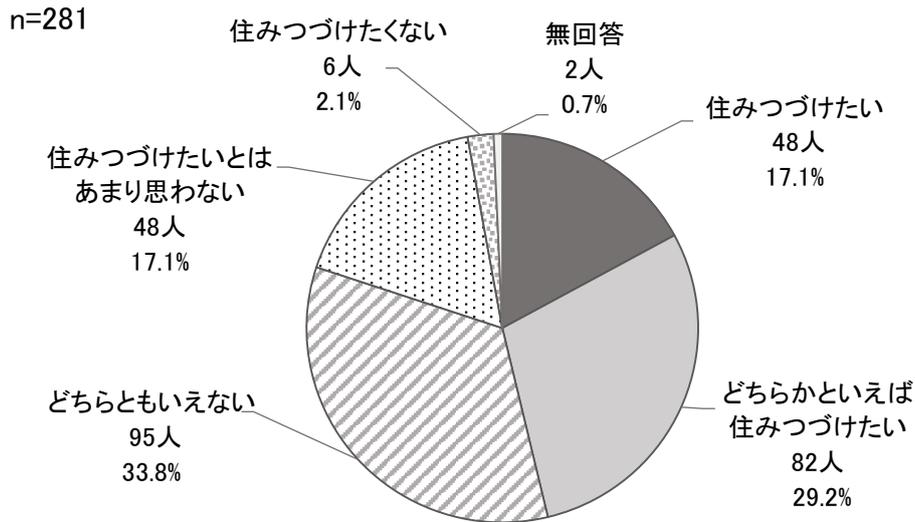
「住んでいる環境や街並みがよくないから」の割合は平成22年以降、増加している。「交通の便が悪いから」の割合は、平成22年以降、減少していたが、令和5年に大きく増加している。また、「買い物をするのに不便であるから」の割合は令和元年に減少したが、令和5年に再び増加している。



問5 大人になっても、朝霞市に住みつづけたいですか。次の中から1つ選んでください。

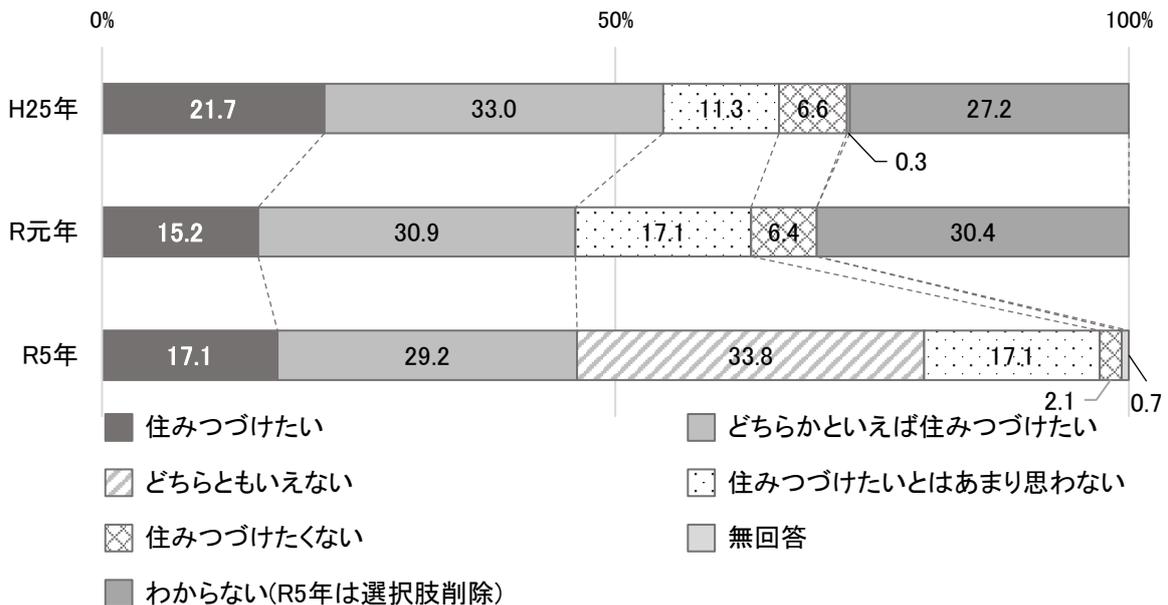
〈全体〉

大人になっても朝霞市に住みたいかどうかは、「住みつづけたい」(17.1%)、「どちらかといえば住みつづけたい」(29.2%)を合わせた“住みつづけたい”の割合が46.3%となっている。一方、「住みつづけたいとはあまり思わない」(17.1%)、「住みつづけたくない」(2.1%)を合わせた“住みつづけたくない”の割合が19.2%となっている。



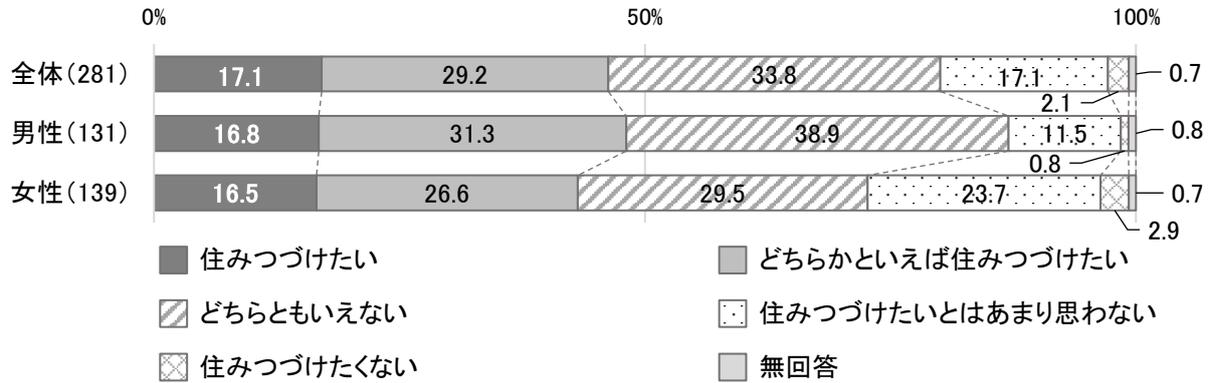
〈経年比較〉

「住みつづけたい」、「どちらかといえば住みつづけたい」を合わせた“住みつづけたい”の割合は、令和5年に微増したが、依然5割を下回っている。一方、令和5年の新設の選択肢「どちらともいえない」は、平成25年、令和元年の選択肢「わからない」と同程度となっている。



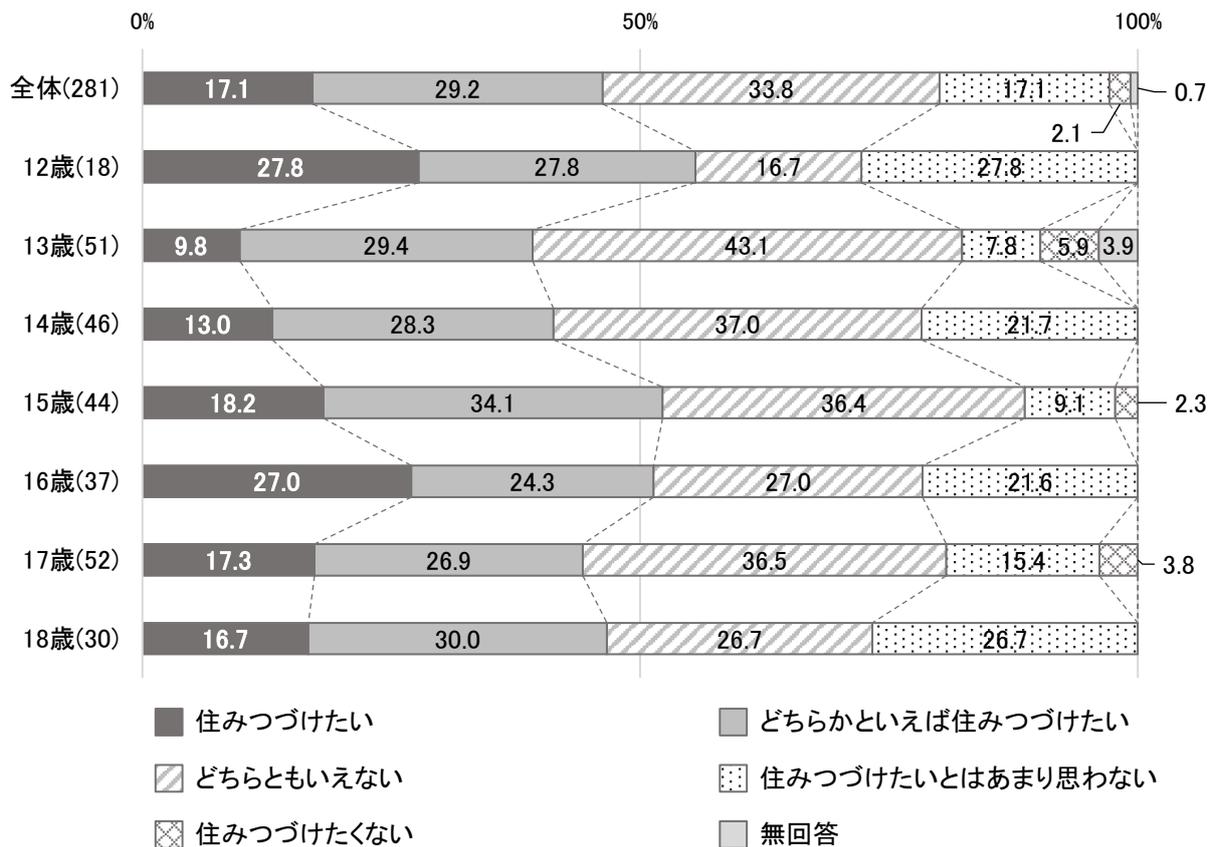
〈性別比較〉

男性は「どちらともいえない」の割合が高くなっている。



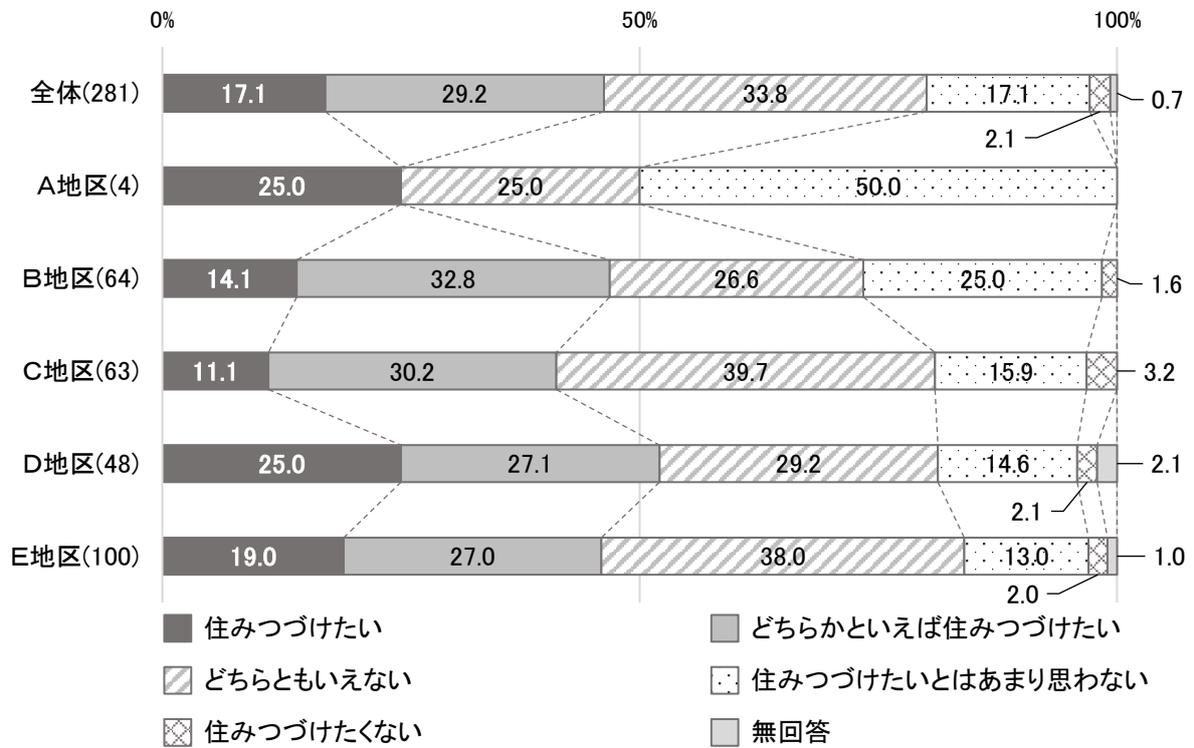
〈年齢別比較〉

13歳は「住みつづけたい」と「どちらかといえば住みつづけたい」を合わせた“住みつづけたい”の割合が4割未満で他の年齢と比べ低くなっている。



〈居住地区別比較〉

C地区では「住みつづけたい」と「どちらかといえば住みつづけたい」を合わせた“住みつづけたい”の割合が4割程度で他の地区と比べ低くなっている。

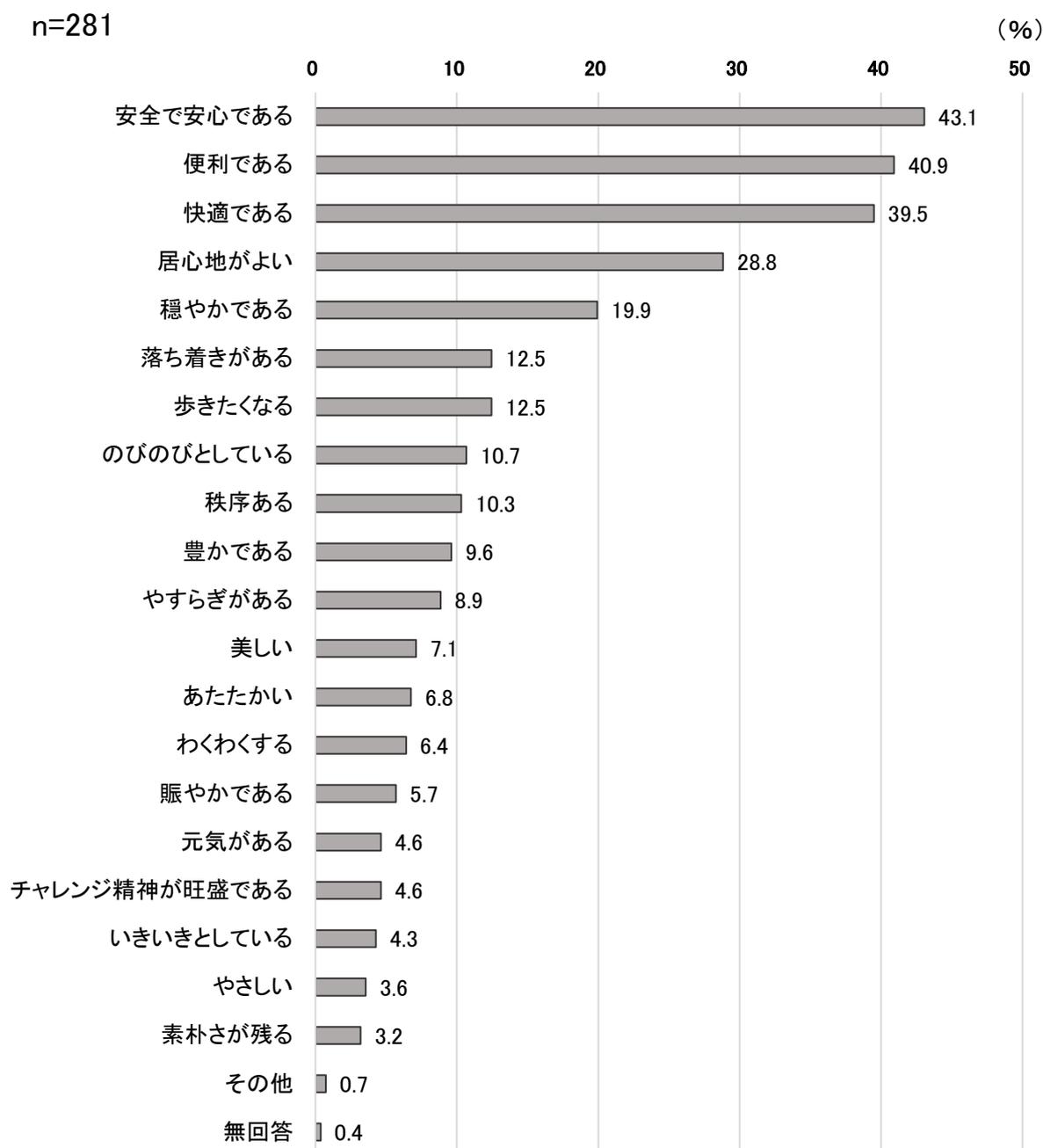


2. これからのまちづくりについて

問6 将来の朝霞市はどのようなまちであればよいと思いますか。あなたのイメージに近いものを、次の中から3つまで選んでください。

〈全体〉

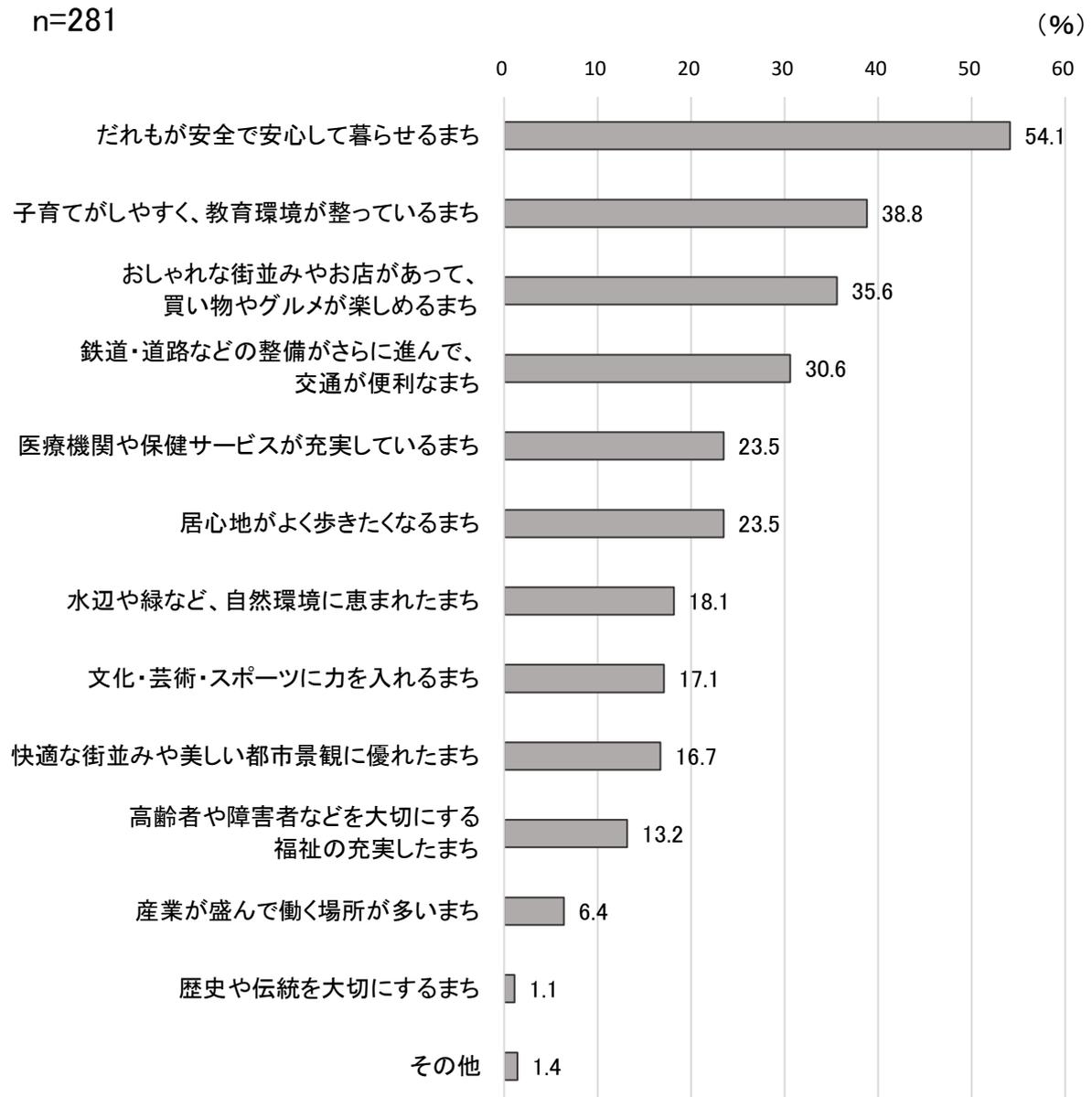
将来の朝霞市の望ましいイメージは、「安全で安心である」の割合が43.1%で最も高く、続いて「便利である」(40.9%)、「快適である」(39.5%)、「居心地がよい」(28.8)となっている。上位項目の順位は、市民意識調査と同様である。



問7 あなたは、将来の朝霞市をどのようなまちにしていきたいと思いますか。あなたのイメージに近いものを、次の中から3つまで選んでください。

〈全体〉

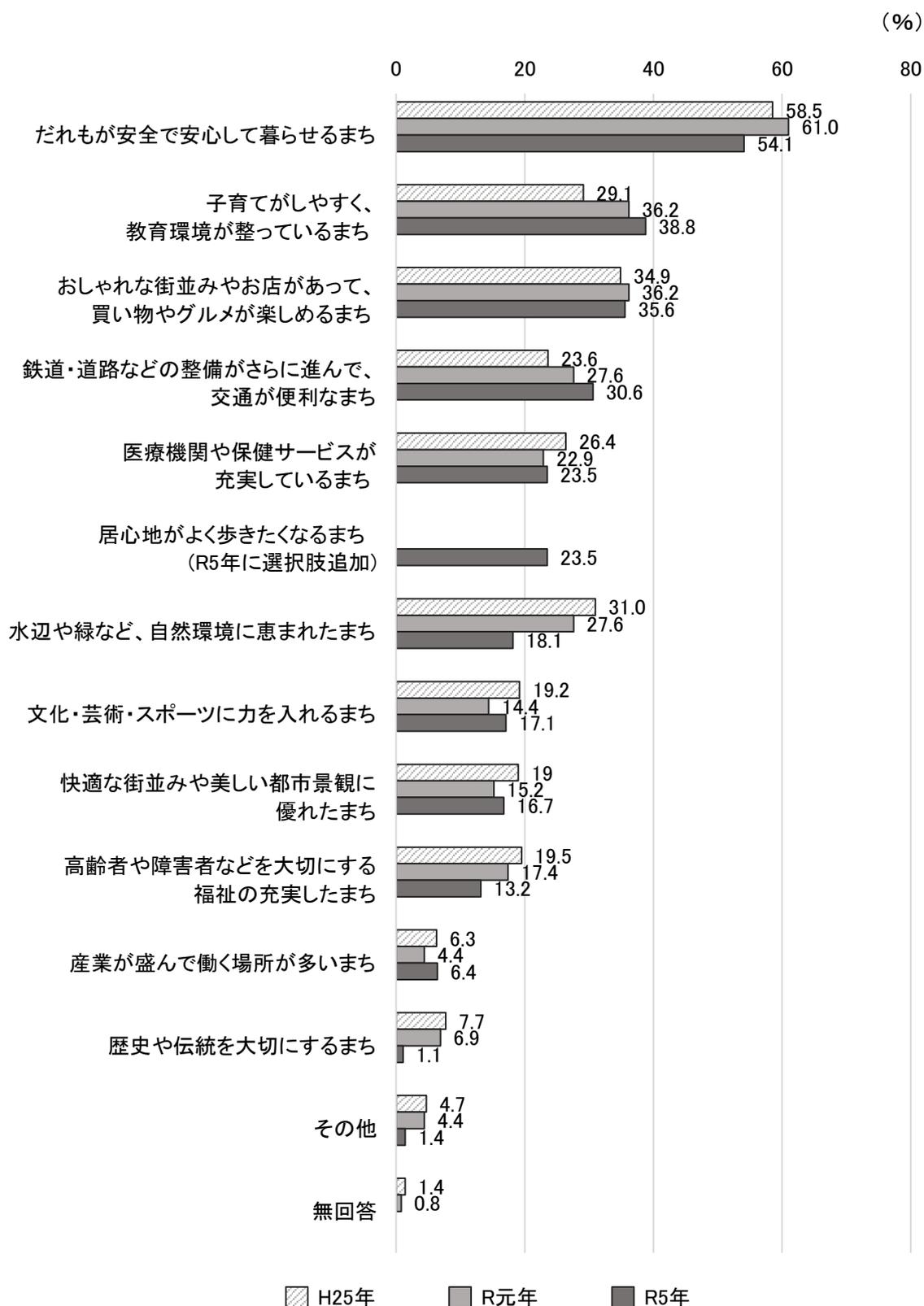
まちづくりの方向性は、「だれもが安全で安心して暮らせるまち」の割合が54.1%で最も高く、続いて「子育てがしやすく、教育環境が整っているまち」(38.8%)、「おしゃれな街並みやお店があって、買い物やグルメが楽しめるまち」(35.6%)、「鉄道・道路などの整備がさらに進んで、交通が便利なまち」(30.6%)となっている。第1位の項目は、市民意識調査と同様である。



〈経年比較〉

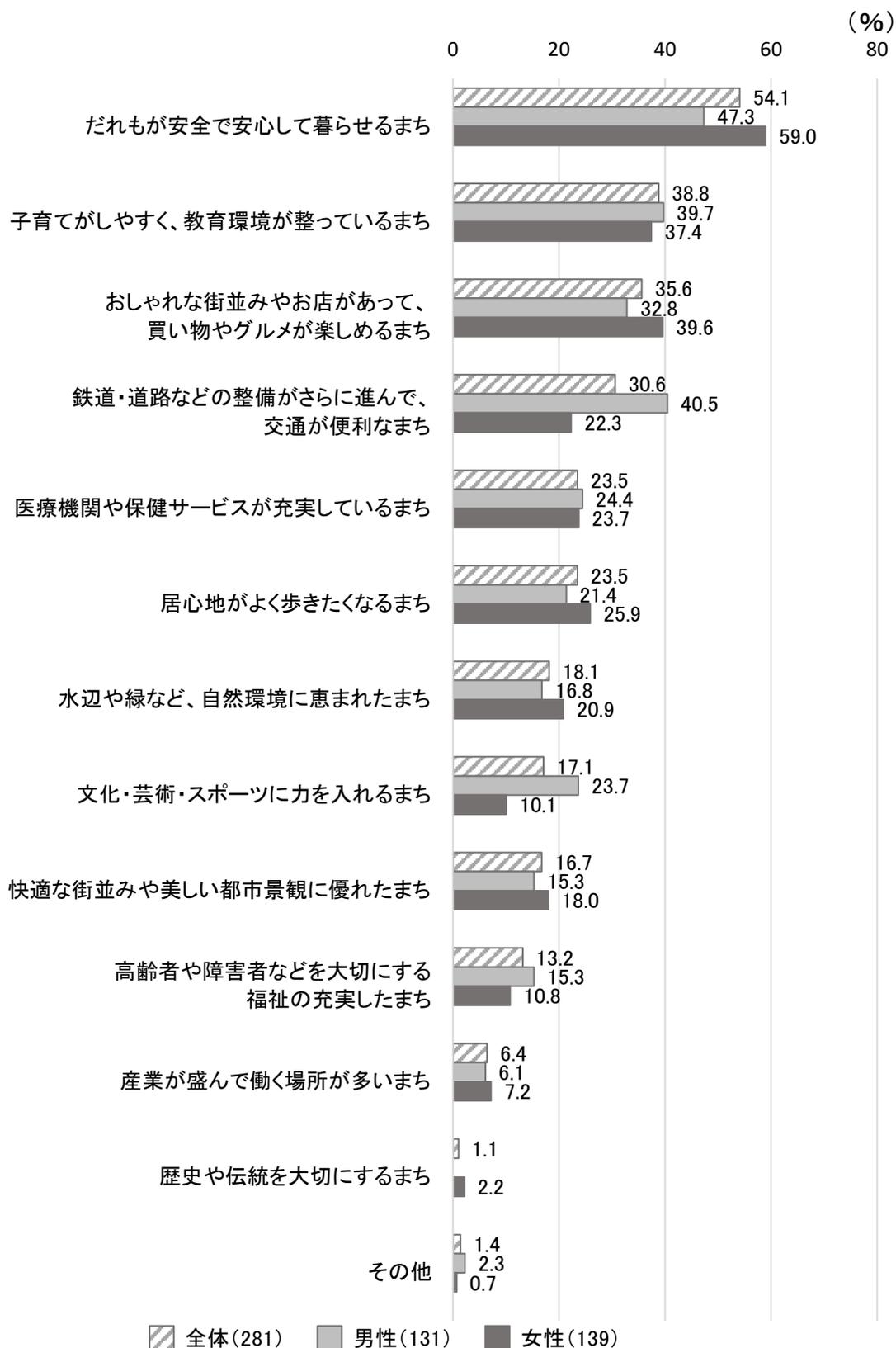
上位項目に大きな違いはみられないが、「だれもが安全で安心して暮らせるまち」は令和5年に減少している。一方、「子育てがしやすく、教育環境が整っているまち」、「鉄道・道路などの整備がさらに進んで、交通が便利なまち」の割合は、年々増加している。

※選択肢「居心地がよく歩きたくなるまち」は、令和5年に追加したため、経年比較の対象外としている。



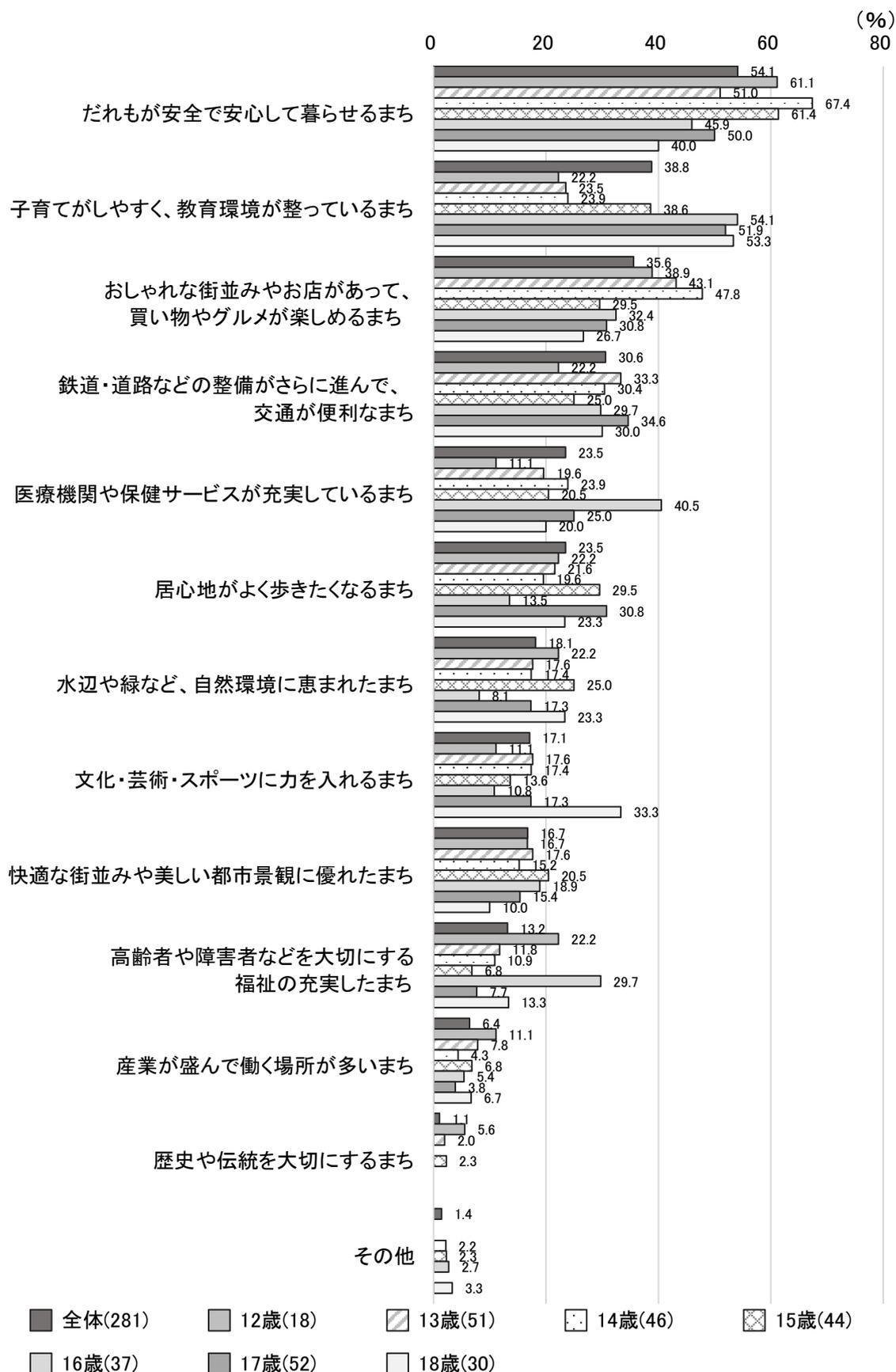
〈性別比較〉

「だれもが安全で安心して暮らせるまち」と「おしゃれな街並みやお店があって、買い物やグルメが楽しめるまち」は女性の回答割合が高くなっている。一方、「鉄道・道路などの整備がさらに進んで、交通が便利なまち」は男性の回答割合が高くなっている。



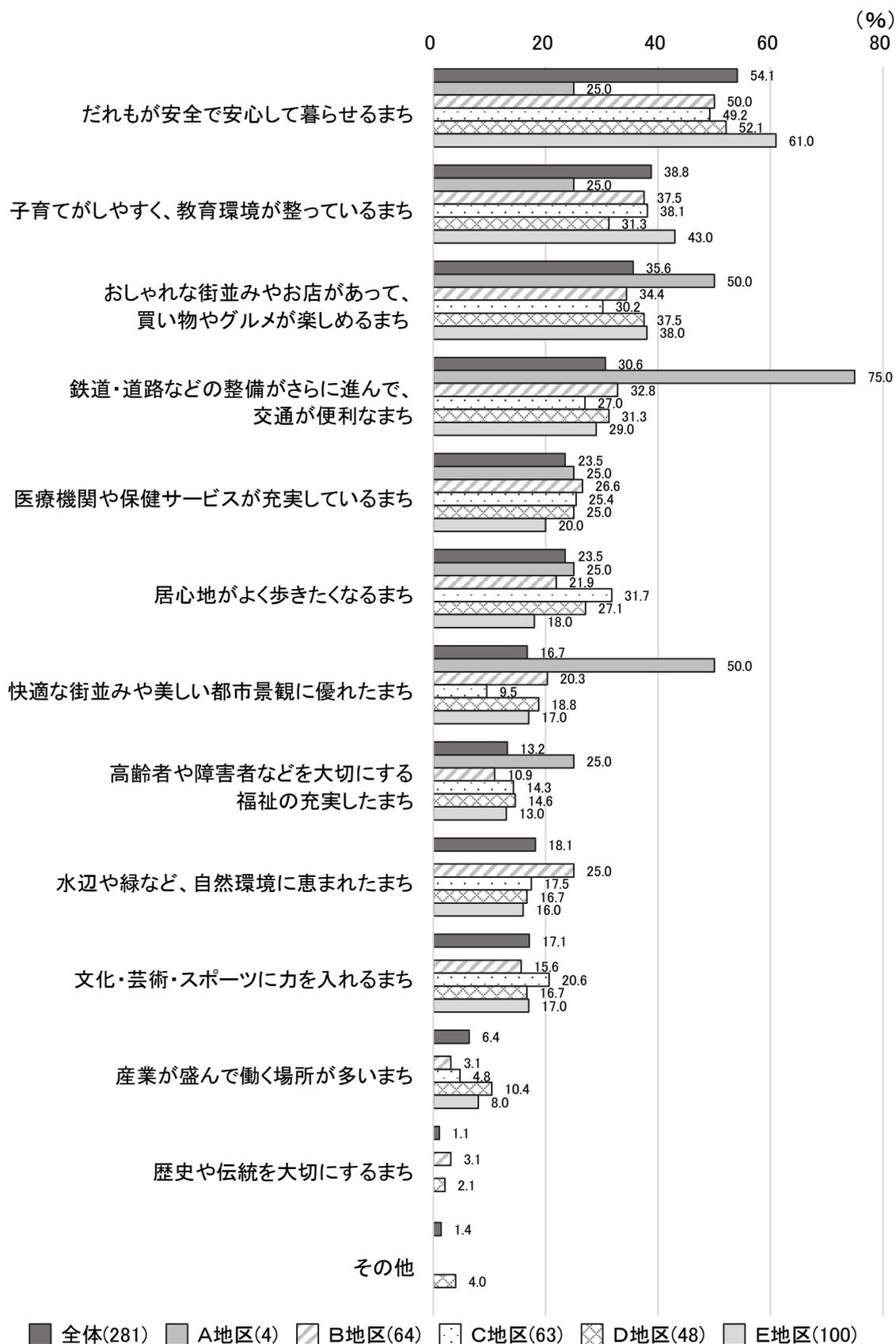
〈年齢別比較〉

「だれもが安全で安心して暮らせるまち」は12～15歳、「子育てがしやすく、教育環境が整っているまち」は16～18歳の回答割合が高い傾向がみられる。



〈居住地区別比較〉

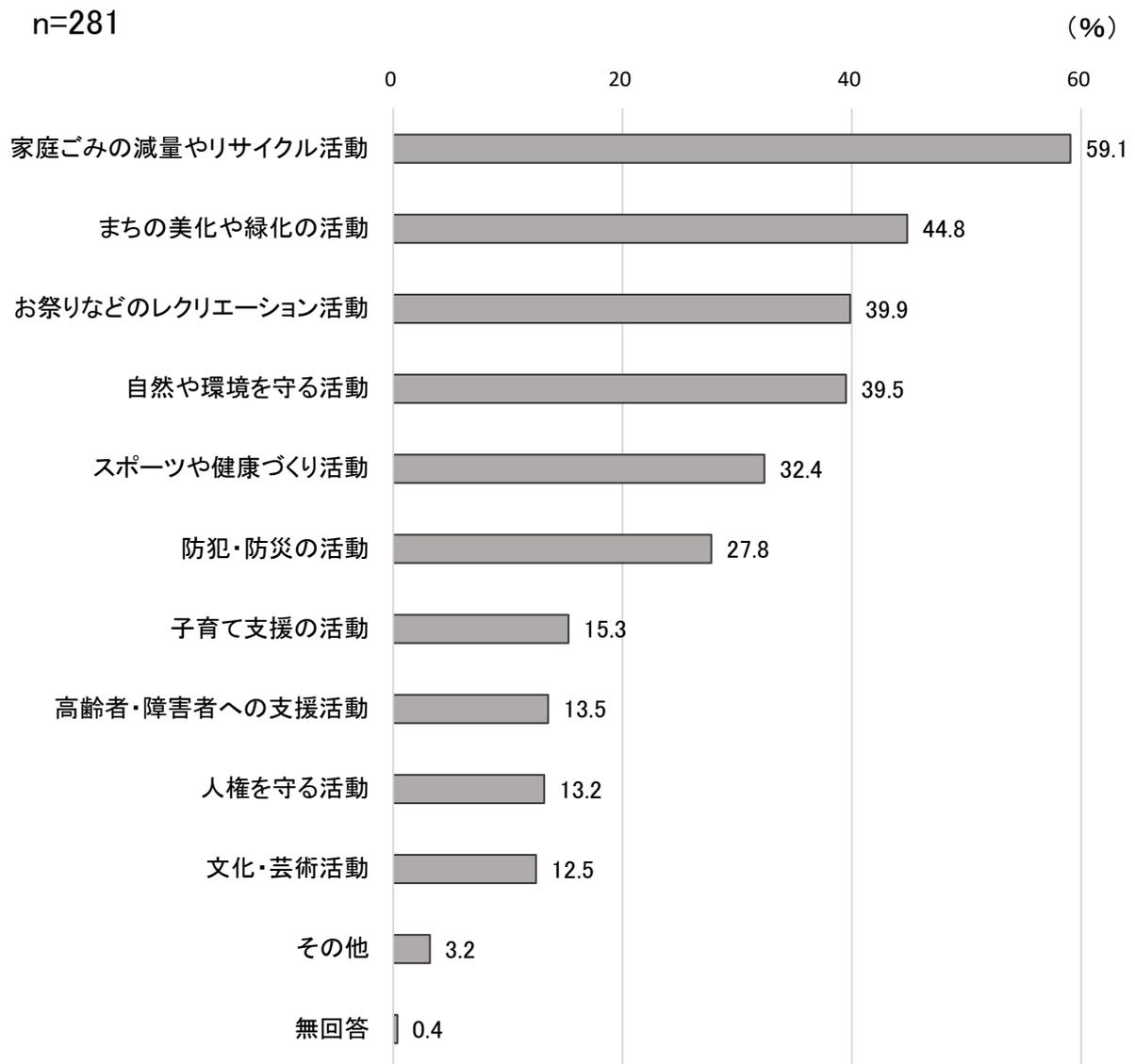
E地区は、「だれもが安全で安心して暮らせるまち」と「子育てがしやすく、教育環境が整っているまち」の割合が他の地区と比べ高い傾向がみられる。



問8 あなたは、朝霞市のまちづくりのために、どのようなことができると思いますか。あなたが現在または将来できると思う活動を、次の中からすべて選んでください。

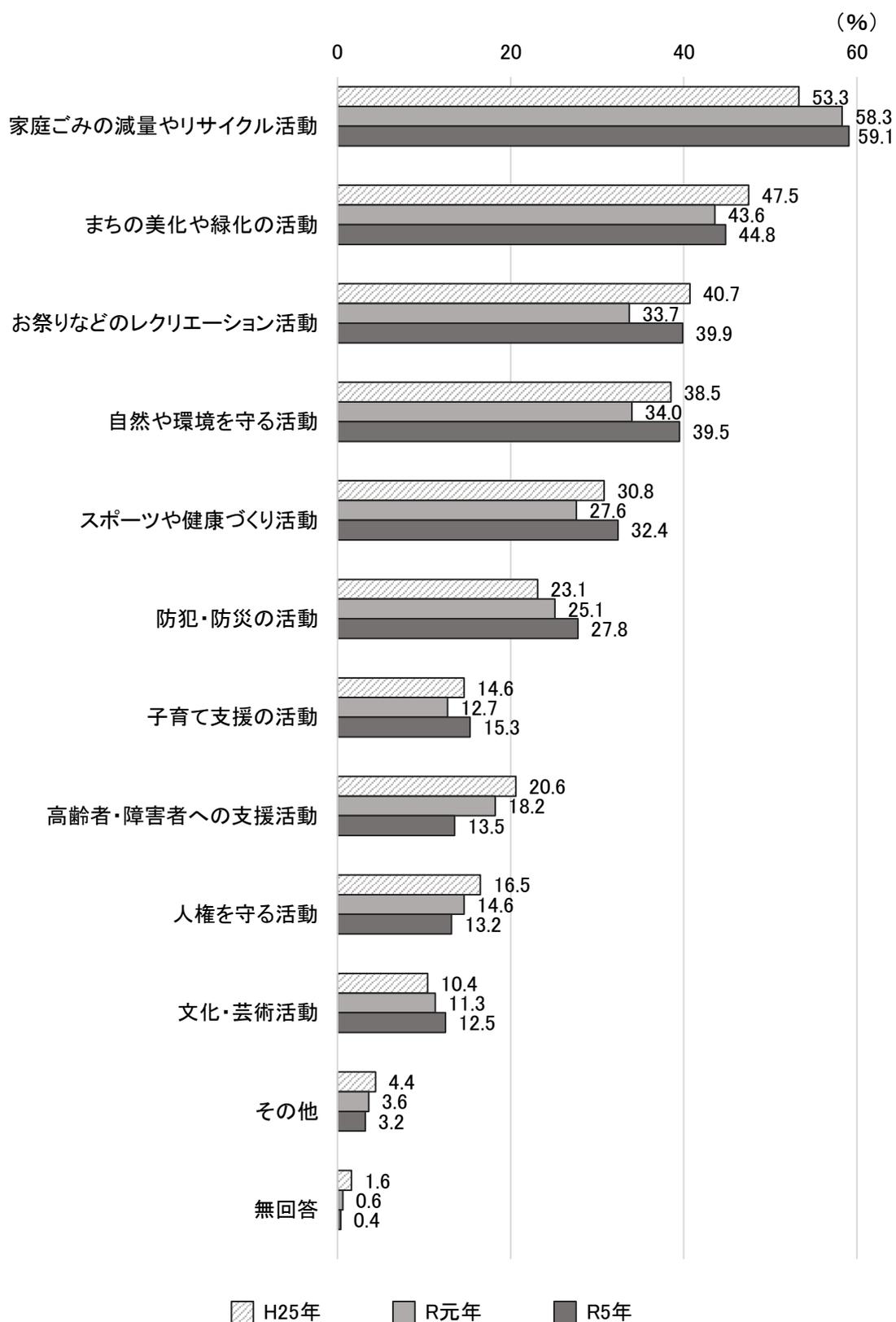
〈全体〉

現在、または将来できると思う活動は、「家庭ごみの減量やリサイクル活動」の割合が59.1%で最も高く、続いて「まちの美化や緑化の活動」(44.8%)、「お祭りなどのレクリエーション活動」(39.9%)、「自然や環境を守る活動」(39.5%)となっている。



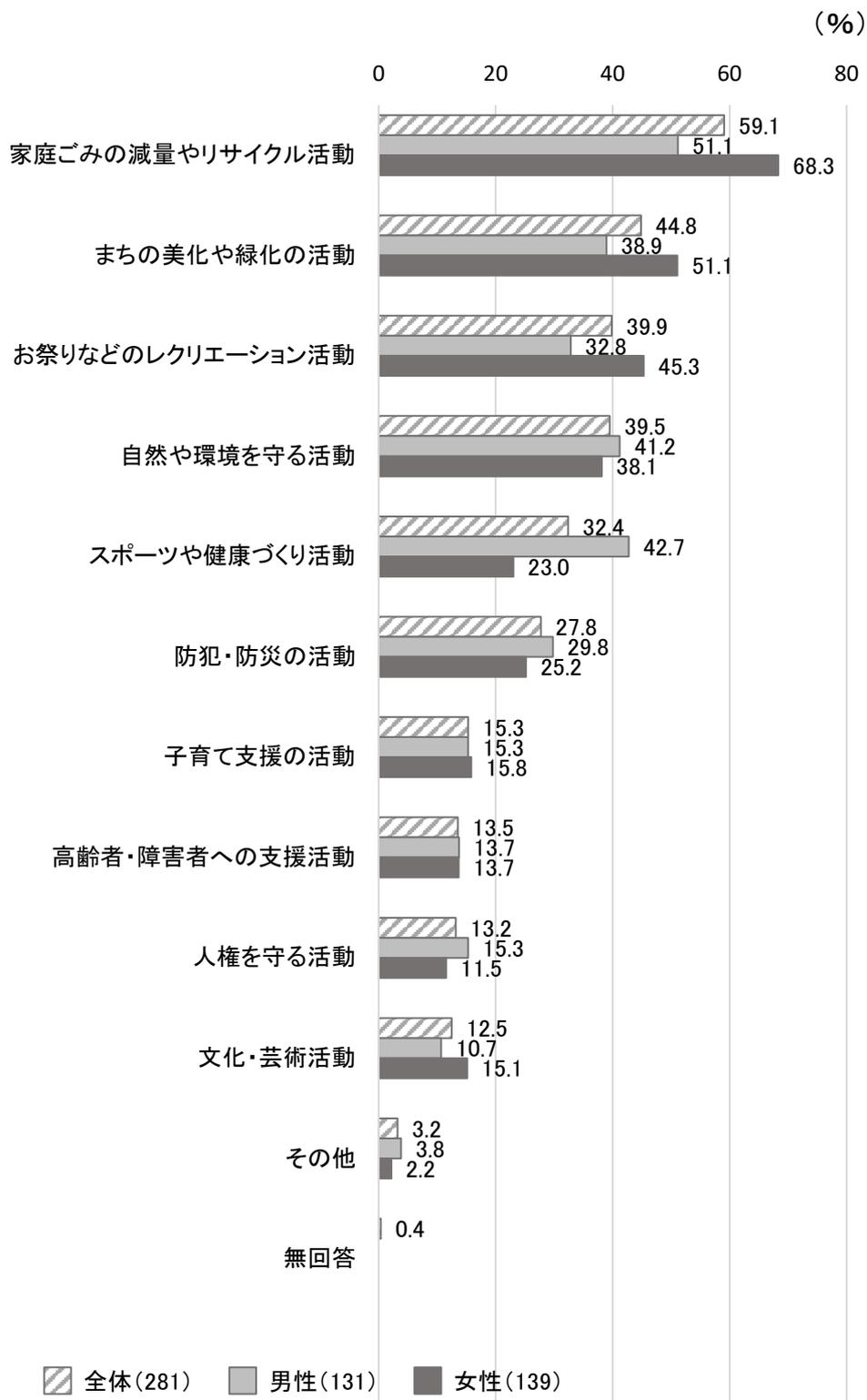
〈経年比較〉

上位項目に大きな違いはみられないが、「お祭りなどのレクリエーション活動」「自然や環境を守る活動」は、令和5年に増加に転じている。



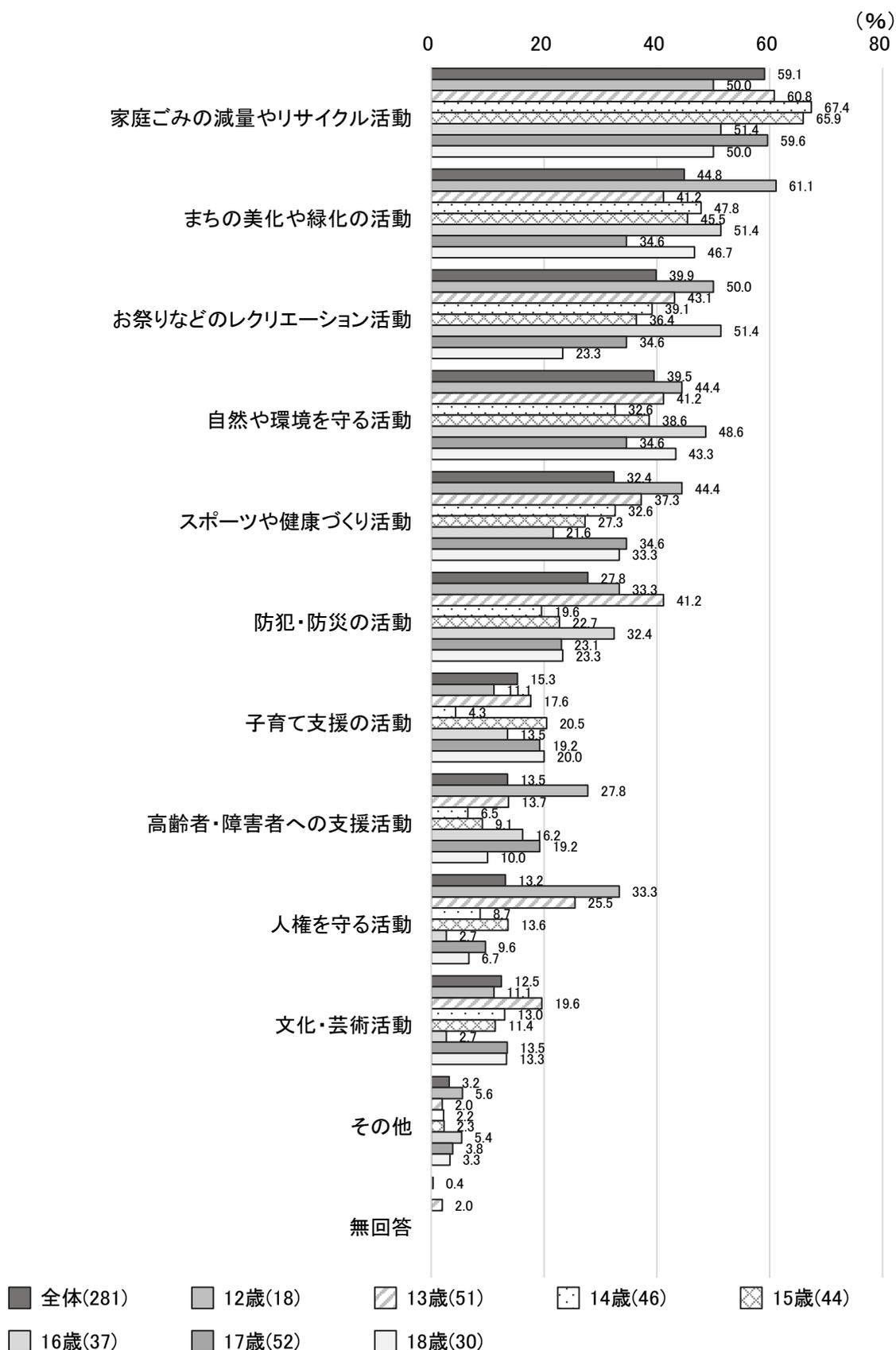
〈性別比較〉

「家庭ごみの減量やリサイクル活動」「まちの美化や緑化の活動」「お祭りなどのレクリエーション活動」のいずれも女性の回答割合が高くなっている。一方、「スポーツや健康づくり活動」は男性の回答割合が高い。



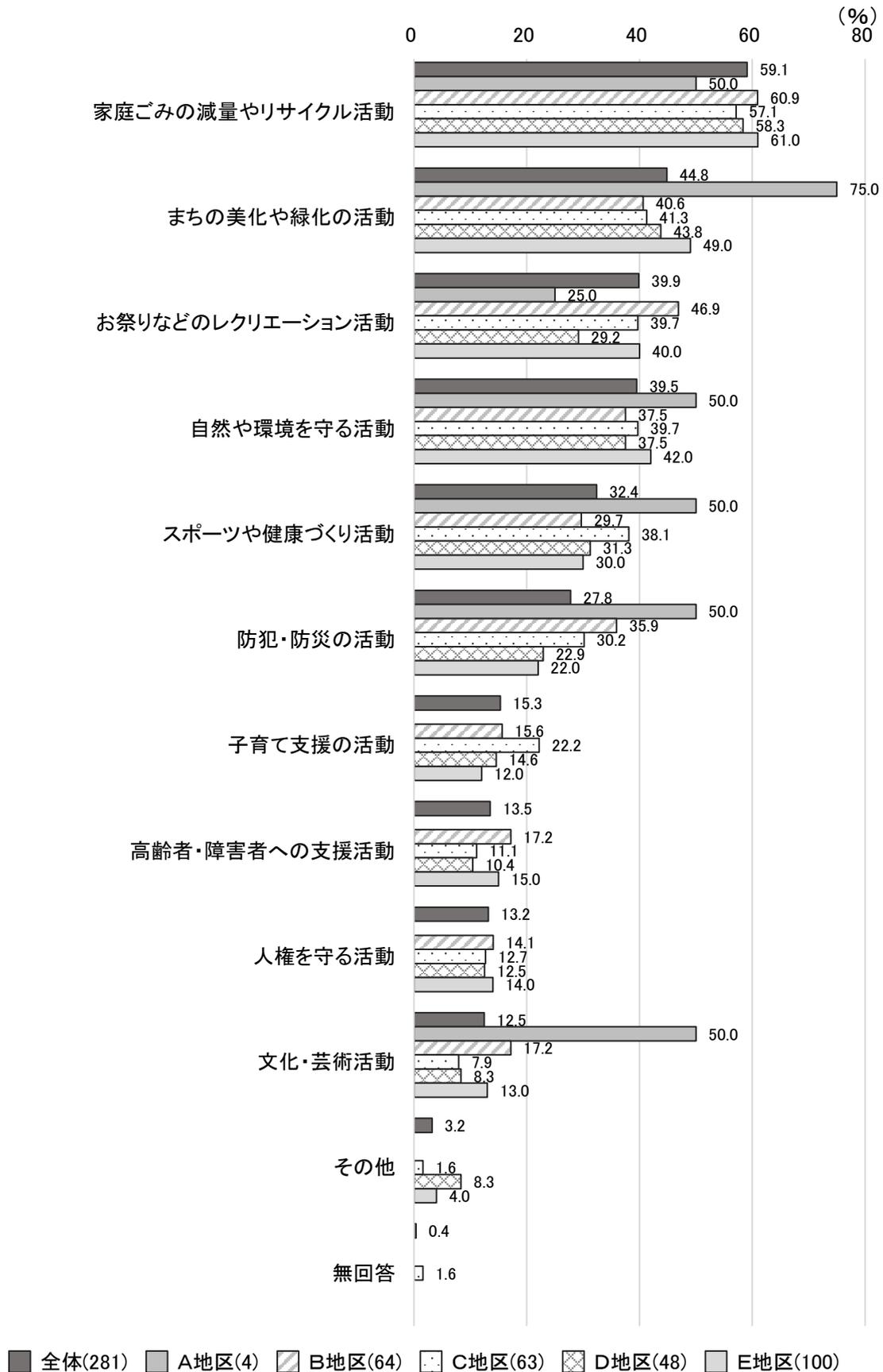
〈年齢別比較〉

「まちの美化や緑化の活動」、「スポーツや健康づくり活動」、「高齢者・障害者への支援活動」、「人権を守る活動」では、他の年齢に比べて、12歳の回答割合が高い傾向にある。



〈居住地区別比較〉

居住地区による回答傾向の違いはみられない。



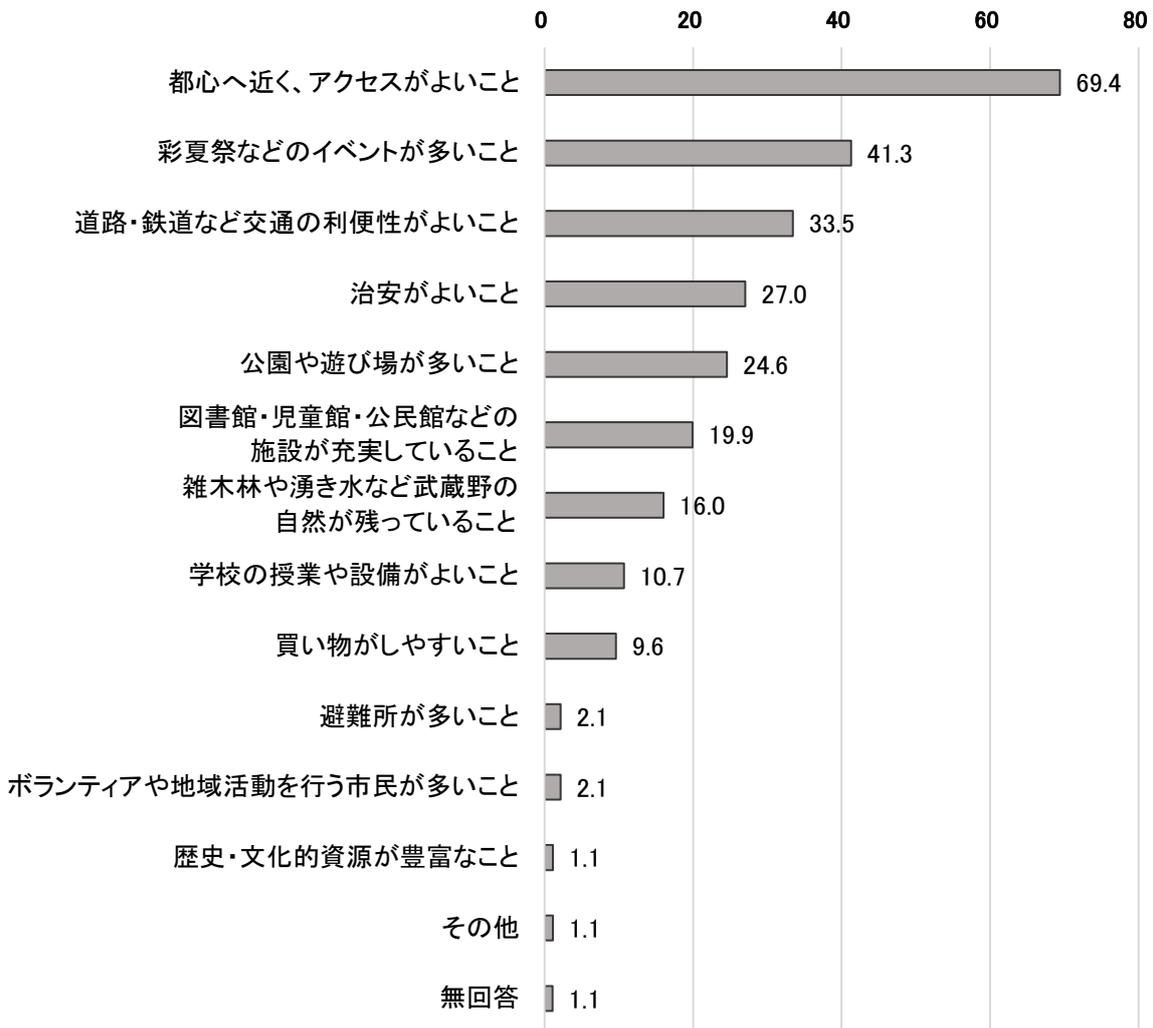
問9 あなたは、未来に生かしていきたい朝霞市の強みは何だと思いますか。次の中からあなたのお考えに最も近いものを3つまで選んでください。

〈全体〉

未来に生かしていきたい朝霞市の強みは、「都心へ近く、アクセスがよいこと」の割合が69.4%で最も高く、続いて「彩夏祭などのイベントが多いこと」(41.3%)、「道路・鉄道など交通の利便性がよいこと」(33.5%)となっている。

n=281

(%)

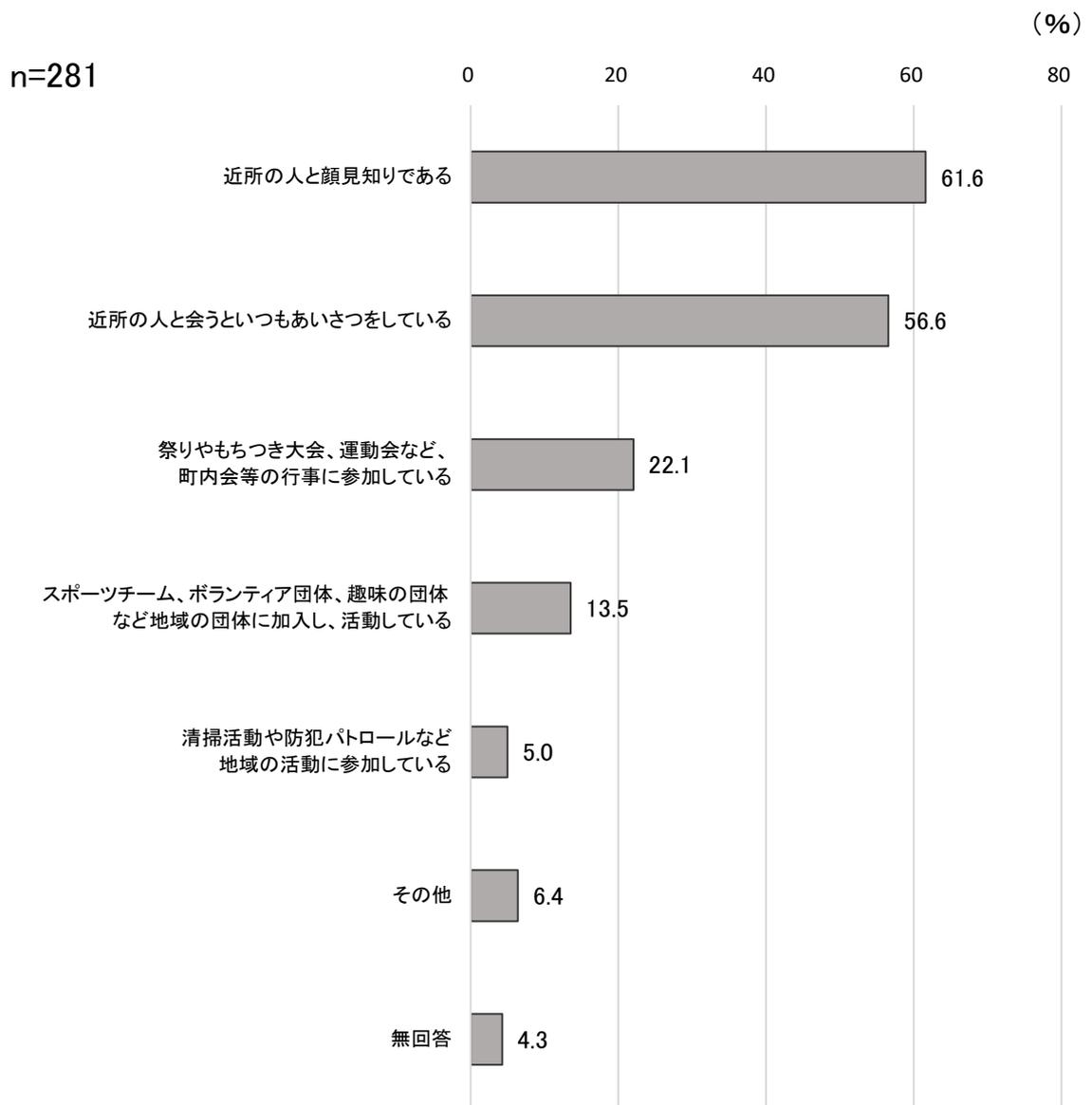


3. 地域との関わりについて

問10 あなたは、日頃、地域とどのような関わりをもっていますか。次の中からあなたに当てはまるものをすべて選んでください。

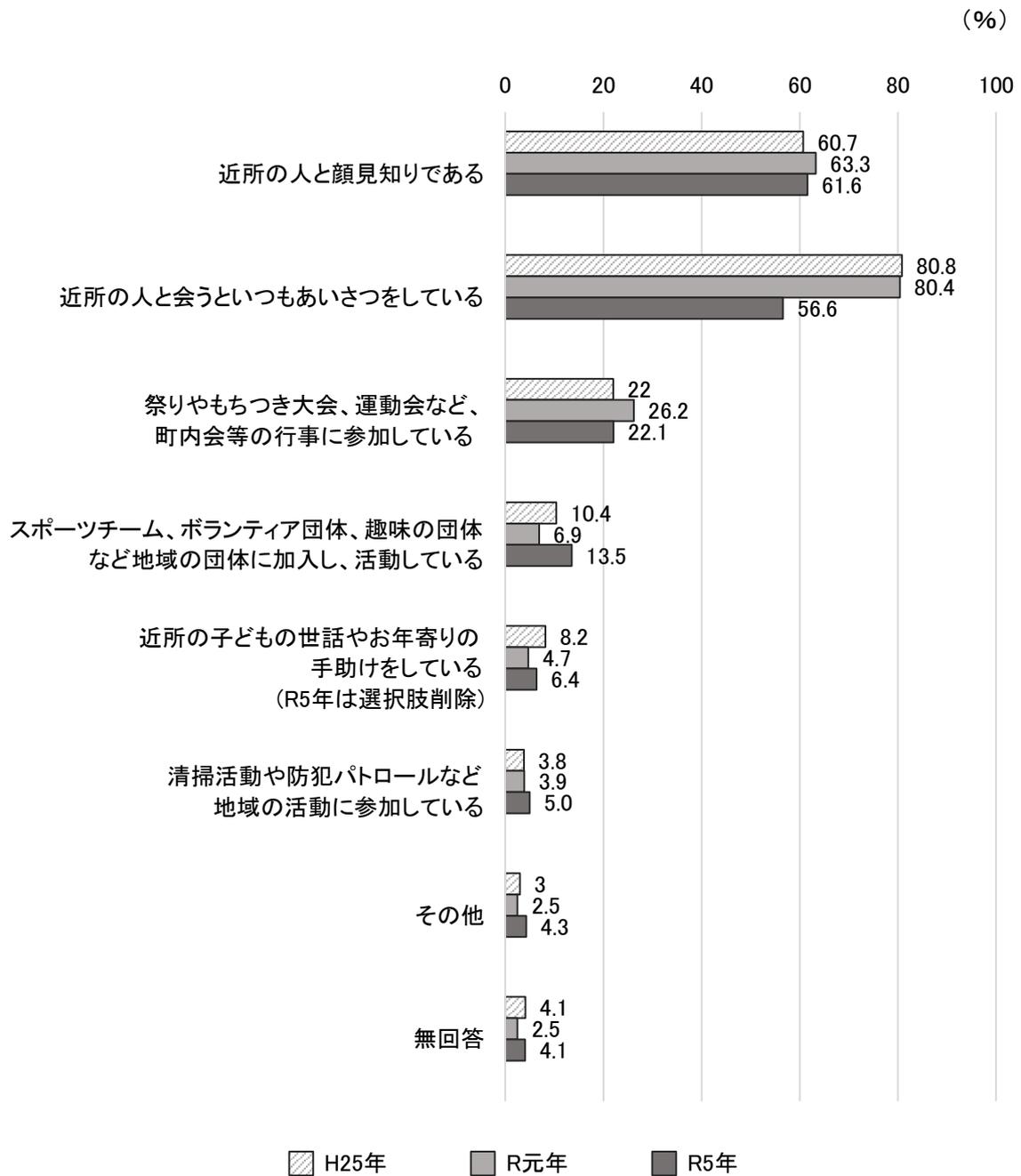
〈全体〉

日頃の地域との関わりは、「近所の人と顔見知りである」の割合が61.6%で最も高く、続いて「近所の人と会うといつもあいさつをしている」(56.6%)となっている。



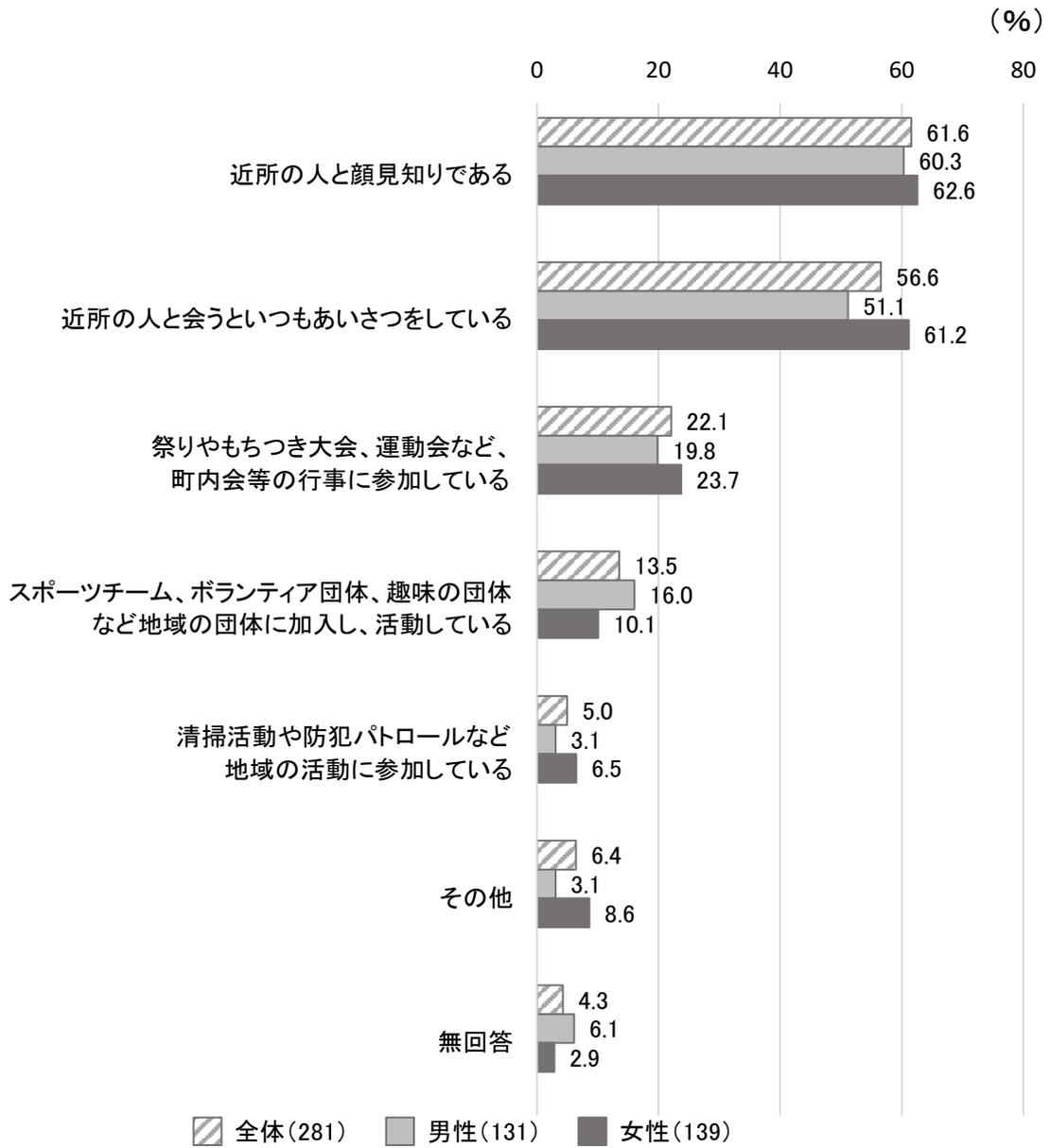
〈経年比較〉

上位項目のうち、「近所の人と会うといつもあいさつをしている」の割合は、令和5年に大きく減少している。



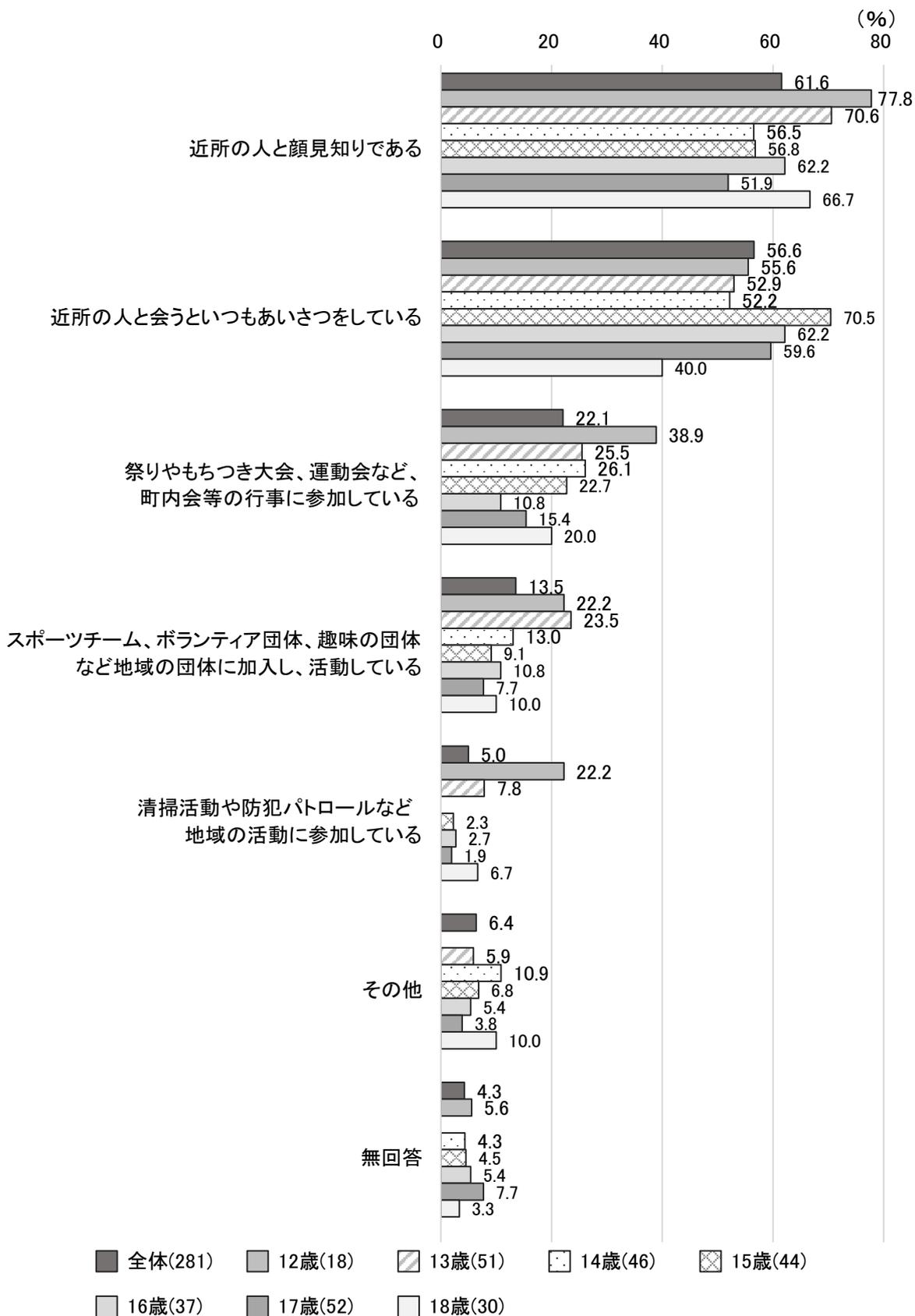
〈性別比較〉

女性は「近所の人と会うといつもあいさつをしている」の回答割合が男性と比べ高くなっている。



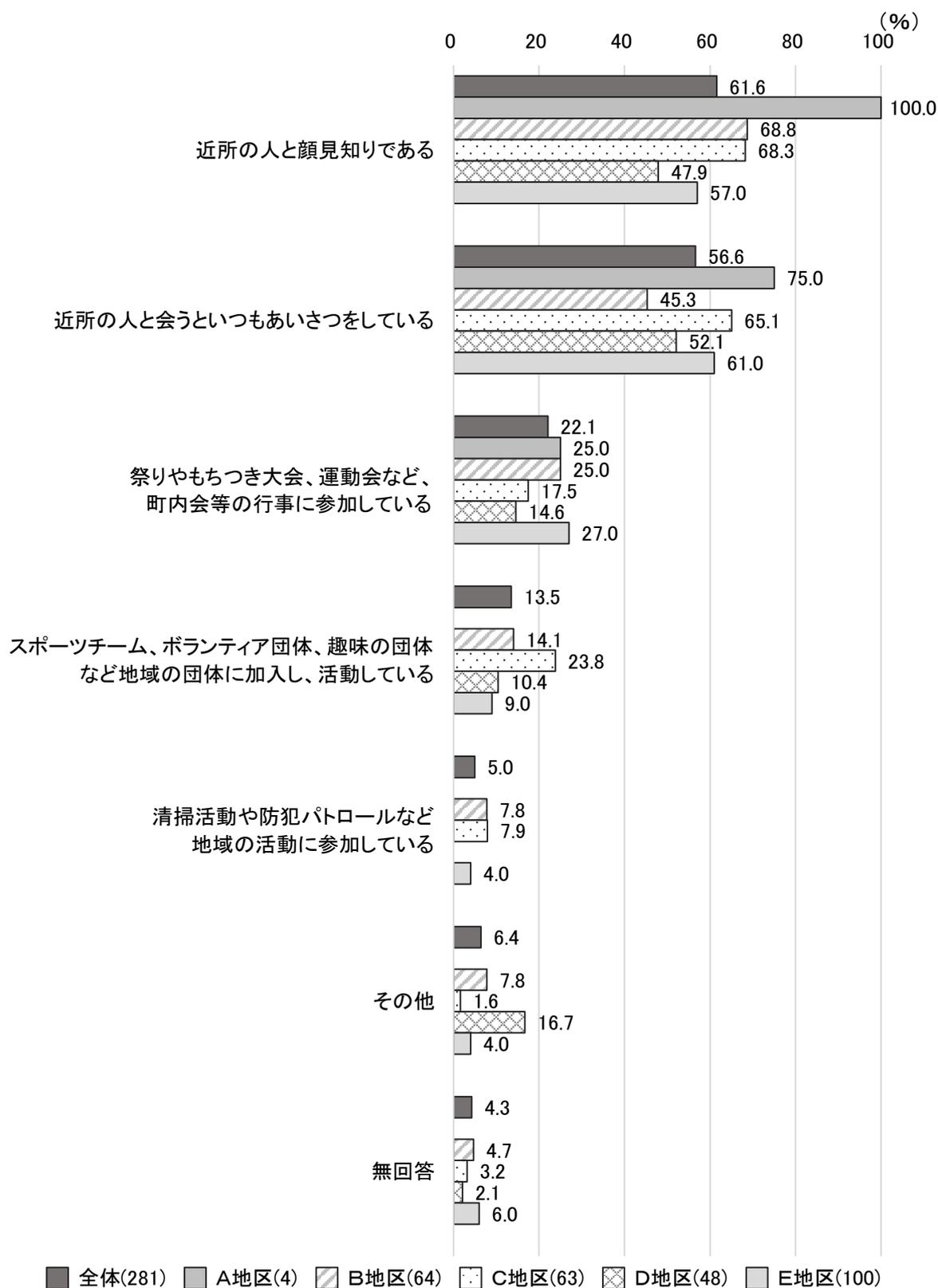
〈年齢別比較〉

概ね年齢が低い方が、「スポーツチーム、ボランティア団体、趣味の団体など地域の団体に加入し、活動している」の回答割合が高い傾向がみられる。



〈居住地区別比較〉

C 地区と E 地区では、「近所の人と会うといつもあいさつをしている」の回答割合が高い傾向がみられる。さらに E 地区では、「祭りやもちつき大会、運動会など、町内会等の行事に参加している」、C 地区では、「スポーツチーム、ボランティア団体、趣味の団体など地域の団体に加入し、活動している」の回答割合も高い傾向がみられる。



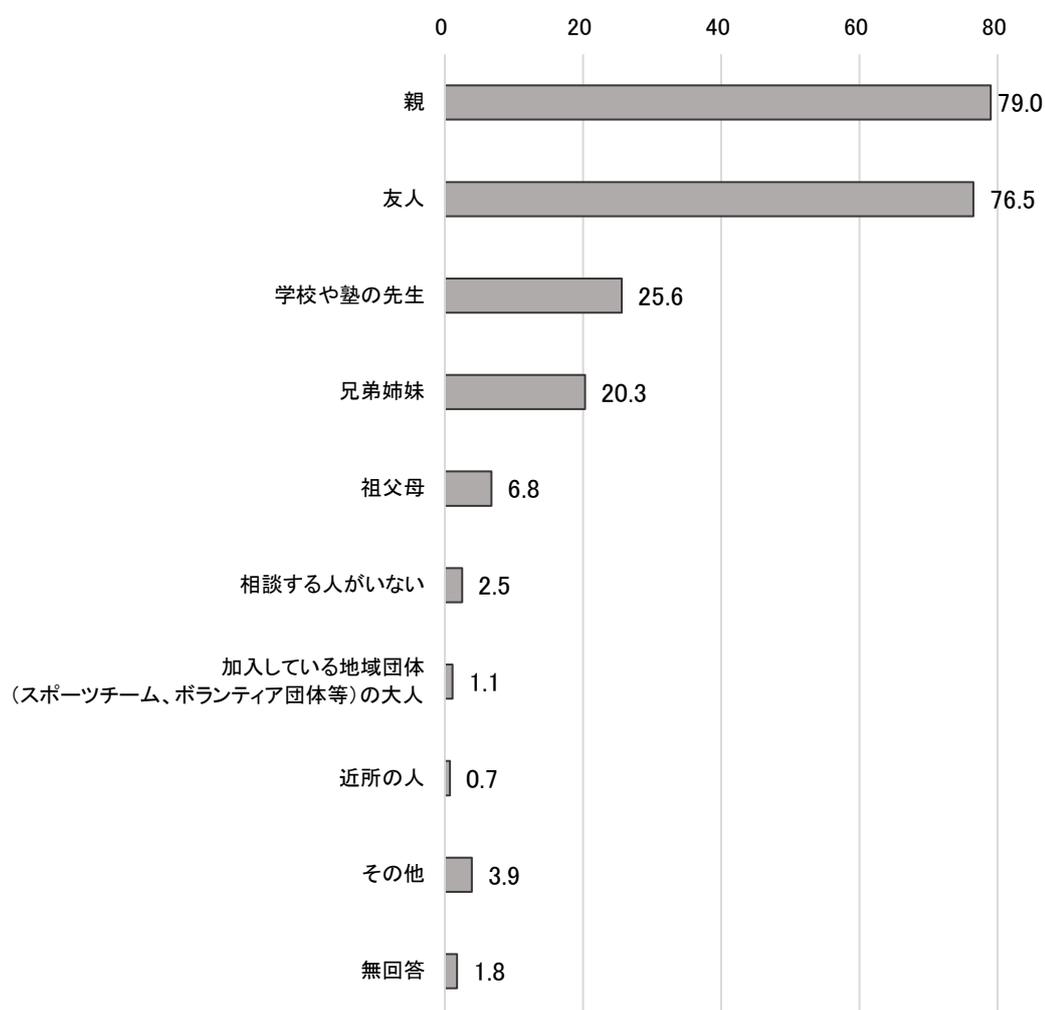
問 1 1 あなたは、困ったときや悩んだときに誰に相談することが多いですか。次の中から相談することが最も多い人の番号を3つまで選んでください。

〈全体〉

困ったとき、悩んだときに相談する相手は、「親」の割合が 79.0%で最も高く、続いて「友人」(76.5%)となっている。

n=281

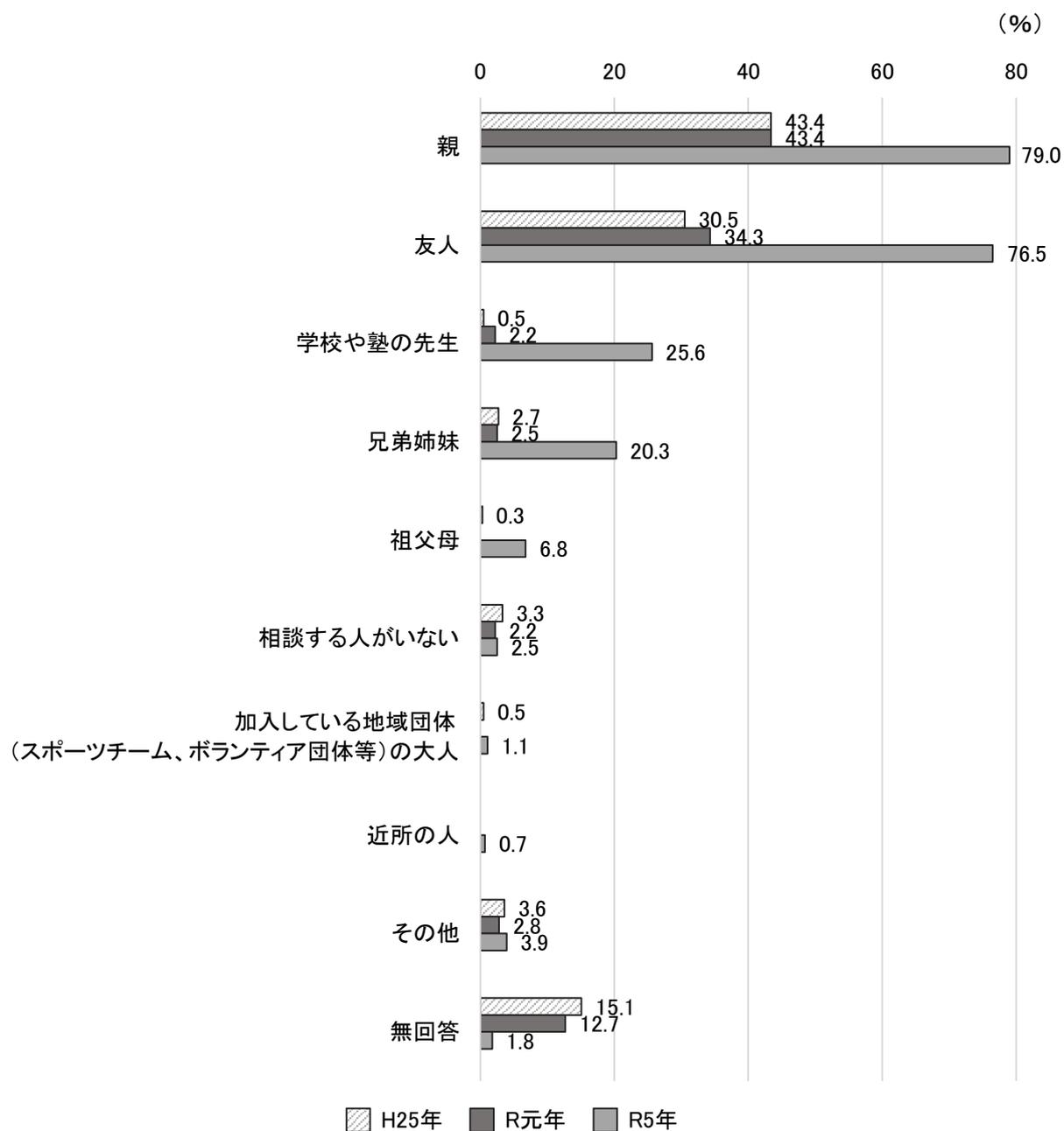
(%)



〈経年比較〉

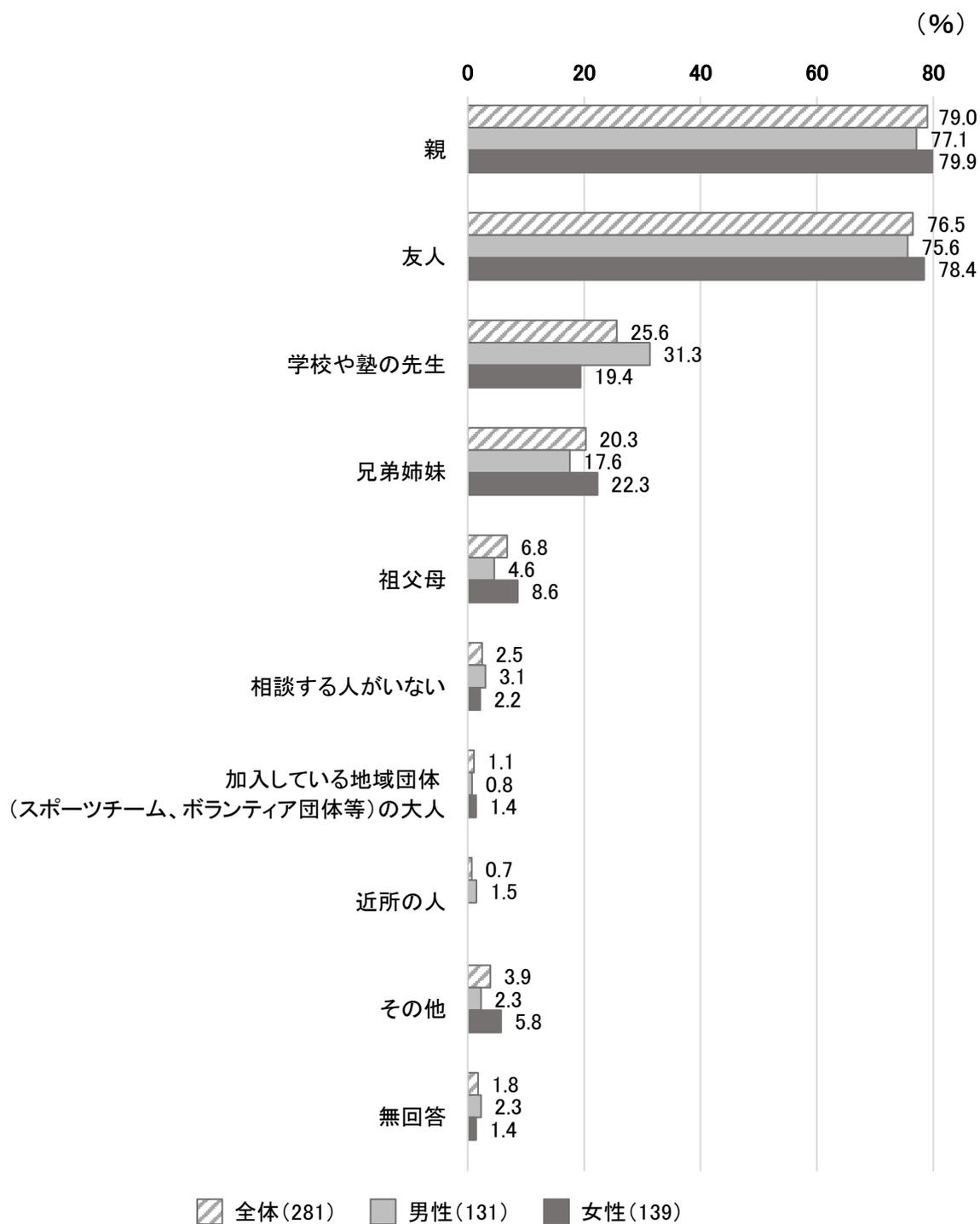
上位項目に大きな違いはみられない。

※令和5年に、単一回答から複数回答に変更しているため、平成25年および令和元年結果は参考として示す。



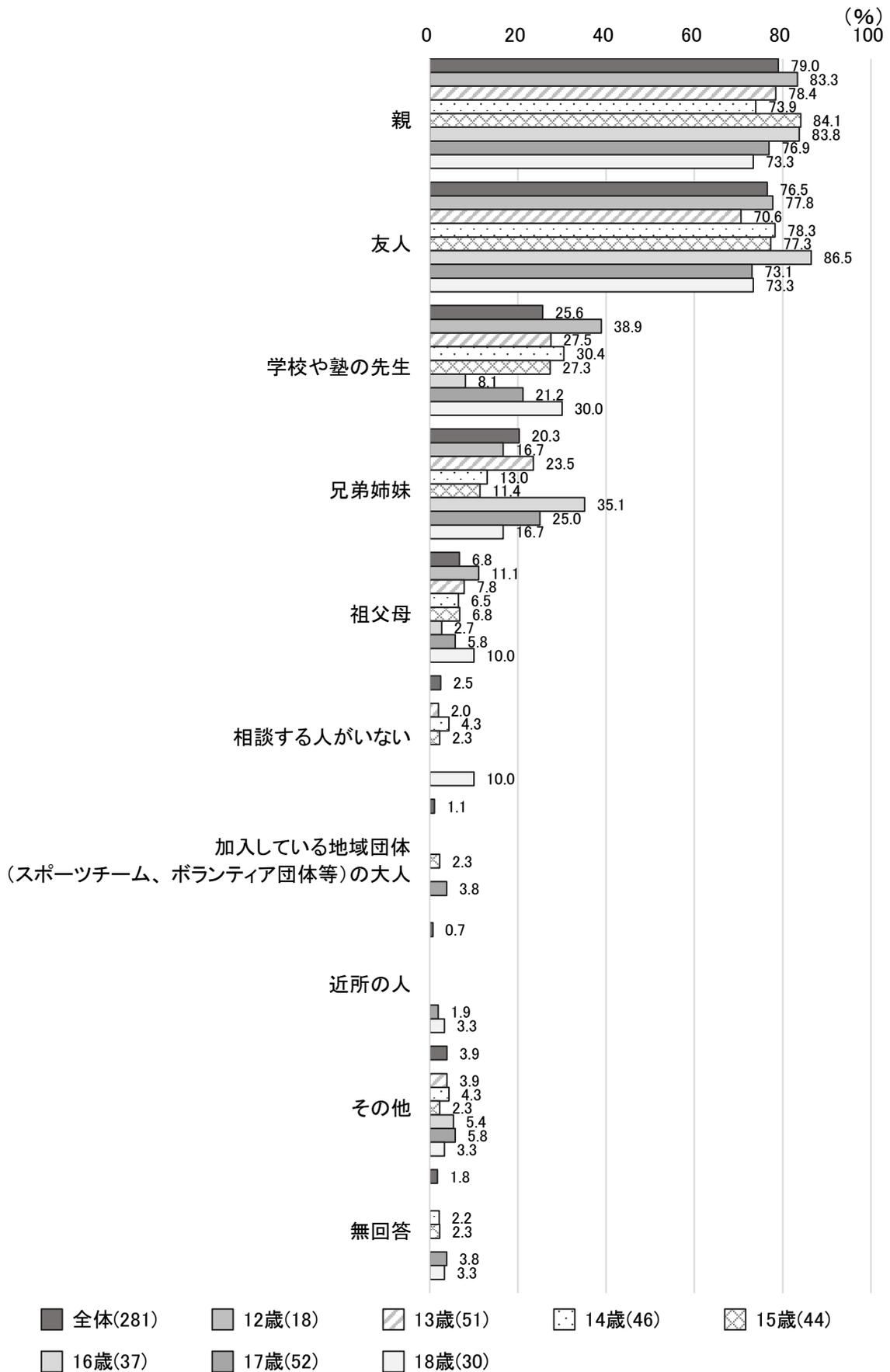
〈性別比較〉

上位項目に違いはみられないが、男性は「学校や塾の先生」、女性は「兄弟姉妹」の回答割合が高い傾向がみられる。



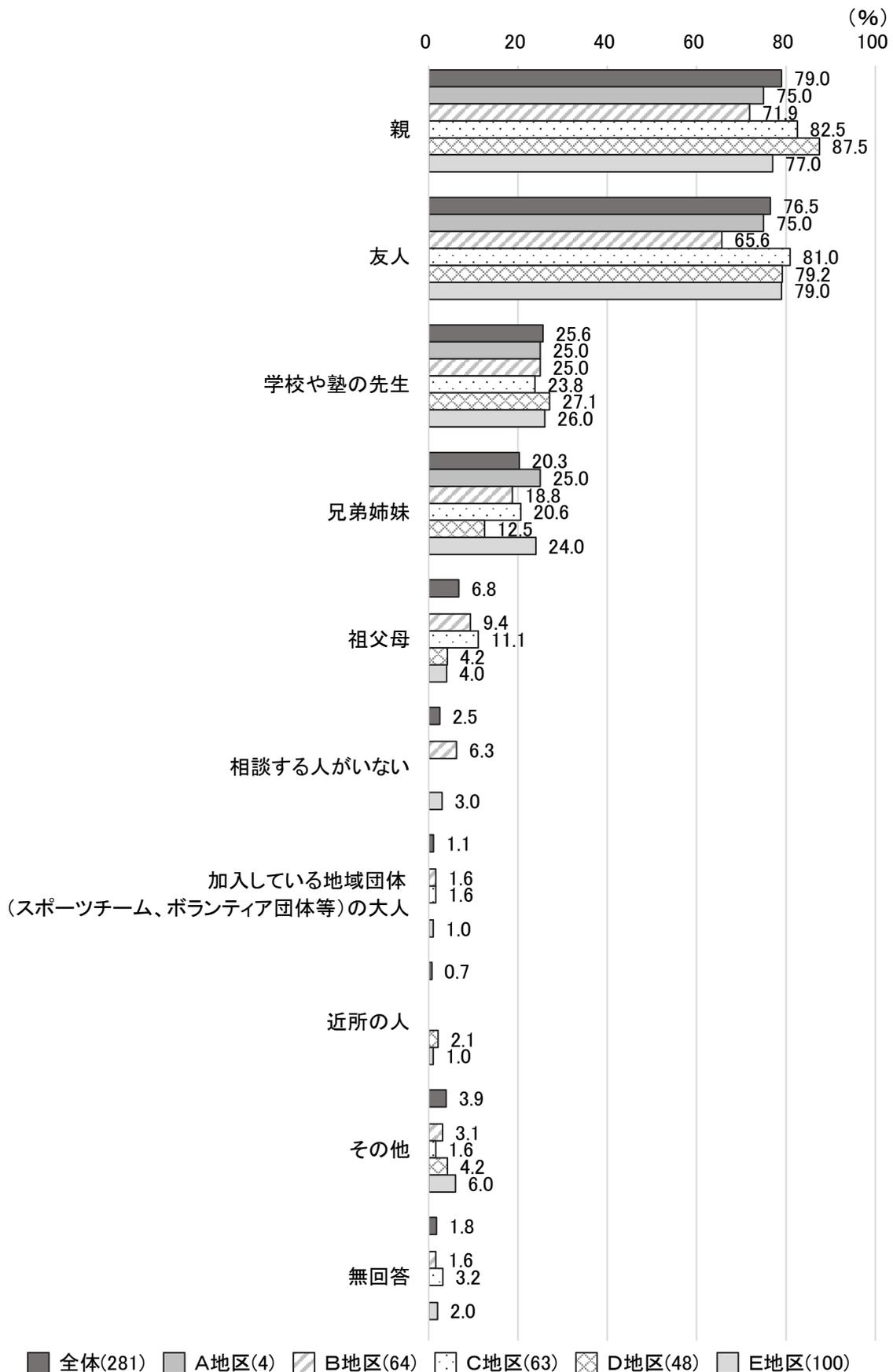
〈年齢別比較〉

年齢別による回答傾向の違いはみられない。



〈居住地区別比較〉

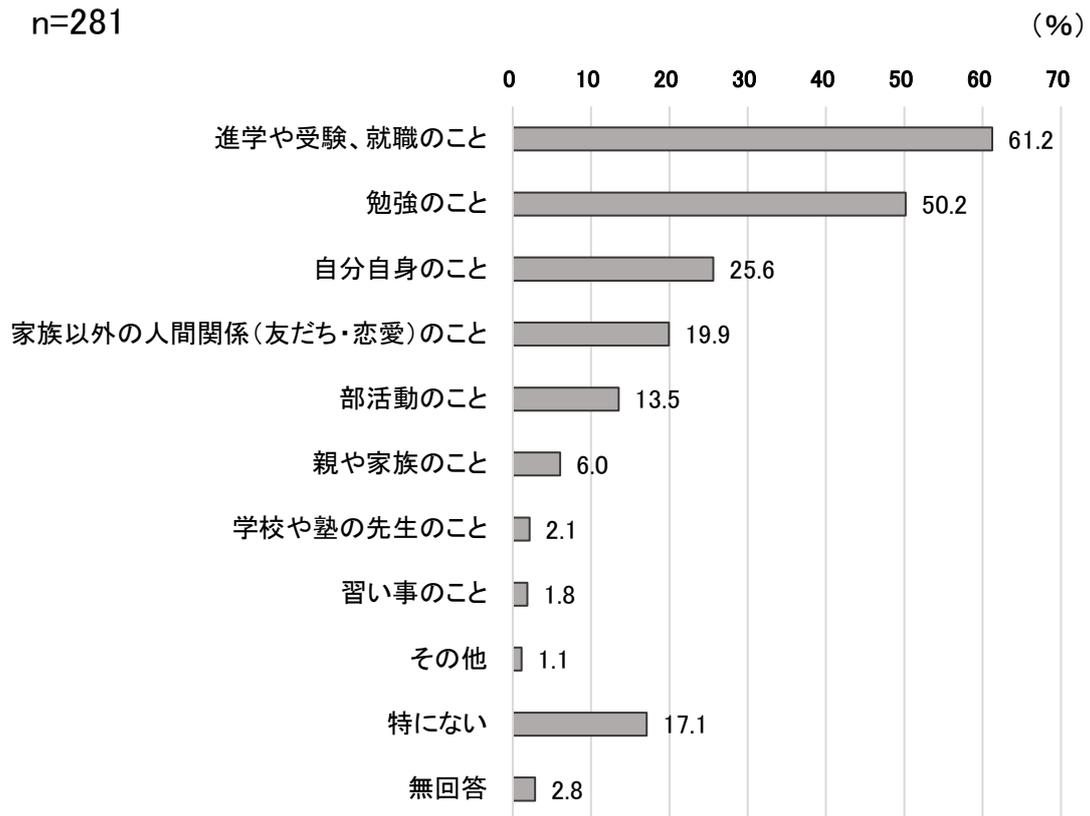
居住地区別による回答傾向の違いはみられない。



問11-1 あなたが困っていることや心配なことは何ですか。次の中からあなたに当てはまるものを3つまで選んでください。

〈全体〉

困っていることや心配なことは、「進学や受験、就職のこと」が61.2%と最も高く、続いて、「勉強のこと」(50.2%)の回答割合が高くなっている。

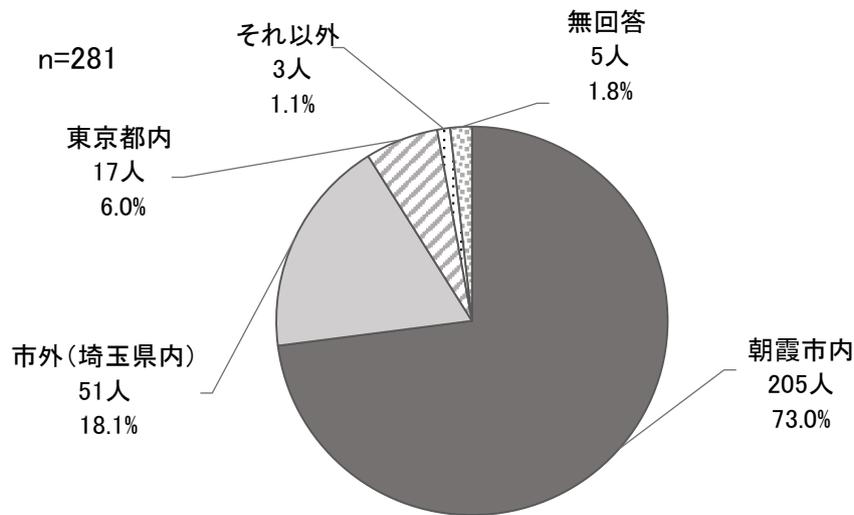


問12 あなたは、平日の放課後（働いている方は仕事が終わった後）や休日は、どこで何を
して過ごしていますか。次の中から、よく過ごしている場所（1つ）と、よくしていること（3
つまで）を選んでください。

【平日の過ごす場所】

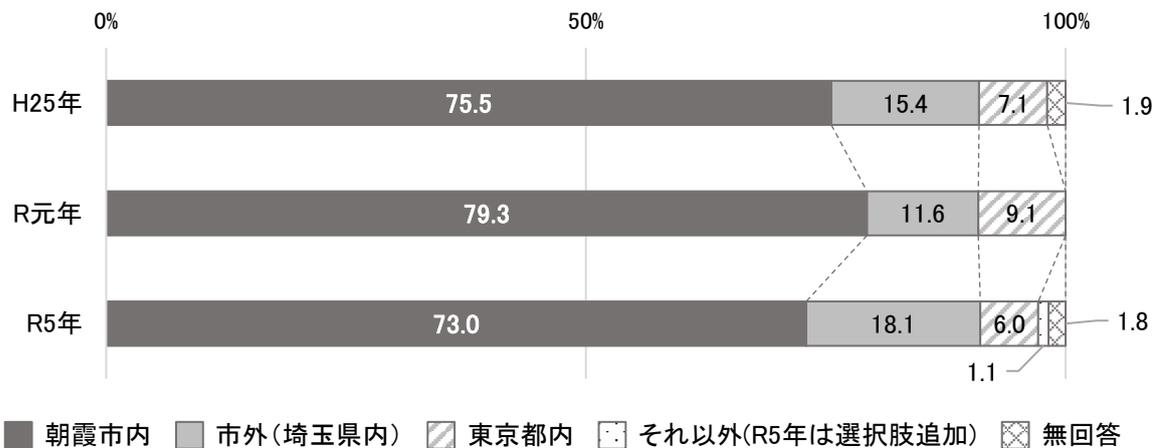
〈全体〉

平日によく過ごす場所は、「朝霞市内」の割合が73.0%で最も高く、続いて「市外（埼玉県内）」
（18.1%）となっている。



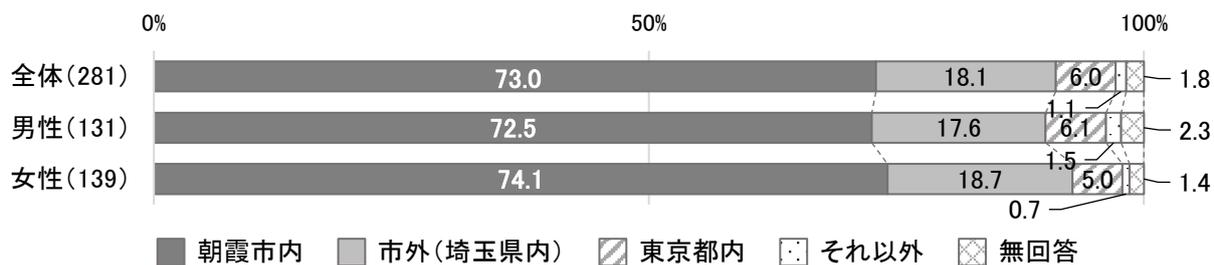
〈経年比較〉

「朝霞市内」の割合が減少し、「市外（埼玉県内）」の割合が増加している。



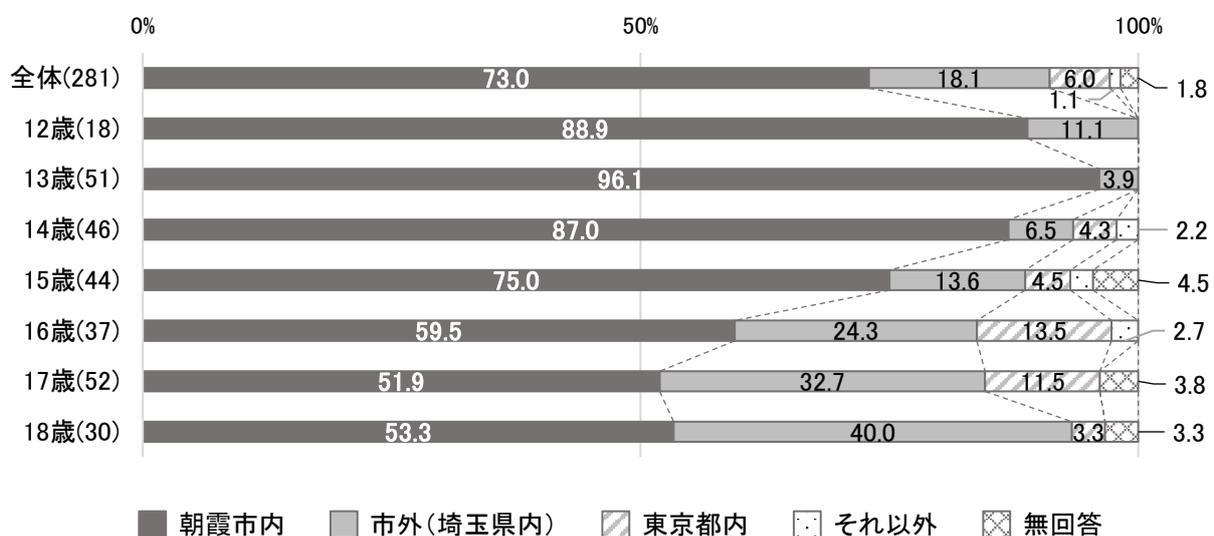
〈性別比較〉

性別による回答傾向の違いはみられない。



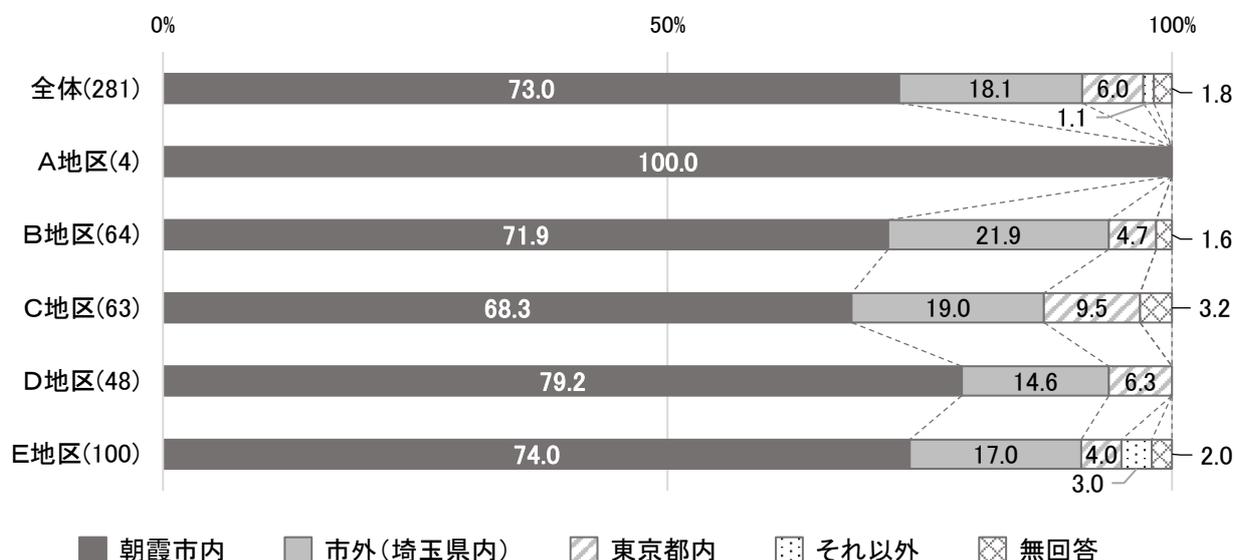
〈年齢別比較〉

13～17歳では、年齢が高くなると「朝霞市内」の割合が低くなる傾向がみられる。



〈居住地区別比較〉

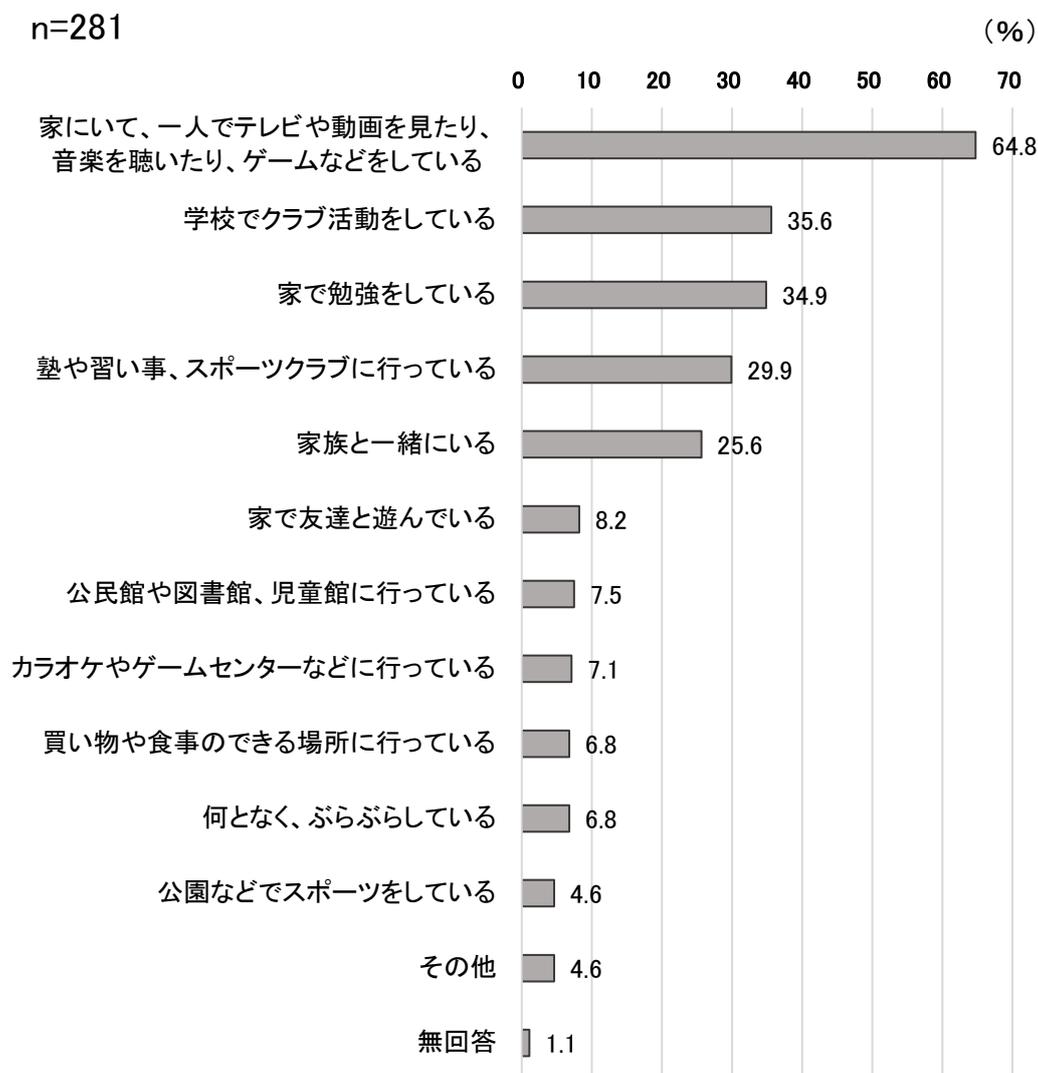
B地区では「市外(埼玉県内)」、C地区では「東京都内」の割合が比較的高い傾向がみられる。



【平日の過ごし方】

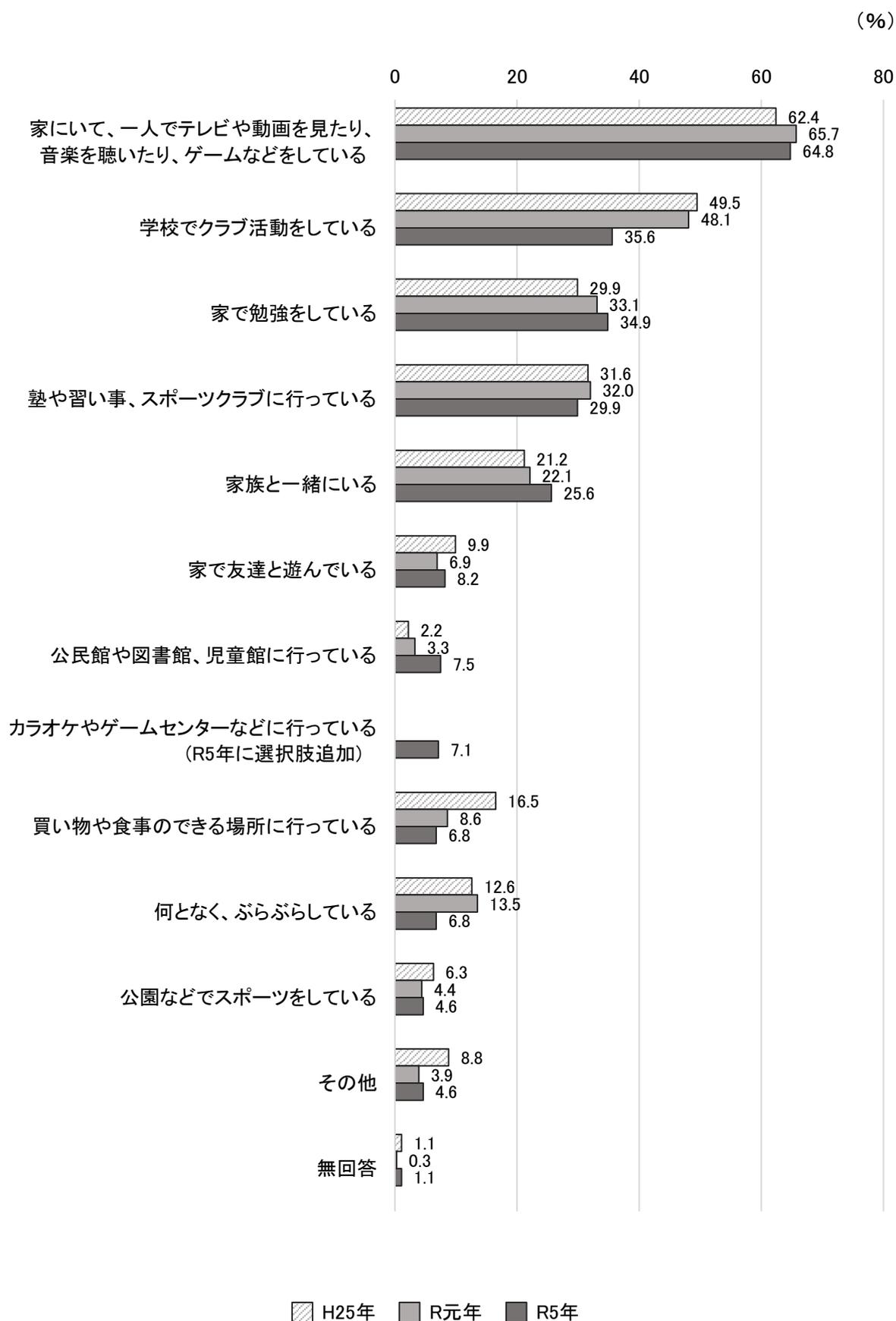
〈全体〉

平日の過ごし方は、「家にいて、一人でテレビや動画を見たり、音楽を聴いたり、ゲームなどを行っている」の割合が 64.8%で最も高く、続いて「学校でクラブ活動をしている」(35.6%)、「家で勉強している」(34.9%)となっている。



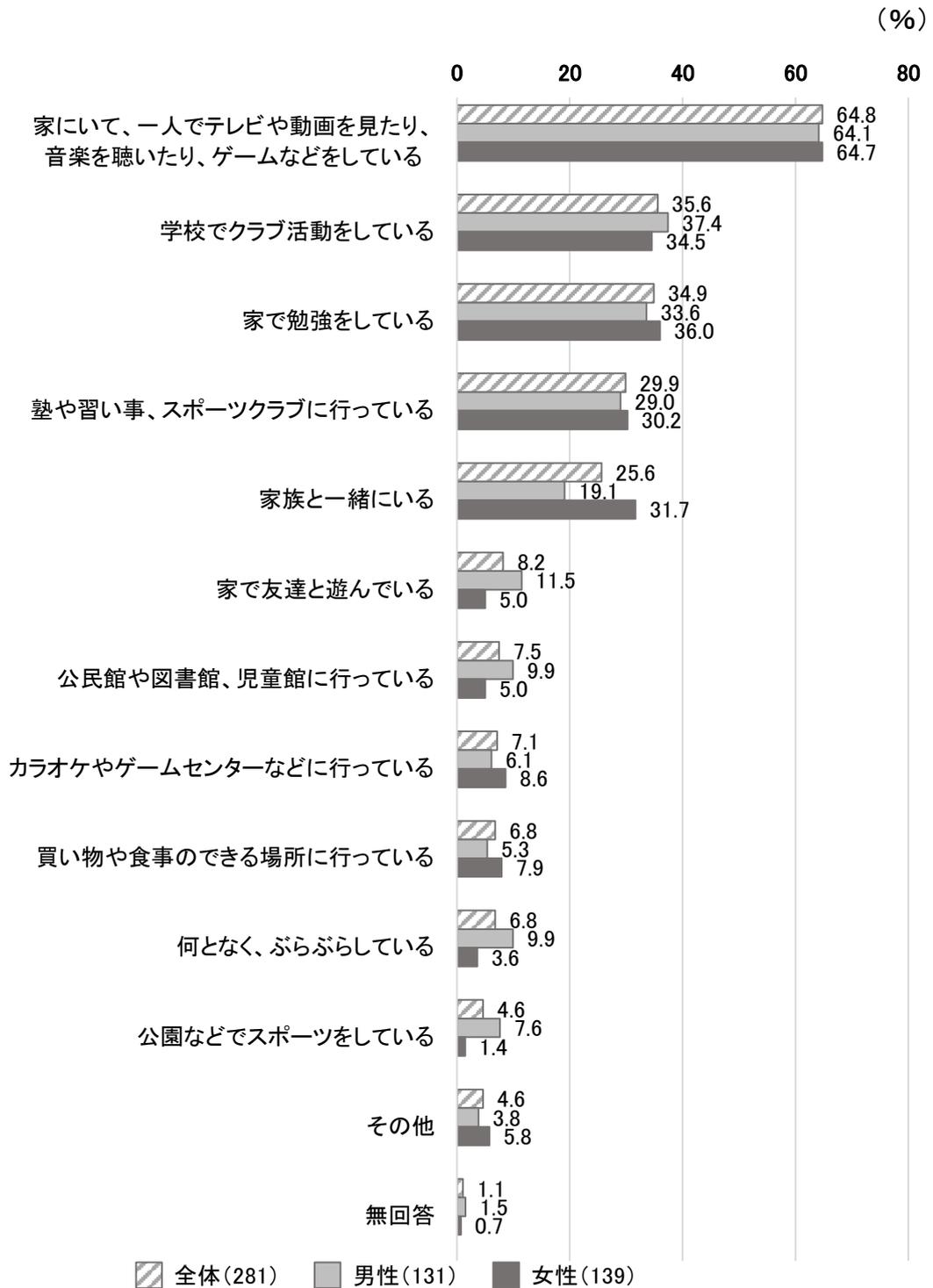
〈経年比較〉

上位項目のうち、「学校でクラブ活動をしている」の割合が減少している。



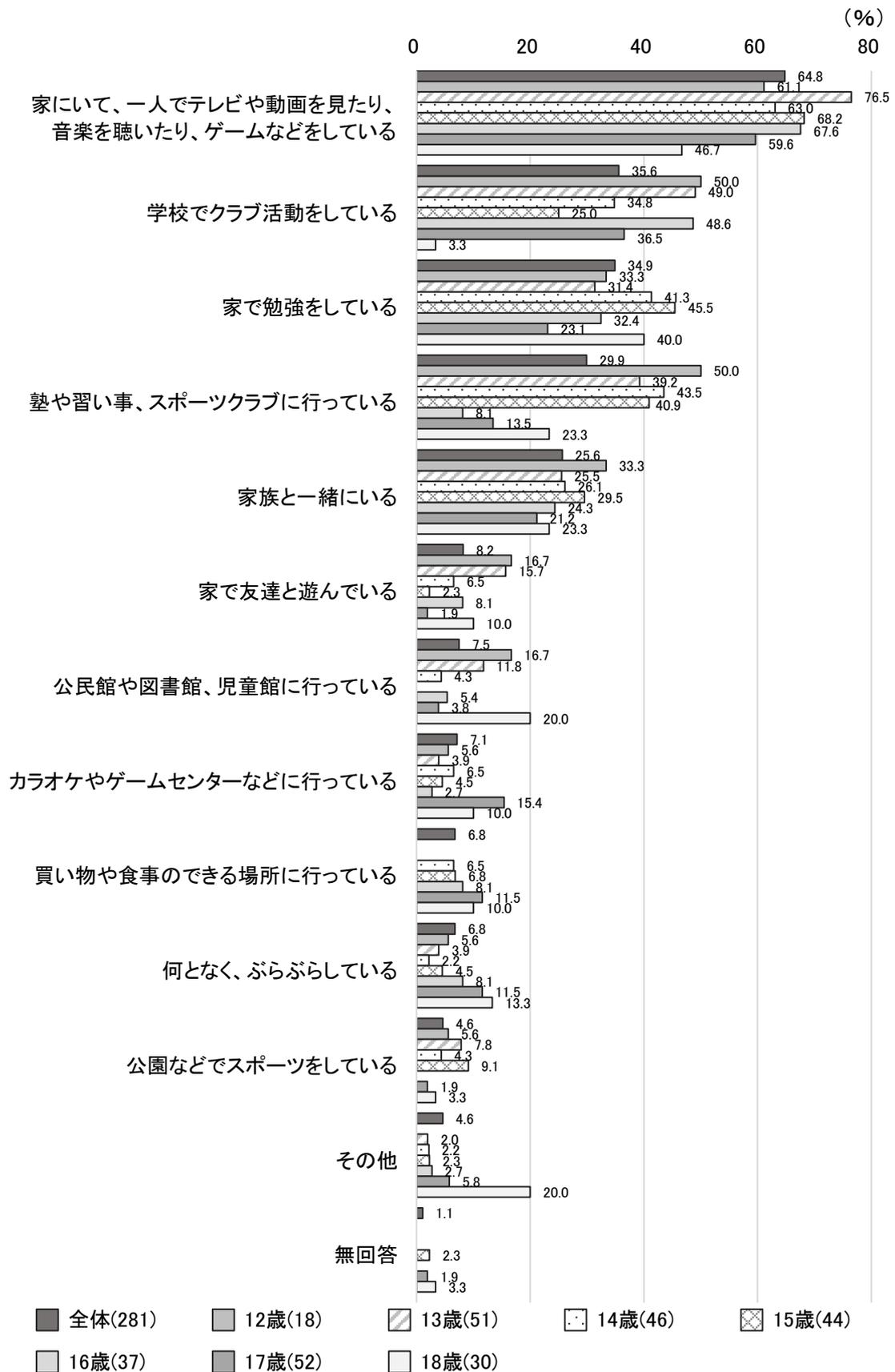
〈性別比較〉

女性は「家族と一緒にいる」の回答割合が高くなっている。



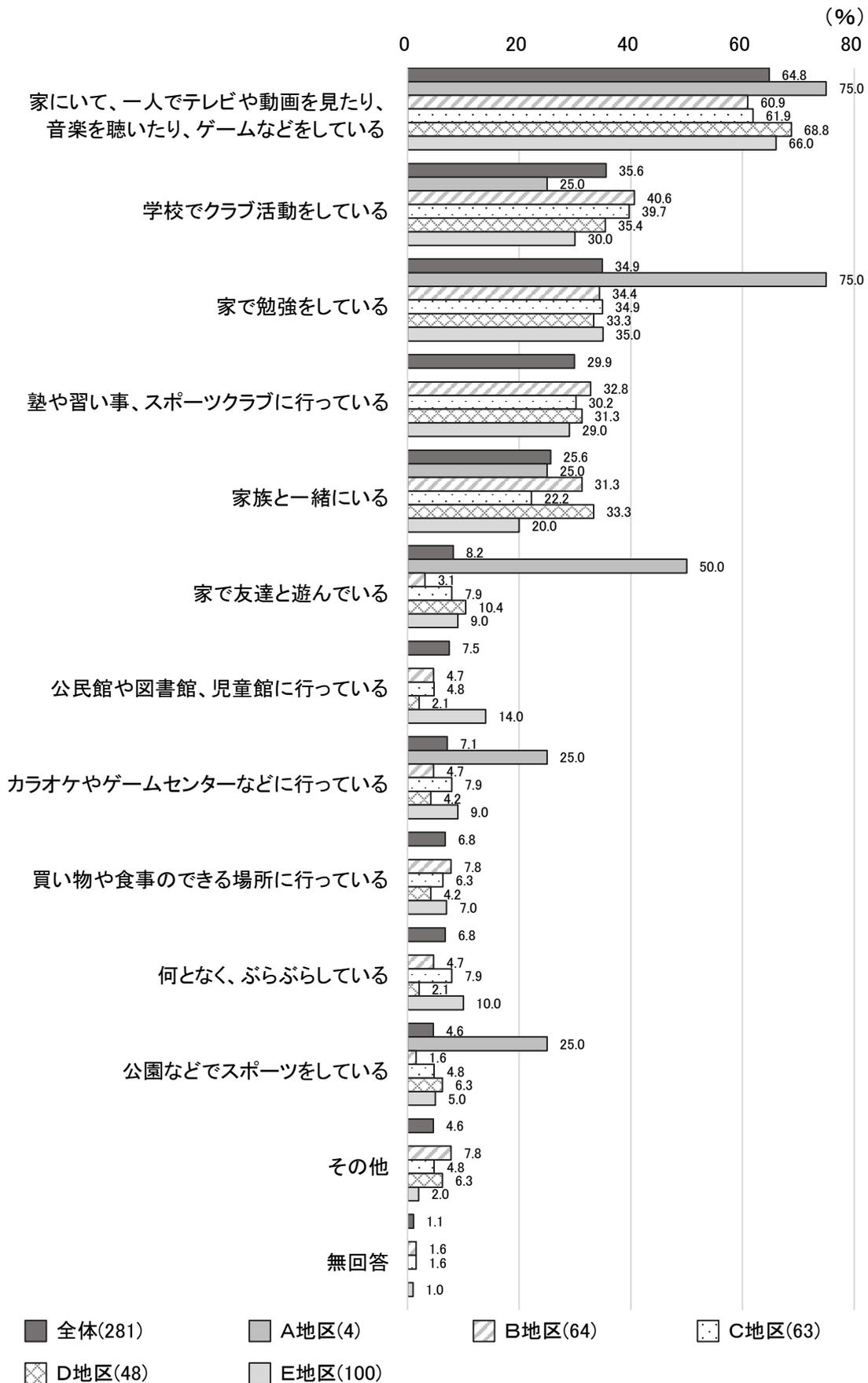
〈年齢別比較〉

12～15歳は、「塾や習い事、スポーツクラブに行っている」の回答割合が16～18歳と比べ高くなっている。



〈居住地区別比較〉

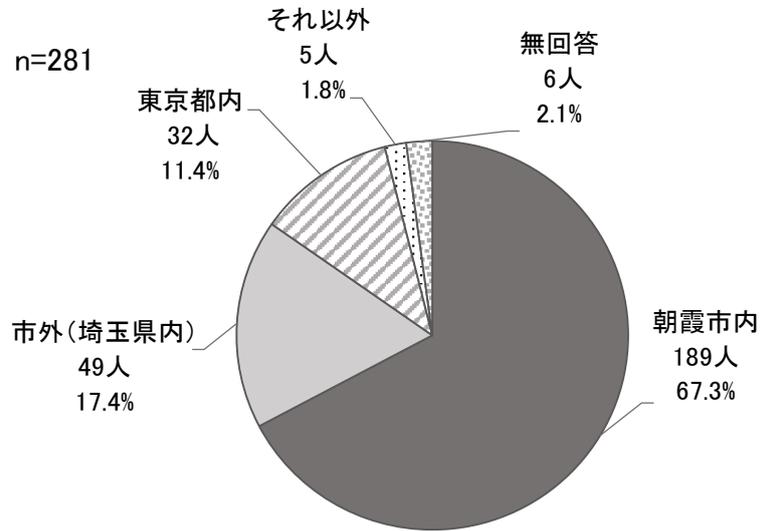
居住地区別による回答傾向の違いはみられない。



【休日の過ごす場所】

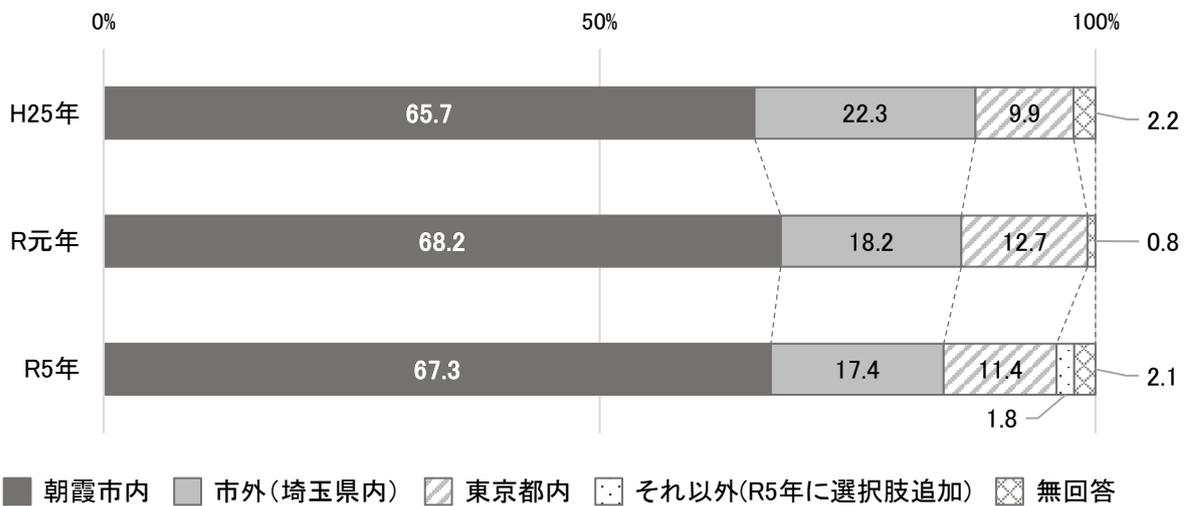
〈全体〉

休日によく過ごす場所は、「朝霞市内」の割合が 67.3%で最も高く、続いて「市外(埼玉県内)」(17.4%)となっている。



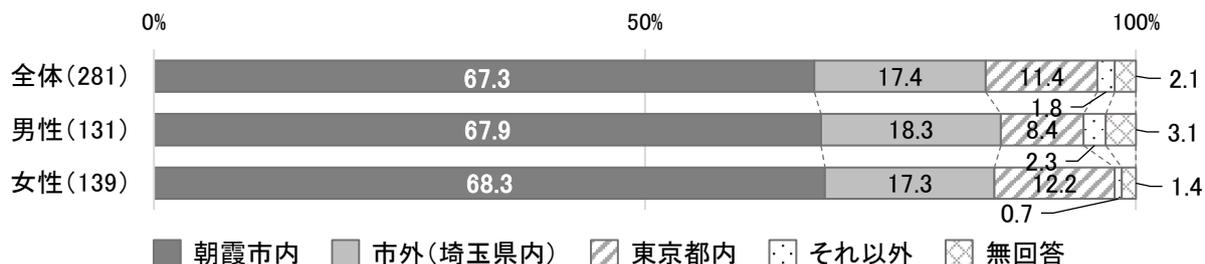
〈経年比較〉

経年による回答傾向の違いはみられない。



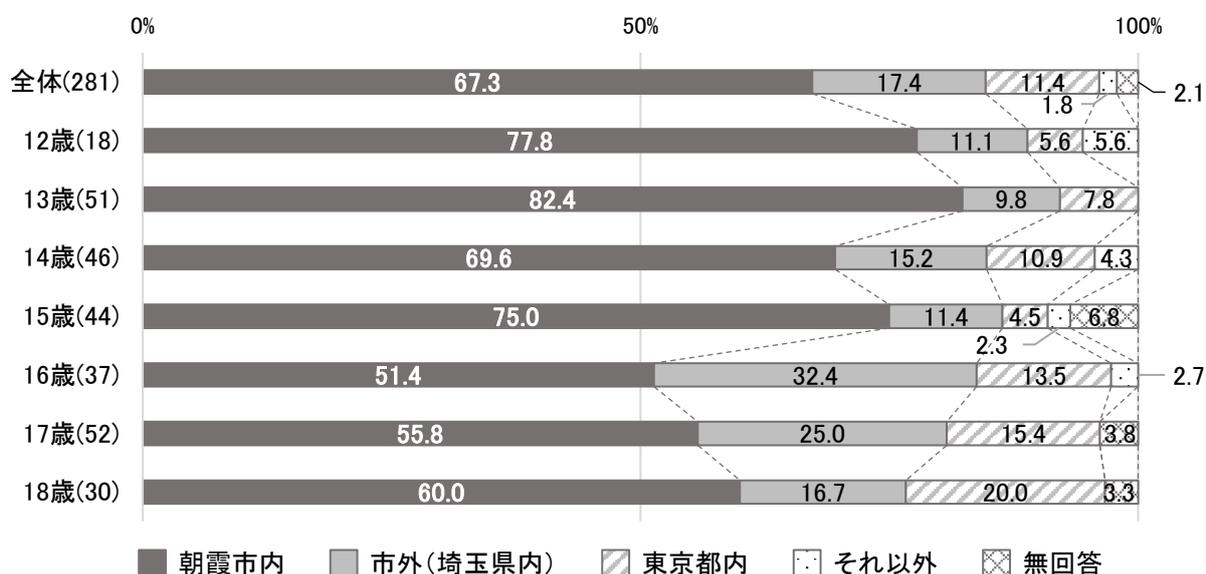
〈性別比較〉

性別による回答傾向の違いはみられない。



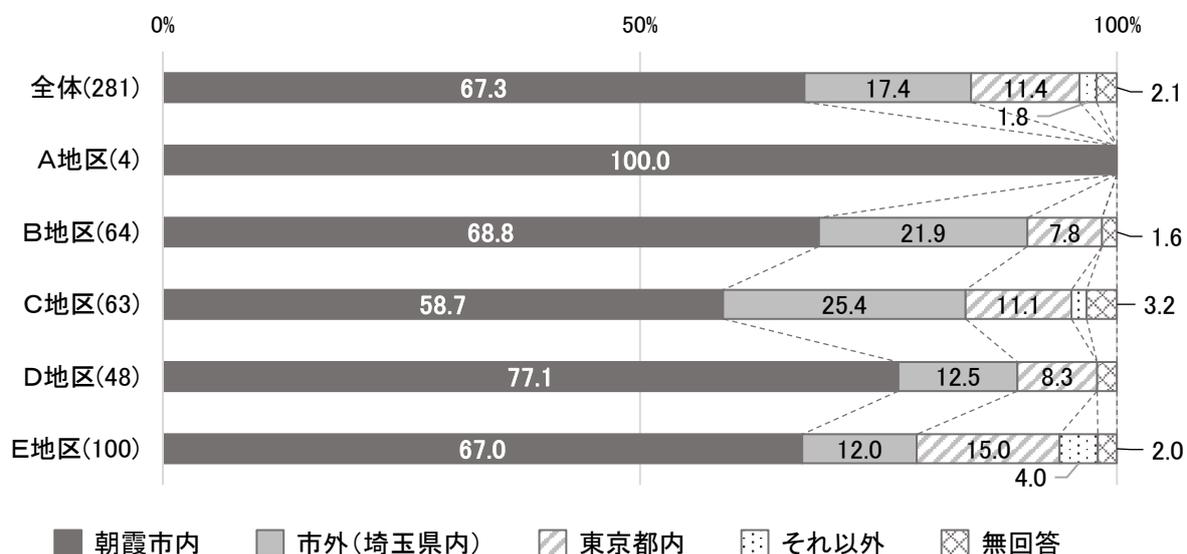
〈年齢別比較〉

12歳~15歳は、「朝霞市内」の割合が16~18歳と比べ高くなっている。



〈居住地区別比較〉

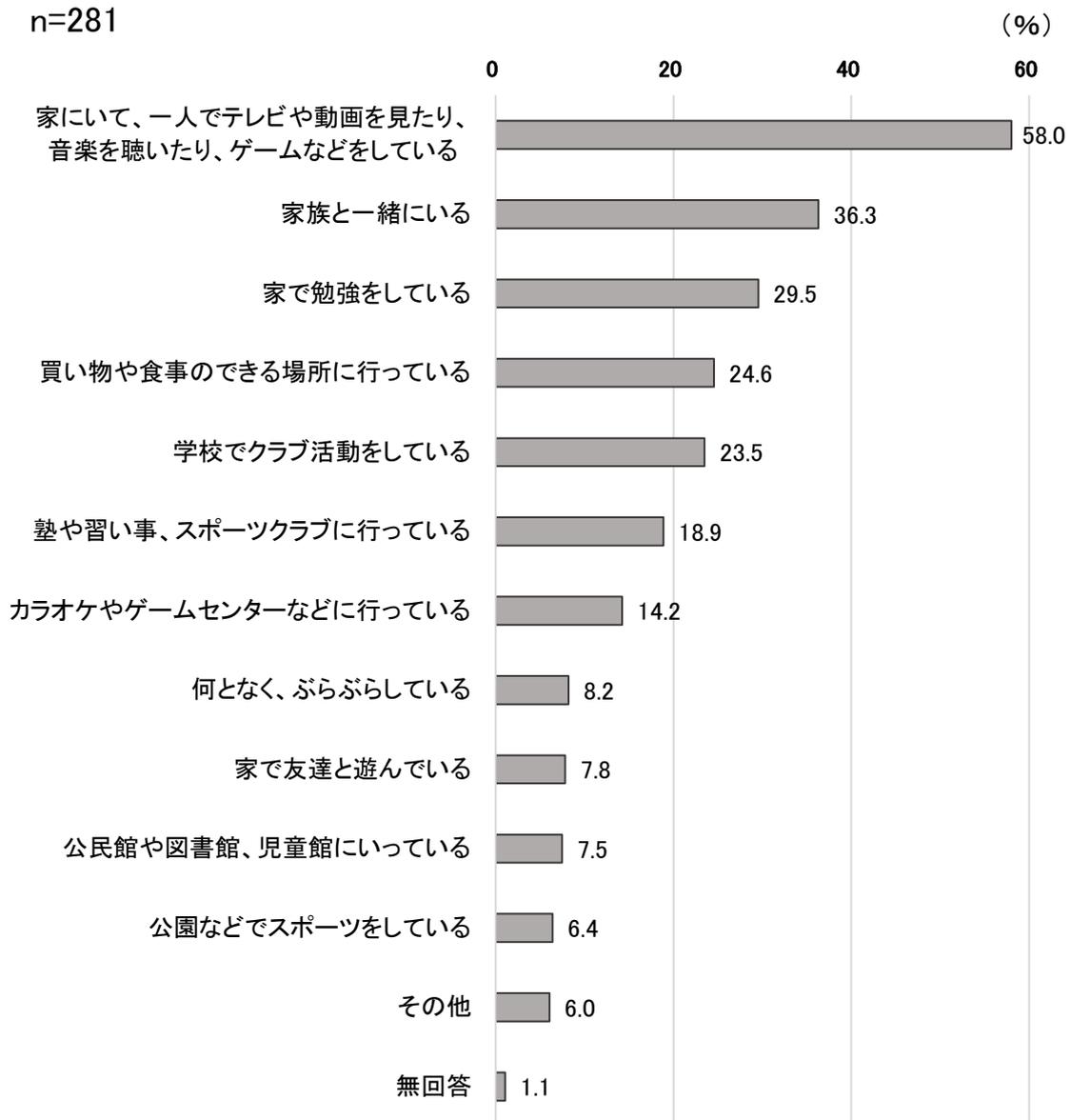
B地区とC地区では「市外(埼玉県内)」の割合が比較的高く、2割を超えている。



【休日の過ごし方】

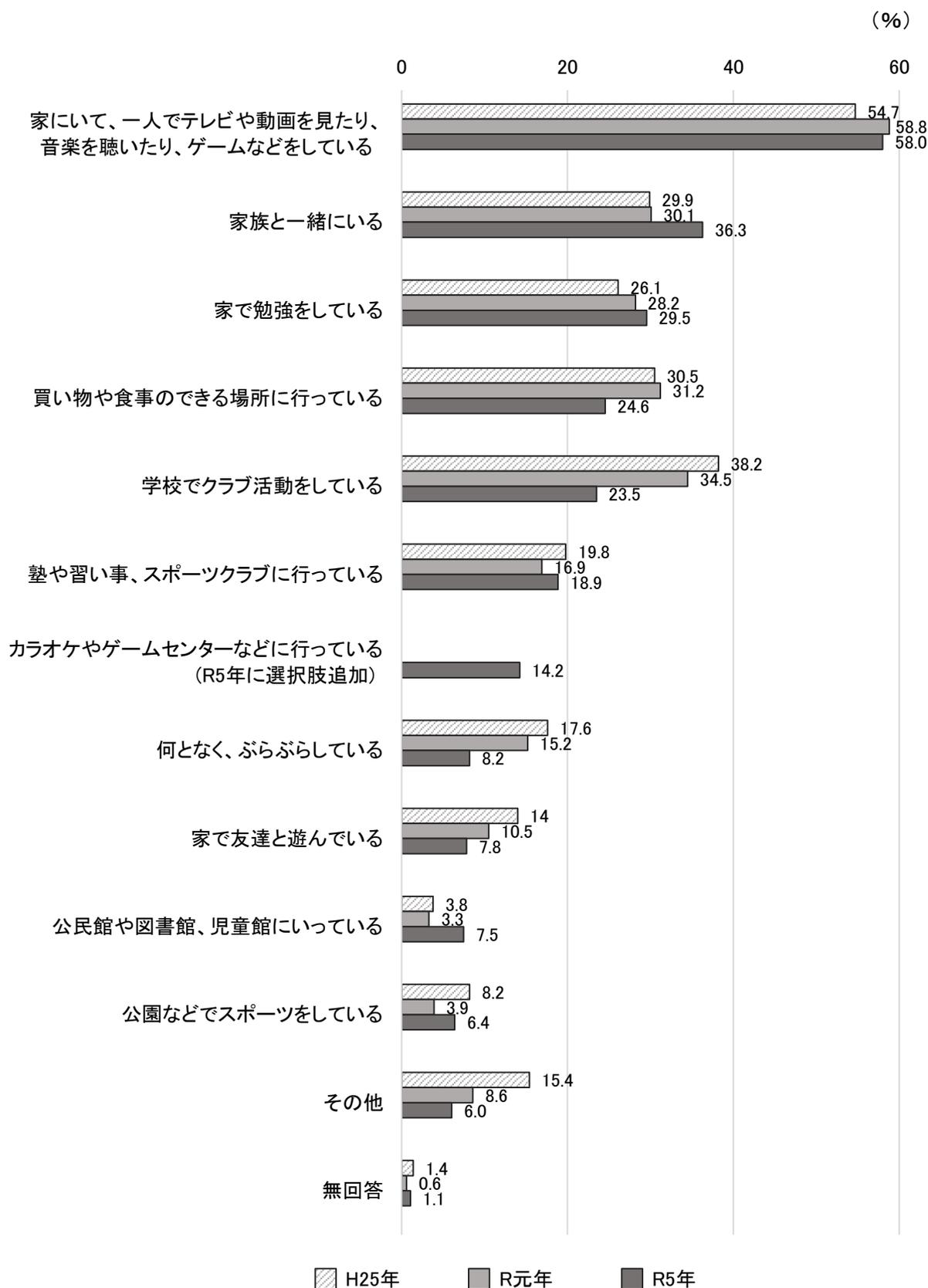
〈全体〉

休日の過ごし方は、「家にいて、一人でテレビや動画を見たり、音楽を聴いたり、ゲームなどを行っている」の割合が58.0%で最も高く、続いて「家族と一緒にいる」(36.3%)、「家で勉強をしている」(29.5%)となっている。



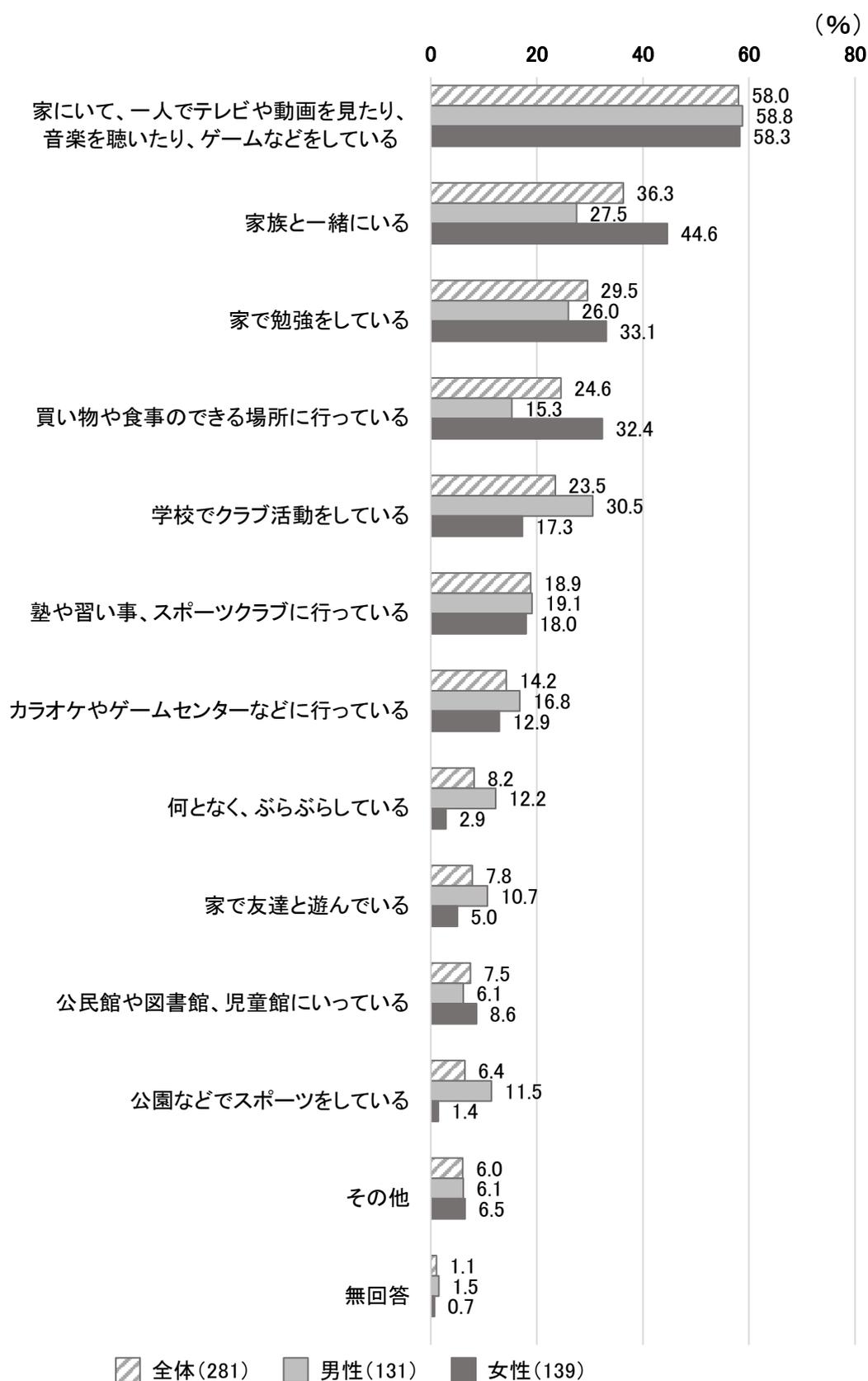
〈経年比較〉

上位項目のうち、「家族と一緒にいる」の割合は増加している。一方、「学校でクラブ活動をしている」、「買い物や食事のできる場所に行っている」の割合は減少している。



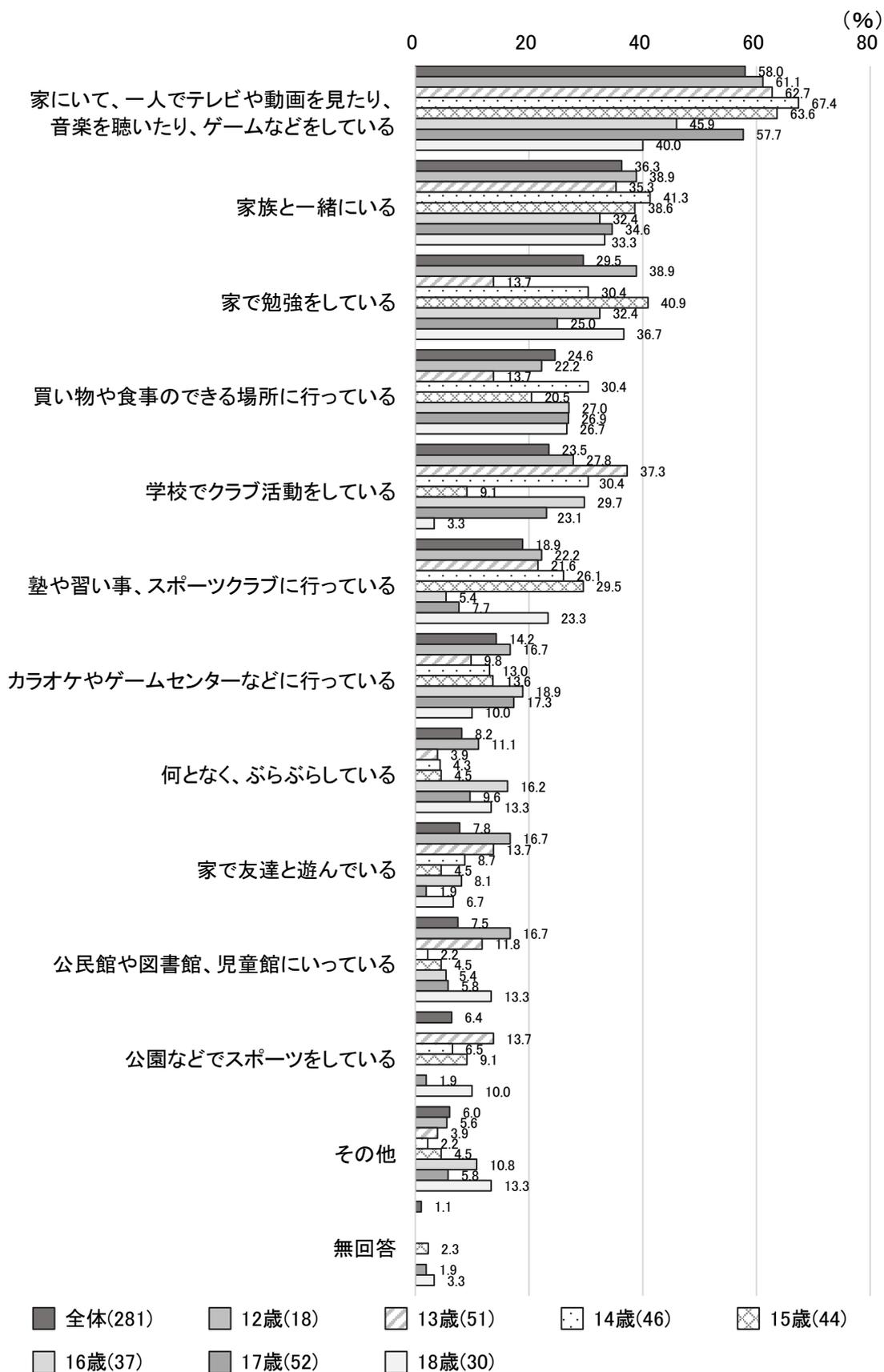
〈性別比較〉

男性の方が、「学校でクラブ活動をしている」の割合が高く、3割を超えている。一方、女性の方が、「家族と一緒にいる」「家で勉強している」「買い物や食事のできる場所に行っている」の割合が高い。



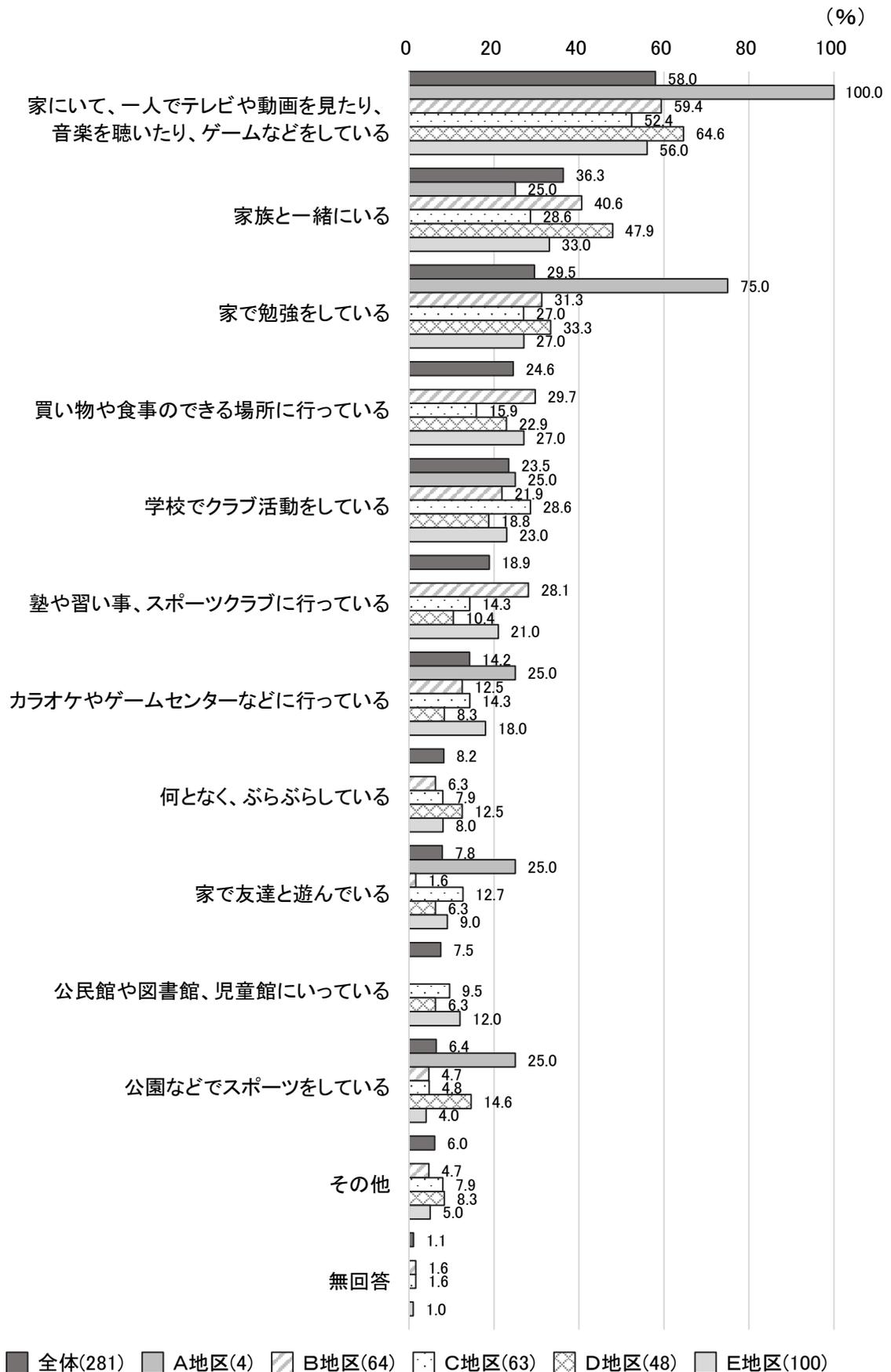
〈年齢別比較〉

12歳～15歳では、「家にいて、一人でテレビや動画を見たり、音楽を聴いたり、ゲームなどを行っている」の回答割合が高く、6割を超えている。



〈居住地区別比較〉

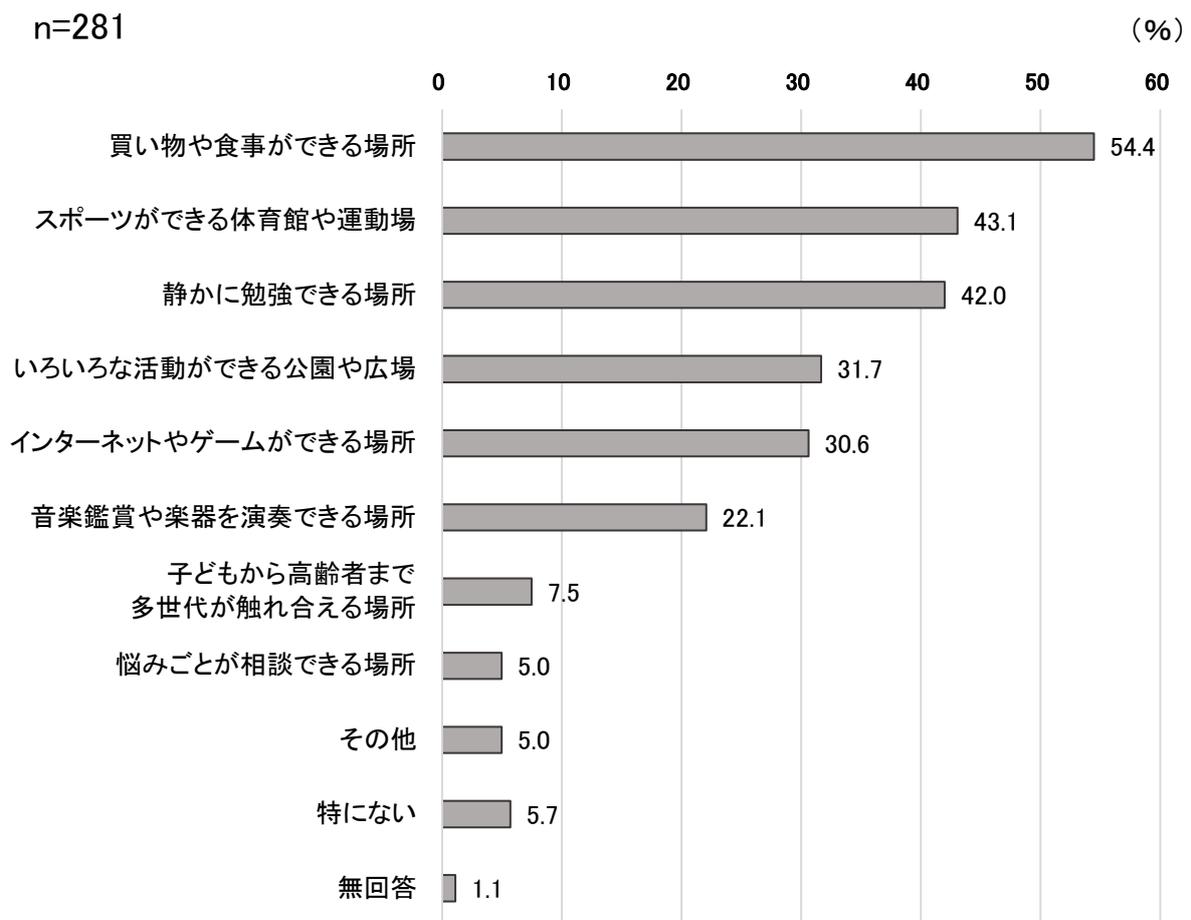
居住地区別による回答傾向の違いはみられない。



問13 あなたは、学校や職場と家以外で、放課後や休日に過ごす場所としてどのような場所があればよいと思いますか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

〈全体〉

学校や職場と家以外で放課後や休日に望ましい場所は、「買い物や食事ができる場所」の割合が54.4%で最も高く、続いて「スポーツができる体育館や運動場」(43.1%)、「静かに勉強できる場所」(42.0%)となっている。

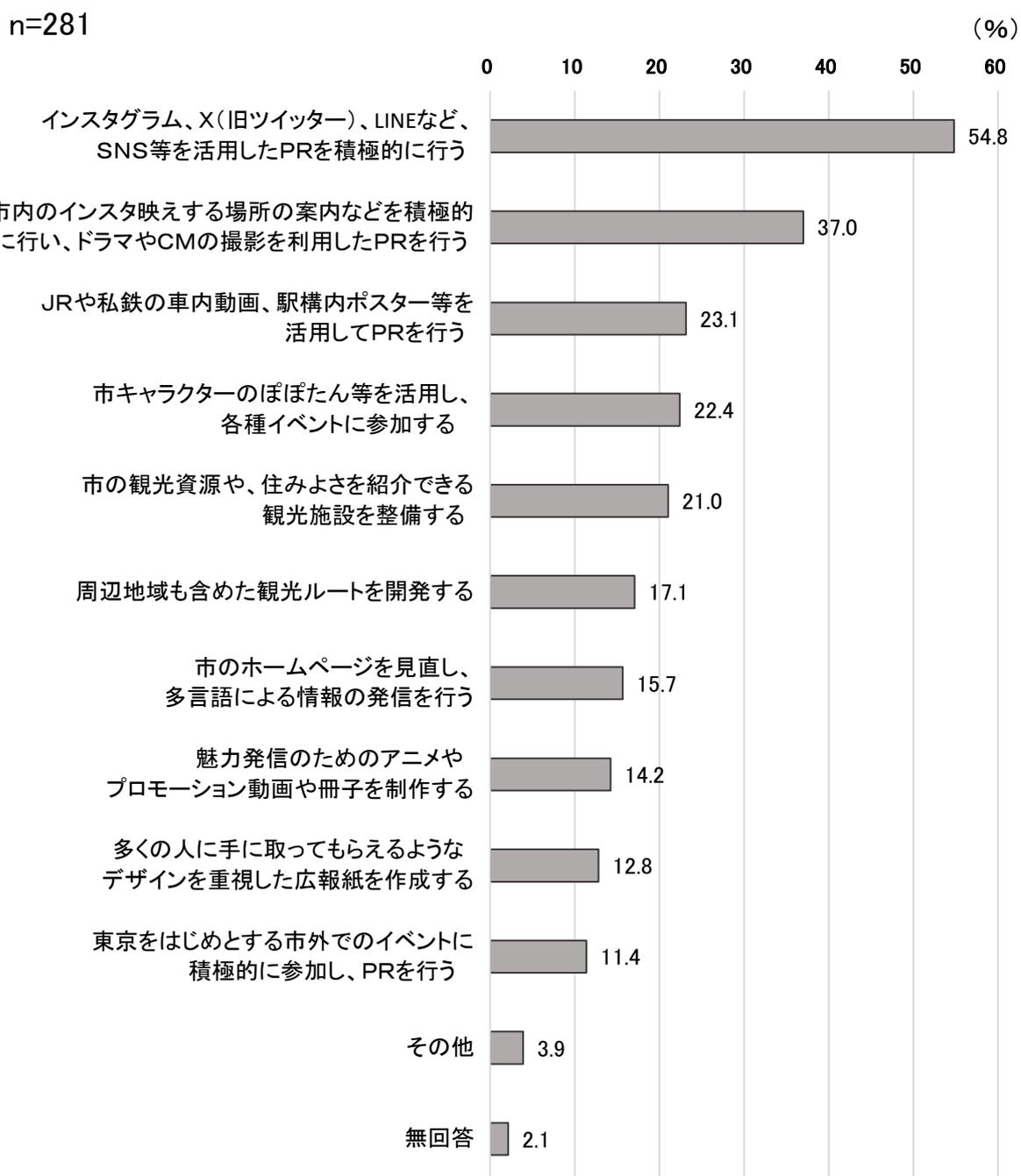


4. 市の取組について

問14 朝霞市の魅力や情報を市内外に発信する取組に関して、朝霞市がどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

〈全体〉

朝霞市の魅力や情報発信に関して力を入れるべき取組は、「Instagram、X(旧ツイッター)、LINEなど、SNS等を活用したPRを積極的に行う」の割合が54.8%で最も高く、続いて「市内のインスタ映えする場所の案内などを積極的に行い、ドラマやCMの撮影を利用したPRを行う」(37.0%)となっている。



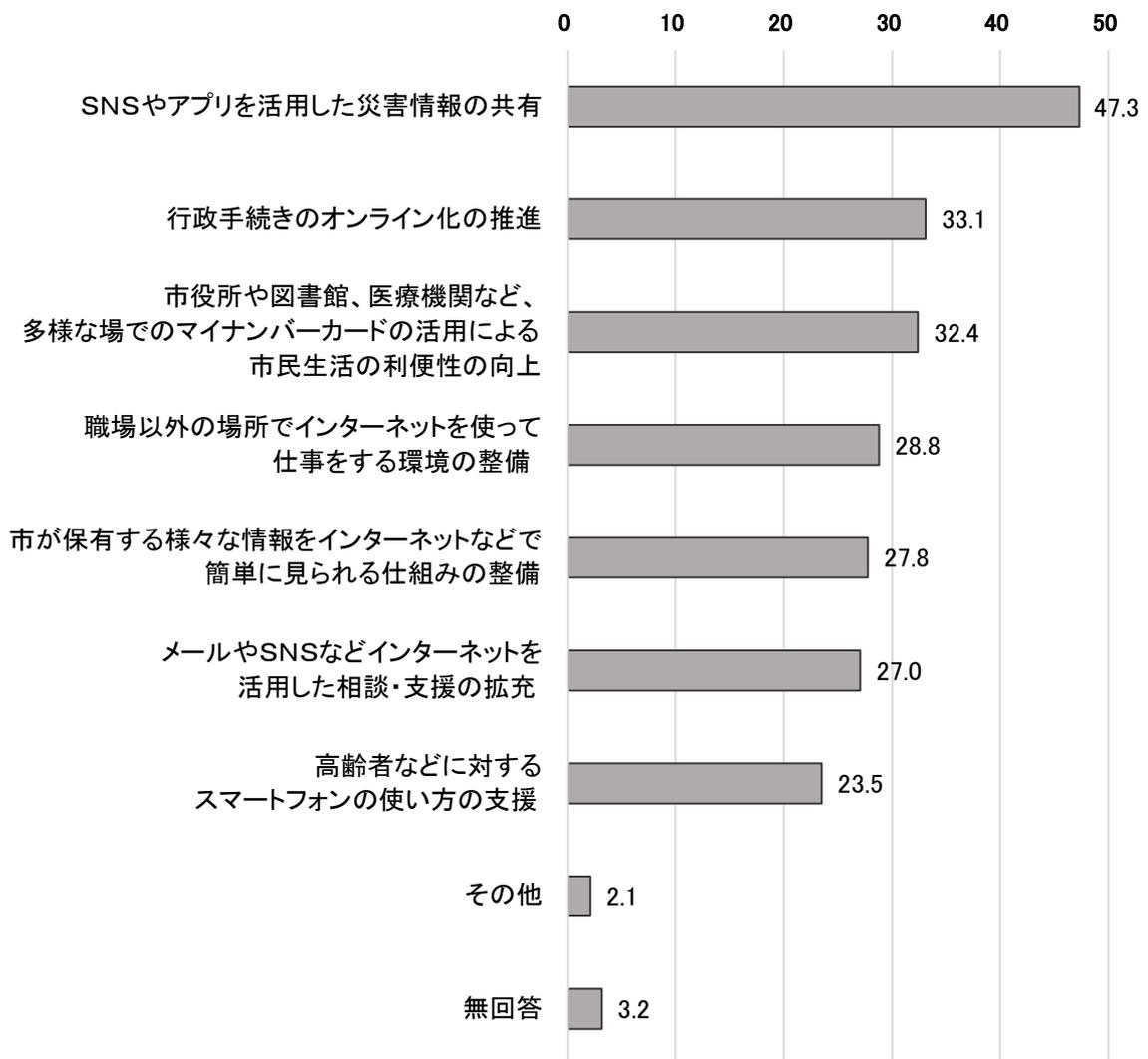
問15 朝霞市において、今後どのようなデジタル化の取組が重要と考えますか。次の中から3つまで選んでください。

〈全体〉

重要と考えるデジタル化の取組は、「SNSやアプリを活用した災害情報の共有」の割合が47.3%で最も高く、続いて「行政手続きのオンライン化の推進」(33.1%)、「市役所や図書館、医療機関など、多様な場でのマイナンバーカードの活用による市民生活の利便性の向上」(32.4%)となっている。

n=281

(%)



5. 自由意見

問16 朝霞市の「自慢できるもの・こと」や「将来残したいもの・こと」はありますか。人物、場所、イベント、食べ物など自由に記述してください。

朝霞市の「自慢できるもの・こと」や「将来に残したいもの・こと」について、自由意見欄に記入があったのは回答者281人のうち208人(74.0%)である。

〈全文〉※概ね原文のとおり記載している。

【都市基盤・産業振興】

- ・ 朝霞市の自慢できるところは交通のアクセスの良さだと思います。すぐに東京などの都会に行くことができ、電車の本数が多いです。なので、電車に関するアピールをもっとしていけたら良いと思います。電車だけでなく、朝霞駅はなかなかおしゃれな外観で写真映えも良いと思うので、そこも推していけばいいと思います。
- ・ 朝霞市の長所は、やはり交通の便である。高校生になり、通学もはじめ、電車を利用し移動することが増えた。北朝霞駅、朝霞台駅があることによって、他の市町村と比べ住みやすさや、行動範囲が広がっていると思う。しかし、前に違う市に住んでいる友達が朝霞に来た時に、「遊ぶ場所ないね〜。」と言われてしまった。公園や競技場などの設備は十分だと思うが、映画館やショッピングモールなど「朝霞のあの場所に行って遊びたい!!」という声上がるような施設がないように感じる。土地や自然を大切にしたいという市民の声があり、実現するのは厳しいかもしれないが、私と同年代くらいの子供達は同じ意見を持っていると思う。東上線と武蔵野を接続するための町にはしたくない!!
- ・ 朝霞市は池袋や成増など東京の駅と近くて便利なので、交通の便がよい。朝霞には森林豊かな公園が多いので、自然保護をしつつ、将来も美しく残してほしい。
- ・ 朝霞の良いところは都心にほどほどに近いけれど、都内ほどゴミゴミしていない。適度に自然が多く、ほどほどに空気がきれいいて、スーパーやドラッグストアが多い点だと思います。引き続き、朝霞の森や周辺の公園や空き地(国有地内の樹木含む)、黒目川の遊歩道と公園や畑を残し、ゆとりのある街づくりをしてほしいです。溝沼に住んでいる祖父や祖母が言っている、「朝霞は歩行者やベビーカーを押す人が安心して歩ける道が少ない。ガードレールや車道と歩道の間の縁石を設置して、高齢者や子どもが安心して歩けるようにしてほしい」ということを、市役所の人にお伝えしたいです。
- ・ 地元の飲食店、グルメチャンピオンなど

【教育・文化】

- ・ 彩夏祭が最高に楽しい!!!
- ・ 彩夏祭を将来に残したい。何十年も開催しているわけではないけれど、毎年何十万人の人が来ているし、何より楽しいので地域の活性化には欠かせないものだと思います。また、朝霞市外の鉄道駅にポスターを掲示して、もっと彩夏祭を盛り上げれば、他の市に住んでいる人にも、朝霞市の魅力が伝わるのではないかと思います。
- ・ 彩夏祭は自慢できるし将来残したい。朝霞の森のように小さい子から大人まで遊ぶことが出来る広い所は残しておきたい。
- ・ 彩夏祭やストリートテラス等のお祭りが多い事。都心へのアクセスがよく、まわりは緑が多く、とれたて

の新鮮な野菜が食べられる等、住むにはとても快適なこと。

- ・ 彩夏祭、毎年市外からも多くの人が集まるメインイベントなので、これからも続けてほしい。むしろもっと規模を大きくし、沢山の人が満足できるものにしてほしい。
- ・ 自衛隊イベント
- ・ おだやかな雰囲気をもっと残していきたい。彩夏祭などは朝霞市民からするとすごく自慢のできる良いイベントだと思います。
- ・ 彩夏祭。これだけは無くならないで欲しいです。彩夏祭は、学生だけ、朝霞市民だけではなく、色々な人が色々な所から足を運んで参加していて、参加者の夏を彩る良い祭りだと思います。そんな彩夏祭には、いつまでも色褪せずに、長く続いて欲しいと思っています。
- ・ 祭やイベントごとは自慢できるし続けてほしいです。朝霞ストリートテラスの時、自分はボランティアで1回活動したことがあります。その時、大勢の人が「楽しい一日にしよう」と言って、とてもポジティブな人達を多く見ました。こういうのを将来残したいです。
- ・ 小学校や中学校が多く、子供たちが元気に生活できているところがいいと思います。また、治安が良く、毎日安心して過ごさせています。
- ・ 小学校の数が多く、朝霞市内住みであれば通学時間が短くて済むこと。
- ・ ぽぼたんが可愛い。(自まんのキャラクター)
- ・ 本田美奈子さん、他、朝霞の沢山の有名人をもっとアピール

【環境・コミュニティ】

- ・ 「朝霞の森」などの緑があふれる暮らしやすい場所があるところ。
- ・ 北朝霞駅の人参モニュメントは結構気に入ってます。彩夏祭は最近行けてなかったけれど、好きなので残しておいてほしいです。黒目川の桜が綺麗で毎年見に行くので、これからもあってほしいです。
- ・ 自然。
- ・ 子どもから大人まで楽しめ、利用できる朝霞の森・陸上競技場、野球場、体育館・彩夏祭、よさこい・四季折々のイベント(シンボルロードで行われているもの)
- ・ 畑、広い公園(朝霞の森など)。朝霞と言えば〇〇といえる、お土産があるといい。にんじんとか・・・。
- ・ 黒目川にカワセミがいること。あさかベーカリーがあること。
- ・ にんじんの生産。特撮ヒーローの撮影。←ヒーロー系大好き。なので朝霞が映ると嬉しい。黒目川の景色。
- ・ 黒目川沿いのBBQ できるところ

問17 あなたが朝霞市長だったとしたら、どのようなことをしてみたいですか。自由に記述してください。

「あなたが朝霞市長だったとしたら、どのようなことをしてみたいですか」について、自由意見欄に記入があったのは回答者281人のうち207人(73.7%)である。

〈全文〉※概ね原文のとおり記載している。

【まちづくり全般】

- ・ 未来につながる政策を提案したい。今の物価上昇や感染症の対策なども重要だが一時的な解決だけではなくて何十年先の朝霞市に良い影響を与える活動。自分たちがいない未来の話は関係ないことだと思うかもしれないが少しずつでも朝霞を良い町にして前進していけるように。あとは税金でまかなう予算や削減できる費用などを検証し、少しでも市民の負担を減らし個々が充実した生活を送れるよう努力したいと思った。
- ・ 何日かけてでも良いから市民全員の意見(改善点や良い点)などを聞いたり、朝霞市の皆が参加できるような行事を増やしたい。
- ・ 「朝霞市と言ったらこれ」と自信を持って言える何かを、市民たちと話し合いながら作っていききたい。
- ・ これからは若い人たちの意見が重要になってくると思うため、定期的にこのようなアンケートなどを行って、よりよい地域や制度作りを行っていききたい。このアンケートに、今の良いところや理想を聞くだけでなく、今の悪い所や改善点を聞く項目があってもいいと思う。
- ・ 朝霞市のイベントに積極的に参加し、市長として朝霞市民の方々と触れ合う機会をたくさん設けたいです。
- ・ 変化させたい。10数年住んでいますが、ほとんど変化、進化していない気がしますので。他市が行っている良いところを学び、朝霞市にも取り入れたいです。
- ・ 高齢者向けではなく、若い世代に向けてのサービスを充実させる。政治家は票を稼ぐために高齢者へのサービスを充実させようとするが、このままだと市が貧乏になり発展していかない。そのため、もし私が市長だったら若者をターゲットとしたスイーツ店などを展開し、観光地としてにぎやかにする。
- ・ 市民のお声を聞きたいです。そして、人との関わりをもって顔をおぼえてもらい、この街を好きになってもらいたい。

【都市基盤・産業振興】

- ・ 国有地を使って、自然と共存できるようなマンションなどを建てて、朝霞市に住む人を増やしたい。また、朝霞は坂が多いので、バスなどの交通機関を増やし、お年寄りも住みやすい町にしたい。
- ・ 遊べる環境や設備(アスレチック)を造って、大人も子どもも楽しめるようにする!!/ぼぼたんのお祭り(ぼぼたん祭り)をつくりたい!!→ぼぼたんの誕生日に一番近い(3/15 付近の)土曜日にぼぼたんを祝うお祭り。ぼぼたんの歴史(?)や屋台、とにかくぼぼたんの PR とともにみんなで祝いたい!!→朝霞は「ぼぼたん」っていうキャラクターがいるんだよと言うことを、他の市や県に知ってもらいたい。
- ・ わくわく号の本数を増やす。(利用している人が多いため。)
- ・ 買い物や食事ができスポーツも出来るショッピングパークを建ててみたい。朝や夕方などのワクワク号の本数を増やす。歩行者や自転車が安全に移動できる道の整備。

- ・ 朝霞台駅へのエレベーターの設置。朝霞市内にある(小中高関係なく)学校は20~30年おきに必ず建て替えを条例化する。プロ野球関連や鉄道関連の店が少なすぎるので一つは設置したい。市内でプロ野球試合が見れるように招待する。市バスで”快速”バスをつくる。
- ・ 交通の便や商業施設を豊かにする。
- ・ 市内循環バスの本数を増やし、色んな年齢の人や外国の人に利用してほしい。学校の数が多いことを生かすために、子育て支援や子どもに関する様々な問題を改善していきたい。(親たちの交流の場を増やす=相談できる場を設けるとか…。一時的な託児所などを建てて、親の負担を減らす。)
- ・ 今住んでいる朝霞市民により満足してもらえるようにする。朝霞市内を行き来しやすいように(朝霞駅から北朝霞駅など)次世代のモビリティを導入する。
- ・ 市内でも、人口が集中し過ぎている地域(私の住むところなど)と、人口が比較的にはかなり少ない地域の差があるように、私の身近では感じられる。これが引き起こしているのが道路、特に歩道がせまくなっているという事態だと思う。それによって交通事故が、私の身の回りでは多くなってきているように感じる。よって、特に小学生、中学生の通学路を中心に、その道の安全性を向上してみたいと思う。かなり困難であるが、理想としては、人口の偏りも修正できれば解決に近づくように思う。
- ・ 私が住んでいるところは車がないと不便で学生としてはとても生活しづらいので、駅を増やす。バスの本数や、行先の駅の候補を増やす。
- ・ 駅前の再開発バスロータリーを広くする(朝霞台)
- ・ ぼくが朝霞市長だったら、遊び場をいっぱい増やします。遊び場を増やしてボールが使える公園をたくさんつくります。あと、ゲームセンターなどが朝霞市には少ないので、大きなゲームセンターを開店してほしいです。イトーヨーカドーやイオンモール等の建物を建てていきたいです。とりあえず、積極的な活動をしていきます。
- ・ アスレチックが多い大きめの公園を造る。所沢ミュージアムの様な室内の公共施設を造る。大きめの室内に大人も楽しめるスライダーがあるプールを造る。
- ・ バasketゴールやサッカーゴール、何でも遊べる広場(ボールも使える)を設置したいです。(自由に遊べるところが少ないから。)今の朝霞市のように緑が多く、散歩をしたくなるような景色にしたいです。勉強に集中できて、ちょっとした売店がある建物をつくりたいです。市長自らも参加する祭りを多く開催したいです。
- ・ もっと朝霞駅を大きくして行って他の地域とのつながりを強くしたい。朝霞駅周辺を商店街風に見たら、もっと賑わうと思う。
- ・ 市内をもっとお洒落な町にする。若者向けの店やゲーセンを増やし、市内で休日も遊びたいと思えるようにする。
- ・ 子どもの体力向上やスポーツ振興のために公園でのボール使用オッケーにしてそのための公園整備をする。
- ・ 朝霞に目玉となる商業施設誘致をする。
- ・ 朝霞の野菜で作った美味しい料理、お菓子を出す朝霞市のカフェを作りたいです。

【教育・文化】

- ・ 高校生まで医療費無料化。大学進学への補助。
- ・ 18歳まで公立私立校の無償化と医療費無料

- ・ 城山バスケットコートのようなスポーツが出来る公園を作り、環境を良くしてバスケットゴールを増やし、室内に卓球やフットサル等も付けて欲しい。定期テストの回数を減らす、もしくはなくす!! (テストで怒られ自分を追い込ませないようにするため)。学校の体育館を2つにする。
- ・ 季節に合ったイベントや職業体験などしてみたい。
- ・ 小中学校の同窓会を市が開催する。→朝霞市に関心を向ける機会が高まる。
- ・ 朝霞市内の高校、中学校の生徒にボランティアで集まってもらって、今後の朝霞市について子どもの目線から議論してもらいたいです。大人には想像つかないアイデアがたくさん出て来ると思います。生徒本人にとっても「ボランティアに参加して市のために活動した」という経験は、今後の人生においても1つの財産となるのではないのでしょうか。実際、私が通う浦和区では、既にそういう活動が行われており、私も以前参加させてもらいました。とてもやりがいがあったので、朝霞の生徒さんにも是非、そういったボランティアに参加してもらいたいです。
- ・ 市内の小、中学校をまわり、朝霞市について直接意見を聞きに行く。市長の仕事を体験してみたい。

【環境・コミュニティ】

- ・ 今まで以上にバリアフリー化を進める。若者と高齢者が気軽に接しあえる環境をつくる。
- ・ 私は外国人なのでもっといろいろな言語の通訳がいたらいいと思います。学校に集まって話す時や、病院や市役所に通訳がいる環境を作ります。
- ・ 地域の人とベンチを作るイベントを開催し、作ったベンチを川や公園などに設置する。
- ・ 誰もが参加できるイベントや、年齢別で楽しめるイベントを行いたい。公園や学校をもう少しキレイにして、子どもたちが気持ちよくできるようにしたい。せまい道路を広くしたり、道路に柵をつけたい。信号がない横断歩道はカーブミラーをつけたい。カーブミラーは冬もって見えないので、くもり止めもつけたい。
- ・ 米軍跡地の活用→運動施設、商業施設に。中央公園野球場の駐車場の拡大、ネット増強→様々なスポーツイベントやプロ野球2軍試合の開催。・市を豊かにするためのチャリティーイベント。
- ・ 朝霞市は自然豊かな場所が多いので自然を守るためのイベントを考える。自然を守る事とイベントは繋がらないと一見思いうけれど自然は人々が多く訪れる事で保たれると私は思うから。
- ・ もっと緑のあふれる市にしたい。
- ・ 地元の子供達との協力でイベントを盛り上げる。例えば、今年行われたシンボルロードのイルミネーション点灯式に、地元の中学校の吹奏楽部が演奏し参加してくれたのは継続し、シンボルロードを彩る光の竹灯籠などを美術部、又は授業の中で生徒が木工体験した作品などを飾るなどして、朝霞を盛り上げたい。市長のインスタ(ブログ)を発信。カッパ市長に負けないで。富岡さんもテレビに出てほしい。
- ・ おしゃれなお店を出店し、高校生や大学生でも朝霞市内で休日を過ごせるようにしたいです。また、最近緑が増えてきてとても穏やかな気持ちになるので、さらに緑を増やす取り組みをしたいです。

【災害対策・防犯・市民生活】

- ・ 川の近く、土手の整備。
- ・ 災害に備えた土地を守るための対策。川の氾濫、土砂災害から人や家を守るための地盤を固める工事を行う。お年寄りも多い地域がたくさんあるので、道の整備もしたい。自転車、歩行者のための道を

作る。

- ・ 他市との交流やイベントをしてみたいと思います。あとは朝霞市民専用の防災アプリ提案し市民しようかいし、地震などの災害があっても、ひなん場所調べる必要なく住所に近いひなん場所を表示できるようなものやっていきたいです。
- ・ 公共施設(駅や公園)のゴミが目立つため、学生同士の交流や朝霞市の学生にもっと朝霞を好きになってもらうことを目的とした、市内の学生を中心とした清掃活動を企画してみたいです。子ども人口が多いことが市の特徴でもあるので、それを生かしたイベントをもっと増やしたいです。

【健康・福祉】

- ・ 带状疱疹の50代以上へのワクチン費用補助。東京ではほとんどの市が対応しているのに朝霞市は対応できていない。遅れている。TVCMでは促進されているのに、市の補助がない。
- ・ 医療費20歳まで無償化。
- ・ 医療費は今現在、中学生まで無料であるが、18歳までにする。高校生でもケガ、病気のリスクはまだ高いので、その結果、負担が大きくなってしまいます。またお金のことから病院に行くことをためらってしまい、重症化を招いてしまうかもしれないため。
- ・ 病院の増築(良い病院が少ない。とくに美容に力を入れておらず肌専門の皮膚科、整形外科)
- ・ 高校生まで医療費の自己負担をなくす。私なら一番最初にやります。/冬の黒目川でイルミネーションをして、キッチンカー等で市内のお店のものを食べられるようにする。
- ・ 障害者、高齢者が住みやすいと思うような設備を増強する。
- ・ 子育てしやすい、老後暮らしやすいまちづくり。給食費、高校までの医療費無料、福祉サービス(買い物や移動手手段の充実)など、暮らしやすい町にしたいです。

【情報発信】

- ・ インスタグラムやX、SNS等を活用して様々な場所や施設などのPR活動を行う。歩行者が通りやすくなるように、特に通学路などの道幅をかえる整備をしたい。
- ・ 「朝霞」という名前は、初めて見る人は「あさぎり」と読んでしまったり、読めなかったりするそうです。なので、「あさぎりではなくあさかです!」など、少し自虐的なPRをしてみたいです。また「朝霞」は個人的に、とてもキレイな名前だと思っているので、その点でもアピールしたいです。
- ・ 朝霞市の良さを更に理解してもらうために、名産や名所を詰め込んだPR動画を作成し、SNS上に発信してみたいです。朝霞市の名産には人参、あさか道中など、名所には旧高橋家住宅、黒目川の桜など、様々な分野で数々の魅力があります。その魅力の一つの動画に纏め、全国に知ってもらい、地域を活性化する活動に力を尽くしてみたいです。その他に朝霞市内をより住みやすい街にするため、急な坂全てに手摺りを設置したいです。市内には急な坂が数多くあり、たまに登りにくそうにしている高齢者の方を見ることがあります。自分はそこで、手摺りをつければ苦勞する人も大幅に減少するのではないかと考えました。若い人から高齢者まで安心して過ごしやすい街にすることで、朝霞市が更に近代的な街に発展し、賑やかな地域になっていくと思います。
- ・ インスタグラムを使い、朝霞市の良いところを発信する。
- ・ 自衛隊や彩夏祭などの、珍しい物を全面に出してアピールしてみたいです。

第3部 子育て・定住に関する意識調査結果

I 調査の概要

1. 調査の目的

この市民意識調査は令和8年度(2026年度)から10年間のまちづくりの指針となる「第6次朝霞市総合計画」を策定するに当たって、地方創生の鍵を握る「若い世代」の意識や意向、ニーズを把握することを目的に実施したものである。

2. 調査の方法

- ① 調査対象 市内在住、5歳児の子どもがいる全世帯
- ② (「朝霞市民意識調査」対象世帯を除く。)
- ③ 対象者数 1,203人
- ④ 抽出方法 住民基本台帳(令和5年12月1日現在)から抽出
- ⑤ 調査方法 郵送による配布・回収、インターネットによる回答を併用
- ⑥ 調査期間 令和5年12月15日送付、令和6年1月15日締切

3. 集計・分析のための地区区分

A地区	大字上内間木、大字下内間木
B地区	朝志ヶ丘、北原、田島、西原、浜崎、宮戸
C地区	大字台、大字根岸、岡、仲町、根岸台
D地区	泉水、西弁財、東弁財、三原
E地区	青葉台、幸町、栄町、膝折町、本町、溝沼、陸上自衛隊朝霞駐屯地

4. 調査項目

- ① 子育てについて
- ② 朝霞市に居住した「きっかけ」及び「理由」について
- ③ 住宅の住み替えについて
- ④ 地域とのつながりについて
- ⑤ 自由意見

5. 回収結果

- ① 配布数 1,203票
- ② 有効回収数 734票(紙回答:468票、Web回答:266票)
- ③ 有効回収率 61.0%(紙回答:38.9%、Web回答:22.1%)

6. 報告書の見方

①用語について

- ・ 図表中の「n」(=number)は、設問に対する回答者数を示す。
- ・ 選択肢の文字数が多いものは、本文や図表中で省略した表現を用いている。

②集計について

- ・ 比率は、全て百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。このため、比率の合計が100%にならない場合がある。なお、集計上の無回答には、無回答のほか無効な回答を含んでいる。
- ・ 複数回答形式の設問については、設問に対する回答者数を母数として比率(%)を算出している。このため、合計が100%を超えることがある。

③保護者別比較について

- ・ 回答する保護者(父親、母親、その他)別比較を行ったが、その他は回答数が少ないため、保護者別比較の文中では触れていない。

④年齢別比較について

- ・ 年齢(25歳未満、25~29歳、30~34歳、35~39歳、40~44歳、45歳以上)別比較を行ったが、25歳未満および25~29歳は回答数が少ないため、年齢別比較の文中では触れていない。

⑤居住地区別比較について

- ・ 居住地区(A~E地区)別比較を行ったが、A地区は回答数が少ないため、居住地区別比較の文中では触れていない。

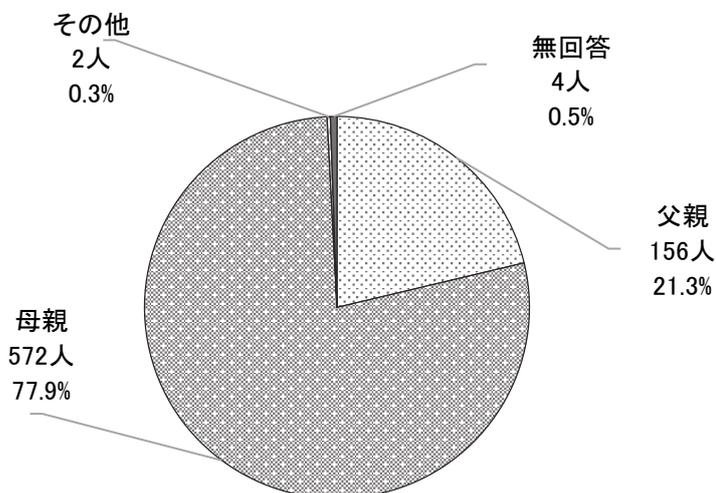
II 回答結果

1. あなたご自身及び世帯のことについて

問1 この調査にご回答いただく保護者様について、宛名のお子さんからみた関係を教えてください。

回答者と宛名のお子さんからみた関係は、「母親」が77.9%、「父親」が21.3%となっている。

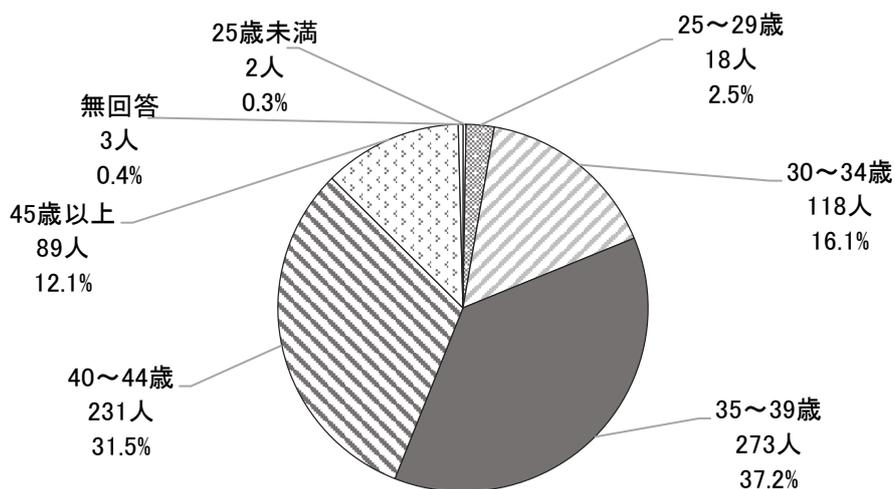
n=734



問2 ご回答いただく保護者様の年齢を教えてください。(令和5年(2023年)12月1日時点)

回答者の年齢は、「35～39歳」が37.2%と最も多く、続いて「40～44歳」(31.5%)、「30～34歳」(16.1%)となっている。

n=734



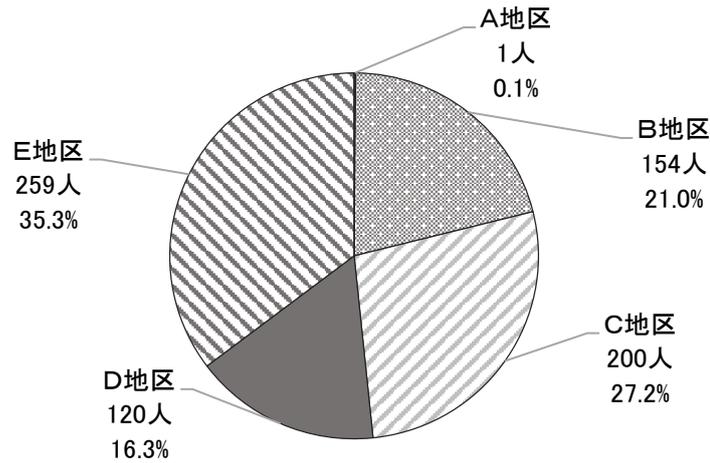
問3 お住まいの地区を教えてください。

回答者の住んでいる地区は、「E地区」の割合が35.3%で最も高く、続いて「C地区」(27.2%)、「B地区」(21.0%)となっている。

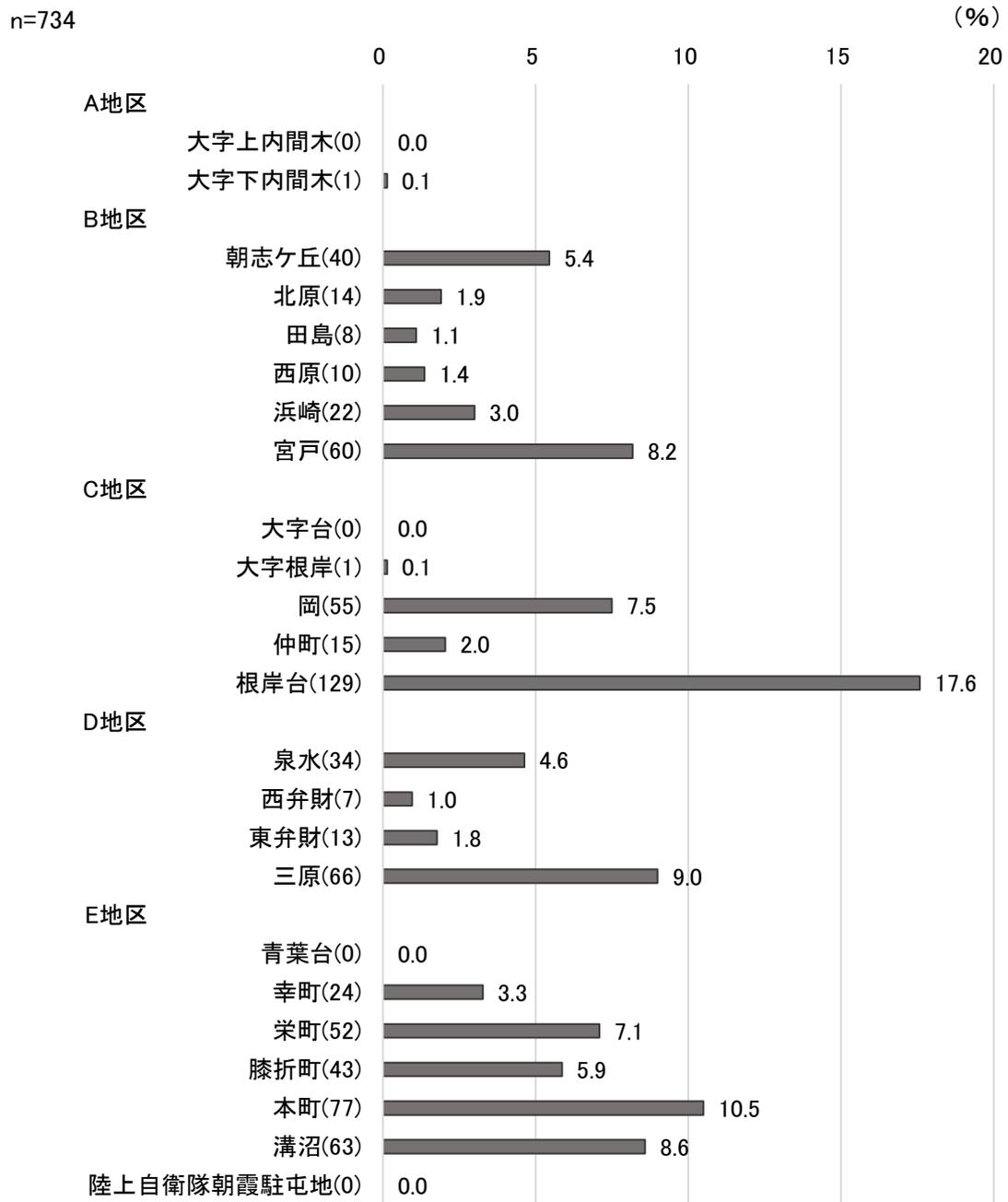
町(丁)・大字別でみた住んでいる地区は、「根岸台」の割合が17.6%で最も多く、続いて「本町」(10.5%)、「三原」(9.0%)、「溝沼」(8.6%)、「宮戸」(8.2%)となっている。

※地区区分については、194ページ「3.集計・分析のための地区区分」参照。

n=734



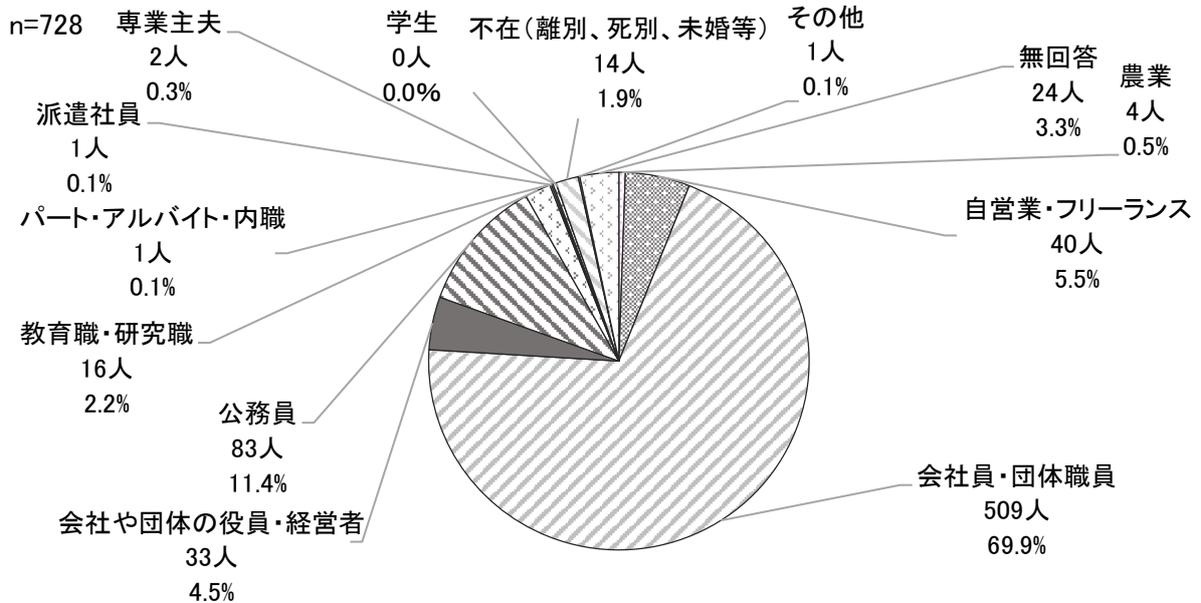
【町（丁）・大字別居住地区】



問4 宛名のお子さんの父母の主な職業・就労形態等について、それぞれ1つ選択してください。(問1で「その他」を選んだ方は、「その他」の欄から選択してください。)

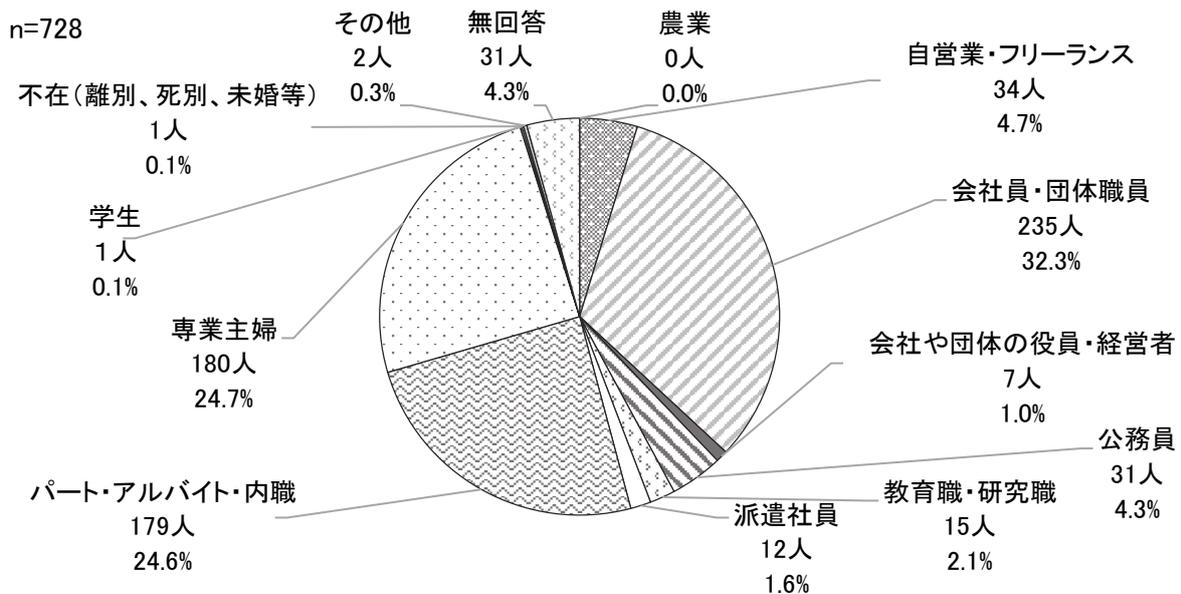
〈父親の回答傾向〉

父親の職業については、「会社員・団体職員」が69.9%と最も多く、続いて「公務員」(11.4%)、「自営業・フリーランス」(5.5%)、「会社や団体の役員・経営者」(4.5%)となっている。



〈母親の回答傾向〉

母親の職業については、「会社員・団体職員」が32.3%と最も多く、続いて「専業主婦」(24.7%)、「パート・アルバイト・内職」(24.6%)となっている。



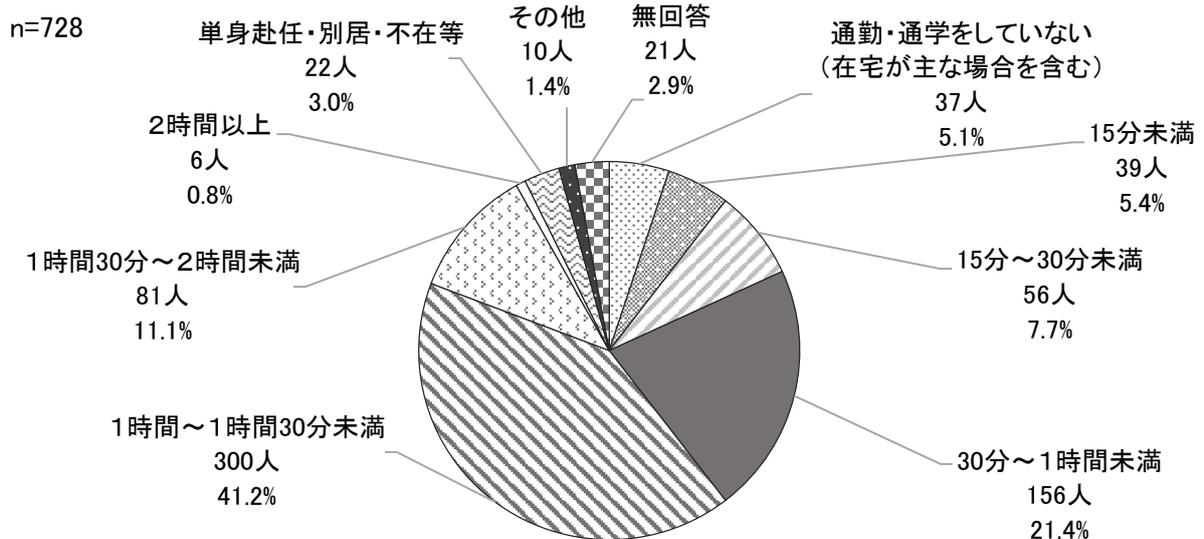
〈その他(父母以外)の回答傾向〉

父母以外の回答者(n=2)の職業は、「会社や団体の役員・経営者」と「学生」がそれぞれ50%となっている。

問5 宛名のお子さんの父母の自宅から主な通勤・通学先までかかる時間について、それぞれ1つ選択してください。(問1で「その他」を選んだ方は、「その他」の欄から選択してください。)

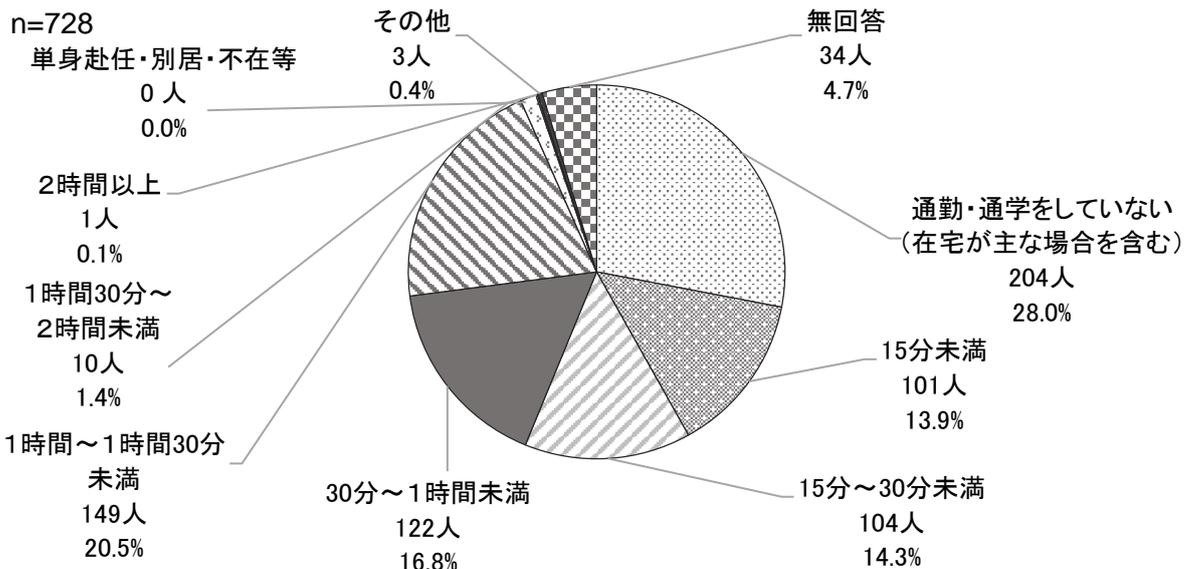
〈父親の回答傾向〉

父親の通勤・通学時間については、「1時間～1時間30分未満」が41.2%と最も多く、続いて「30分～1時間未満」(21.4%)、「1時間30分～2時間未満」(11.1%)、「15分～30分未満」(7.7%)、「15分未満」(5.4%)、「通勤・通学をしていない(在宅が主な場合を含む)」(5.1%)となっている。



〈母親の回答傾向〉

母親の通勤・通学時間については、「通勤・通学をしていない(在宅が主な場合を含む)」が28.0%と最も多く、続いて「1時間～1時間30分未満」(20.5%)、「30分～1時間未満」(16.8%)、「15分～30分未満」(14.3%)となっている。

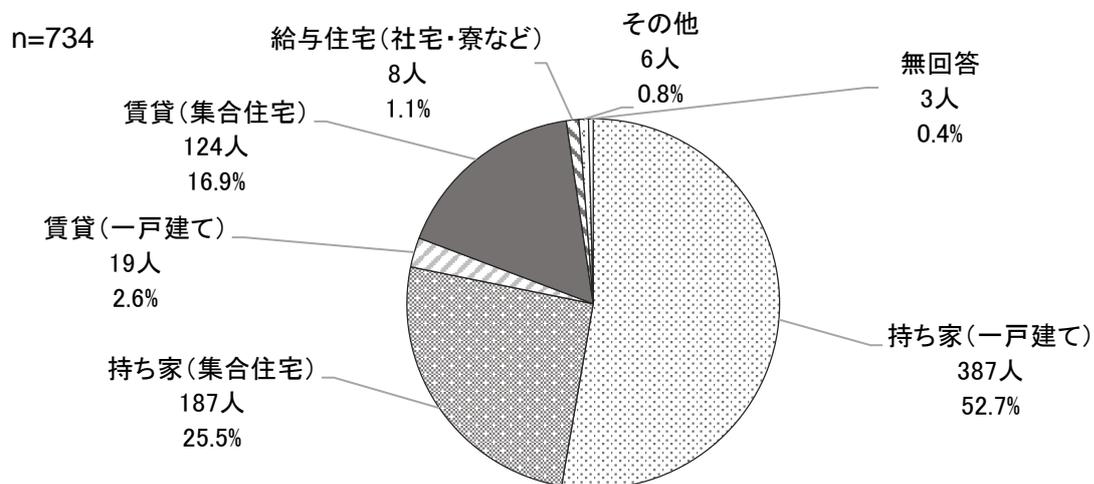


〈その他(父母以外)の回答傾向〉

父母以外の回答者(n=2)の通勤・通学時間は、「通勤・通学をしていない」と「1時間30分～2時間未満」がそれぞれ50%となっている。

問6 現在のお住まいは、次のうちどれですか。

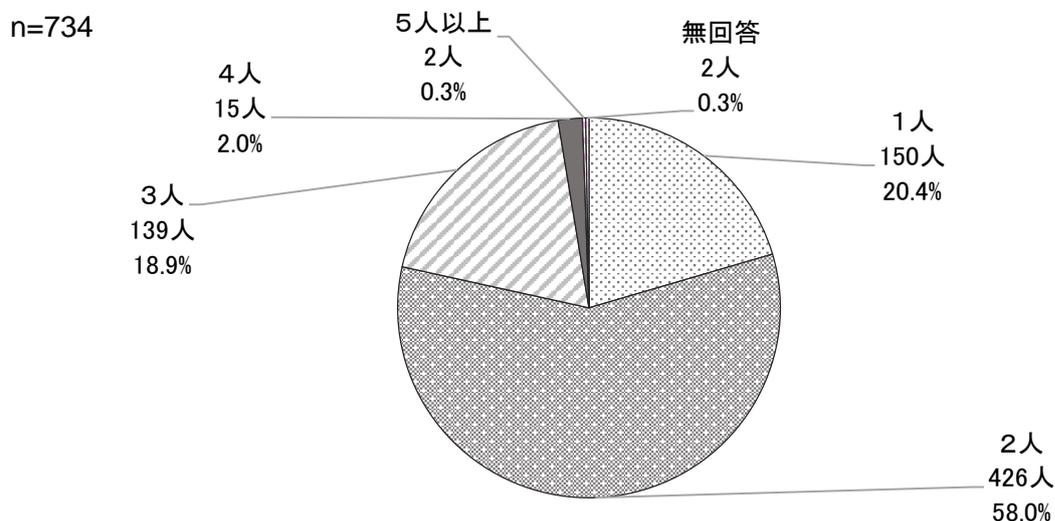
現在の住まいについては、「持ち家（一戸建て）」が52.7%と最も多く、続いて「持ち家（集合住宅）」（25.5%）、「賃貸（集合住宅）」（16.9%）となっている。



2. 子育てについて

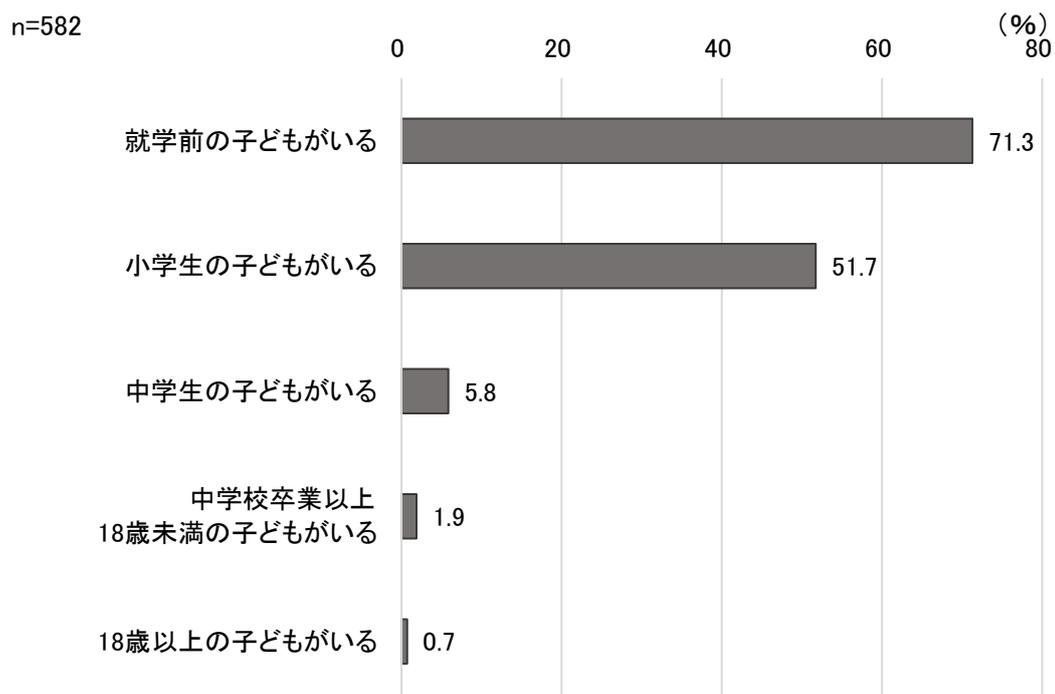
問7 あなたは現在お子さんが何人いますか。

現在の子どもの数については、「2人」が58.0%と最も多く、続いて「1人」(20.4%)、「3人」(18.9%)となっている。



問7-1 宛名のお子さん以外のお子さんの状況について、当てはまるものをすべて選んでください。(令和5年(2023年)12月1日時点)

現在の子どもの状況については、「就学前の子どもがいる」が71.3%と最も多く、続いて「小学生の子どもがいる」(51.7%)、「中学生の子どもがいる」(5.8%)となっている。

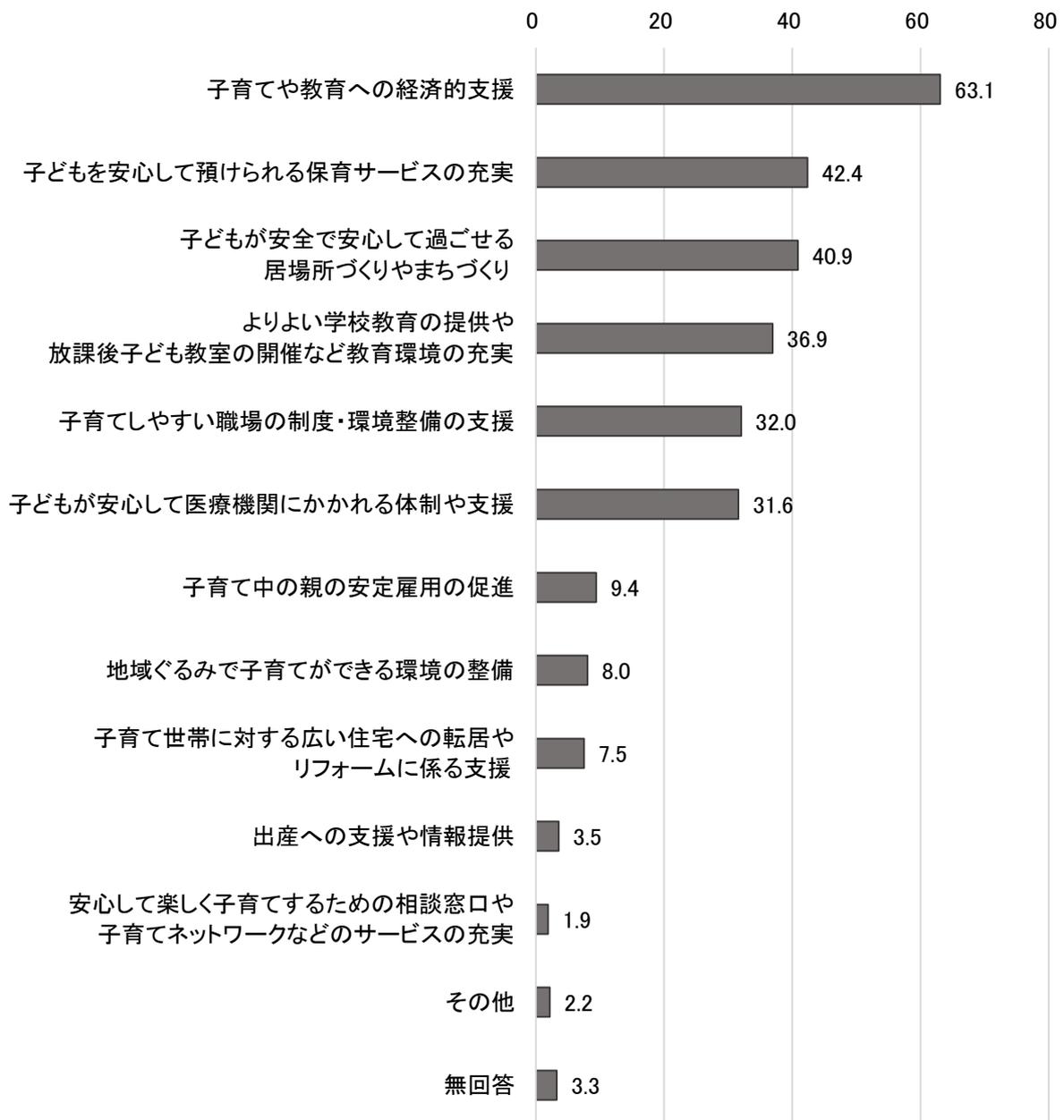


問8 子どもを生き育てやすい環境を整備するためには、どのような取り組みが重要だと考えますか。次の中から3つまで選んでください。

子どもを生き育てやすくするための取り組みについては、「子育てや教育への経済的支援」が63.1%と最も多く、続いて「子どもを安心して預けられる保育サービスの充実」(42.4%)、「子どもが安全で安心して過ごせる居場所づくりやまちづくり」(40.9%)、「よりよい学校教育の提供や放課後子ども教室の開催など教育環境の充実」(36.9%)となっている。

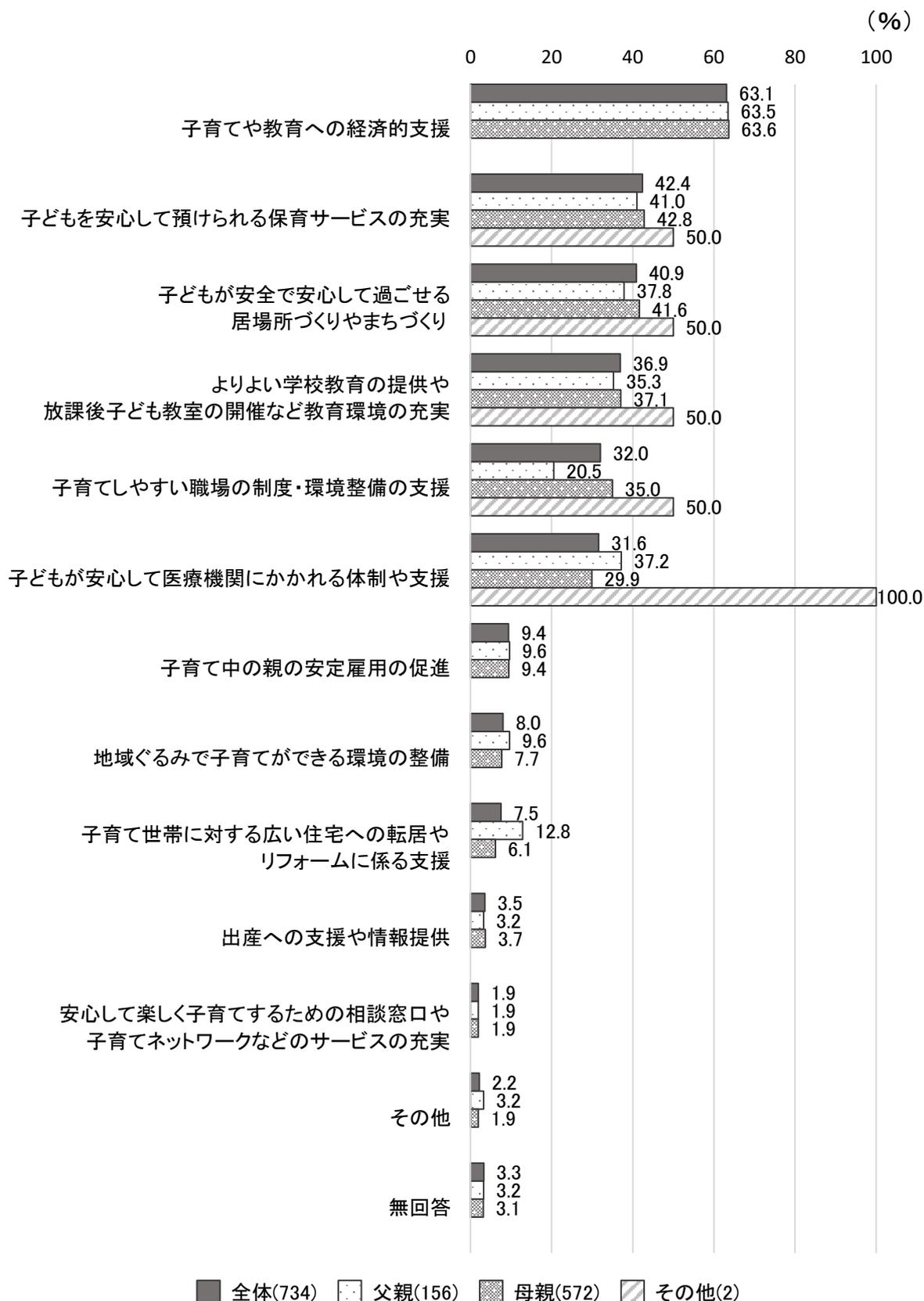
n=734

(%)



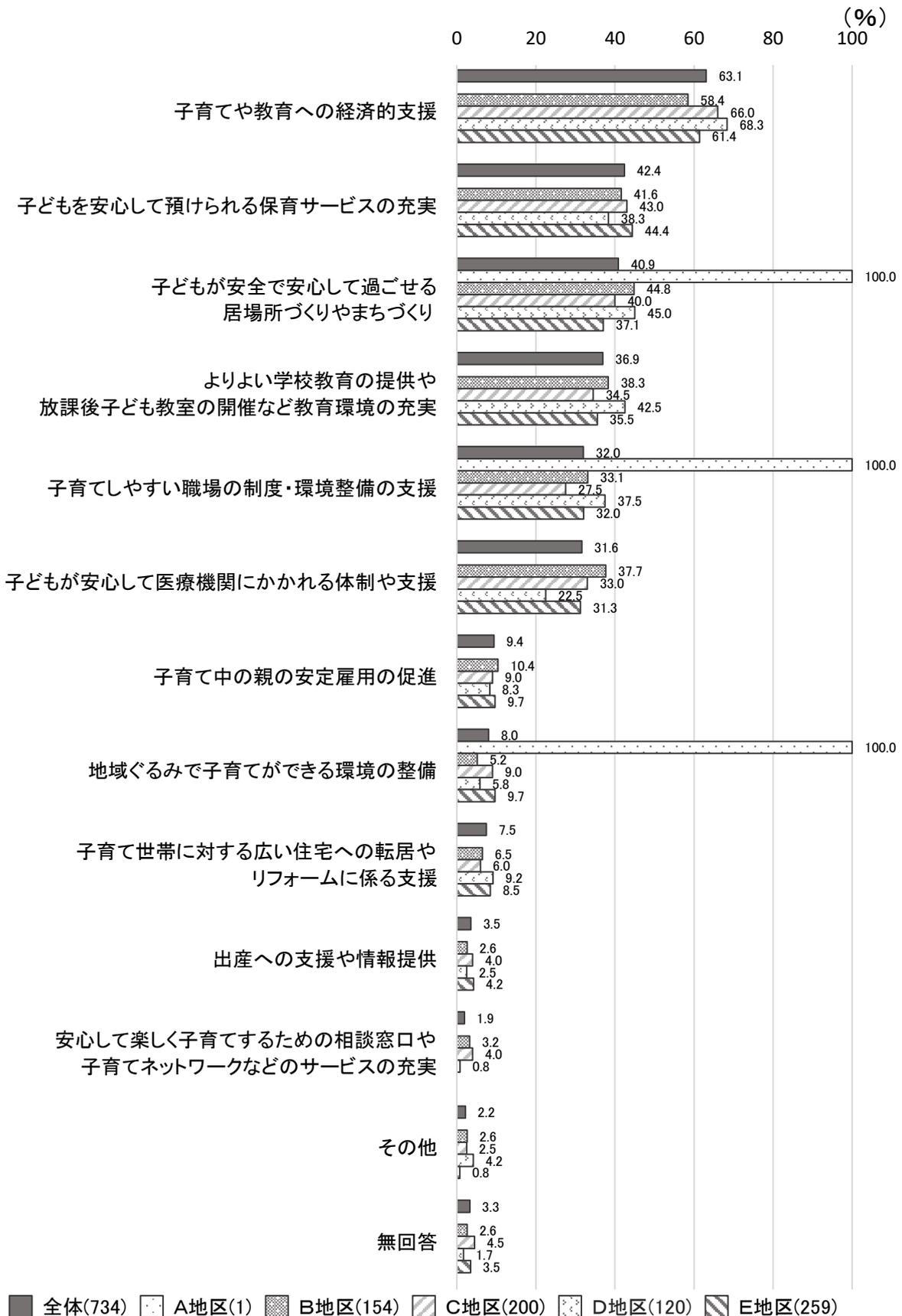
〈保護者別比較〉

上位項目に大きな違いはみられないが、母親は「子育てしやすい職場の制度・環境整備の支援」の回答割合が高く、一方、父親は「子どもが安心して医療機関にかかる体制や支援」の回答割合が高くなっている。



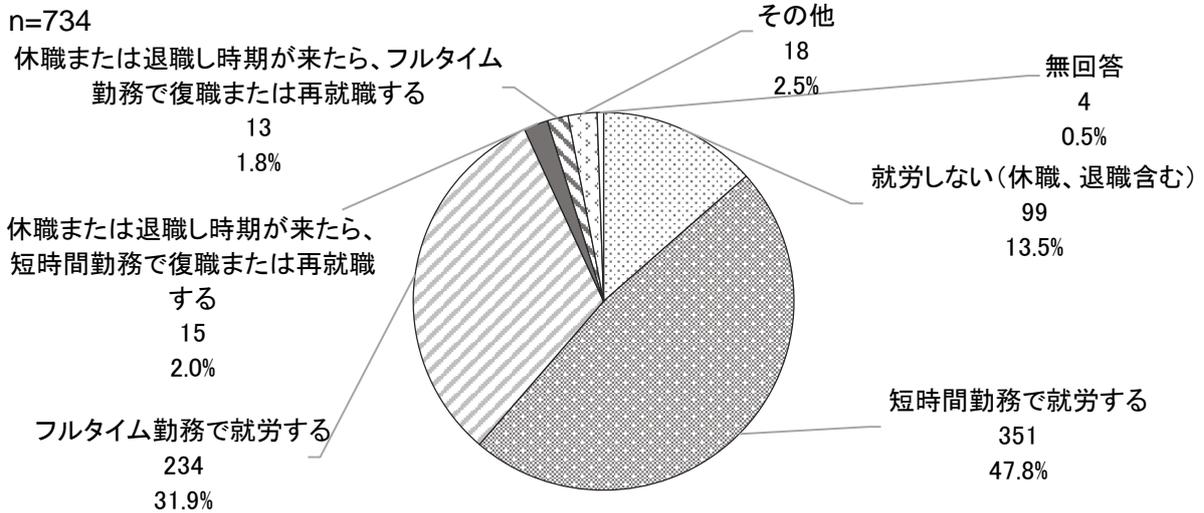
〈居住地区別比較〉

D地区では、「よりよい学校教育の提供や放課後子ども教室の開催など教育環境の充実」の回答割合が高い傾向がみられる。



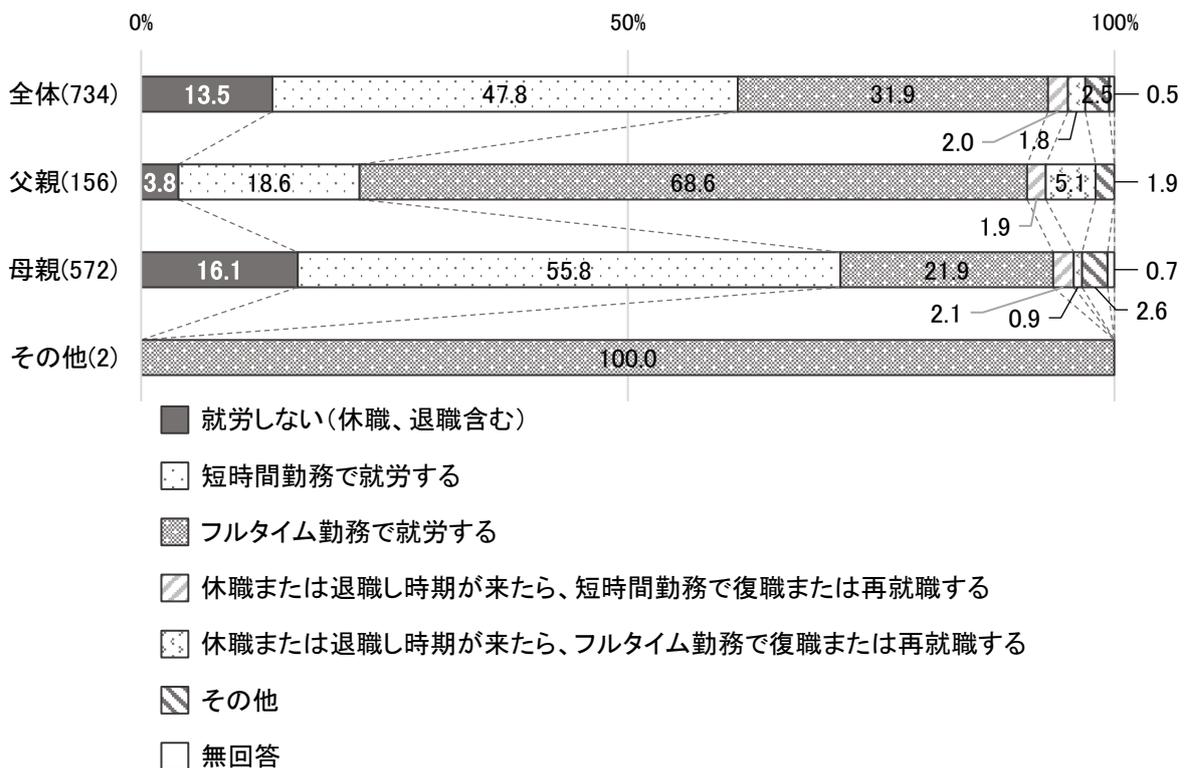
問9 一番年下のお子さんが小学校に入学するまでの間、どのように働きたいと思いますか。
次の中から1つ選んでください。

理想の働き方については、「短時間勤務で就労する」が47.8%と最も多く、続いて「フルタイム勤務で就労する」(31.9%)、「就労しない(休職、退職含む)」(13.5%)となっている。



〈保護者別比較〉

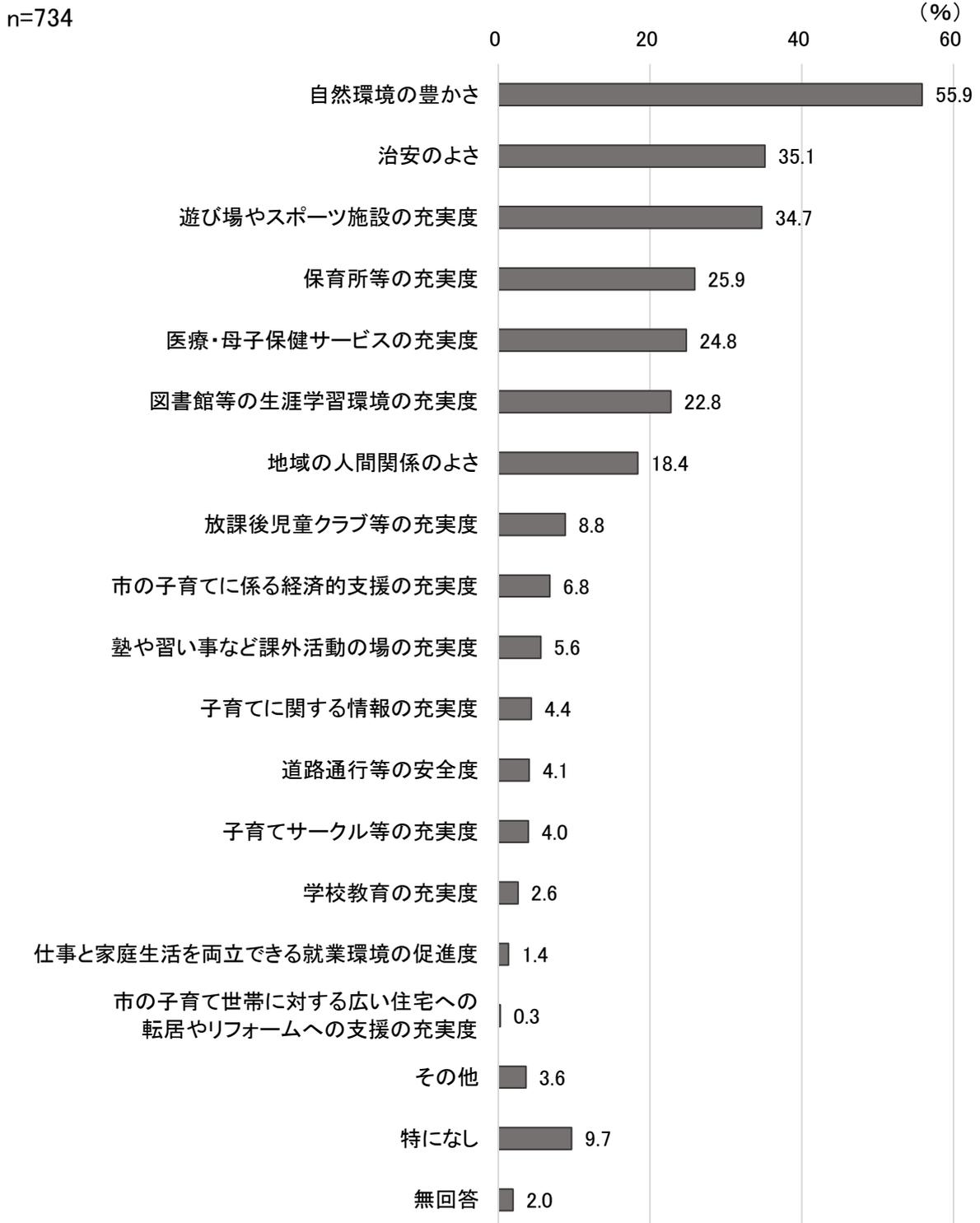
父親は「フルタイム勤務で就労する」が68.6%で最多、母親は「短時間勤務で就労する」が55.8%で最多となっている。



問10 朝霞市で子どもを育てる中でよかった点は何ですか。また、今後改善されるとよい点は何ですか。次の中からそれぞれ5つまで選んでください。

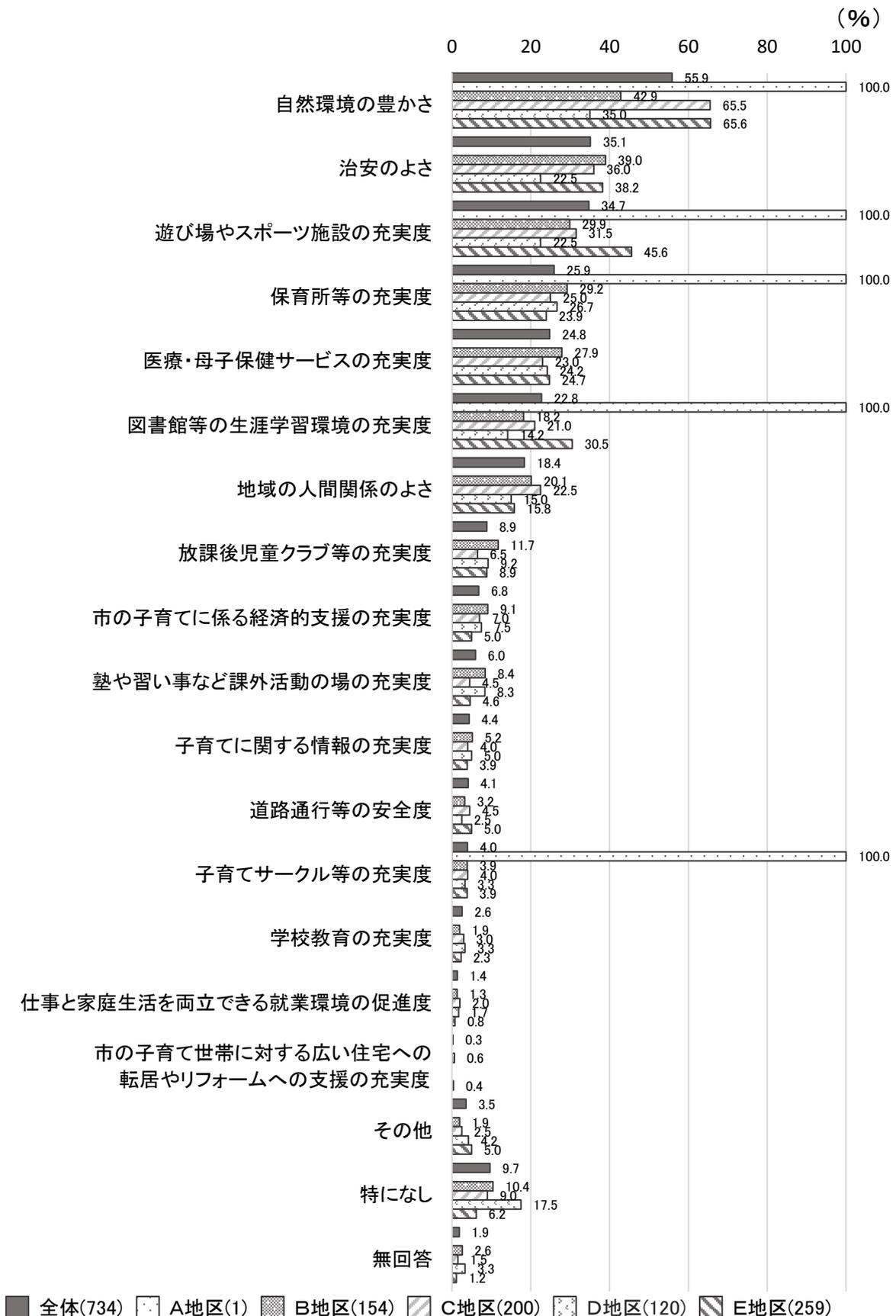
(1) 良かった点について

朝霞市での子育てでよかった点については、「自然環境の豊かさ」が55.9%と最も多く、続いて「治安の良さ」(35.1%)、「遊び場やスポーツ施設の充実度」(34.7%)、「保育所等の充実度」(25.9%)となっている。



〈居住地区別比較〉

C 地区および E 地区は、「自然環境の豊かさ」の回答割合が高い傾向がみられ、さらに、E 地区は「遊び場やスポーツ施設の充実度」の回答割合も高くなっている。

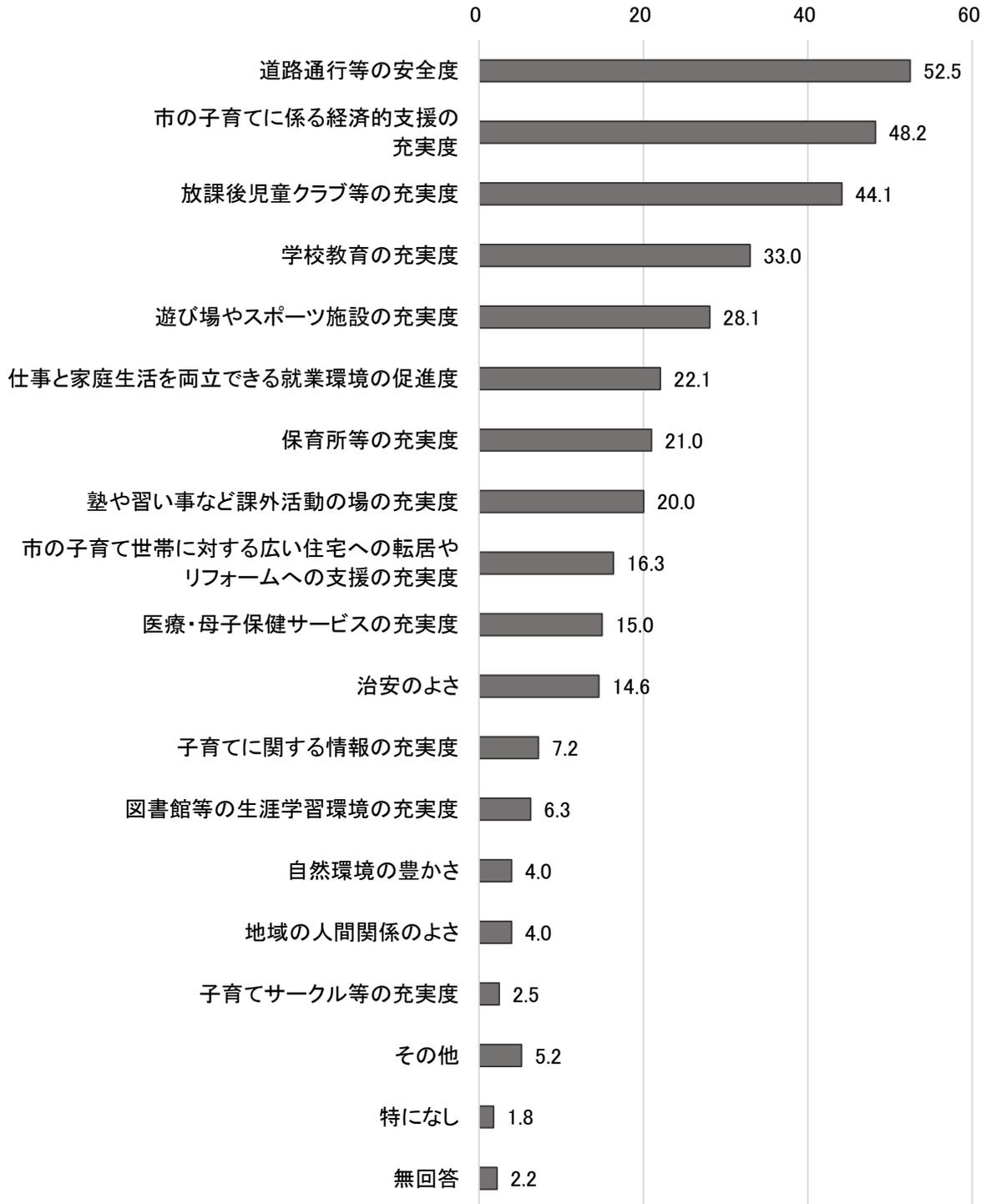


(2) 改善点について

朝霞市での子育てで改善すべき点については、「道路通行等の安全度」が52.5%と最も多く、続いて、「市の子育てに係る経済的支援の充実度」(48.2%)、「放課後児童クラブ等の充実度」(44.1%)、「学校教育の充実度」(33.0%)となっている。

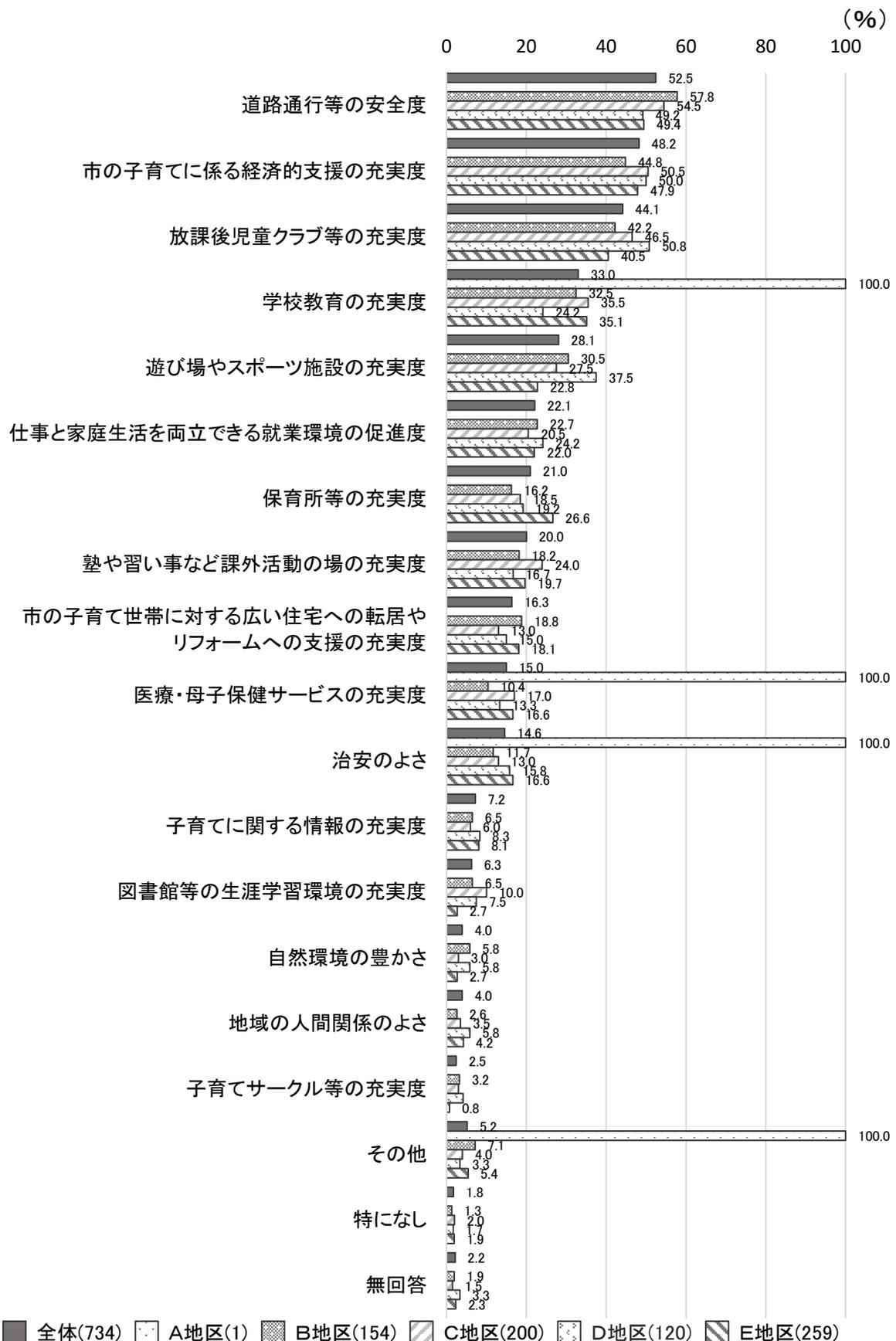
n=734

(%)



〈居住地区別比較〉

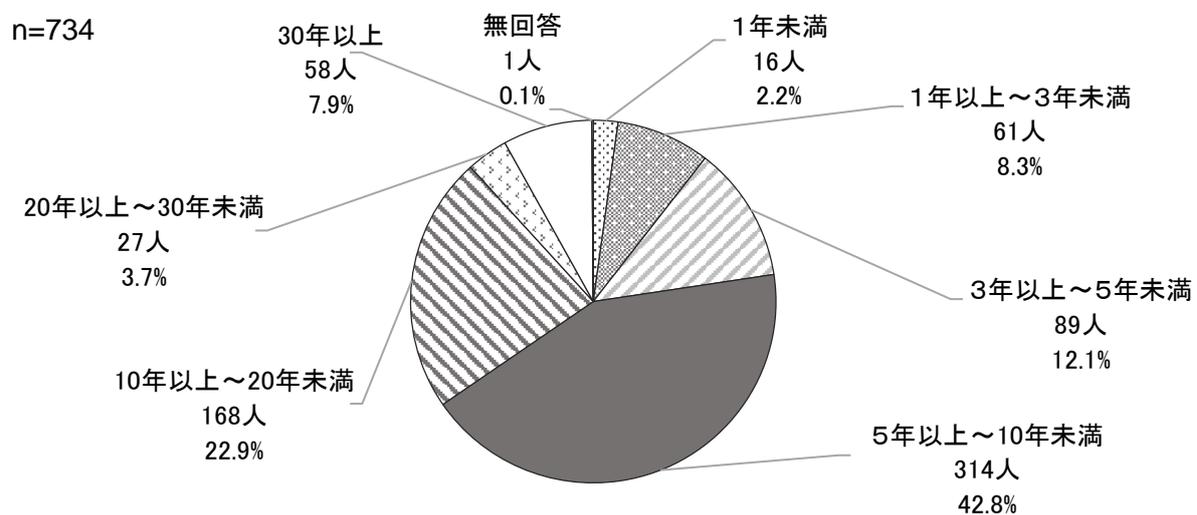
B 地区は「道路通行等の安全度」、D 地区は「放課後児童クラブ等の充実度」の回答割合がそれぞれ高い傾向がみられる。



3. 朝霞市に居住した「きっかけ」及び「理由」について

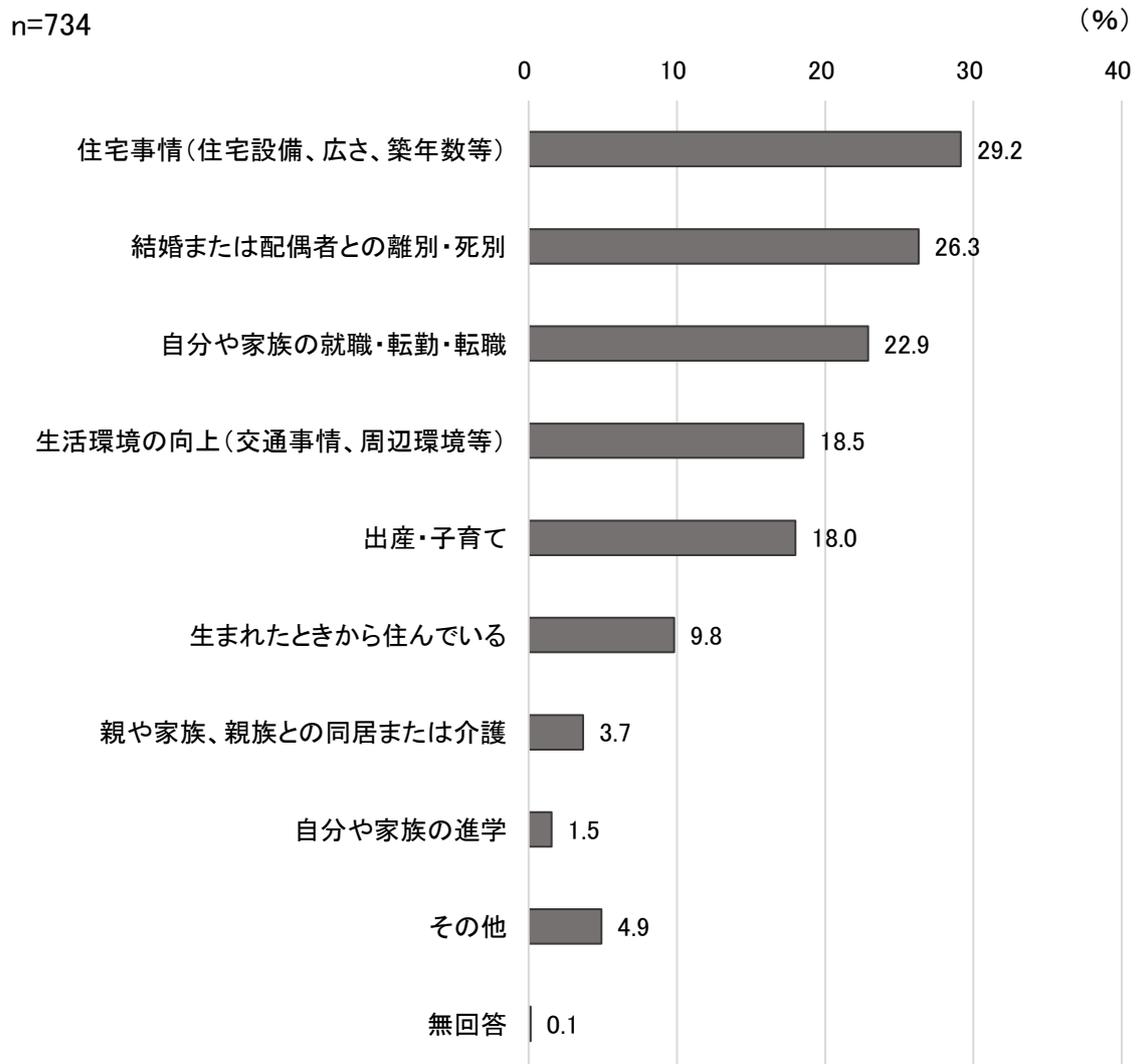
問 1 1 朝霞市に何年くらい住んでいますか。次の中から1つ選んでください。

朝霞市での居住年数については、「5年以上～10年未満」が42.8%と最も多く、続いて「10年以上～20年未満」(22.9%)、「3年以上～5年未満」(12.1%)となっている。



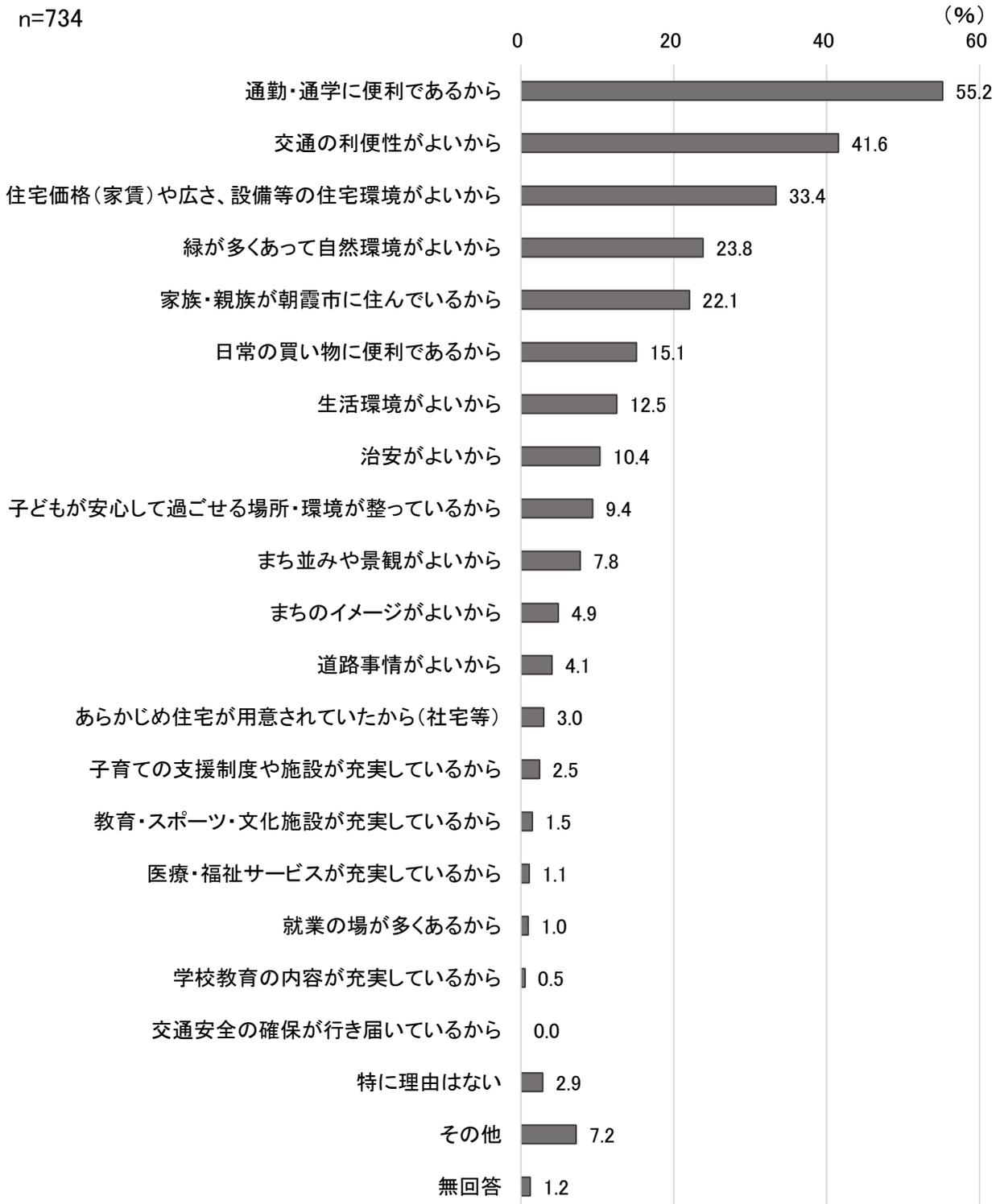
問12 朝霞市に住むことになった「きっかけ」は何ですか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

朝霞市での居住のきっかけについては、「住宅事情(住宅設備、広さ、築年数等)」が29.2%と最も多く、続いて「結婚または配偶者との離別・死別」(26.3%)、「自分や家族の就職・転勤・転職」(22.9%)となっている。



問13 転居するにあたって、朝霞市を選んだのは、どのような「理由」ですか。次の中から5つまで選んでください。(問12で「生まれたときから住んでいる」を選んだ方は、朝霞市のよいと思うところを選んでください。)

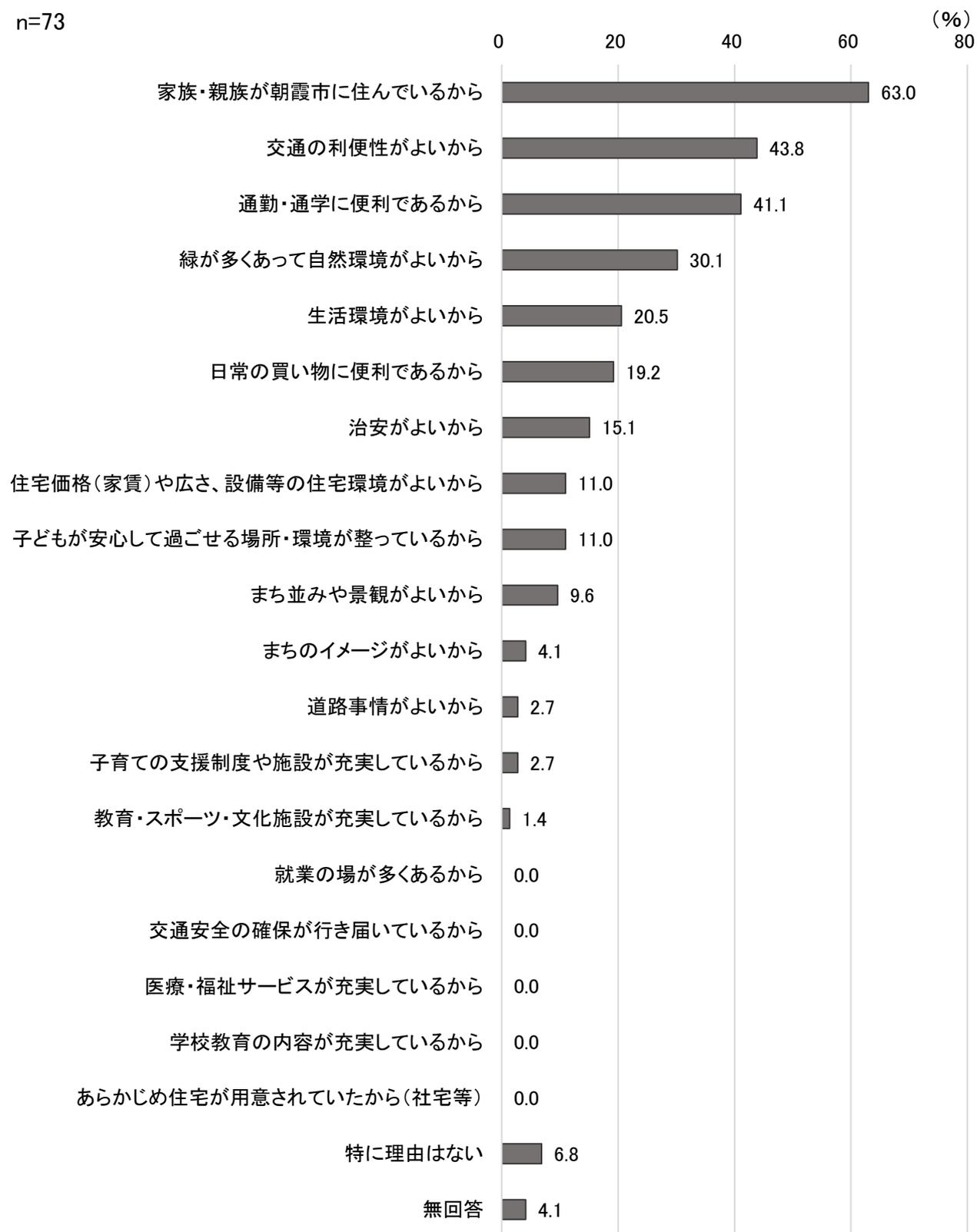
朝霞市を選んだ理由については、「通勤・通学に便利であるから」が55.2%と最も多く、続いて「交通の利便性がよいから」の41.6%、「住宅価格(家賃)や広さ、設備等の住宅環境がよいから」(33.4%)、「緑が多くあって自然環境がよいから」(23.8%)となっている。



〈朝霞市に生まれたときから住んでいる人の場合〉

朝霞市に生まれた時から住んでいる人についてみると、「家族・親族が朝霞市に住んでいるから」が63.0%と最も多く、続いて、「交通の利便性がよいから」(43.8%)、「通勤・通学に便利であるから」(41.1%)となっている。

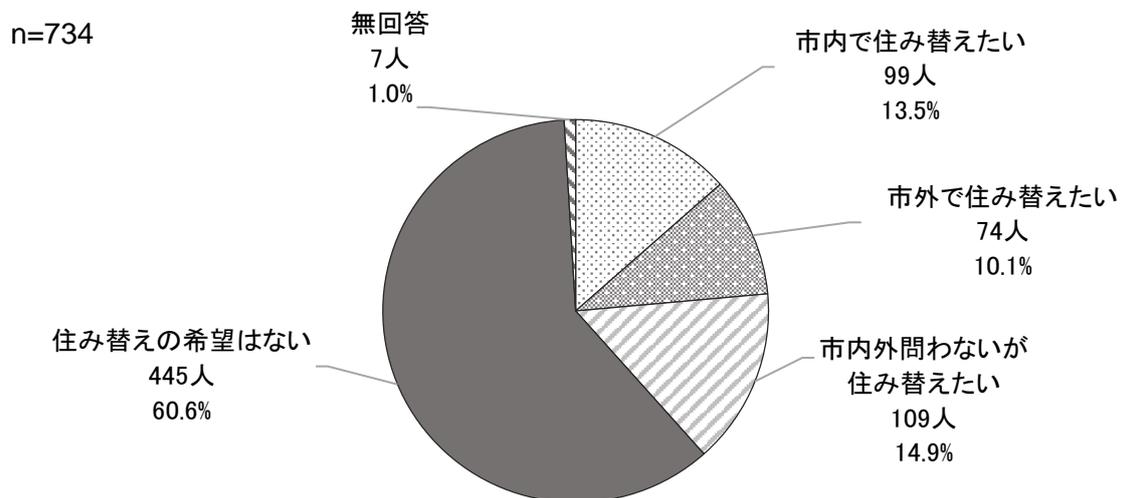
n=73



4. 住宅の住み替えについて

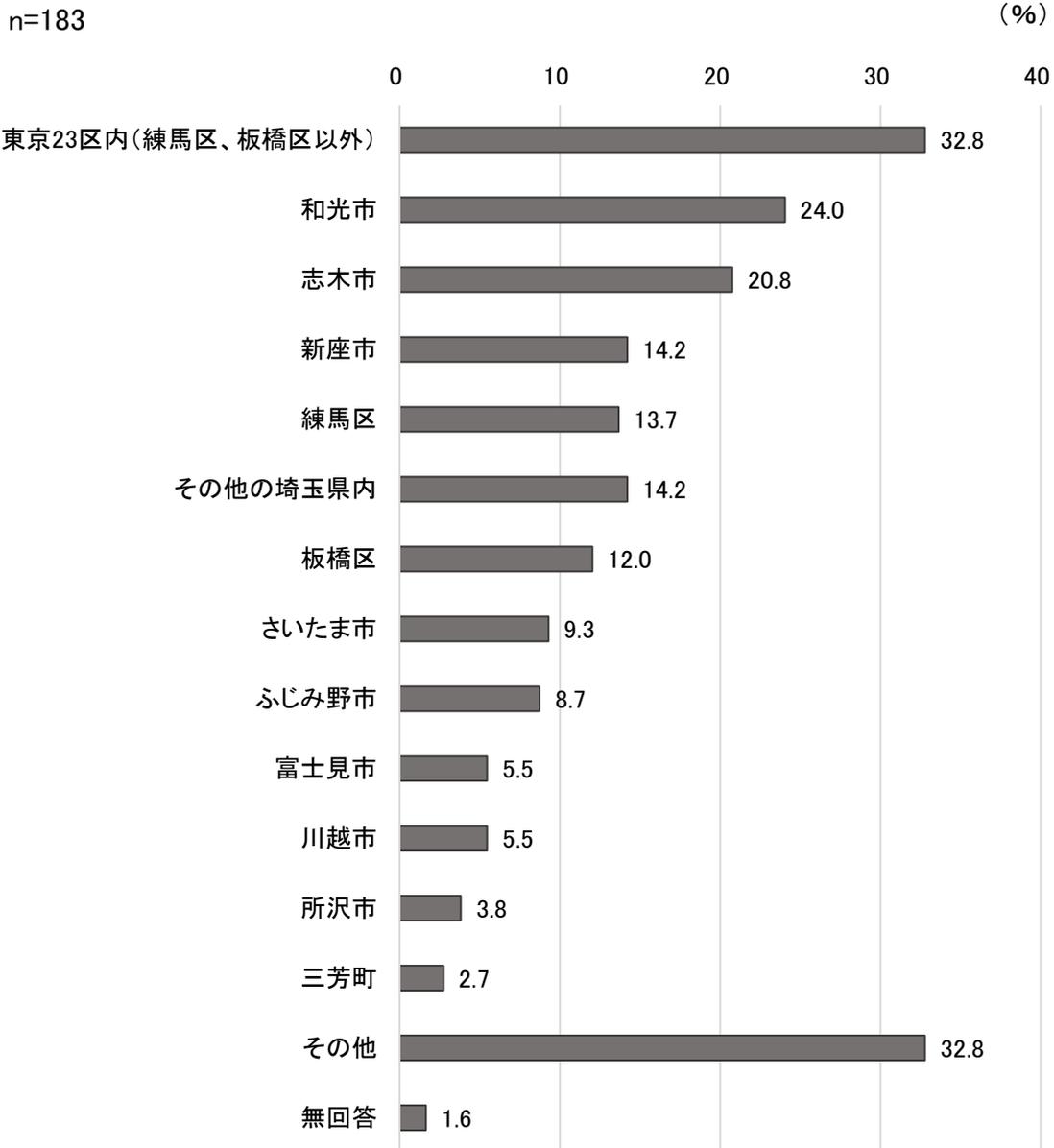
問14 将来、住宅を住み替える希望はありますか。次の中から1つ選んでください。

将来の住み替えについては、「住み替えの希望はない」が60.6%と最も多く、続いて「市内外問わないが住み替えたい」(14.9%)、「市内で住み替えたい」(13.5%)、「市外で住み替えたい」(10.1%)となっている。



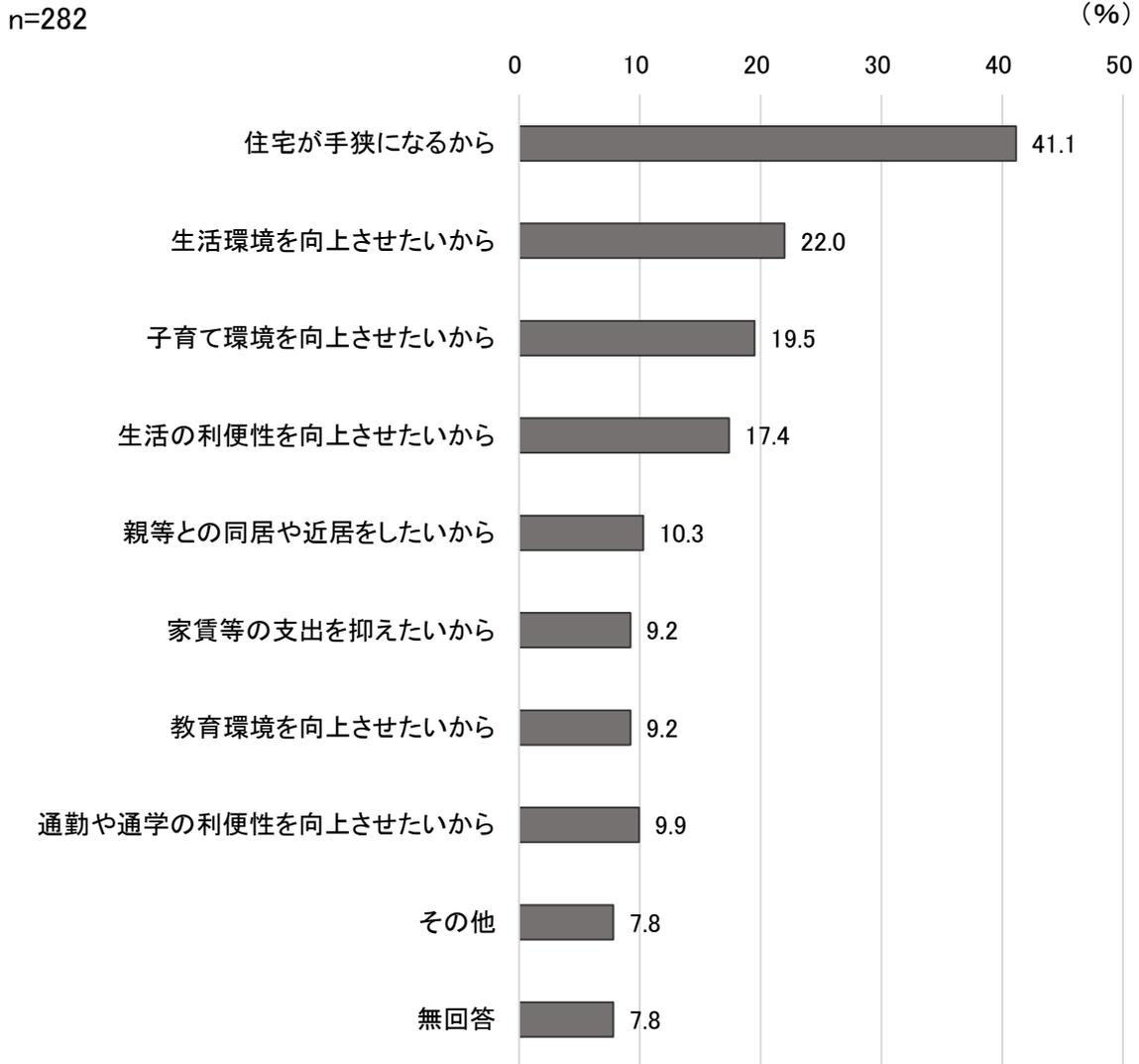
問14-1 問14で「市外で住み替えたい」、「市内外問わないが住み替えたい」を選んだ方にお伺いします。朝霞市以外への住み替えをお考えの場合、候補地として検討している地域はどちらですか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

市外での住み替え候補地については、「東京23区内(練馬区、板橋区以外)」が32.8%と最も多く、続いて「和光市」(24.0%)、「志木市」(20.8%)、「新座市」(14.2%)となっている。



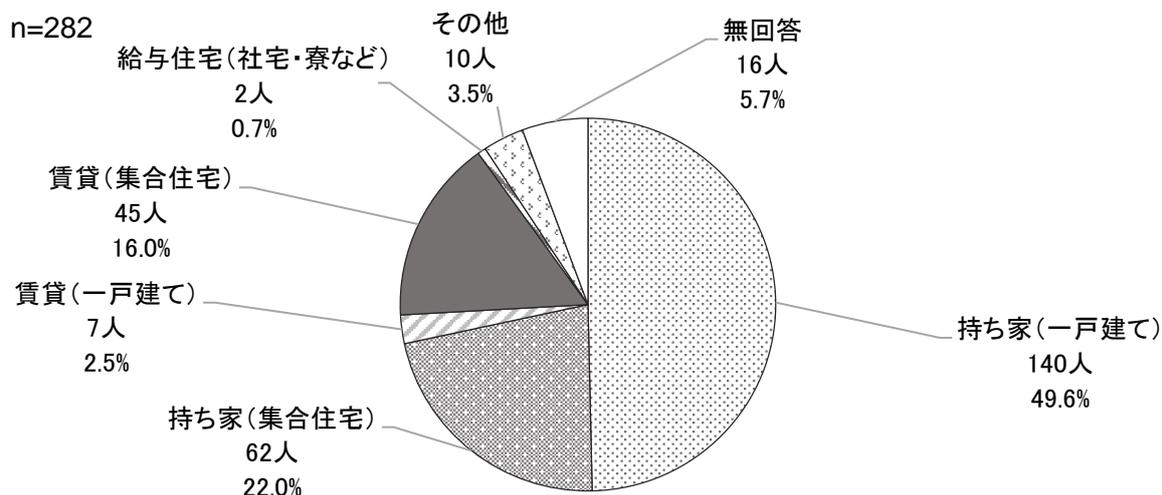
問14-2 問14で「市内で住み替えたい」、「市外で住み替えたい」、「市内外問わないが住み替えたい」を選んだ方に伺います。住み替えを希望する理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

住み替えを希望する理由については、「住宅が手狭になるから」が41.1%と最も多く、続いて「生活環境を向上させたいから」(22.0%)、「子育て環境を向上させたいから」(19.5%)となっている。



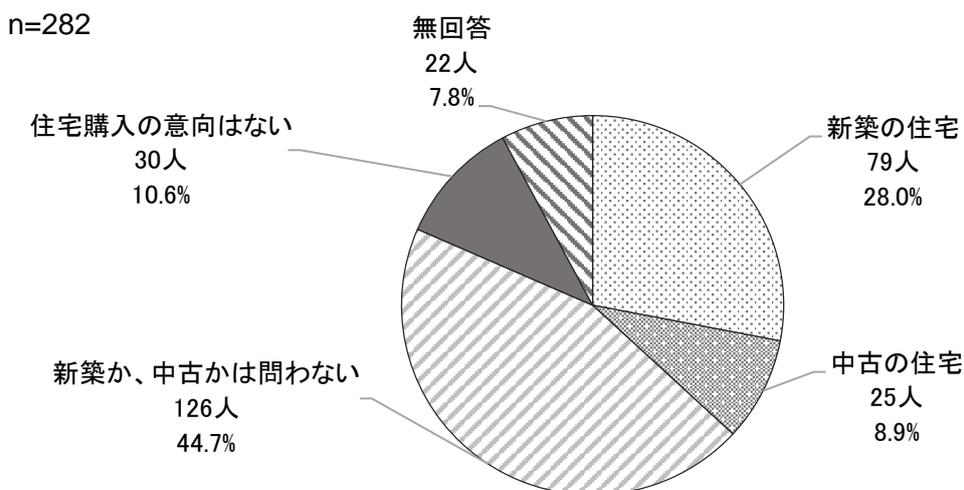
問14-3 問14で「市内で住み替えたい」、「市外で住み替えたい」、「市内外問わないが住み替えたい」を選んだ方に伺います。住み替え後の住宅は、どのような形態を希望しますか。次の中から1つ選んでください。

住み替え後の住宅形態については、「持ち家（一戸建て）」が49.6%と最も多く、続いて「持ち家（集合住宅）」（22.0%）、「賃貸（集合住宅）」（16.0%）となっている。



問14-4 問14で「市内で住み替えたい」、「市外で住み替えたい」、「市内外問わないが住み替えたい」を選んだ方に伺います。住宅購入を検討する際の対象を次の中から1つ選んでください。

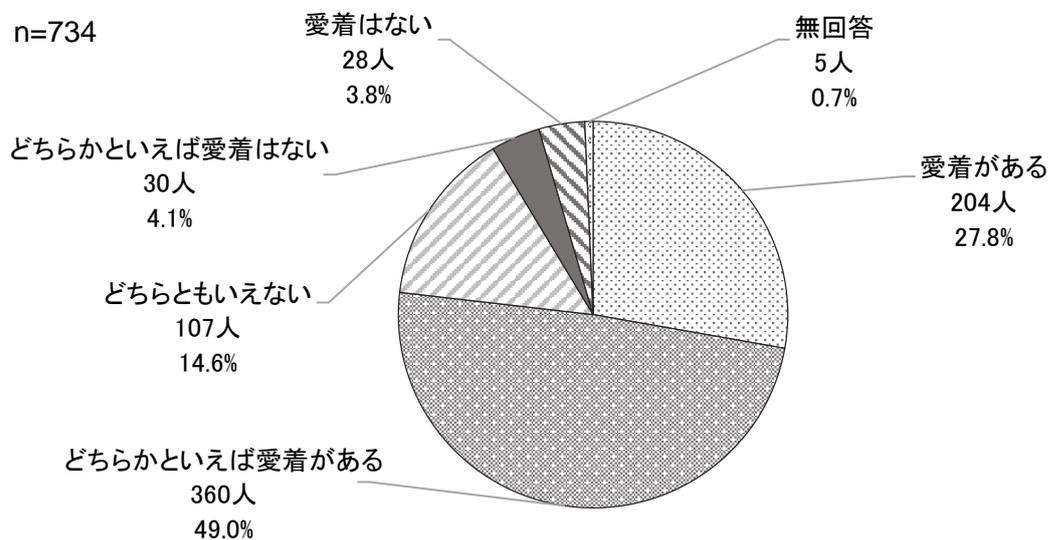
住宅購入については、「新築か、中古かは問わない」が44.7%と最も多く、続いて「新築の住宅」（28.0%）、「住宅購入の意向はない」（10.6%）となっている。



5. 地域とのつながりについて

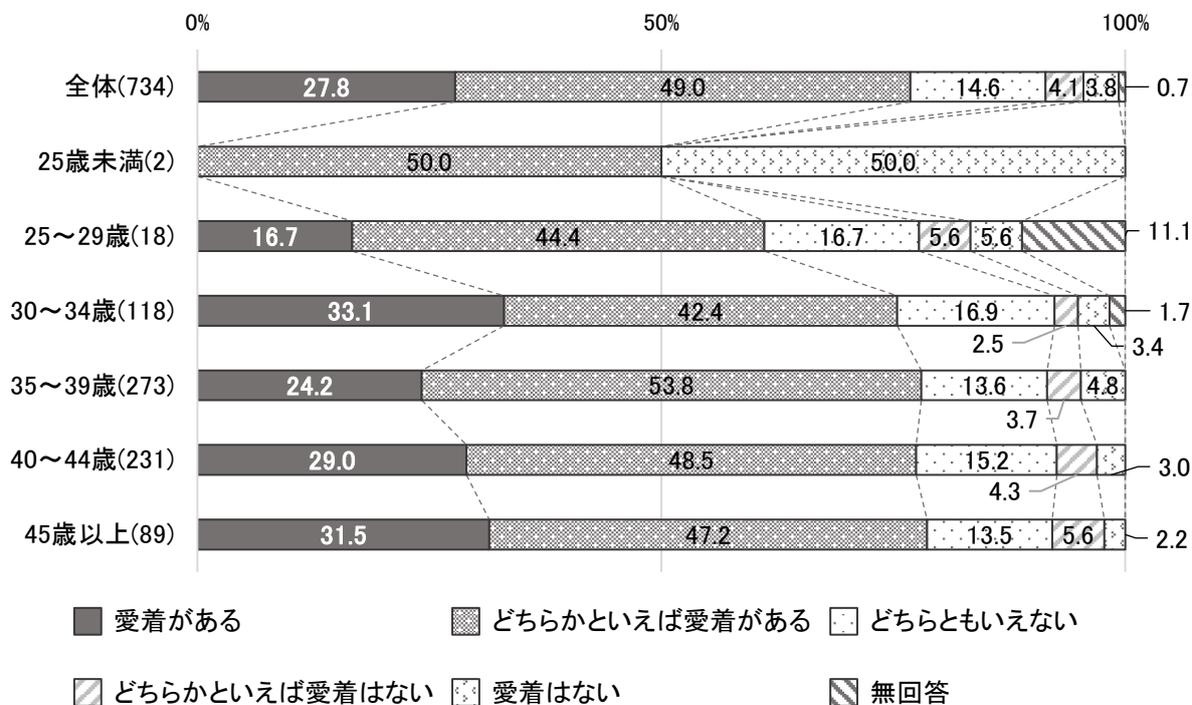
問15 あなたは朝霞市に愛着はありますか。

朝霞市への愛着については、「どちらかといえば愛着がある」が49.0%と最も多く、続いて「愛着がある」(27.8%)、「どちらともいえない」(14.6%)となっている。



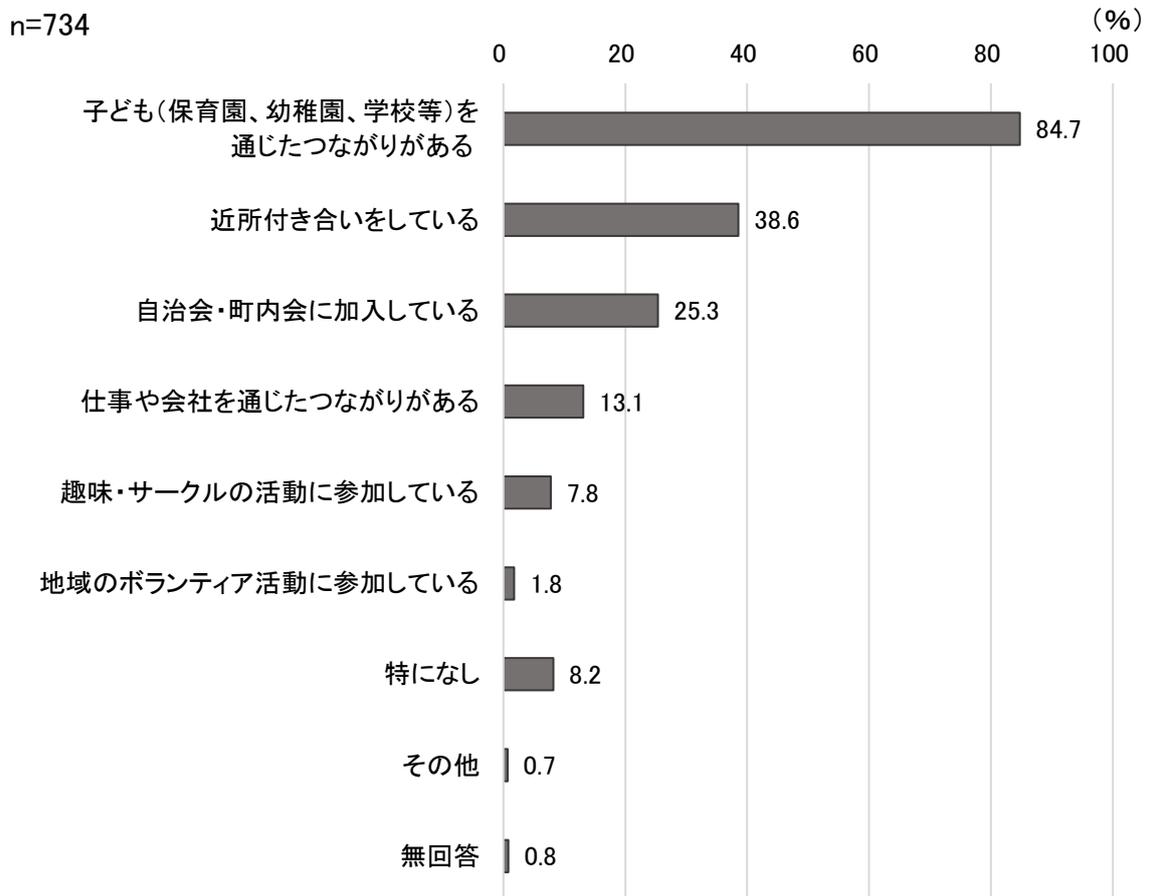
〈年齢別比較〉

30～34歳および45歳以上では、「愛着がある」の回答割合が3割を超え、比較的高い傾向がみられる。



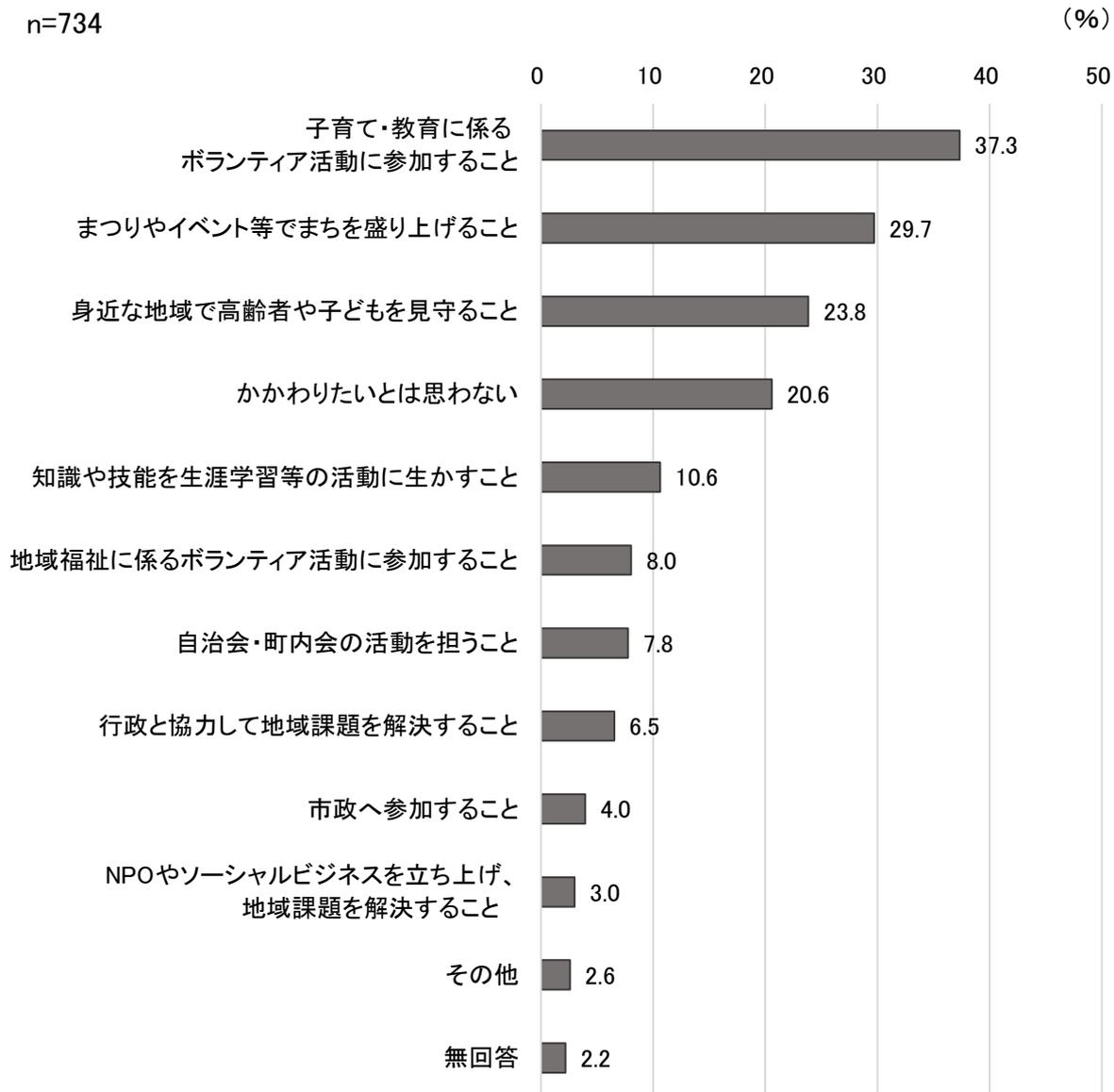
問16 あなたは地域とどのようなつながりをお持ちですか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

地域とのつながりについては、「子ども（保育園、幼稚園、学校等）を通じたつながりがある」が84.7%と最も多く、続いて「近所付き合いをしている」（38.6%）、「自治会・町内会に加入している」（25.3%）となっている。



問17 地域での活動にかかわるとしたら、あなたはどのようなことに取り組みたいですか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

まちづくりへの取り組みについては、「子育て・教育に係るボランティア活動に参加すること」が37.3%と最も多く、続いて「まつりやイベント等でまちを盛り上げること」(29.7%)、「身近な地域で高齢者や子どもを見守ること」(23.8%)、「かかわりたいとは思わない」(20.6%)となっている。



6. 自由意見

問18 自由意見欄

最後に、子育てや定住等に関することについて、ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

自由意見欄に記入があったのは回答者734人のうち379人(51.6%)である。

<全文>※概ね原文のとおり記載している。

【子育て支援全般】

- ・ 都内から今年転入しましたが、子育て支援の手薄さを強く感じました。例えば、保育園の給食費は以前は負担なしでしたが、朝霞市は保護者負担です。また、学童クラブの金額も都内より数千円/月高く、以前はあった学童クラブ以外の小学生の放課後の居場所の確保など、支援が行き届いていないと思います。(都内では区にもよりますが、放課後、学校での見守り保育のような制度があるところが多いようです。)財源不足なのかもしれませんが、東京都のように私立高校の無償化など、所得制限無しで実施して頂けることを願います。
- ・ 東京都が収入に関わらず私立も高校無償化(授業料)の方針になったので、実施されれば引越したいと思う。埼玉県も所得に関係なく無償化なら、そのまま定住したいなど思っている。子どもに関することは所得に関係なく平等にしてもらいたいです。税金払うだけ払って所得制限とかで無償化も奨学金も貰えないとか、3人も子どもがいるのに大変だし、年が離れているから3人目にならないとか、ありえないと思います。
- ・ 東京都の方が子育て世代の助けとなるような支援を行っているので、資金がたまり次第引越したいと考えている。しかし、朝霞市が積極的に支援をしていただければ、本当は朝霞市で子育てしたい。低所得の方へ、よく資金の支援をしているが、子育てに使われているかは不明なので、例えば、給食無料や、鉛筆などの物資の支給などの方が、直接児童へ使われるので、そうしてほしい。
- ・ 東京都に比べ、子育てへの支援や援助が少なすぎる。子どもの数が比較的多い市であるが、交通の安全性、公園等の施設、商業施設等、子ども向けの施設が少ない。もっと増やして下さい。
- ・ 子育てに対して親の不安や疑問を少しでも減らす為にも、育児関連の教育(支援制度や子育て経験者の話や動画など)を更に充実してほしい。
- ・ 高校生まで医療費無償化、給食費無償化、幼稚園の預かり保育無償化、学童保育無償化などどれか一つでもいいので是非お願いいたします。
- ・ 産院が少なく、また出産一時金が増額されても産院の価格も上がっている為、1つ目のハードルとしてもう1人を産むことに不安を抱いてしまいます。
- ・ 子どもを乗せる電動ママチャリを購入するのに、補助金があるとありがたい。
- ・ 役所で障害者手帳などの手続きが分かりにくく発達障害などの支援はあるのに手続きが複雑で分かりにくいなど、手間だけがかかって大変でした。申請を受けれるのはありがたいですが支援を受けるにもかなり労力が要りました。
- ・ 朝霞市というより埼玉県に対してですが、虐待禁止条例の件は、自身の在住県であるような条例案が出されたことに非常にがっかりしました。子育て世帯の状況を正しく理解する姿勢のある方たちに県政・市政を担っていただきたいと強く思います。

【保育】

- ・ 未就学児を短時間預ける場所が少ない(希望者が多いので、結局利用せず)。病院に自分が行く時等に困る。
- ・ 子どもが病気になった時に、就労しているととても困ります。早急に、病児保育の充実を望みます。(前日でも受け入れできる、受け入れ人数の増大)
- ・ ファミサポや一時保育・病児保育等の仕組みがアナログで子育て世帯が働きながら利用するにはかなり敷居が高い。現に利用したい気持ちはあるが利用できず活用できていない。できるところからで良いのでデジタル移行してほしい。
- ・ 保育所の安定した運営のため、先生方をもっと支援してほしい。待遇、給与等。本当によくしてくださる先生が多いので。また、保育所内のルールについて、共通にすべきところはないのか?例えば、プールの実施基準、給食のおかわりの有無、オムツのルールなど。「保育園にあずけやすい町」ということが、子育て世代には大きなきっかけとなり、朝霞市に定住してくれると思います。
- ・ 学童が高いと思います。毎日ではなく、週1くらいしか利用しないと、2500円/日です。おやつも1個いくらかににして、日割りでやってほしい。新座市のように、親が働いてなくても集まれる場所をつくるなど、学童だけでない集会所がほしい。
- ・ 短時間就労で児童クラブに預けられない家庭の子が、長期休暇の時など安心して預けられる場所を作ってほしい。もしくは、そのような場所があるなら、HPなどで提示してほしい。
- ・ 学童入所条件で15時まで就労していないといけないという点は、少し厳しいと思います。1年生は帰宅が早い(新学期最初は午前中など)のに、その預け先がないと働けない。14時まで勤務だと学童に入れないのは不平等な気がします。一人で留守番ができないうちは、就労時間の枠を縮めるべきだと思います。学年(年齢)、兄弟の有無、保護者以外の事も含め柔軟に対応してほしい。
- ・ 放課後の児童の居場所づくり(和光市の「わこうっこくらぶ」のような)をしてほしい。
- ・ 新座市のように、小学生を単発で預けられるシステム(学童ではない)を作ってほしい。
- ・ 学童の預かりが小3までになっているので、対策してほしい。夏休みだけは預けられるようにする等。
- ・ 学校の地域によって放課後児童クラブの充実度に差がある。また数が希望する児童数よりも少なく、低学年しか入れないのを解消してほしい。
- ・ 子どもの数に対して学童クラブが少ないと思います。保育園が増えている印象はありますが、学童クラブが増えないのはどうしてでしょうか。安心して仕事ができませんし、本当に困ります。保育園と同じように、一括で申請できるようにしてもらえると、何通も申請書を記入し、何通も就労証明書を会社に依頼せず、個々に問い合わせもしなくてよいので助かります。
- ・ 子どもに発達障害があります。就学前は療育など充実しており、就学に向けての情報も多く入りましたが、中学年(現在3年生)になり、療育も空きがなかったり、学習障害に対応できる場所や情報の少なさに、今後どうしていけばいいのか不安が多くあります。そのため仕事にも就けません。発達障害、学習障害のある中～高学年向けの施設やサービス、情報等、もう少し増やしてほしいです。

【教育】

- ・ 小学校の学区の割り振りを考えなおした方がいいと思います。宮戸2丁目や3丁目に住んでいる子どもに第三小学校まで通うのは遠すぎだと思います。

- ・ 小学校までの距離がありすぎる。真夏に熱中症になって帰ってきた。学区の範囲をもう少し考えてほしい。転校させるにも、いろいろハードルがあるから、考えてほしい。
- ・ 小学校も選択制にしてほしい。三小区域だが、志木小や七小の方が近く、学校が遠いため子どもの負担が大きい。
- ・ 第八小学校の人数が多過ぎて、先生が見きれていないので、学区を整理してほしい。根岸台に畑を潰して新築戸建を沢山建てているが、それよりも小学校を建てるべき。未来ある子どものことに力を注いでほしい。
- ・ 小学校区の見直し、又は学区越え申請の簡略化を希望します。現状は申請が厳しく、また毎年申請しなければならないのが苦です。
- ・ 小学校の老朽化が気になりました。全改築は難しくとも、トイレは全て洋式にするなど、対応をしてほしいです。
- ・ PTA の位置付けについて、市内小中学校で統一的な運営がされているか。PTA の強制、任意であることの周知、収支報告書の提出等、各校でバラバラであると見受ける。
- ・ 共働き家庭が増えてきた中で、現在の学校における PTA、もしくはそれに準ずる組織の活動には限界があると思います。また学校の教育にかかる負担も増えていることから、教育の担い手不足（教員）も問題だと考えております。先生の悩みを汲み取りつつ、PTA の活動を第三者に委託するなどの改革が必要なのではないのでしょうか。
- ・ 子どもたちは通学（小学校）について、集団登校の際、毎日親が当番制で交通誘導をしている学区があります。少子化と共働きにより、各家庭の負担が増えています。安全安心面を考慮すると無くすことも心配です。交通誘導員の配置など見直していただきたいと思います。
- ・ 市全体で学校等で国際的なレベルを高くして、宗教や人種に配慮した学校給食対応等ができれば最高だと思っています。私はイスラム教であり、今まで子育てで一番困る事は、子どもが食べられない給食の事でした。せめて宗教的に禁じられている食べ物をアレルギーのある食べ物として扱ってもらえるだけでもありがたいです。グローバルの世界に向きあってほしいです。
- ・ 来年2024年から子どもが小学校に入学し、放課後クラブが始まります。しかし、放課後クラブはすべて小学校の長期休み中はお弁当必須のため、フルタイム勤務の身としてはつらいです。
- ・ 私立小学校の先生を含め、スタッフを増やしてほしいです。娘の通う小学校では、数ヶ月の間、担任が不在の状態が複数クラスありました。先生方の都合でやむを得ずの休職、退職の時に、もっとスムーズに代わりの方に来てもらえるように、全国的に先生方が不足しているのはわかっているのですが、何とかならないものかと思っています。
- ・ 朝霞市立第九小の周りの砂ぼこりは昔から改善されず、そのままと聞きます。小学校、保育園もあり、新しい住宅地も増え、子どもが多く生活する中、健康被害の心配はないのでしょうか？子どもが育つ環境として、市は、把握しているにもかかわらず何の対策もないことが残念です。
- ・ 朝霞市に限らず、発達障害児に対する支援が手薄い。親にとっては、障害の有無に関わらず、定型発達の子もたちと同じ支援を受けられるようにしてほしい。例えば、加配保育をつけると保育時間が短くなる、普通学級に入学した場合に集団生活ができない時は母子登校になるなど、親の受け持つ負担が通常より多く、フルタイムでの勤務が不可能になる。そのため収入は減るが、療育手帳の申請基準に満たない場合の援助は余りない。金銭的にも精神的にも切迫してきてしまいます。又、障害の

有無に関わらず、外遊びが好きな子にとってプレイパークはとても息抜きになっていると思います。学校等施設がやっていない日曜日の開催を増やしてほしいです。

- ・ 小学校と地域の関わりがもっとあればいいと感じています。
- ・ 高校や大学の授業料をできれば無償化、難しければ半額にしてほしい。所得上限については、一般的な年収の世帯は適用にならないように緩和してほしい。所得制限を設けることで、市の支出をやりくりすることは必要と思うが、富裕層と一般世帯の見極めを見直してほしい。

【住環境】

- ・ 家族の転勤がきっかけでしたが、住んでみると、公園が多く、イベントの開催もあり、市内だけでも子どもが楽しめる環境がある事で、子育てがしやすいと感じました。また、将来的にも子どもの進学等考えた時に、地元に戻るより子どもには良いのではと定住する事に決めました。
- ・ 見える部分(図書館、中央公園近く)はきれいに整備されているが、その反面、駅付近の地下鉄の劣化、暗さ、ごみ問題など、市民が良く利用する所の工事などにもっと目を向けてほしい。青葉台公園、特に朝霞の森の駐車場の数も増やしてほしい。土、日は9時台に行かなければ停められず、駐車ができないのでわざわざ朝霞の森に行こうとも思えない。
- ・ 朝霞は住んでとても良い街だと思っていますが、賃貸物件の家賃が高いです。
- ・ 朝霞市は年々土地価格が上がっていて、住み替えるのが難しいと感じる。3人目を希望しているが手狭になるので、子育て世帯への支援があればうれしい。
- ・ 朝霞は土地もかなり高くなってきているので、中々戸建てに踏み切ることができません。
- ・ 朝霞の森や青葉台公園で、沢山遊ばせてもらっています。いつもありがとうございます。希望を申し上げれば、ゆめぱれす等で、コンサートだけでなく、〇〇作りや〇〇体験等、観るだけではなく体験できるものも開催していただけると嬉しいです。
- ・ 駅前にホテル(東横イン)ができてから、その周辺での路上の喫煙がかなり増えたので、どうかしてほしいです。子どもたちの健康に良くないと思います。
- ・ 朝霞市は児童館がたくさんあり、イベントも充実していて、子どもが入園までの間とても助けられました。屋内の施設が充実している分、屋外の公園はどこもボール遊びが禁止されていたり、大型遊具の少なさを感じており、少し不自由を感じています。特に自転車の練習場所に困っており、休みの度に所沢市の航空公園まで車で出掛けて練習させています。(朝霞の森は駐車場が少なく、停められないことが多いので・・・)日にち限定でも良いので、練習できる場所があると嬉しいです。
- ・ 小さな公園が5年前に比べ減りました。朝霞の森は便利ですが遠いため、少し不便です。またボール遊びができる公園もほとんど近場にはないのも気になります。
- ・ 朝霞市のことは何も知らずに引っ越してきたのですが、とても住みやすくこのまま住み続けたいと思っています。子育てをしていると、公園が多く、また市の施設(市役所、図書館等)が街の中でコンパクトにまとまっていて利用しやすいです。自然が多いところも気に入っています。
- ・ 朝志ヶ丘地区には広い公園がなくて子どもの外遊びの場所に困るので是非整備してほしいです。
- ・ 未就園児の時に朝霞の森のプレーパークが週1回あることで親子の居場所としてとても心強かったです。これから小学生になって子どもだけで遊ぶ時に各公園に見守りのプレーリーダーがいてくれると、安心感があってありがたいです。

- ・ 公園でボールあそび(小さい子、幼児以下)は、親などが近くにいるため問題はないが、小、中学生のボールあそびは問題があるように思います。注意もしますが、笑ってたりすることもあり、公園でのボール遊びができないことの認識がないようです。ボール遊びが出来る公園をつくるか、考えて下さい。公園にスパイクをはいてくる子もいました。皆で楽しく、安全に使える公園にしてほしいです。
- ・ 賃貸マンションの建設が多い。市民がよりよい住宅へと住み替えができるよう、賃貸マンションではなく新築戸建ての供給を増やしてほしい。特に西原エリアの生産緑地はほとんど賃貸マンションになっている。
- ・ テレワーク主体の生活になり、子どもが大きくなった時に家が手狭に感じるかもしれません。そういった時に、朝霞市で引っ越しが出来ればと思います。
- ・ 朝霞の自然豊かな環境が大好きで、これからも住み続けたいと思っています。ですが、最近畑や原っぱが住宅にどんどん変わってしまってさみしいです。自分も今より広い家への住み替えを考えているので、選択肢が増えるのはうれしいのですが、自然が少なくなるのはさみしいです。
- ・ 朝霞市はこれといったものが特にない。住むにはもう少し何かほしい。ショッピングセンターやスーパーマーケットを増やしてほしい。子連れのショッピングをするところ(できるところ)が少ない。
- ・ 東口に住んでいるのですが、南口ばかり栄えて、東口がちよっと行動するのも不便さを感じている。公園や児童館の質の向上、スーパーなど買い物するにあたり、もう少し選択肢を増やしてほしい。
- ・ 北朝霞、朝霞台駅の利便性を向上してほしい。住宅ばかり。商店街などあってほしい。
- ・ 子どもが遊べるプールや、屋内施設等を充実させてほしい。朝霞市は住むだけで、買い物、外食、遊びに行くのは市外ばかりになってしまう。
- ・ 都内にとっても近いのに、緑や畑が身近にあるのは強みだと思うので、活かしてほしい。コストコが近く(志木朝霞和光新座富士見野辺り)にあると、子育てや定住を考えてる世帯にとってプラスポイントになると思う。
- ・ 朝霞市は市内で物事が完結しません。都内勤めありきの町だと思います。定住させたいのならイオンやららば一と、コストコ等を誘致しないと無理だと思います。周りの人も和光に行くのが便利だからや、一駅我慢すれば地下鉄に乗れるから、と和光頼りの意見を多く聞きます。
- ・ 本町に町内会なく(知らないだけ)他のところではあってうらやましいです!特にお祭りやイベントなどやりたい人だけやりたいことだけ参加できるような仕組みがあれば、子どもも参加したいです。学校は特に特色がないので(よくもわるくも普通)、何か学校ならではの特色があれば、親も子どもも愛校心(?)が生まれそうです。
- ・ 自然が豊かで、子どもの遊び場がたくさんあり、子育て世帯に薦めたい街だと思います。治安の点は、外国人のコミュニティが何個があり、不安です。もっと理解を深められたらとは思いますが。
- ・ 朝霞のゴミ回収について。袋の指定が少ない、回収日が多い事がありがたいです。朝霞に長く住み続けたいと思う理由の一つです。

【道路交通】

- ・ 朝霞台の方面はアップダウンが多いので、バスの利便性が上がると良いなと思っていました。東上線各最寄駅とのアクセス向上。

- ・ 自家用車を持っていないため、公共施設が分散していることに不便を感じる。商業施設と公共施設が一体化した大規模施設を設置し、駅と施設の間に市民バスを通して、市外利用者を増やし、バスを黒字化する。立川市の green springs に公共施設がくっついたイメージです。
- ・ 道路の植栽が伸びていて、通行の妨げになっているとよく感じます。車道に自転車レーンが設けられていますが、そこに長い草や低木の枝が干渉していると、特に子どもを後ろに乗せている時は危なくて走る事ができません。その他、朝霞駅近辺のアンダーパスも除草がされないために、自転車や歩行者がすれ違いづらくなっています。子どもたちの交通安全が守られる事も子育て支援、定住促進になるように思います。
- ・ 宮戸橋通りの道が狭いので、子どもだけで自転車を使うのが心配。
- ・ 通学路を広くしてほしい。泉水坂がキケンすぎます。
- ・ 駅から市役所までの通り(市役所通り)と二本松通りと裏の道も含めての、交通規制が必要だと思います!!細い道なのに自転車、自動車、歩行者、バスと交通量が多いので危ないです!!交通事故も多い。一方通行にして下さい!!
- ・ バスが少ないエリアの本数を増やしてほしい。
- ・ 自転車のシェアサイクルがとても便利でありがたいです。
- ・ 子どもが就学するにあたり、細い道でも車がわりとスピードをあげて進んでいるので、スクールゾーンを増やしたり、ガードレールの設置が可能なところは設置してほしい。
- ・ 朝霞第九小学校までの道が危ないので、改善してほしいです。
- ・ 市役所通りの電柱が車を運転する際バスと行違う時など危ないので、なくしてほしい。歩行者、自転車、車が多く行き交うので危険を感じる事が多々ある。
- ・ 旭通りは、朝・夕に歩行者、自転車が多いので、朝夕のみバスのみ or バス、タクシーのみとしてはいかがでしょうか?一方通行でも良いのではとも思います。
- ・ 和光までのバスがあるとより利便性が上がる。(子どもの習い事での選択肢が広がる)
- ・ 道が狭すぎる点が気がかりです。たちばな幼稚園や宝蔵寺、宮戸保育園～三小へ向かう通学路は、歩行者同士ですら、すれ違うのが困難で自転車も多く走りますが、車道も狭く通るのがとても危険です。大型車の往来も多いため、今後整備されることを期待します。
- ・ 朝志ヶ丘一丁目7番付近にある線路のアンダーパスに歩道専用の階段のアンダーパスを作してほしい。完成すれば子育て世代の不安要素も減り、定住につながると思う。
- ・ 朝霞駅から朝霞市役所までの1本道の道路の車の走行が危険に感じます。特にバスなど。一方通行にした方が安全だと思います。歩行している際に車にぶつかりそうです。
- ・ 泉水付近の道路環境の改善をお願いしたいです。本多技研工業前の宮戸橋通りは、道幅が狭く仕方ないですが、歩道を自転車が通っています。また泉水3丁目の泉水の坂も歩道が狭く、同様です。どちらも子ども達の通学路でもあり、自転車が勢いよく歩行者を追い抜いて行ったりと、危険に感じます。(車道を自転車が通ると渋滞の原因にもなり、どうにか大きな事故等が起こる前に、ぜひ改善をお願いいたします。自転車用スペースの確保が出来れば良いと思います。)
- ・ 川沿いなど、暗い場所が多いので、照明を充実させてほしい。
- ・ 溝沼三丁目交差点付近の道路にガードレールの設置を検討して頂きたいです。子ども達の通学時、事故がいつ発生してもおかしくない状況です。子どもを育てる環境の向上を目指すのであれば、子どもの安全もしっかりお願い致します。

- ・ 道が狭い。ブロック塀に挟まれた狭い道も多い。通学路の安全性確保を早急をお願いしたい。例えば、膝折町ローソン横の横断歩道は、学校からの帰り道は道を横断しないと押しボタンが押せず、さらに信号を待っている低学年の子どもなどはお店の看板の影になってしまい、車から見えにくいように感じる。いつも指導員さんがいてくれるが、いない時間帯は危険に感じている。
- ・ 通学路に信号のない横断歩道があるが、朝の登校時にはどうしても車も多く走っている。止まらない車も多く、スピードを落とさない車も多いので、手押し信号の設置などは検討して頂きたい。また夜間に公園や野球場などで騒いでいる人達がおり、非常に迷惑をしている。ゴミや吸殻も多いため、安心して子どもを遊ばせられない。朝、夜問わず警察の見回りなど強化して頂きたい。
- ・ 泉橋の十小側に歩道がほしいです。中学生が登下校時、歩道のない道を横に広がって歩くため危険過ぎます。十小の小学生も泉橋を使えた方が通学時間短縮される子がたくさんいます。泉橋が老朽化していると広報に載っていました。
- ・ 東武東上線と武蔵野線の乗り入れ駅である朝霞台駅の改修（エレベーター、乗り換えのしやすい改修、駅ビルの建設）を強く希望する。12年住んで、やっとエレベーター工事が始まった。乗り入れ数も相当多い駅だから、改修し使いやすい駅となれば朝霞市に住む人も増えるはず。

【安全安心】

- ・ 歩き紙タバコが多い事については是非取り上げて頂けると幸いです。前を歩く喫煙者が手で持っているタバコの灰を後ろに落として、風で子どもの顔に飛んできたりして非常に危ないですし、印象も悪いです。朝霞市は色々発展してよい街になっているのにも関わらず、このような方が今の時代に合わず多くいる事が残念です。道路も未だにタバコの吸い殻が落ちていたりしています。
- ・ 朝霞市の不審者情報が多いように感じる、人口が増えるにつれ、そういった人も増えるのかもしれないが、その対策などパトロール強化してもらえると助かる。
- ・ 小児科の予約が取れません。近所にあった小児科が医師高齢のため閉院し、新しい小児科もできていない。
- ・ 夜間の子ども用の救急外来が朝霞にない。どうにかしてほしいです。小さい子どもを子育てしているととても不安です。夜間に子どもに何かあった時にはいつも和光の埼玉病院に行き対応してもらっているが、この間夜間に電話をしたら、小児科の先生がいなくて断られた時にとっても困り、朝霞市内にも夜間で子ども（小さい）に対応してもらえる病院があれば良いのにと思いました。